

## 1 研究内容と成果発表状況

## 研究活動の状況（研究課題）

10 基礎医学講座(解剖学第 1 , 解剖学第 2 , 生理学第 1 , 生理学第 2 , 生化学, 分子病態学, 薬理学, 病理学第 1 , 病理学第 2 , 微生物学), 5 社会医学講座(衛生学, 公衆衛生学, 法医学, 寄生虫学, スポーツ医・科学), 19 臨床医学講座(内科学第 1 , 内科学第 2 , 内科学第 3 , 高齢医学, 外科学第 1 , 外科学第 2 , 産科産婦人科学, 整形外科学, 脳神経外科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科学, 皮膚科学, 泌尿器科学, 神経精神医学, 小児科学, 放射線医学, 麻酔・蘇生学, 臨床検査医学, 口腔外科学), 反射研究施設, 嫌気性菌実験施設, 動物実験施設及び中央検査部, 中央手術部, 中央放射線部, 輸血部, 救急部, 集中治療部, 総合診療部, 薬剤部並びに寄附講座「東洋医学講座(ツムラ)」で活発な研究がなされている。

各講座, 研究施設等の主な研究内容については, 次表のとおりである。

### 各講座・研究施設等の主な研究内容（平成10年7月現在）

系列	講座名	研究内容
基礎医学	解剖学第1	1. 内分泌器官の電子顕微鏡的研究 2. ヒトの血管系についての解剖学的研究 3. 血管鑄型による内臓・関節の血管支配について
	解剖学第2	1. 感覚情報処理機構の形態学的解析 2. 小脳・前庭系神経路の形態学的解析 3. 小脳の生後発達の形態学的解析 4. 神経情報伝達機構の形態・生理・薬理学的解析
	生理学第1	1. 血圧および体液恒常性維持機構のシステム解析 2. 神経伝達物質, 特に低酸素のカテコールアミン遊離機構に対する影響 3. 一酸化窒素の神経伝達物質に対する影響 4. これらの条件が細胞内カルシウム調節機構をはじめとするセカンドメッセンジャー機構や受容体に及ぼす影響 5. 培養副腎髄質細胞およびPC-12におけるエンドセリンの生理的機能, 特に神経伝達物質としての機能に関する検討 6. 培養神経細胞における電位依存性カルシウムチャンネルおよびカルシウム透過性非選択的陽イオンチャンネルの機能に関する検討 7. 高齢期痴呆の予防医学的対応に関する基礎的研究
	生理学第2	1. 血清アルブミン分子の構造と機能及び病態に関する研究 2. 蛋白質一般の高次構造形成過程の物理化学的研究 3. 核磁気共鳴測定法による生体内における水の存在状態に関する研究 4. Magnetic Resonance Imagingにおける新しい撮像法開発の研究
	生化学	1. 生体膜脂質の物性並びに情報変換機構 2. 細胞増殖・分化・癌化と膜脂質シグナリング 3. 炎症・アレルギー・免疫関連細胞の機能発現機構と病態 4. 細胞内カルシウム動態の分子機構 5. 病原性真菌細胞の分子生物学・生化学的研究

基礎医学	分子病態学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 染色体分配に関与する遺伝子<math>mit</math>の機能解析</li> <li>2. 新規ヒトユビキチン結合酵素遺伝子の機能解析</li> <li>3. GTP結合蛋白質の構造と機能</li> <li>4. TGF-<math>\beta</math>により誘導される遺伝子TSC-22の機能解析</li> </ol>
	薬理学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病態動物の作成とその循環調節機構の解明</li> <li>2. 臨床薬効評価とTherapeutic Drug Monitoring (TDM)</li> <li>3. 抗血栓薬及び血管肥厚抑制薬の薬効評価</li> <li>4. 骨吸収因子の作用メカニズムの解明</li> <li>5. 白血球機能とそれに及ぼす薬物の影響</li> </ol>
	病理学第1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器癌発生機構に関する分子生物学的研究</li> <li>2. 癌の発生子防, 発生要因検出のための病理学的研究</li> <li>3. 悪性腫瘍及び前駆病変診断の細胞病理学的研究</li> <li>4. 神経細胞死と神経細胞死保護に関する研究</li> </ol>
	病理学第2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リンパ増殖性疾患の分化抗原, DNAの解析</li> <li>2. 悪性リンパ腫の組織発生の研究</li> <li>3. 自己免疫疾患発症機序の細胞遺伝学的研究</li> <li>4. 腫瘍の免疫学的, 分子生物学的診断</li> <li>5. 分子生物学的手法による腫瘍治療の実験的研究</li> <li>6. ヒト腫瘍抗原の分子生物学的解析</li> </ol>
	微生物学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細菌の分子進化: rRNAを使った微生物の系統進化と分類の研究</li> <li>2. 食細胞内寄生細菌を使った感染防御機構の研究</li> <li>3. 病原体の分子遺伝学的検出と同定法の研究</li> <li>4. AIDSと日和見感染の研究</li> <li>5. ミール宇宙船内閉鎖環境微生物相の解析</li> <li>6. 産業利用微生物の遺伝学的同定方法の作成</li> </ol>
社会医学	衛生学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老人性痴呆に関する疫学的・社会病理学的研究</li> <li>2. 振動障害・騒音性難聴に関する職業保健的研究</li> <li>3. 農業労働による負担と生理的反応とくに腰痛に関する研究</li> <li>4. 小児成人病に関する研究</li> <li>5. 不慮の事故に関する疫学的研究</li> </ol>
	公衆衛生学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食習慣を中心としたライフスタイルとがん発生に関する疫学的研究</li> <li>2. 日系米人のがん発生パターンとその背景因子に関する疫学的研究</li> <li>3. 地域・職場における精神保健ならびに健康教育に関する研究</li> <li>4. 日本人の健康観, 医療行動, 地域医療システムに関する研究</li> </ol>
	法医学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肺を中心とするin situ観察と各死因の法医病理学的研究</li> <li>2. ショック時早期に諸臓器に発現する形態学的変化の研究</li> <li>3. SIDSにおける肺での換気障害の形態学的研究</li> <li>4. 薬物代謝酵素の法医学, 組織化学的研究</li> <li>5. DNA多型に関する法医学的研究</li> </ol>

社 会 医 学	寄生虫学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宿主-寄生虫相互関係の細胞生物学的研究</li> <li>2. 免疫・DNA診断法の開発</li> <li>3. 環境生物とアレルギー</li> </ol>
	スポーツ医・科 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動処方における運動強度の研究</li> <li>2. 中・高齢者の健康の維持増進のための運動プログラム (一般人の健康を維持増進するための運動強度)</li> <li>3. 競技選手のトレーニング効果に関する研究 (競技選手、青少年などを対象とした体力や競技能力の開発向上)</li> <li>4. スポーツ障害・外傷の予防に関する研究 種目と障害、年齢と障害、環境と障害等について</li> <li>5. 内科的・整形外科的疾患に関する運動療法について</li> </ol>
臨 床 医 学	内科学第1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビタミンA類緑化合物による癌の化学予防と分化誘導療法に関する研究</li> <li>2. 急性・慢性肝不全の病態と治療に関する研究</li> <li>3. 肝細胞死、再生、線維化の病態連繋とその制御機構に関する研究</li> </ol>
	内科学第2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環器疾患、肺疾患、呼吸器疾患におけるアポトーシスの役割</li> <li>2. 狭心症・心筋梗塞の発症のメカニズムと治療</li> <li>3. 心筋症の発症のメカニズムと治療</li> <li>4. 成人の川崎病の治療</li> <li>5. 動脈硬化に関する実験的・臨床的研究</li> </ol>
	内科学第3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種下垂体副腎疾患の診断・治療に関する分子生物学的研究</li> <li>2. インスリン作用機構と糖尿病の成因に関する解析</li> <li>3. 高血圧症への内分泌学的アプローチ</li> <li>4. 糖尿病性合併症の発症機序に関する血小板凝集異常の分子生物学的検討</li> <li>5. 大腸線腫におけるGH, IGF-I受容体の発現</li> </ol>
	高齢医学	(教授選考中)
	外科学第1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心臓・血管・呼吸器及び消化器外科学の臨床研究</li> <li>2. 消化器及び胸部悪性腫瘍等の外科腫瘍学的研究</li> <li>3. 臓器保存・移植免疫等の臓器移植の研究</li> <li>4. 補助心臓等の人工臓器の研究</li> <li>5. 動脈硬化性疾患に対する外科的治療法の研究</li> </ol>
外科学第2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担癌生体の免疫活性の新しい評価法と転移促進機序の解明</li> <li>2. 発癌機構と増殖・転移抑制機序の解明</li> <li>3. 担癌生体の易感染性と炎症性サイトカインの変動・抗サイトカイン療法</li> <li>4. 人工臓器と各種増殖因子の開発</li> <li>5. 消化管機能温存手術や機能代用術式の開発</li> <li>6. DDSを用いたtargeting cancer chemotherapyの開発</li> <li>7. CEAキットと癌性腹膜炎の早期診断法の開発</li> </ol>	

臨 床 医 学	産科婦人科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 婦人科腫瘍のオンコジーンと性ステロイドの関連の研究</li> <li>2. 性ステロイドと増殖因子の分子生物学的研究</li> <li>3. 膜レセプターの応答と婦人科腫瘍</li> <li>4. 細菌フローラと婦人科病変に関する研究</li> <li>5. エストロゲンによる婦人科腫瘍発生・発育に関する機構</li> <li>6. 抗菌、抗癌化学療法</li> <li>7. 内分泌療法</li> <li>8. 漢方</li> </ol>
	整形外科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健常者・運動障害例の動作分析並びに脊柱・関節バイオメカニクスに関する研究</li> <li>2. 同種骨・軟骨・人工材料による関節置換に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>3. 骨の細胞動態機能並びに骨量減少防止に関する基礎的・病学的研究</li> <li>4. 悪性骨軟部腫瘍の治療に関する研究</li> <li>5. 関節リュウマチの病態に関する免疫学的・生化学的研究</li> <li>6. 骨関節感染症に関する研究</li> <li>7. 末梢神経損傷に関する研究</li> <li>8. 各種薬剤の長期投与による骨・軟骨代謝への影響</li> </ol>
	脳神経外科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 悪性脳腫瘍病態と治療に関する研究</li> <li>2. 脳血管攣縮の成因、病態及び治療に関する研究</li> <li>3. 脳虚血と脳保護に関する研究</li> <li>4. ウイルス動脈輪閉塞症の成因並びに脳循環動態に関する研究</li> <li>5. 新しい画像解析法の臨床応用及びバーチャルリアリティー</li> <li>6. 脳血管の基礎的研究及び脳血管内手術</li> </ol>
	眼科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緑内障性視神経障害の病態生理に関する研究</li> <li>2. 緑内障手術における代謝拮抗剤の応用に関する研究</li> <li>3. 眼内血液循環に関する生理学的及び形態学的研究</li> <li>4. 各種レーザーの眼内組織に及ぼす影響に関する形態学的研究</li> <li>5. 眼底疾患への画像解析法の応用による新しい治療法の開発</li> <li>6. 緑内障遺伝子の研究</li> </ol>
	耳鼻咽喉科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. めまい・平衡障害の基礎的・臨床的研究</li> <li>2. 平衡訓練に関する研究</li> <li>3. 平衡機能の発達と加齢変化に関する研究</li> <li>4. 宇宙における錯覚・失認対策法に関する研究</li> <li>5. 耳鼻咽喉科疾患の免疫反応における細胞応答についての研究</li> <li>6. 耳鼻咽喉科腫瘍に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>7. 耳鼻咽喉科感染症に関する基礎的・臨床的研究</li> </ol>

臨 床 医 学	皮膚科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己免疫性水疱症の発症機序とシグナル伝達</li> <li>2. 先天性表皮水疱症の分子生物学的研究</li> <li>3. 表皮細胞の細胞骨格と細胞接着の正常と異常</li> <li>4. 表皮細胞の角化制御と細胞内情報伝達機構</li> <li>5. 強皮症線維芽細胞の細胞内情報伝達機構の生化学的研究</li> <li>6. 乾癬培養ケラチノサイト及び線維芽細胞の相互作用についての実験的研究</li> <li>7. 皮膚悪性上皮性腫瘍及び間葉系腫瘍の起源細胞についての免疫組織学的及び免疫細胞学的研究</li> <li>8. 皮膚真菌症と病原性真菌の電顕と生化学的研究</li> </ol>
	泌尿器科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 尿路感染症の基礎的・臨床的研究</li> <li>2. 尿路由来細菌の抗菌剤耐性機序に関する研究</li> <li>3. 性行為感染症の診断法の改良に関する研究</li> <li>4. 尿路・性器腫瘍における腫瘍マーカーの確立に関する研究</li> <li>5. 尿路・性器腫瘍における分子生物学的病期診断法に関する研究</li> <li>6. 尿路・性器腫瘍の化学療法に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>7. 腎不全治療における臨床的研究</li> </ol>
	神経精神医学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神分裂病, 躁うつ病, 非定型精神病の精神病理学的研究</li> <li>2. 登校拒否, 摂食障害, 自閉症など児童・青年期の精神医学的諸問題に関する研究</li> <li>3. 老年期の精神障害に関する研究</li> <li>4. 心身症及びリエゾン精神医学に関する研究</li> <li>5. アルコール・薬物関連障害並びに精神保健に関する研究</li> </ol>
	小児科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先天性免疫不全症の病因病態に関する遺伝子学的, 構造生物学的研究</li> <li>2. アレルギー疾患の病因病態に関する免疫学的, 遺伝子学的, 構造生物学的研究</li> <li>3. ベルオキシソーム病の病因病態に関する分子遺伝学的研究</li> <li>4. 遺伝性ムコ多糖症の病因病態に関する分子遺伝学的研究</li> <li>5. 有機酸代謝異常症の病因病態に関する分子遺伝学的研究</li> <li>6. 神経・発達に関する分子遺伝学的研究</li> <li>7. DNA修復および細胞周期とその異常に関する分子遺伝学的研究</li> </ol>
	放射線医学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化管悪性腫瘍のX線診断及び前臨床期癌の効率的集団検診法の開発</li> <li>2. 早期肺癌の画像診断及び肺がん集団検診法の開発</li> <li>3. 画像診断法 (X線, RI, HRCT, US, MRI) による早期肝癌の診断法の開発</li> <li>4. Interventional Radiology の臨床応用</li> <li>5. 難治性癌に対する放射線治療を主体とした集団的治療法の開発</li> <li>6. 核医学による脳機能測定, 悪性腫瘍の診断</li> </ol>

臨 床 医 学	麻酔・蘇生学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 麻酔・ストレス中の呼吸・循環反射に関する臨床的研究</li> <li>2. 脳・脊髄微小循環に対する麻酔及び関連薬に関する研究</li> <li>3. 麻酔・疼痛のシグナル伝達とその制御機構に関する研究</li> <li>4. 新しい心肺・脳蘇生法の開発に関する研究</li> <li>5. 心臓機能モニターの開発</li> </ol>
	臨床検査医学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血清リポ蛋白及びアポ蛋白代謝について</li> <li>2. トリプトファン代謝と脳神経系との関連性について</li> <li>3. 臨床化学検査の測定法の開発</li> <li>4. 癌の免疫組織化学的研究</li> </ol>
	口腔外科学	骨代謝に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 炎症性骨吸収に関する実験的研究</li> <li>2. 代謝性骨吸収に関する研究</li> <li>3. 顎関節症の発症に関する研究</li> <li>4. 腫瘍細胞による間接的骨吸収に関する研究</li> </ol>
研 究 施 設	反射研究施設	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前庭・自律神経反射に対する無重力模擬実験，特に脳循環を中心とする宇宙生理学</li> <li>2. 前庭・姿勢・動眼反射の大脳・中枢性機序の研究</li> <li>3. 随意運動の高次運動韻による調節機序の解明</li> <li>4. 左右大脳皮質の強調機構の生理的・薬理的研究</li> <li>5. 定常磁場の神経活動に対する作用の解明</li> <li>6. 神経振動現象による運動関連両側大脳皮質の協調機能の研究</li> </ol>
	嫌気性菌 実験施設	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 嫌気性菌と固有細菌叢</li> <li>2. 嫌気性菌の潜在的病原性</li> <li>3. 嫌気性菌感染症の細菌学・診断法</li> <li>4. 抗嫌気性菌作用のある化学療法薬</li> <li>5. 嫌気性菌による院内感染</li> </ol>
	動物実験施設	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肝細胞癌発生機構に関する研究</li> <li>2. 癌の発生子防，発生要因検出のための病理学的研究</li> <li>3. 悪性腫瘍及び前駆病変診断の細胞病理学的研究</li> <li>4. 発癌への食餌因子の修飾作用に関する研究</li> </ol>
中 央 診 療 施 設 等	救急部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害医療システムに関する研究</li> <li>2. 救急疾患に関する臨床的研究</li> <li>3. 大動脈瘤発生および破裂に関する研究</li> </ol>
	総合診療部	(教授選考中)
	薬剤部	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療品製剤の薬剤学的評価</li> <li>2. 院内特殊製剤の開発とその臨床応用</li> <li>3. 薬物の生体内動態の解析</li> <li>4. 薬物代謝酵素の精製と機能の解明</li> <li>5. 薬物適正使用の推進を目的とした処方監査システムの開発</li> </ol>
寄 附 講 座	東洋医学 (フムラ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東洋医学における“証”を用いた診断の妥当性の研究</li> <li>2. 漢方薬のメカニズムに関する研究</li> <li>3. 鍼治療のメカニズムに関する研究</li> </ol>

## 研究活動の状況（研究成果）

（1996年6月 1998年6月，印刷中を含む。）

基礎医学	社会医学	臨床医学	医学部附属施設	附属病院	寄附講座
解剖学第一教室	衛生学教室	内科学第一教室	反射研究施設	薬剤部	東洋医学講座（ツムラ）
解剖学第二教室	公衆衛生学教室	内科学第二教室	嫌気性菌実験施設		
生理学第一教室	法医学教室	内科学第三教室	動物実験施設		
生理学第二教室	寄生虫学教室	外科学第一教室			
生化学教室	スポーツ医・科学教室	外科学第二教室			
分子病態学教室		産科婦人科学教室			
薬理学教室		整形外科学教室			
病理学第一教室		脳神経外科学教室			
病理学第二教室		眼科学教室			
微生物学教室		耳鼻咽喉科学教室			
		皮膚科学教室			
		泌尿器科学教室			
		神経精神医学教室			
		小児科学教室			
		放射線医学教室			
		麻酔・蘇生学教室			
		臨床検査医学教室			
		口腔外科学教室			



## 解剖学第一講座

### 原著（和文）

山内希美，広瀬 一，千賀省始，林 勝知，鬼束惇義，正村静子：電気インピーダンスを用いた単純浸漬保存肝の viability 評価法に関する実験的研究 .日消外会誌 30 ,712-718( 1997)

早川大輔：小型ハクジラの上皮小体 - ハナゴンドウおよびハンドウイルカの場合 .岐阜大医紀 46 , 73-80 ( 1998 )

### 原著（欧文・国内）

Emura S , Hayakawa D , Tamada A , Yamahira T , Terasawa K , Isono H , Shoumura S : Ultrastructural changes in water-clear cells of the golden hamster parathyroid gland after streptozotocin treatment . Okajimas Folia Anat Jpn 73 , 7-14 ( 1996 )

Tanaka S , Shoumura S , Chen H , Nakatani T , Mizukami S : Aberrant branch of the superior laryngeal nerve passing through the thyroid foramen : A macroscopical study . Acta Anat Nippon 72 , 251-256 ( 1997 )

Chen H , Hayakawa D , Emura S , Tamada A , Jamali M , Yamahira T , Terasawa K , Isono H , Shoumura S : Effects of short-term treatment with ethanol on the ultrastructure of the adult golden hamster parathyroid gland . Med Electron Microsc 30 , 148-153 ( 1997 )

Emura S , Tamada A , Hayakawa D , Chen H , Shoumura S , Isono H : Nuclear bodies of the human lung in psittacosis . Okajimas Folia Anat Jpn 74 , 139-146 ( 1997 )

Tamada A , Emura S , Hayakawa D , Chen H , Jamali M , Yamahira T , Yoshida-Terasawa K , Isono H , Shoumura S : Effect of immobilization on the ultrastructure of the golden hamster parathyroid gland .

Okajimas Folia Anat Jpn 74 , 259-270 ( 1998 )

Yoshida-Terasawa K , Hayakawa D , Tamada A , Emura S , Chen H , Okumura T , Shoumura S : Fine Structure of the Parathyroid and Ultimobranchial Glands of the Snake , *Elaphe quadrivirgata* .

Okajimas Folia Anat Jpn 75 , ( in press )

**原著 ( 欧文 · 国外 )**

Itokazu M , Takahashi K , Matsunaga T , Hayakawa D , Emura S , Isono H , Shoumura S :  
A study of the arterial supply of the human acetabulum using a corrosion casting method .  
Clinical Anatomy 10 , 77-81 ( 1997 )

Emura S , Hayakawa D , Chen H , Terasawa K , Tamada S , Isono H , Shoumura S : Effects  
of short-term treatment with CaCl<sub>2</sub> or EDTA on the parathyroid glands in pregnant golden  
hamsters , with special reference to large vacuolar bodies . Histol Histopathol 12 , 617-621  
( 1997 )

Yamakawa H , Takenaka K , Yoshimura S , Sakai N , Hayakawa D , Chen H , Shoumura S :  
Experimental study on mechanism of aneurysmal enlargement . J Cerebral Blood Flow and  
Metabolism 17 , Supplement 1 , 205 ( 1997 )

Mirbod SM , Yoshida H , Jamari M , Masamura K , Inaba R , Iwata H : Assessment of hand-  
arm vibration exposure among traffic police motorcyclists . Int Arch Occup Environ Health  
70 , 22-28 ( 1997 )

Hayakawa D , Chen H , Emura S , Tamada A , Yamahira T , Terasawa K , Isono H , Shoumura  
S : The parathyroid glands of two species of dolphin Risso's dolphin , Grampus griseus and  
bottlenose dolphin , Tursiops truncatus . Gen Comp Endocrinol 110 , 58-66 ( 1998 )

Chen H , Hayakawa D , Emura S , Tamada A , Jamali M , Yamahira T , Yoshida-Terasawa  
K , Isono H , Shoumura S : Ultrastructure of the parathyroid gland of the young golden hamster  
after short-term treatment with ethanol . Histol Histopathol ( in press )

Chen H , Hayakawa D , Emura S , Jamali M , Ohtake N , Ozawa Y , Yano R , Taguchi H ,  
Shoumura S : Effects of long-term treatment with ethanol on the ultrastructure of the golden  
hamster parathyroid gland . Histol Histopathol ( in press )

## 解剖学第二講座

### 総説（和文）

長崎幸雄，渡邊和子，小園知，山本哲，小野塚実：身体運動の加齢変化に関連する神経機構について．教育医学 41，268-272（1996）

渡邊和子，高田晴子，ミルボード・モハメド，小野塚実：老化に伴う精神機能の変化．教育医学 43，349-352（1998）

### 原著（和文）

小野塚実，渡邊和子：神経電位とマイクロ電極の作製．クロマトグラフィー 17，98-101（1996）

西山勝弘，坂口洋，坂口和子，小野塚実，川瀬俊夫，斉藤滋：HPLC-ESI/MS/MS システムを用いたポリシアル酸の分析．クロマトグラフィー 17，158-159（1996）

小園知，林弘之，山本哲，長崎幸雄，渡邊和子，小野塚実，原田寧，浜島浩史，平野修助：母体性高フェニールアラニン血症の脳組織における髄鞘形成．必須アミノ酸研究 145，11-14（1996）

小園知，林弘之，山本哲，長崎幸雄，渡邊和子，小野塚実，原田寧，須田治彦，浜島浩史，平野修助：母体性高フェニールアラニン血症の脳組織における髄鞘形成．必須アミノ酸研究 149，73-76（1997）

### 原著（欧文・国内）

Isayama H，Nakamura H，Kanemaru H，Kobayashi K，Emson PC，Kawabichi M，Yashiro N：Distribution and colocalization of nitric oxide synthetase and argininosuccinate synthetase in the cat hypothalamus．Arch Histol Cytol 60，477-492（1997）

### 原著（欧文・国外）

Onozuka M，Watanabe K，Nagasaki S，Nishiyama K：Dotarizine，a newly produced diphenylpiperazine derivative calcium channel blocker，inhibits [3H] spiperone binding to striatal dopamine receptors．Med Sci Res 24，57-59（1996）

Onozuka M，Watanabe K，Nagasaki S，Ozono S，Yamamoto T，Hayashi H，Karasawa N，Nagatsu I：Involvement of dotarizine in nigrostriatal dopamine system of adult and aged rats：biochemical and immunohistochemical analysis．Biogenic Amines 12，69-82（1996）

Onozuka M , Watanabe K : Suppression by calmodulin of glutamate-induced potassium current in identified snail neurons . Neurosci Lett 204 , 105-108 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Yamamoto T , Nishiyama K , Ozono S : Evidence that a new diphenylpiperazine derivative , dotarizine , has no effect on nigrostriatal dopamine content in rats . Med Sci Res 24 , 113-115 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K : Intracellularly applied anti-P70 antibody blocks the induction of abnormal membrane properties by pentylentetrazole in identified Euhadra neurons . Brain Res 716 , 187-191 ( 1996 )

Yamamoto T , Ozono S , Watanabe K , Nagasaki S , Onozuka M : Structural and functional maturation of the buccal stretch receptors in rats . Exp Brain Res 111 , 169-177 ( 1996 )

Nakamura H : NADPH-diaphorase and cytosolic urea cycle enzymes in the rat spinal cord.J Comp Neurol 385 , 616-626 ( 1997 )

Watanabe K , Yamamoto T , Ozono S , Nagasaki S , Onozuka M : A novel glutamate-mediated inhibitory mechanism linked with Ca<sup>2+</sup>/calmodulin-dependent protein kinase II in identified Euhadra neurons . J Neurobiol 32 , 139-149 ( 1997 )

Karasawa N ,Nagatsu I ,Sakai K ,Nagatsu I ,Watanabe K ,Onozuka ,M : Immunocytochemical study of catecholaminergic neurons in the senescence-accelerated ( SAM-P8 ) mouse brain . J Neural Transm 104 , 1267-1275 ( 1997 )

## 生理学第一講座

### 著書 (欧文)

Hosomi H , Morita H : Hepatic afferent signals are involved in negative feedforward control of Na<sup>+</sup> homeostasis . In : LIVER INNERVATION . Shimazu T ed , John Libbey & Company Ltd , London , 1996 . 415-424

Lee K , Dolezal V , Hertting G : Effects of nitric oxide on catecholamine release from cultured bovine adrenal chromaffin cells . In : Neurochemistry : Cellular , Molecular and Clinical Aspects . Teelken A , Korf J eds , Plenum press , New York , 1997 . 987-992

### 総説 (和文)

森田啓之 : 体液恒常性維持にみられる予測制御機構 . 循環器 39 , 312-320 ( 1996 )

長崎幸雄 , 渡邊和子 , 小園 知 , 山本 哲 , 小野塚 実 : 身体運動の加齢変化に関連する神経機構について . 教育医学 41 , 268-272 ( 1996 )

渡邊和子 , 高田晴子 , ミルボード・モハメド , 小野塚 実 : 老化に伴う精神機能の変化 . 教育医学 43 , 349-352 ( 1998 )

### 総説 (欧文・国外)

Hosomi H , Morita H : Hepatorenal and hepatointestinal reflexes in sodium homeostasis , News physiol Sci , 11 , 103-107 ( 1996 )

Takeuchi H , Araki Y , Emaduddin M , Zhang W , Han XY , Salunga TL , Wong SM : Identifiable achatina giant neurones : their localizations in ganglia , axonal pathways and pharmacological features , Gen Pharmacol , 27 ( 1 ) , 3-32 ( 1996 )

### 原著 (和文)

竹内 宏 , 荒木陽子 , ツキジデス・L・サルンガ , 翁 述民 , 伊藤伸一 , 湯浅義三 , 隅水昌代 , 大和田豊一 : フィリピンの水の残留農薬とその代謝産物 . 岐阜大医紀 44 ( 4 ) , 479-483 ( 1996 )

山本典子 , 荒木陽子 : ウズラ初期発生における Stage の確定 . 岐阜大医短紀 3 , 33-45 ( 1997 )

山本典子, 荒木陽子, 奥山みき子: ウズラ胚における体節数に基づく Stage の確定. 岐阜大医短紀 4, 13-28 (1997)

山本典子, 荒木陽子, 奥山みき子: ウズラ胚における Limbs 形成による Stage の確定. 岐阜大医短紀 4, 29-42 (1997)

山本典子, 荒木陽子, 奥山みき子: ウズラ胚の後肢発生における形態学的観察. 岐阜大医短紀 4 (2), 73-88 (1998)

#### 原著 (欧文・国内)

Suzuki Y, Lee K, Shimosawa N, Orii T, Kondo N: Biochemical and immunocytochemical properties of peroxysomes and mitochondria in bovine chromaffin cells. Cell Structure and Function 22, 615-619 (1997)

#### 原著 (欧文・国外)

Matsuda T, Morita H, Hosomi H, Okada M: Response of renal nerve activity to high NaCl food intake in dogs with liver cirrhosis. Hepatology 23, 303-309 (1996)

Yamashita Y, Nagamachi K, Morita H, Nishida Y, Tanaka S, Maeta H, Hosomi H: Intravenously injected naloxone reverses the decrease in renal sympathetic nerve activity seen during hypotensive hemorrhage in conscious rabbits by acting through central mechanisms. J Auton Nerv Syst 57, 57-62 (1996)

Morita H, Tanaka K, Matsuda T, Nishida Y, Hosomi H: Hepatic Na-sensitive mechanism and its disarrangement in liver cirrhosis. J Auton Nerv Syst 58, 185-186 (1996)

Hosomi H, Takeda T, Nishida Y, Morita H: New insight into the autonomic regulation of body fluid in conscious rabbits and anesthetized dogs. J Auton Nerv Syst 58, 197-199 (1996)

Nishida Y, Sugimoto I, Mizohata N, Morita H, Hosomi H: The baroreflex system is important for determining mean arterial pressure (MAP) during movements. J Auton Nerv Syst 58, 222-224 (1996)

Dolezal V, Lee K, Schobert A, Hertting G: The influx of Ca<sup>2+</sup> and the release of noradrenaline evoked by the stimulation of presynaptic nicotinic receptors of chick sympathetic neurons in culture are not mediated via L-, N-, or P-type calcium channels.

Brain Res 740 , 75-80 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Nishiyama K : Dotarizine , a newly produced diphenylpiperazine derivative calcium channel blocker , inhibits [ 3H ] spiperone binding to striatal dopamine receptors . Med Sci Res 24 , 57-59 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Ozono S , Hayashi H , Yamamoto T , Karasawa N , Nagatsu I : Involvement of dotarizine in nigrostriatal dopamine system of adult and aged rats : biochemical and immunohistochemical analysis . Biogenic Amines 12 , 69-82 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K : Suppression by calmodulin of glutamate-induced potassium current in identified snail neurons . Neurosci Lett 204 , 105-108 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K : Intracellularly applied anti-P70 antibody blocks the induction of abnormal membrane properties by pentylentetrazole in identified Euhadra neurons . Brain Res 716 , 187-191 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Yamamoto T , Nishiyama K , Ozono S : Evidence that a new diphenylpiperazine derivative , dotarizine , has no effect on nigrostriatal dopamine content in rats . Med Sci Res 24 , 113-115 ( 1996 )

Yamamoto T , Ozono S , Watanabe K , Nagasaki S , Onozuka M : Structural and functional maturation of the buccal stretch receptors in rats . Exp Brain Res 111 , 169-177 ( 1996 )

Morita H , Yamashita Y , Nishida Y , Tokuda M , Hatase O , Hosomi H : Fos induction in rat brain neurons following stimulation of the hepatoportal Na-sensitive mechanism . Am J Physiol 272 , R913-R923 ( 1997 )

Tsunooka K , Morita H : Effect of a chronic high-salt diet on whole-body and organ sodium contents of Dahl rats . J Hypertension 15 , 851-856 ( 1997 )

Watanabe K , Yamamoto T , Ozono S , Onozuka M : A Novel Glutamate-mediated mechanism linked with Ca<sup>2+</sup>/calmodulin-dependent protein kinase II in identified Euhadra neurons . J Neurobiol 32 , 139-149 ( 1997 )

Karasawa N , Nagatsu I , Sakai K , Nagatsu T , Watanabe K , Onozuka M : Immunocytochemical study of catecholaminergic neurons in the senescence-accelerated mouse ( SAM-P8 ) brain .

J Neural Transm 104 , 1267-1275 ( 1997 )

Nishida Y , Sugimoto I , Morita H , Murakami H , Hosomi H , Bishop VS : Suppression of renal sympathetic nerve activity during portal vein infusion of hypertonic saline . Am J Physiol 274 , R 97-R103 ( 1998 )

Murakami H , Liu J L , Yoneyama H , Nishida Y , Okada K , Kosaka H , Morita H , Zucker IH : Blockade of neural nitric oxide synthase alters the baroreflex control of heart rate in the rabbit . Am J Physiol 274 , R181-R186 ( 1998 )

Okada K , Nishida Y , Murakami H , Sugimoto I , Kosaka H , Morita H , Yamashita C , Okada M : Role of endogenous endothelin in the development of graft arteriosclerosis in rat cardiac allografts: antiproliferative effects of bosentan , a nonselective endothelin receptor antagonist . Circulation 97 , 2346-2351 ( 1998 )

Morita H , Tsunooka K , Hagiike M , Yamaguchi O , Lee K : Role of the liver in long-term control of drinking behavior , Na balance and arterial pressure in Dahl rats . Am J Physiol 274 , R1111-R1118 ( 1998 )

Sugimoto I , Okada K , Murakami H , Nishida Y , Kosaka H , Morita H , Okada M : The gain of the hepatorenal reflex in anesthetized dogs . J Auton Nerv Syst 68 , 164-170 ( 1998 )

Chen QH , Nishida Y , Zhou MS , Murakami H , Okada K , Morita H , Hosomi H , Kosaka H : Sinoaortic denervation enhances sodium retention and mild hypertension in Dahl salt-sensitive rats . J Auton Nerv Syst 69 , 56-63 ( 1998 )

## その他

森田啓之：肝臓内 Na 受容器は NaCl 恒常性維持に関与するか？ 一般研究 C 研究成果報告書（代表），1996

細見 弘，根木哲朗，森田啓之，陳 慶輝，西田育弘，岡田泰士：食塩摂取の組織カテコラミンと運動機能に与える影響． デサントスポーツ科学，1996

森田啓之：水代謝と環境適応の総合解析． 基盤研究 A 1 研究成果報告書（分担），1997

三輪聡一，李 憲：喫煙及びニコチンの神経，免疫，内分泌軸への影響 - エンドセリン及びこれに及ぼすニコチンの影響 - ．平成 8 年度 喫煙科学研究財団研究年報，喫煙科学研究



財団, 1997. 808-813

三輪聡一, 李 憲: 副腎髄質細胞における NO を介した情報伝達ならびに NO とニコチンの相互作用, 喫煙及びニコチンの神経, 免疫, 内分泌軸への影響. 喫煙科学研究財団, 1998. 131-144

## 生理学第二講座

### 著書（和文）

桑田一夫：第3章 3-5 NMR による分子内運動の観測，タンパク質のかたちと物性（シリーズ・ニューバイオフィジックス・）。中村春木・有坂文雄編，東京，共立出版，1997．216-228

### 著書（欧文）

Hayashi T , Shimoyama Y , Era S : Analysis of slow motions in serum albumin solution and gel by vector EPR . In : Modern Applications of EPR/ESR . Rudowicz CZ ed , Springer , Singapore , 1998 . 40-45

### 総説（和文）

恵良聖一，桑田一夫，曾我美 勝，加藤一夫，亘 弘：生体系における水の特性．日獨医報 42 , 45-56 ( 1997 )

### 原著（和文）

林 知也，恵良聖一，下山雄平：Vector EPR によるアルブミン・ゲル形成と分子ゆらぎ．ESR 討論会講演要旨集 35 , 147-149 ( 1996 )

恵良聖一，曾我美 勝，永井直樹：CD 及び  $^1\text{H-NMR}$  によるヒト血清アルブミン（HSA）の N B 転移に関する研究．NMR 討論会講演要旨集 35 , 163-166 ( 1996 )

曾我美 勝，恵良聖一，松岡三良，加藤一夫，永井直樹：磁化移動法による植物組織・水性状の研究．NMR 討論会講演要旨集 35 , 191-194 ( 1996 )

桑田一夫，恵良聖一：完全緩和行列法による蛋白質内  $^1\text{H}$  核間ベクトル運動の解析．NMR 討論会講演要旨集 35 , 465-466 ( 1996 )

桑田一夫，星野 大，後藤祐児，Batt CA，恵良聖一：オフレゾナンス照射下における  $^{15}\text{N}$  核の緩和 - ラクトグロブリンへの応用．NMR 討論会講演要旨集 36 , 8-11 ( 1997 )

上坂伸宏，曾我美 勝，恵良聖一，加藤一夫，永井直樹： $^1\text{H-NMR}$  による異常ヘモグロビン赤血球内・水性状の研究．NMR 討論会講演要旨集 36 , 139-142 ( 1997 )

惠良聖一，曾我美 勝，紀ノ定保臣，加藤一夫，松島 秀，内山幸男，永井直樹：合成高分子ゲル内・水性状の研究 水への磁化移動機序．NMR 討論会講演要旨集 36 ,198-201( 1997 )

林 知也，下山雄平，桑田一夫，中村浩二，惠良聖一：ベクトル電子常磁性共鳴法によるウシ血清アルブミンの溶液およびゲル状態における SH 基微環境の解析．岐阜大医紀 45 ,42-53 ( 1997 )

中村浩二，惠良聖一，曾我美 勝，高崎昭彦，永井直樹，加藤一夫：マウス下顎切歯における生体高分子より水への磁化移動現象 - 500 MHz 1H-NMR による解析 .日磁医誌 17 ,351-360 ( 1997 )

奥村 歩，竹中勝信，浅野好孝，白紙伸一，坂井 昇，桑田一夫，惠良聖一：Magnetization transfer technique の中枢神経疾患診断への応用 - 脳神経外科医の立場から - . 映像情報 MEDICAL 28 , 110-114 ( 1997 )

今井 一，熊谷佳代，杉森弘幸，松岡敏男，川岸與志男，三井淳蔵：女子学生の体脂肪率とライフスタイル ( 運動と栄養) . 教育医学 42 , 202-208 ( 1997 )

三井淳蔵，今井 一，柴田一男，森美喜夫，篠田紳司，渡邊慶彦，遠藤永史，穠丸武臣：気管支喘息と運動強度に関する一考察 . 教育医学 43 , 315-324 ( 1998 )

今井 一，中村浩二，林 知也，永井直樹：ヒト血清アルブミン ビリルビン相互作用の物理化学的研究 . 教育医学 43 , 325-339 ( 1998 )

今井 一，林 知也，中村浩二，永井直樹，香田郡秀，香田泰子：高速液体クロマトグラフィーによるヒト血清アルブミンの酸化・還元状態の解析 . 教育医学 43 , 421-431 ( 1998 )

三井淳蔵，今井 一，古田有香，香田郡秀，遠藤永史，渡邊慶彦，森 基要：生涯スポーツとしての剣道 - 高齢剣道実施者の生活行動機能及び生理的機能について - . 武道学研究 30 , 19-28 ( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Hayashi T , Kuwata K , Shimoyama Y , Era S , Nakamura K , Watari H : Dynamics of bovine serum albumin by vector EPR spectroscopy . Reports Progr Polym Phys Jpn 39 , 641-644 ( 1996 )

Kuwata K , Sato S , Era S , Sogami M , Kida K , Iwama T , Kato K , Matsunaga T , Watari H : Cross-relaxation times of normal and biochemically induced osteoarthritic rabbit knee cartilages . *Jpn J Physiol* 47 , 291-297 ( 1997 )

Era S , Sogami M , Kinoshita Y , Matsushima S , Kato K , Nagai N : Magnetization transfer in protein solution , gel and polymer gel . *Magnetic Resonance/Spectroscopy in Food Science* ( eds . Saito H & Webb GA ) , 107-110 ( 1997 )

Sogami M , Era S , Matsuoka S , Kato K , Hamaguchi T , Nagai N : Magnetization transfer in bamboo culm . *Magnetic Resonance/Spectroscopy in Food Science* ( eds . Saito H & Webb GA ) , 111-114 ( 1997 )

#### **原著 ( 欧文 · 国外 )**

Kuwata K , Era S , Sogami M , Amano H , Nagaoka S , Kato K , Takahashi K , Kitazawa Y , Watari H : Comparative <sup>1</sup>H-NMR studies on the physical state of water in soft contact lens and mouse lens . *Biochim Biophys Acta* 1289 , 369-376 ( 1996 )

Hayakawa A , Kuwata K , Era S , Sogami M , Shimonaka H , Yamamoto M , Dohi S , Hirose H : Alteration of redox state of human serum albumin in patients under anesthesia and invasive surgery . *J Chromatogr B* 698 , 27-33 ( 1997 )

Kuwata K , Liu H , Schleich T , James TL : Rotational correlation times of internuclear vectors in a DNA duplex with G-A mismatch determined in aqueous solution by complete relaxation matrix analysis of off-resonance ROESY ( O-ROESY ) spectra . *J Magn Reson* 128 , 70-81 ( 1997 )

Nakamura K , Era S , Ozaki Y , Sogami M , Hayashi T , Murakami M : Conformational changes in seventeen cystine disulfide bridges of bovine serum albumin proved by Raman spectroscopy . *FEBS Lett* 417 , 375-378 ( 1997 )

Sogami M , Era S , Koseki T , Nagai N : Structural characterization of the molten globule and native states of ovalbumin : A <sup>1</sup>H NMR study . *J Peptide Res* 50 , 465-474 ( 1997 )

Kim TR , Goto Y , Hirota N , Kuwata K , Batt CA : High level expression of bovine lactoglobulin in *Pichia pastoris* and characterization of its physical properties . *Protein Eng* 10 , 1339-1345 ( 1997 )

Okumura A , Kuwata K , Nishimura Y , Kawaguchi M , Takenaka K , Sakai N , Era S , Hoshi H : Clinical applicability of functional magnetic resonance imaging and activation study with single photon emission computerized tomography for functional mapping . Neurol Res 20 , 191-197 ( 1998 )

Okumura A , Kuwata K , Takenaka K , Nishimura Y , Shirakami S , Sakai N , Hayashi T , Era S : Pulsed off-resonance magnetization transfer for brain tumor in patients . Neurol Res 20 , 313-319 ( 1998 )

Era S , Sogami M :  $^1\text{H-NMR}$  and CD studies on the structural transition of serum albumin in the acidic region - the N F transition . J Peptide Res , in press ( 1998 )

#### その他

恵良聖一 , 中村浩二 , 桑田一夫 , 林 知也 , 曾我美 勝 , 村上政隆 : タンパク質の「モルテン・グロビュール構造」に関する物理化学的研究 . 生理学研究所年報 17 , 183 ( 1996 )

桑田一夫 , 恵良聖一 , 加藤一夫 , 曾我美 勝 , 瀬尾芳輝 , 村上政隆 : 定量的な磁化移動コントラスト・イメージング法の開発 . 生理学研究所年報 17 , 242 ( 1996 )

恵良聖一 : プロトン NMR 分光法による生体系の水と病態解析 . 平成 9 年度日本分光学会・医学生物学研究部会シンポジウム・テキスト , 20-25 ( 1997 )

田口多恵 , 古田善伯 , 今井 一 : シルバー大学講座受講者の健康習慣および ADL . 岐阜大学カリキュラム開発センター研究報告 16 , 21-26 ( 1997 )

熊谷佳代 , 今井 一 , 杉森弘幸 , 古田裕美 , 今井七重 , 川岸與志男 : 本学女子学生の体脂肪率 ( 第 2 報 ) - 平成 8 年度入学教育学部女子学生を対象として - . 岐阜大学教育学部研究報告 自然科学 21 , 191-202 ( 1997 )

恵良聖一 , 中村浩二 , 林 知也 , 桑田一夫 , 曾我美 勝 , 村上政隆 : タンパク質の「モルテン・グロビュール構造」に関する物理化学的研究 . 生理学研究所年報 18 , 190-193 ( 1997 )

恵良聖一 : 睡眠の科学 . ぎふ元気人 6 , 4-5 ( 1997 )

桑田一夫 : 磁気共鳴イメージングによる脳神経集団活動の直接観測 . 平成 7 ~ 9 年度科学

研究費補助金基盤研究(C)(2) 研究成果報告書, 1998年3月

恵良聖一, 中村浩二, 林 知也, 桑田一夫, 曾我美 勝, 村上政隆, 永山国昭: 分子分光法による血清アルブミンの高次構造に関する研究. 生理学研究所年報 19, 148-150 (1998)

## 生化学講座

### 著書（和文）

野澤義則：細胞一膜の構造と機能，最新内科学大系，内科総論，第2巻 科学としての内科学．井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎 編，東京，中山書店，1996．81-86

野澤義則，熊田裕一：血管平滑筋のリン脂質シグナリング，血管・血小板の生物学．日高弘義，大熊 稔，蔵本 淳，池田康夫，島田和幸編，東京，金芳堂，1996，123-133

岡野幸雄，中島 茂，野澤義則：IP<sub>3</sub> と DG，ニューロサイエンス講座 第5巻 二次メッセンジャーと産生酵素．竹縄忠臣，野村靖幸編，東京，廣川書店，1997．96-104

野澤義則：共通の細胞内信号伝達系，G タンパク質と細胞内メッセンジャー産生．標準分子医化学，藤田道也 編，東京，医学書院，1997．376-390

野澤義則，中島 茂：イノシトールリン脂質代謝産物レセプター，レセプター分子薬理学的アプローチ，日高弘義，谷口隆之，宇井理生編，東京，講談社サイエンティフィック，1997．107-115

中島 茂，野澤義則：細胞表層の分子構造と細胞間コミュニケーション，シリーズ分子生物学 3 高等動物の分子生物学．村松正實編，東京，朝倉書店，1998．161-167

加納宏行，野澤義則：ホスファチジルイノシトールのリン酸化反応，生物薬科学実験講座 3 脂質・リン脂質．井上圭三，瀧 孝雄，中川靖一編，東京，廣川書店，1998．201-210

足立尊仁，野澤義則：リン脂質による情報伝達，肝臓病学 Basic Science．戸田剛太郎，織田正也，清澤研道，坪内博仁，中沼安二編，東京，医学書院，1998．322-328

野澤義則：情報伝達とリン脂質代謝，はじめに，生物薬科学実験講座 3 脂質・リン脂質，井上圭三，瀧 孝雄，中川靖一編，東京，廣川書店，1998．281-285

中島 茂，野澤義則：ホスホリパーゼ A<sub>2</sub>，生物薬科学実験講座 5 生体膜の構造と機能．石橋貞彦，寺田 弘編，東京，廣川書店，印刷中

坂野喜子，野澤義則：ホスホリパーゼ C，生物薬科学実験講座 5 生体膜の構造と機能．石

橋貞彦，寺田 弘編，東京，廣川書店，印刷中

金保安則，野澤義則：ホスホリパーゼ D，生物薬科学実験講座 5 生体膜の構造と機能．石橋貞彦，寺田 弘編，東京，廣川書店，印刷中

#### 著書（欧文）

Nozawa Y , Mirbod F , Banno Y , Ibrahim AS , Nakashima S , Kitajima Y , Cole GT , Ghannoum MA : Lysophospholipase-transacylase as a virulence factor in *Candida albicans* . In : Genes and Genomes in Medically Important Fungi . Tanaka K , Yamaguchi H , Magee PT eds , Foundation for Advancement of International Science , 1996 . 167-173

Umeki S , Nozawa Y : Adenylate and guanylate cyclase in *Tetrahymena* . In : Signaling Mechanisms in Protozoa and Invertebrates . Csaba G , Müller WEG eds , Springer-Verlag , Berlin , 1996 . 40-60

Kitajima Y , Nozawa Y : Lipid and dimorphism of *Candida albicans* . In : Progress in Molecular and Subcellular Biology , Vol.17 , Lipids of Pathogenic Fungi . Prasad R , Ghannoum MA eds , CRC Press , Inc , New York , 1996 . 220-274

Higashida H , Hashii M , Yokoyama S , Takeo M , Hoshi N , Noda M , Zhang ZG , Shahidullah M , Minabe Y , Nakashima S , Nozawa Y : Bradykinin B2 receptors and signal transduction analyzed in NG108-15 neuroblastoma x glioma hybrid cells , B2 receptor-transformed NIH/3T3 fibroblasts . In : Progress in Brain Research , Vol.113 , The Polymodal Receptor-A Gateway to Pathological Pain . Kumazawa T , Kruger L , Mizumura K eds , Elsevier , Tokyo , 1996 . 215-230

Nakashima S , Banno Y , Nozawa Y : Role of signal-transducing phospholipase A2 , C and D in platelet activation . In : Advances in Molecular and Cell Biology Series , Vol.17 , The Platelet . Lapetina EG ed , JAI Press Inc , Greenwich , 1997 . 253-274

Nakashima S , Banno Y , Nozawa Y : Platelet phospholipase C and D . In : Handbook of Experimental Pharmacology , Vol.126 , Platelets and Their Factors , Bruchhausen V , Walter U eds , Springer-Verlag , Heidelberg , 1997 . 246-261

Nozawa Y : A putative virulence factor in *Candida albicans* - Lysophospholipase - transacylase . In : Fungal Cells in Biodefense Mechanism . Suzuki S , Suzuki M eds , Saikon Publishing



Co , Tokyo , 1997 . 107-110

Ohguchi K , Nakashima S , Nozawa Y : Phospholipase D development during differentiation of HL60 cells . In : Molecular Biology Intelligence Unit , Phospholipase D , Daniel L W ed , R . G . Landes Company , Austin , in press

### 総説 (和文)

中島 茂 : 血小板活性化と膜リン脂質代謝 . 日本血栓止血学会誌 7 , 2-10 ( 1996 )

野澤義則 : Rab と血小板 . 実験医学 14 , 242-243 ( 1996 )

大口健司 , 野澤義則 : ホスホリパーゼ D ( PLD ) 活性調節と低分子量 GTP 結合蛋白質 . 膜 21 , 177-183 ( 1996 )

野澤義則 , 岩崎愛彦 , 中島 茂 : 信号伝達と細胞の最終分化 , ケラチノサイト . 生体の科学 47 , 220-225 ( 1996 )

中島 茂 , 坂野喜子 , 野澤義則 : 血小板活性化における膜脂質シグナリング . 血液・腫瘍科 33 , 424-432 ( 1996 )

野澤義則 : コレステロールと生体膜 - 基礎と臨床 - . 現代医療 28 , 21-24 ( 1996 )

坂野喜子 , 中島 茂 , 野澤義則 : ヒト血小板膜脂質代謝と情報伝達 . 細胞 29 , 10-13 ( 1997 )

野澤義則 : 生体膜脂質を介する情報変換システム . 化学工業 48 , 26-30 ( 1997 )

中島 茂 , Fariba Mirbod , 北島康雄 , 野澤義則 : Differential display による *Candida albicans* 遺伝子探索 . 日本医真菌学会雑誌 38 , 291-295 ( 1997 )

野澤義則 : ホスホリパーゼ研究の今昔 , 細胞内シグナル伝達 . 現代化学 34 , 71-79 ( 1997 )

野澤義則 : 情報変換素子としての生体膜脂質 - 新しい展開 . 膜 22 , 292-299 ( 1997 )

中島 茂 , 野澤義則 : Bradykinin B2 receptor . Molecular Medicine 34 , 55-56 ( 1997 )

坂野喜子 , 野澤義則 : 細胞膜脂質シグナリングの分子機構 . 日本生理学雑誌 60 , 43-58 ( 1998 )

加納宏行, 中島 茂, 北島康雄, 野澤義則: *Candida albicans* の PLD 遺伝子クローニング . 日本 医真菌学会雑誌 39 , 79-83 ( 1998 )

大口健司, 野澤義則: 好中球機能とホスホリパーゼ D . 炎症と免疫 16 , 37-43 ( 1998 )

坂野喜子, 野澤義則: 膜リン脂質代謝 . 蛋白質核酸酵素 43 , 1800-1805 ( 1998 )

大口健司 野澤義則: シグナル伝達における PKC と PLD . 生体の科学 49 , 248-252 ( 1998 )

橋井美奈子, 中島 茂: Ras 遺伝子発現細胞のカルシウム動態 . 日本生理学雑誌 印刷中

坂野喜子, 野澤義則: ホスホリパーゼ C ( PLC ) . 現代医療 印刷中

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Dohjima T , Kato Y , Banno Y , Ohno T , Nozawa Y , Shimizu K : Preferential down-regulation of phospholipase C- 1 ( PLC- 1 ) during the early stage of differentiation in MC3T3-E1 osteoblast cells . Biomed Res 18 , 445-451 ( 1997 )

Ojio K , Banno Y , Hyayakawa K , Ito Y , Kato N , Watanabe K , Miyata H , Nozawa Y : Role of Rho family GTP-binding proteins in IgE receptor-mediated phospholipase D activation in mast cells . Biomed Res 19 , 53-63 ( 1998 )

Hayakawa K , Banno Y , Nakashima S , Ojio K , Ito Y , Miyata H , Nozawa Y : Decreased phospholipase D activities in ceramide-induced apoptosis of RBL-2H3 mast cells . Biomed Res 19 , 159-170 ( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Nakamura Y , Nakashima S , Kumada T , Ojio K , Miyata H , Nozawa Y : Brefeldin A inhibits antigen- or calcium ionophore-stimulated but not PMA-induced phospholipase D activation in rat basophilic leukemia ( RBL-2H3 ) cells . Immunobiology 195 , 231-242 ( 1996 )

Banno Y , Ito Y , Ojio K , Kanoh H , Nakashima S , Nozawa Y : Membrane-associated phospholipase D activity in neural cell line PC12 . J Lipid Mediators Cell Signaling 14 , 237-243 ( 1996 )

Alam S , Nakashima S , Deyashiki Y , Banno Y , Hara A , Nozawa Y : Molecular cloning of a gene encoding acid  $\alpha$ -glucosidase from *Tetrahymena pyriformis* . *J Euk Microbiol* 43 , 295-303 ( 1996 )

Nagata K , Okano Y , Nozawa Y : Protein kinase C isozymes in human megakaryoblastic leukemia cell line , MEG-01 : Possible involvement of the isozymes in the differentiation process of MEG-01 cells . *Br J Haematol* 93 , 762-771 ( 1996 )

Mirbod F , Nakashima S , Kitajima Y , Ghannoum MA , Cannon RD , Nozawa Y : Molecular cloning of a gene encoding translation initiation factor ( TIF ) from *Candida albicans* . *J Med Mycol* 34 , 393-400 ( 1996 )

Hashii M , Nakashima S , Yokoyama S , Enomoto K , Minabe Y , Nozawa Y , Higashida H : Bradykinin-activated two signal pathways of protein tyrosine phosphorylation and formation of inositol tetrakisphosphates merge at the  $Ca^{2+}$  influx process in ras-transformed NIH3T3 fibroblast cells . *Biochem J* 319 , 649-656 ( 1996 )

Ojio K , Banno Y , Nakashima S , Kato N , Watanabe K , Lysterly DM , Miyata H , Nozawa Y : Effect of *Clostridium difficile* toxin B on IgE receptor-mediated signal transduction in rat basophilic leukemia cells : Inhibition of phospholipase D activation . *Biochem Biophys Res Commun* 224 , 591-596 ( 1996 )

Yoshimura S , Nakashima S , Ohguchi K , Sakai H , Shinoda J , Sakai N , Nozawa Y : Differential mRNA expression of phospholipase D ( PLD ) isozymes during cAMP-induced differentiation in C6 glioma cells . *Biochem Biophys Res Commun* 225 , 494-499 ( 1996 )

Zhao Y , Nakashima S , Nozawa Y : Molecular cloning of delta 9 fatty acid desaturase and growth-associated changes in its mRNA expression in *Tetrahymena pyriformis* , *Eur J Proistol* 32 , 539-544 ( 1996 )

Ohguchi K , Banno Y , Nakashima S , Kato N , Watanabe K , Lysterly DM , Nozawa Y : Effect of *Clostridium difficile* Toxin A and Toxin B on Phospholipase D activation in human promyelocytic leukemic HL60 cells . *Infect Immun* 64 , 4433-4437 ( 1996 )

Shirado L , Otsuki T , Yamada O , Nanba M , Nakajima H , Nozawa Y , Ueki A , Yawata Y : Down regulation of protein kinase C during growth enhancement induced by interleukin-6

on a human myeloma cell line , KMS-11 . *Cancer Lett* 107 , 131-136 ( 1996 )

Mori S , Sugihara Y , Kitagawa A , Kawai K , Nozawa Y , Ogihara Y : The respiration-impairing effect of rubroskyrin , a toxic metabolite of *Penicillium islandicum* Sopp , on isolated mitochondria . *Mycotoxin Res* 12 , 91-98 ( 1996 )

Ito Y , Nakashima S , Kanoh H , Nozawa Y : Implication of Ca<sup>2+</sup>-dependent protein tyrosine phosphorylation in carbachol-induced phospholipase D activation in rat pheochromocytoma PC12 cells . *J Neurochem* 68 , 419-425 ( 1997 )

Ohguchi K , Nakashima S , Tan Z , Banno Y , Dohi S , Nozawa Y : Increased activity of small GTP-binding protein-dependent phospholipase D during differentiation in human promyelocytic leukemic HL60 cells . *J Biol Chem* 272 , 1990-1996 ( 1997 )

Nagata K , Okano Y , Nozawa Y : Differential expression of low Mr GTP-binding proteins in human megakaryoblastic leukemia cell line , MEG-01 , and their possible involvement in the differentiation process . *Thromb Haemost* 77 , 368-375 ( 1997 )

Hammond SM , Jenco J M , Nakashima S , Cadwallader K , Gu Q , Cook S , Nozawa Y , Prestwich G D , Frohman M A , Morris AJ : Characterization of two alternately spliced forms of phospholipase D1 . *J Biol Chem* 272 , 3860-3868 ( 1997 )

Banno Y , Tamiya-Koizumi K , Oshima H , Morikawa A , Yoshida S , Nozawa Y : Nuclear ADP-ribosylation factor ( ARF ) -and oleate-dependent phospholipase D ( PLD ) in rat liver cells . *J Biol Chem* 272 , 5208-5213 ( 1997 )

Kovacs P , Csaba G , Nakashima S , Nozawa Y : Phospholipase D activity in the *Tetrahymena pyriformis* GL . *Cell Biochem Funct* 15 , 53-60 ( 1997 )

Nakashima T , Takenaka K , Fukazawa S , Ando T , Sakai N , Yamada H , Banno Y , Nozawa Y : Purification of a factor from CSF in patient after SAH which induces the cytosolic free calcium elevation in vascular smooth muscle cells . *Neurol Res* 19 , 51-56 ( 1997 )

Yoshimura S , Sakai H , Nakashima S , Nozawa Y , Shinoda J , Sakai N , Yamada H : Differential expression of Rho family GTP-binding proteins and protein kinase C isozymes during C6 glial cell differentiation . *Mol Brain Res* 45 , 90-98 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Identification of differentially expressed mRNAs during rat C6 glial cell differentiation by mRNA fingerprinting using arbitrarily primed PCR ( RAP ). *Neurosci Lett* 229 , 93-96 ( 1997 )

Mirbod F ,Nakashima S ,Kitajima Y ,Nozawa Y : Molecular cloning of a Rho family ,CDC42Ca gene from *Candida albicans* and its mRNA expression changes during morphogenesis . *J Med Mycol* 35 , 173-179 ( 1997 )

Yoshimura Y ,Sakai H ,Ohguchi K ,Nakashima S ,Banno Y ,Nishimura Y ,Sakai N , Nozawa Y : Changes in the activity and mRNA levels of phospholipase D during ceramide-induced apoptosis in rat glial cells . *J Neurochem* 69 , 713-720 ( 1997 )

Ito Y , Nakashima S , Nozawa Y : Hydrogen peroxide-induced phospholipase D activation in rat pheochroma PC12 cells : Possible involvement of Ca<sup>2+</sup>-dependent protein tyrosine kinase . *J Neurochem* 69 , 729-736 ( 1997 )

Ohguchi K , Kasai T , Nozawa Y : Tyrosine phosphorylation of 100-115 kDa proteins by phosphatidic acid generated via phospholipase D activation in HL60 granulocytes . *Biochim Biophys Acta* 1346 , 301-304 ( 1997 )

Takemura O S ,Banno Y , Nozawa Y : Inhibition of N-formylmethionyl-leucyl-phenylalanine-stimulated tyrosine phosphorylation and phospholipase D activation by quercetin in rabbit neutrophils . *Biochem Pharmacol* , 53 , 1503-1510 ( 1997 )

Kato Y ,Banno Y ,Dohjima T ,Kato N ,Watanabe K ,Tatematsu N ,Nozawa Y : Involvement of rho family proteins in prostaglandin F<sub>2</sub> -induced phospholipase D activation in the osteoblast-like cell line MC3T3-E1 . *Prostaglandins* 54 , 475-492 ( 1997 )

Nakamura M , Nakashima S , Katagiri Y , Nozawa Y : Effect of wortmannin and 2- ( 4-morpholinyl )-8-phenyl-4H-1-benzopyran-4-one ( LY294002 ) on N-formyl-methionyl-leucyl-phenylalanine-induced phospholipase D activation in differentiated HL60 cells . *Biochem Pharmacol* 53 , 1929-1936 ( 1997 )

Mori S , Kawai K , Nozawa Y , Ogihara Y : The interaction of rubroskyrin , a modified bis-antraquinone pigment from *Penicillium islandicum* Sopp , with respiratory chain of liver

mitochondria . *Mycotoxin Res* 13 , 35-42 ( 1997 )

Adachi T , Nakashima S , Saji S , Nakamura T , Nozawa Y : Possible involvement of pertussis toxin-sensitive G protein in hepatocyte growth factor-induced signal transduction in cultured rat hepatocytes : Pertussis toxin treatment inhibits activation of phospholipid signaling , calcium oscillation , and mitogen-activated protein kinase . *Hepatology* 26 , 295-300( 1997 )

Zhao Y , Nakashima S , Andoh M , Nozawa Y : Cloning and sequencing of a cDNA encoding glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase from *Tetrahymena thermophila* : Growth-associated changes in its mRNA expression . *J Euk Microbiol* 44 , 434-437 ( 1997 )

Liu B , Nakashima S , Adachi T , Ito Y , Takano T , Shimizu T , Nozawa Y : Prolonged activation of phospholipase D in Chinese hamster ovary cells expressing PAF receptor lacking cytoplasmic C-terminal tail . *Biochem J* 327 , 239-244 ( 1997 )

Nakashima S , Matsuda Y , Akao Y , Yoshimura S , Sakai H , Hayakawa K , Andoh M , Nozawa Y : Molecular cloning and chromosome mapping of rat phospholipase D genes ( rPLD1a , rPLD1b and rPLD2 ) . *Cytogenet Cell Genet* 79 , 109-113 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Nakatani K , Yoshimura S , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Messenger RNA fingerprinting analysis using arbitrarily primed PCR ( RAP ) of genes expressed during rat C6 glioma cell differentiation . *Brain Tumor Pathol* 14 , 119-123( 1997 )

Nakashima S , Ohguchi K , Frohman M A , Nozawa Y : Increased mRNA expression of phospholipase D ( PLD ) isozymes during granulocytic differentiation of HL60 cells . *Biochim Biophys Acta* 1389 , 173-177 ( 1998 )

Yoshimura S , Banno Y , Nakashima S , Takenaka K , Sakai H , Nishimura Y , Sakai N , Shimizu S , Eguchi Y , Tsujimoto Y , Nozawa Y : Ceramide formation leads to caspase-3 activation during hypoxic PC12 cell death : Inhibitory effects of Bcl-2 on ceramide formation and caspase-3 activation . *J Biol Chem* 273 , 6921-6927 ( 1998 )

Iwasaki-Bessho Y , Banno Y , Yoshimura S , Ito Y , Kitajima Y , Nozawa Y : Decreased phospholipase D ( PLD ) activity in ceramide-induced apoptosis of human keratinocyte cell line HaCaT . *J Invest Dermatol* 110 , 376-382 ( 1998 )

Banno Y , Asano T , Nozawa Y : Stimulation by G protein subunits of phospholipase C isoforms in human platelets . *Thromb Haemost* 79 , 1008-1013 ( 1998 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Molecular cloning of a cDNA encoding a serine protease homologous to complement C1s precursor from rat C6 glial cells and its expression during glial differentiation . *Gene* 209 , 87-94 ( 1998 )

Nakamura M , Nakashima S , Katagiri Y , Nozawa Y : Involvement of tyrosine phosphorylation in inhibition of fMLP-induced PLD activation by N-acetyl-L-cysteine in differentiated HL-60 cells . *J Leukocyte Biol* 63 , 781-789 ( 1998 )

Kanoh H , Nakashima S , Zhao Y , Sugiyama Y , Kitajima Y , Nozawa Y : Molecular cloning of a gene encoding phospholipase D from the pathogenic and dimorphic fungus , *Candida albicans* . *Biochim Biophys Acta* 1398 , 359-364 ( 1998 )

Nagata K , Okano Y , Nozawa Y : Expression of GTP-binding proteins and protein kinase C isozymes in platelet-like particles derived from megakaryoblastic leukemia cells ( MEG-O1 ) . *Platelets* 9 , 291-296 ( 1998 )

Okamoto H , Osawa H , Nakashima S , Takahashi T , Kasemura T , Nozawa Y : Studies on blood compatibility of terpolymers composed of methylmethacrylate methoxypolyethyleneglycol methacrylate and dimethylsiloxane methacrylate . *J Biomaterials Sci Polymer Edn* 9 , 943-959 ( 1998 )

Wang S , Nakashima S , Sakai H , Numata O , Fujii K , Nozawa Y : Molecular cloning and cell cycle-dependent expression of a novel NIMA-related protein kinase ( TpNrK ) in *Tetrahymena* cells . *Biochem J* 334 , 197-203 ( 1998 )

Leidich SD , Ibrahim AS , Fu Y , Koul A , Jessup C , Fonzi W , Mirbod F , Nakashima S , Nozawa Y , Ghannoum MA : Cloning and disruption of the *Candida albicans* phospholipase B gene , caPLB1 . *J Biol Chem* 273 , 26078-26086 ( 1998 )

Mizutani T , Nakashima S , Nozawa Y : Changes in the expression of protein kinase C ( PKC ) , phospholipases C ( PLC ) and D ( PLD ) isoforms in spleen , brain and kidney of the aged rat : RT-PCR and Western blot analysis . *Mechanism Ageing Develop* 105 , 151-172 ( 1998 )

Banno Y , Kato M , Hara A , Nozawa Y : Evidence for the presence of multiple forms of sphingosine kinase in human platelets . Biochem J 335 , 301-304 ( 1998 )

Nomura T , Tazawa M , Ohtsuki M , Sumi-Ichinose C , Hagino Y , Ota A , Nakashima A , Mori K , Sugimoto T , Ueno O , Nozawa Y , Ichinose H , Nagatsu T : Identification of GTP cyclohydrolase I activity in the ciliated protozoa , Tetrahymena . Comp Biochem Physiol , in press

Ito Y , Nakashima S , Nozawa Y : Possible involvement of mitogen-activated protein kinase in phospholipase D activation induced by H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> , but not by carbachol , in rat pheochromocytoma PC12 cells . J Neurochem , in press

Sugiyama Y , Nakashima S , Mirbod F , Kanoh H , Kitajima Y , Channoum MA , Nozawa Y : Molecular cloning of a second phospholipase B gene , caPLB2 from *Candida albicans* . J Med Mycol , in press

#### その他

Nozawa Y , Mirbod F , Banno Y , Ibrahim AS , Nakashima S , Kitajima Y , Cole GT , Ghannoum MA : Lysophospholipase-transacylase as a virulence factor in *Candida albicans* . Genes and Genomes in

Medically Important Fungi , Proceedings of the First International Symposium on Deep Mycoses , ( ed Tanaka K , Magee PT , Yamaguchi H ) , Foundation for Advancement of International Science , 167-173 ( 1996 )

Nozawa Y , Nakashima S , Ohguchi K , Banno Y : Membrane lipids and signal transduction . BIO JAPAN'96 Symposium Proceeding 325-332 ( 1996 )

野澤義則 : 分子細胞生物学辞典 , 分担執筆 , 1997

野澤義則 : 生化学辞典 , 分担執筆 , 1998



## 分子病態学講座

### 著書 (和文)

永田浩一, 中島茂, 岡野幸雄: 細胞内情報伝達機構, 図説分子病態学, 2 版. 一瀬白帝・鈴木宏治編, 東京, 中外医学社, 1998. 印刷中

### 総説 (欧文・国外)

Nagata K-I, Hall A: The Rho GTPase regulates protein kinase activity. *BioEssays* 18, 529-531 (1996)

### 原著 (欧文・国内)

Hattori T, Nogami M, Kimura M, Okumura K, Yoshioka T, Sumi N, Taguchi H, Okano Y: Molecular cloning of a cDNA encoding human TSC-22 (transforming growth factor-1-stimulated clone 22) and localization of the gene at chromosome 13q14. *Acta Schol Med Univ Gifu* 45, 201-208 (1997)

### 原著 (欧文・国外)

Morita H, Daidoh H, Nagata K, Okano Y, Sudoh Y, Maruyama T, Sarui H, Ishizuka T, Akagi K, Nishisho I, Yasuda K: A family of multiple endocrine neoplasia type 2A: Genetic analysis and clinical features. *Endocrine J* 43, 25-30 (1996)

Nagata K-I, Okano Y, Nozawa Y: Protein kinase C isozymes in human megakaryoblastic leukaemia cell line, MEG-01: possible involvement of the isozymes in the differentiation process of MEG-01 cells. *Brit J Haematol* 93, 762-771 (1996)

Ishizuka T, Kajita K, Yamada K, Miura A, Kanoh Y, Ishizawa M, Wada H, Itaya S, Yamamoto M, Yasuda K, Nagata K-I, Okano Y: Insulin regulates PKC isoform mRNA in rat adipocytes. *Diabetes Res Clin Practice* 33, 159-167 (1996)

Nagata K-I, Okano Y, Nozawa Y: Differential expression of low Mr GTP-binding proteins in human megakaryoblastic leukemia cell line, MEG-01, and their possible involvement in the differentiation process. *Thromb Haemost* 77, 368-375 (1997)

Kimura M, Kotani S, Hattori T, Sumi N, Yoshoka T, Todokoro K, Okano Y: Cell cycle-

dependent expression and spindle pole localization of a novel human protein kinase , Aik , related to Aurora of Drosophila and yeast Ipl1 . J Biol Chem 272 , 13766-13771 ( 1997 )

Deguchi T , Kawamura T , Yasuda M , Nakano M , Fukuda H , Kato H , Kato N , Okano Y , Kawada Y : In vivo selection of Klebsiella pneumoniae strains with enhance qunolone resistance during fluoroquinolone treatment of urinary tract infections . Antimicrob Agents Chemother 41 , 1609-1611 ( 1997 )

Nakashima S , Iwasaki Y , Mizutani T , Ohguchi K , Nagata K-I , Kitajima Y , Nozawa Y : Differential expression of protein kinase C isozymes and small GTP-binding proetins during HL60 cell differentiation by retinoic acid and cyclic AMP : Relation with phospholipase D ( PLD ) activation . Immunobiology 196 , 588-598 ( 1997 )

Kimura M , Hattori T , Matsuda Y , Yoshioka T , Sumi N , Umeda Y , Nakashima S , Okano Y : cDNA cloning , characterization , and chromosome mapping of UBE2E2 encoding a human ubiquitin-conjugating E2 enzyme . Cytogen Cell Genet 78 , 107-111 ( 1997 )

Olson MF , Sterpetti P , Nagata K-I , Toksoz D , Hall A : Distinct roles for DH and PH domains in the Lbc oncogene . Oncogene 15 , 2827-2831 ( 1997 )

Nakano M , Deguchi T , Kawamura T , Yasuda M , Kimura M , Okano Y , Kawada Y : Mutations in the gyrA and parC genes in fluoroquinolone-resistant clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa . Antimicrob Agents Chemother 41 , 2289-2291 ( 1997 )

Kimura M , Matsuda Y , Eki T , Okumura K , Hanaoka F , Okano Y : Assignment of STK6 to human chromosome 20q13 .2 q13 .3 and a pseudogene STK6P to 1q41 q42 . Cytogen Cell Genet 79 , 201-203 ( 1997 )

Nagata K-I , Puls A , Futter C , Aspenstrom P , Schaefer E , Nakata T , Hirokawa N , Hall A : The MAP kinase kinase kinase MLK2 co-localizes with activated JNK along microtubules and associates with kinesin superfamily motor KIF3 . EMBO J 17 , 149-158 ( 1998 )

Tapon N , Nagata K-I , Lamarche N , Hall A : A new Rac target POSH is an SH3-containing scaffold protein involved in the JNK and NF B signalling pathways . EMBO J 17 , 1395-1404 ( 1998 )

Nagata K-I , Driessens M , Lamarche N , Gorski J , Hall A : Activation of G1 progression , JNK mitogen-activated protein kinase , and actin filament assembly by the exchange factor FGD1 . J Biol Chem 273 , 15453-15457 ( 1998 )

## 薬理学講座

### 著書（和文）

植松俊彦：患者の服薬に関するコンプライアンス，臨床薬理学，日本臨床薬理学会編，東京，医学書院，1996．250-257

小澤 修，鈴木敦詞：ホスフォリピッドとシグナル伝達，細胞増殖因子療法，宮園編，東京，メディカルビュー社，1996．141-151

植松俊彦，岩本喜久生編：臨床薬理学テキスト，東京，南江堂，1997．p274

植松俊彦，小澤 修：10．臨床薬理学・．Pharmacokinetics，医系薬理学，遠藤 仁・橋本敬太郎・後藤勝年編，東京，中外医学社，1997．494-501

植松俊彦，小澤 修：10．臨床薬理学・．Pharmacodynamics，医系薬理学，遠藤 仁・橋本敬太郎・後藤勝年編，東京，中外医学社，1997．502-509

植松俊彦：'97 看護婦国家試験問題解答・解説，東京，メヂカルフレンド社，1997．25-26

小澤 修，植松俊彦：2．新薬の老年者への適用，老年消化器病の現況と将来，中澤三郎・福井 博編，東京，医学図書出版，1997．312-316

植松俊彦：12．3 薬物体内動態と薬理作用，薬理学 下，高折修二・福田英臣編，東京，廣川書店，1998．1185-1190

植松俊彦：12．4 コンプライアンス，薬理学 下，高折修二・福田英臣編，東京，廣川書店，1998．1191-1195

植松俊彦：12．5 薬物相互作用，薬理学 下，高折修二・福田英臣編，東京，廣川書店，1998．1196-1197

植松俊彦：'98 看護婦国家試験問題解答・解説，東京，メヂカルフレンド社，1998．153-155

植松俊彦，小澤 修：1．臨床第1相試験のポイント，臨床薬理学会講習会テキスト集，東

京，ライフサイエンス出版，印刷中

植松俊彦編：臨床毛髪分析入門，東京，南山堂，印刷中

植松俊彦編：新 GCP 下の治験におけるデータマネジメント，東京，ライフサイエンス出版，印刷中

植松俊彦，野村隆英編：シンプル薬理学，東京，南江堂，印刷中

小澤 修，植松俊彦：化学療法薬・抗生物質，医学生のための薬理学，東野英明編，東京，南山堂，印刷中

丹羽雅之，植松俊彦：末梢性鎮痛薬・抗炎症薬，医学生のための薬理学，東野英明編，東京，南山堂，印刷中

松野浩之，植松俊彦：痛風治療薬，医学生のための薬理学，東野編，東京，南山堂，印刷中

丹羽雅之，原 明，岩井知彦：脳血管障害とアポトーシス：アポトーシスと疾患・「中枢神経疾患」，医薬ジャーナル社・水野美邦編，印刷中

松野浩之，植松俊彦：血液作用薬，医科薬理学，東京，南山堂，印刷中

#### 著書（欧文）

Kozawa O, Uematsu T: Pharmacokinetic, dynamic properties of carbapenem antibiotics. Recent research developments in antimicrobial agents and chemotherapy, India, Research Signpost, in press

#### 総説（和文）

小澤 修，植松俊彦：新薬の老年者への適用（8） -グルコシダーゼ阻害薬・新たな経口血糖降下薬。老年消化器病 8, 177-178 (1996)

植松俊彦：リレープラザ・臨床薬理の立場から見た製剤設計。日本薬剤学会会報 13, 4(1997)

植松俊彦：臨床薬理の立場から見た製剤設計。日病薬誌 33, 839-840 (1997)

植松俊彦：毛髪分析による病歴・治療歴管理 毛髪一本でここまで分かる 始まりは向精神

薬から . 治療 79 , 901-904 ( 1997 )

植松俊彦 : 毛髪分析による病歴・治療歴管理の可能性 . 治療 79 , 2127-2130 ( 1997 )

小澤 修 : 骨芽細胞のシグナル伝達ープロテインキナーゼ C の活性化を中心として - . 治療 79 , 1894-1895 ( 1997 )

小澤 修 , 植松俊彦 : 毛髪中タイムマーカーとしてキノロン薬を利用する . 治療 79 , 1121-1124 ( 1997 )

小澤 修 , 植松俊彦 : 合格へのトレーニングブック・薬理 . 看護学生 45( 8 ) , 13-16 ( 1997 )

小澤 修 , 植松俊彦 : 新薬の老年者への適用 ( 9 ) ビスフォスフォネート・新たな骨粗鬆症治療薬 , 老年消化器病 9 , 71-72 ( 1997 )

小澤 修 , 植松俊彦 : 新薬の老年者への適用 ( 10 ) ロイコトリエン受容体拮抗薬・新たな気管支喘息治療薬 , 老年消化器病 9 , 161-163 ( 1997 )

小澤 修 , 植松俊彦 : 新生児の毛髪分析により胎内での薬物への曝露の程度を知る . 治療 79 , 1921-1924 ( 1997 )

丹羽雅之 , 植松俊彦 : ニコチン分析による喫煙行動の管理 . 治療 79 , 1503-1506 ( 1997 )

松野浩之 , 植松俊彦 : 高齢者の薬物療法・薬理作用のおさらい ; 薬物動態と高齢者 . 看護技術 42 , 1542-1546 ( 1997 )

松野浩之 , 植松俊彦 : 治療計画のための薬理学・慢性動脈閉塞症治療薬 . 臨床と薬物治療 16 , 753-757 ( 1997 )

松野浩之 , 植松俊彦 : タイムマーカーを利用した向精神薬の薬歴管理 . 治療 79 , 1921-1924 ( 1997 )

滝口祥令 , 植松俊彦 : 毛髪中カフェインは肝機能の指標 . 治療 79 , 1744-1747 ( 1997 )

中野重行 , 植松俊彦 : 臨床薬理学の教育と啓発 . 臨床医薬 13 , 3305-3336 ( 1997 )

植松俊彦，平出耕石：代謝物の薬理活性．日本医事新報 3853，111-112（1998）

植松俊彦：チャレンジ資格試験 薬理 1．看護学生 46（5），24-29（1998）

小澤 修，植松俊彦：パワーアップ薬理講座 1．看護学生 45（11），10-13（1998）

小澤 修，植松俊彦：新薬の老年者への適用（11）パクリタキセル・新たな抗悪性腫瘍治療薬．老年消化器病 10，91-92（1998）

丹羽雅之，植松俊彦：パワーアップ薬理講座 3．看護学生 45（13），10-13（1998）

丹羽雅之：脳虚血と神経細胞のアポトーシス - 発現メカニズムならびに防御の試み - ．生命科学 第 4 号 6-14（1998）

松野浩之，植松俊彦：パワーアップ薬理講座 2．看護学生 45（12），10-13（1998）

松野浩之：ハムスター血管狭窄モデルにおける GP・b/・a 拮抗薬の抑制効果．日本血栓止血学会誌 9，21-29（1998）

真野俊樹，植松俊彦：新薬治験の現状と課題．治療 80，177-183（1998）

植松俊彦：チャレンジ資格試験 薬理 2．看護学生 印刷中

植松俊彦，小澤 修：服薬に関するコンプライアンス．臨床精神薬理 印刷中

植松俊彦：高齢者薬物治療の問題点 臨床薬理の立場より．岐阜県医師会医学雑誌 印刷中

小澤 修，徳田治彦：骨芽細胞における PKC．生体の科学 印刷中

原 明，丹羽雅之：一過性脳虚血と神経細胞のアポトーシス．ニューロレポート，印刷中

### 総説（欧文・国内）

Uematsu T：Analysis of drugs and endogenous substances in human hair for assessing individual past history of drug therapy and progress of disease state．Jpn J Vet Res 44，236-237（1997）

### 原著（和文）

中島光好，植松俊彦，長嶋悟：Montirelin hydrate（NS-3）の臨床第Ⅰ相試験．臨床医薬，12，981-1011（1996）

松野浩之，植松俊彦，小澤 修，丹羽雅之，滝口祥令，長嶋 悟，金丸光隆：溶解液付き注射用抗生物質キット（オーツカ・マルチ・チャンバーバッグ・システム）使用時の健常成人におけるセファゾリンナトリウムの体内動態．新薬と臨床，46，202-206（1997）

中島光好，植松俊彦：Ca 拮抗薬 GJ-0956 の血中薬物濃度と血圧の推移．臨床医薬，13，2169-2182（1997）

太田宗一郎，丹羽雅之，野崎正勝，浅野斗志男，竹田智雄，土肥修司：モルヒネ依存モルモットにおける脳内 2 アドレナリン受容体の変動．麻酔 46，640-643（1997）

太田宗一郎，丹羽雅之，野崎正勝，浅野斗志男，竹田智雄，土肥修司：急性炎症性疼痛刺激によるラット脳・脊髄内オピオイド受容体の変動について．麻酔 46，644-649（1997）

### 原著（欧文・国内）

Hara A，Yoshimi N，Niwa M，Ino N，Mori H：Apoptosis induced by cyclooxygenase-2 inhibitor in human colorectal cancer cell lines．Jpn J Cancer Res 88，600-604（1997）

### 原著（欧文・国外）

Uematsu T，Nakashima M，Fujii M，Hamano K，Yasutomi M，Kodaira S．Kato T，Kotake K，Oka H，Masuike T：Measurement of 5-fluorouracil in scalp hair：a possible index of patient compliance with oral adjuvant chemotherapy．Eur J Clin Pharmacol 50，109-113（1996）

Uematsu T，Nagashima S，Niwa M，Kohno K，Sassa T，Ishii M，Tomono Y，Yamato C，Kanamaru M：Effect of dietary fat content on oral bioavailability of menatetrenone in humans．J Pharm Sci 85，1012-1016（1996）

Uematsu T，Nagashima S，Inaba H，Kajiho T，Kageyama H，Sugiyama A．Nakashima M：Design of a suitable formulation of FK613，a novel antiallergic agent，based on its pharmacokinetic and pharmacodynamic properties in healthy subjects．Eur J Clin Pharmacol 49，279-284（1996）



Kozawa O , Uematsu T , Matsuno H , Niwa M , Nagashima S , Kanamaru M : Comparative study of pharmacokinetics of two new fluoroquinolones , balofloxacin and grepafloxacin , in elderly subjects . *Antimicrob Agents Chemother* 40 , 2824-2828 ( 1996 )

Niwa M , Al-Essa LY , Kohno K , Kanamori Y , Matsuno M , Abe A , Uematsu T : The loss of rhGCSF and rhTNF- priming effects on superoxide-generating response in exudated neutrophils is associated with decrease of their receptors affinities . *J Immunol* 157 , 4147-4153 ( 1996 )

Matsuno H , Stassen JM , Moons L , Vermeylen J , Hoylaerts MF : Neointima formation in injured hamster carotid artery is effectively prevented by the combination G4120 and quinapril . *Thromb Haemost* 76 , 263-269 ( 1996 )

Mizuno A , Uematsu T , Gotoh S , Katoh E , Nakashima M : The measurement of caffeine concentration in scalp hair as an indicator of liver function . *J Pharm Pharmacol* 48 , 660-664 ( 1996 )

Chowdhury SA , Kawashima T , Konishi T , Niwa M , Matsunami K : Study of paired-pulse inhibition of transcallosal response in the pyramidal tract neuron in vivo . *Eur J Pharmacol* 314 , 313-317 ( 1996 )

Suzuki A , Kozawa O , Oiso Y , Kato K : Protein kinase C activation inhibits stress-induced synthesis of heat shock protein 27 in osteoblast-like cells : function of arachidonic acid . *J Cell Biochem* 62 , 69-75 ( 1996 )

Suzuki A , Kozawa O , Shinoda J , Watanabe Y , Saito H , Oiso Y : Thrombin induces proliferation of osteoblast-like cells through phosphatidylcholine hydrolysis . *J Cell Physiol* 168 , 209-216 ( 1996 )

Tokuda H , Suzuki A , Watanabe-Tomita Y , Shinoda J , Imamura Y , Igata A , Oiso Y , Kozawa O : Function of Ca<sup>2+</sup> in phosphatidylcholine-hydrolyzing phospholipase D activation in osteoblast-like cells . *Bone* 19 , 347-352 ( 1996 )

Kozawa O , Suzuki A , Shinoda J , Oiso Y : Effect of retinoic acid on prostaglandin F<sub>2</sub> - induced phospholipase D activity in osteoblast-like cells . *Prostaglandins Leukot Essent Fatty*

Acids 55 , 151-154 ( 1996 )

Ito Y ,Suzuki A ,Watanabe-Tomita Y ,Oiso Y ,Kozawa O : Okadaic acid enhances prostaglandin E1-induced alkaline phosphatase activity in osteoblast-like cells : regulation at a point downstream from protein kinase A . Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids 55 , 357-361 ( 1996 )

Suzuki A , Shinoda J , Kanda S , Oiso Y , Kozawa O : Basic fibroblast growth factor stimulates phosphatidylcholine-hydrolyzing phospholipase D in osteoblast-like cells . J Cell Biochem 63 , 491-499 ( 1996 )

Kozawa O ,Suzuki A ,Shinoda J ,Ozaki N ,Oiso Y ,Uematsu T : Involvement of phospholipase D activation in endothelin-1-induced release of arachidonic acid in osteoblast-like cells . J Cell Biochem 64 , 376-381 ( 1997 )

Kozawa O , Suzuki A , Kaida T , Tokuda H , Uematsu T : Tumor necrosis factor- $\alpha$  autoregulates interleukin-6 synthesis via activation of protein kinase C : Function of sphingosine 1-phosphate and phosphatidylcholine-specific phospholipase C . J Biol Chem 272 , 25099-25104 ( 1997 )

Kozawa O , Suzuki A , Tokuda H , Uematsu T : Prostaglandin F<sub>2</sub> stimulates interleukin-6 synthesis via activation of PKC in osteoblast-like cells . Am J Physiol 272 , E208-E211( 1997 )

Kozawa O , Tokuda H , Kaida T , Matsuno H , Uematsu T : Thrombin regulates interleukin-6 synthesis through phosphatidylcholine hydrolysis by phospholipase D in osteoblasts . Arch Biochem Biophys 345 , 10-15 ( 1997 )

Kozawa O , Blume-Jensen P , Heldin C-H , Ronnstrand L : Involvement of phosphatidylinositol 3'-kinase in stem cell factor-induced phospholipase D activation and arachidonic acid release . Eur J Biochem 248 , 149-155 ( 1997 )

Kozawa O , Suzuki A , Tokuda H , Kaida T , Uematsu T : Protein kinase C activation by interleukin ( IL ) -1 limits IL-1-induced IL-6 synthesis in osteoblast-like cells : involvement of phosphatidylcholine-specific phospholipase C . J Cell Biochem 67 , 103-111 ( 1997 )

Kozawa O , Suzuki A , Uematsu T : Basic fibroblast growth factor induces interleukin-6

synthesis in osteoblasts : autoregulation by protein kinase C . Cell Signal 9 , 463-468 ( 1997 )

Kozawa O , Tokuda H , Matsuno H , Uematsu T : Activation of mitogen-activated protein kinase is involved in sphingosine 1-phosphate-stimulated interleukin-6 synthesis in osteoblasts . FEBS Lett 418 , 149-151 ( 1997 )

Niwa M , Hara A , Iwai T , Sassa T , Mori H , Uematsu T : Expression of Bax and Bcl-2 protein in the gerbil hippocampus following transient forebrain ischemia and its modification by phencyclidine . Neurol Res 19 , 629-633 ( 1997 )

Niwa M , Hara A , Kanamori Y , Kohno K , Yoshimi N , Mori H , Uematsu T : Comparison of susceptibility to apoptosis induced by rhTNF- $\alpha$  and cycloheximide between human circulating and exudated neutrophils . Life Sci 61 , 205-215 ( 1997 )

Matsuno H , Kozawa O , Niwa M , Uematsu T : Inhibition of von Willebrand factor binding to platelet GP Ib by a fractionated aurointricarboxylic acid prevents restenosis after vascular injury in hamster carotid artery . Circulation 96 , 1299-1304 ( 1997 )

Matsuno H , Kozawa O , Niwa M , Kaida T , Hayashi H , Uematsu T : GR144053 , a fibrinogen receptor antagonist , enhances the suppression of neointima formation by losartan , an angiotensin  $\cdot$  receptor antagonist , in the injured carotid artery of hamster . Br J Pharmacol 122 , 1099-1104 ( 1997 )

Niwa T , Katsuzaki T , Ishizaki Y , Hayase F , Miyazaki T , Uematsu T , Tatemich N , Takei Y : Imidazolone , a novel advanced glycation end product , is present at high levels in kidneys of rats with streptozotocin-induced diabetes . FEBS Lett 407 , 297-302 ( 1997 )

Takemura A , Muramatsu S , Kobayashi N , Nakagawa A , Kitazawa E , Uematsu T : Determination of furosine in hair by liquid chromatography-tandem mass spectrometry . Biomed Chromatogr 11 , 61-62 ( 1997 )

Kaida T , Matsuno H , Niwa M , Kozawa O , Miyata H , Uematsu T : Antiplatelet effect of FK633 , a platelet glycoprotein IIb/IIIa antagonist , on thrombus formation and vascular patency after thrombolysis in the injured hamster carotid artery . Thromb Haemost 77 , 562-567 ( 1997 )

Araki S , Uematsu T , Nagashima S , Matsuzaki T , Gotanda K , Ochiai H , Hashimoto H , Nakashima M : Cardiac and hemodynamic effects of TZC-5665 , a novel pyridazinone derivative , and its metabolite in humans and dogs . *Gen Pharmacol* 28 , 545-553 ( 1997 )

Mizuno A , Uematsu T , Ishikawa T , Yoshimine N , Nakashima M : Clinical outcome of smoking-cessation trial of nicotine chewing gum evaluated by analysis of nicotine in hair . *Ther Drug Monit* 19 , 407-412 ( 1997 )

Umemura K , Kondo K , Ikeda Y , Teraya Y , Yoshida H , Homma M , Uematsu T , Nakashima M : Pharmacokinetics and safety of the novel amino-3-hydroxy-5-methylisoxazole-4-propionate receptor antagonist YM90K in healthy men . *J Clin Pharmacol* 37 , 719-27( 1997 )

Kanamori Y , Niwa M , Kohno K , Al-Essa LY , Matsuno H , Kozawa O , Uematsu T : Migration of neutrophils from blood to tissue : alteration of modulatory effects of prostanoid on superoxide generation in rabbits and humans . *Life Sci* 60 , 1407-1417 ( 1997 )

Kohno K , Niwa M , Nozaki M , Uematsu T , Fujimura H : Role of nitric oxide in the convulsive seizures induced by fluoroquinolones coadministered with 4-biphenyl acetic acid . *Gen Pharmacol* 29 , 767-770 ( 1997 )

Hattori M , Dohi S , Nozaki M , Niwa M , Shimonaka H : The inhibitory effects of local anesthetics on superoxide generation of neutrophils correlate with their partition coefficient . *Anesth Analg* 84 , 405-412 ( 1997 )

Hara A , Niwa M , Yoshimi N , Mori H : Apoptotic cell death in vulnerable subpopulation of cerebellar granule cells . *Acta Neuropathol* 94 , 517-518 ( 1997 )

Kawase M , Motohashi N , Niwa M , Nozaki M : Use of the triflamide group for friedel-crafts acylation of N- ( b-phenetyl ) amino acids to 3-benzazepine derivatives . *Heterocycles* 45 , 1121-1129 ( 1997 )

Watanabe-Tomita Y , Suzuki A , Oiso Y , Kozawa O : Prostaglandin E1 stimulates interleukin-6 secretion via protein kinase A in osteoblast-like cells . *Cell Signal* 9 , 105-108 ( 1997 )

Shinoda J , Suzuki A , Oiso Y , Kozawa O : Involvement of phosphatidylcholine hydrolysis by phospholipase D in extracellular ATP-induced arachidonic acid release in aortic smooth

muscle cells . Arterioscler Thromb 17 , 295-299 ( 1997 )

Shinoda J , Kozawa O , Suzuki A , Watanabe-Tomita Y , Oiso Y , Uematsu T : Mechanism of angiotensin II-induced arachidonic acid release in aortic smooth muscle cells : involvement of phospholipase D . Eur J Endocrinol 136 , 207-212 ( 1997 )

Suzuki A , Kozawa O , Shinoda J , Watanabe-T Y , Saito H , Oiso Y : Mechanism of thrombin-induced arachidonic acid release in osteoblast-like cells . Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids 56 , 467-472 ( 1997 )

Suzuki A , Shinoda J , Watanabe-T Y , Ozaki N , Oiso Y , Kozawa O : ETA receptor mediates the signaling of endothelin-1 in osteoblast-like cells . Bone 21 , 143-146 ( 1997 )

Watanabe-Tomita Y , Suzuki A , Shinoda J , Oiso Y , Kozawa O : Arachidonic acid release induced by extracellular ATP in osteoblast-like cells : role of phospholipase D . Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids 57 , 335-339 ( 1997 )

Kozawa O , Suzuki A , Tokuda H , Kaida T , Uematsu T : Interleukin-6 synthesis induced by prostaglandin E2 : cross-talk regulation by protein kinase C . Bone 22 , 355-360 ( 1998 )

Kozawa O , Uematsu T , Matsuno H , Niwa M , Takiguchi Y , Matsumoto S , Minamoto M , Niida Y , Yokokawa M , Nagashima S , Kanamaru M : Pharmacokinetics and safety of a new parenteral carbapenem antibiotic , Biapenem ( L-627 ) , in elderly subjects . Antimicrob Agenets Chemother 42 : 1433-1436 ( 1998 )

Kozawa O , Tokuda H , Kaida T , Matsuno H , Uematsu T : Effect of vitamin D3 on interleukin-6 synthesis induced by prostaglandins in osteoblasts . Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids , 58 , 119-123 ( 1998 )

Kozawa O , Tokuda H , Kaida T , Matsuno H , Uematsu T : Retinoic acid suppresses interleukin-6 synthesis induced by prostaglandins in osteoblasts . Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids , 58 , 215-219 ( 1998 )

Niwa M , Hara A , Iwai T , Nakashima M , Yano H , Yoshimi N , Mori H , Uematsu T : Relationship between magnitude of hypothermia during ischemia and preventive effect against post-ischemic DNA fragmentation in the gerbil hippocampus . Brain Res 794 , 338-

342 ( 1998 )

Matsuno H , Kozawa O , Niwa M , Tanabe K , Ichimaru K , Takiguchi Y , Yokota M , Hayashi H , Uematsu T : Multiple inhibition of platelet activation by aurintricarboxylic acid prevents vascular stenosis after endothelial injury in hamster carotid artery . *Thromb Haemost* 79 , 865-871 ( 1998 )

Matsuno H , Kozawa O , Niwa N , Usui A , Ito H , Uematsu T , Kato K . A heat shock-related protein ,p20 ,plays an inhibitory role in platelet activation . *FEBS Lett* 429 ,327-329( 1998 )

Matsuno H , Kozawa O , Niwa N , Ito T , Tanabe K , Nishida M , Hayashi H , Uematsu T : Effect of GR144053 , a fibrinogen receptor antagonist , on thrombus formation and vascular patency after thrombolysis by tPA in the injured carotid artery of the hamster . *J Cardiovasc Pharmacol* 32 , 191-197 ( 1998 )

Kosuge K , Uematsu T , Araki S , Matsuno H , Ohashi K , Nakashima M : Comparative dispositions of ofloxacin in human head , axillary , and pubic hairs . *Antimicrob Agents Chemother* 42 : 1298-1302 ( 1998 )

Tanabe K , Kozawa O , Kaida T , Matsuno H , Niwa M , Ohta S , Dohi S , Uematsu T Inhibitory effects of propofol on intracellular signaling by endothelin-1 in aortic smooth muscle cells . *Anesthesiology* 88 , 452-460 , ( 1998 )

Tokuda H , Kozawa O , Harada A , Isobe K-I , Uematsu T : Triiodothyronine modulates interleukin-6 synthesis in osteoblasts : inhibitions in protein kinase A and C pathways . *Endocrinology* 139 , 1300-1305 ( 1998 )

Matsuno M , Kozawa O , Suzuki A , Tokuda H , Kaida T , Matsuno H , Niwa M , Uematsu T : Involvement of protein kinase C activation in endothelin-1-induced secretion of interleukin-6 in osteoblast-like cells . *Cell Signal* 10 , 107-111 ( 1998 )

Umme A , Niwa M , Nose T , Kaida T , Matsuno H , Kozawa O , Uematsu T : Effect of several agents on UVB- and UVA plus systemic fluoroquinolone-induced erythema of guinea pig skin evaluation by reflectance colorimetry . *Free Rad Biol Med* 24 , 1113-1119 ( 1998 )

Kawase M , Niwa M , Nozaki M , Motohashi N : Synthesis of 2-trifluoromethyl- 2 , 3 , 4 ,

5- tetrahydro-1H-3-benzazepine derivatives . Heterocycles , 48 , 555-560 ( 1998 )

Tokuda H , Kozawa O , Harada A , Uematsu T : Tiludronate inhibits interleukin-6 synthesis in osteoblasts : inhibition of phospholipase D activation in MC3T3-E1 cells . J Cell Biochem 69 , 252-259 ( 1998 )

Hara A , Niwa M , Nakashima M , Iwai T , Uematsu T , Yoshimi N , Mori H : Apoptosis-inhibitory agent protected hippocampal neuronal damage induced by ischemia . J Cereb Blood Flow Metab , 18 , 819-823 ( 1998 )

Kozawa O , Tokuda H , Matsuno H , Uematsu T . Sphingosine modulates interleukin-6 synthesis in osteoblasts . J Cell Biochem , in press

Tokuda H , Kozawa O , Harada A , Uematsu T : p42/p44 Mitogen-activated protein kinase activation is involved in prostaglandin F<sub>2</sub> -induced interleukin-6 synthesis in osteoblasts . Cell Signal , in press

#### その他

植松俊彦：医療に貢献する新しい検査法 / 髪の毛は薬物服用の録音テープ . Chugai , 368 , 24-25 ( 1997 )

植松俊彦：館蔵資料紹介 No.16 医学部分館の AV 資料 . 寸胴 ( 岐阜大学図書館報 ) 25 , 3-4 ( 1998 )

植松俊彦：国家試験対策カード薬理 . クリニカルスタディー 19 ( 5 ) ( 1998 )

植松俊彦：資格試験対策カード薬理 1 . 看護学生 46 ( 5 ) ( 1998 )

植松俊彦：資格試験対策カード薬理 2 . 看護学生 印刷中

## 病理学第一講座

### 著書（和文）

森 秀樹，不定期 DNA 合成試験法：組織培養の技術，日本組織培養学会編，東京，朝倉書店，372-374，1996．

森 秀樹，杉江茂幸，吉見直己：フリーラジカルスキャベンジャーによるがん発生とその予防．「成人病予防食品の開発 - フリーラジカルと抗酸化 - 」二木鋭雄，吉川敏一，大澤俊彦 編，東京，シーエムシー，15-21，1998．

森 秀樹；口腔癌，食品安全性辞典．小野 宏，小島康平，斉藤行雄，林 裕造 監修，東京，共立出版，121，1998．

### 著書（欧文）

Mori H，Yoshimi N，Tanaka T，Hirose Y：Experimental colorectal carcinogenesis; role of cell proliferation．In：Recent Advances in Gastroenterological Carcinogenesis 1．Tahara E，Sugimachi K，Oohara T，eds．Monduzzi Editore，Bologna，249-254，1996．

Tanaka T，Makita H，Ohnishi M，Mori H：Chemoprevention of 4-NQO-induced oral carcinogenesis by dietary flavonoids diosmin and hesperidin．In：Recent Advances in Gastroenterological Carcinogenesis 1．Tahara E，Sugimachi K，Oohara T，eds．Monduzzi Editore，Bologna，1167-1170，1996．

Mori H，Tanaka T，Sugie S，Yoshimi N，Kawamori T，Hirose Y，Osawa T：Protective role of dietary factors in carcinogenesis of digestive organs．In：Food Factors for Cancer Prevention．Ohigashi H，Osawa T，Terao J，Watanabe S，Yoshikawa T，eds．Springer-Verlag．Tokyo，98-102，1997．

Tanaka T，Makita H，Ohnishi M，Murakami A，Koshimizu K，Nakamura Y，Ohigashi H，Mori H：Chemoprevention of oral and colon carcinogenesis by natural compounds protocatechuic acid，l-hydroxychavicol acetate，S-methyl methane thiosulfonate，and hesperidin from vegetables and fruits．In：Food Factors for Cancer Prevention．Ohigashi H，Osawa T，Terao J，Watanabe S，Yoshikawa T，eds．Springer-Verlag．Tokyo，194-199，1997．



Sugie S , Tanaka T , Morishita Y , Wang A , Yoshimi N , Mori H : Chemopreventive effect of magnesium hydroxide on colon carcinogenesis . In : Food Factors for Cancer Prevention . H . Ohigashi H , Osawa T , Terao J , Watanabe S , Yoshikawa T , eds . Springer-Verlag . Tokyo , 396-400 , 1997 .

Mori H , Tanaka T , Sugie S , Yoshimi N , Kawamori T , Matsunaga K : Inhibition of large bowel carcinogenesis and mode of actions of chemopreventive agents . In : “Fundamentals of Cancer Prevention” Extended abstracts for the 27th International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund . , Conney AH , Ito N , Sugimura T , Terada M , Wakabayashi K , and Weinstein IB eds . , Princess Takamatsu Cancer Research Fund , 26-29 , 1997 .

Mori H , Yamada Y , Kawabata K , Tanaka T , Murai H : Chemopreventive effects of coffee beans extracts or rice germ , and their constituents , chlorogenic acid or ferulic acid , on oral or large bowel carcinogenesis . In : Proceeding of the 17th International Cancer Congress” ed by Moraes M , Brentani R , Berilacqua R eds . , Monduzzi Editore , Bologna , 367-370 , 1998 .

Mori H , Nishikawa A : Naturally occurring organosulfur compounds as potential anticarcinogens . In : Nutrition and Chemical Toxicity ,Ioannides C ed ,John Wiley & Sons , Ltd . , Sussex , 285-299 , 1998 .

Mori H , Tanaka T , Hirono I : Toxicants in Food; Naturally occurring’ . In : Nutrition and Chemical Toxicity , Ioannides C ed . , John Wiley & Sons , Ltd . , Sussex , 1-27 , 1998 .

#### **総説（和文）**

森 秀樹 ,吉見直己 ,田中卓二 :大腸癌の予防『癌の化学予防』 . Molecular Medicine ,33 , 424-433 ,( 1996 )

森 秀樹 ,田中卓二 ,吉見直己 ,杉江茂幸 ;水酸化マグネシウムの大腸癌化学予防作用 . マグネシウム , 16 , 201-205 ,( 1997 )

森 秀樹 ,はじめに :発がん抑制因子の作用機構 . Environ Mutagen Res . ,19 ,1-2 ( 1997 )

森 秀樹 ,吉見直己 :大腸発がん ;実験モデルとその機構 . 病理とその臨床 ,( 1998 ) ,印刷中 .

田中卓二, 隅田孝司, 小川浩史: 柑橘由来フラボノイド(ヘスペリジン, ディオスミン)の単独および複合投与による発がん抑制効果. *Foods & Food Ingredients J. Jpn.*, 177, 43-48, (1998)

森 秀樹: 種々の化学物質による消化器発がんの抑制. *放射線科学* (1998), 印刷中.

#### 総説 (欧文・国内)

Tanaka T, Mori H: Inhibition of colon carcinogenesis by non-nutritive constituents in foods. *J Toxicol Pathol* 9, 139-149 (1996)

Mori H, Sugie S, Tanaka T, Makita H, Yoshimi N: Suppressing effects of natural antioxidants on carcinogenesis in digestive organs. *Environ Mut Res* 18, 73-77 (1996)

#### 総説 (欧文・国外)

Tanaka T: Effect of diet on human carcinogenesis. *Crit Rev Oncol/Hematol* 25, 73-95 (1997)

Tanaka T: Chemoprevention of human cancer: biology and therapy. *Crit Rev Oncol/Hematol* 25, 139-174 (1997)

Mori H, Tanaka T, Sugie S, Yoshimi N, Kawamori T, Hirose Y, Ohnishi M: Chemoprevention by naturally occurring and synthetic agents in oral, liver, and large bowel carcinogenesis. *J Cell Biochem* 27 (Suppl), 35-41 (1998)

#### 原著 (和文)

長田真二, 野々村 修, 小瀬木 理, 竹内 賢, 佐藤元一, 佐藤好永, 田中卓二: 肝外発育型肝細胞癌の1切除例. *癌の臨床* 42, 683-687 (1996)

森川文雄, 砂川文彦, 高木鷹俊, 伊藤裕康, 池内隆夫, 田中卓二: 精細管内悪性胚細胞の1例. *臨床泌尿器科* 50, 971-973 (1996)

田中優司, 名倉一夫, 内木隆文, 福島秀樹, 浅野寿夫, 岩井浩子, 河村英博, 安田一朗, 西垣洋一, 高橋 健, 富田栄一, 辻 孝, 若原達男, 浅野雅嘉, 田中千凱, 山田鉄也, 加地秀樹, 田中卓二: 早期大腸癌を合併した直腸カルチノイドの1例. *岐阜市民病院年報* 16, 89-93 (1996)

阪本研一，福地貴彦，角 泰廣，市橋正嘉，瀬古 章，多羅尾 信，天野和雄，後藤明彦，吉見直己：絨毛状発育を呈した多発性・型早期胃ガンの 1 例．消化器外科 19，382-386（1996）

新井 正，安田 洋，伊東祐二，早川和良，高屋忠丈，戸島 敏，渋谷智顕，縄田万寿美，柴山麿樹，吉見直己，伊藤裕康，藤原久義：未治療時原発性非小細胞肺癌の Glutathione S-transferase-（GST-）の染色性と Cisplatin と Etoposide の治療効果との関係について．癌と化学療法 23，881-885（1996）

新井 正，高屋忠丈，伊東祐二，早川和良，戸島 敏，渋谷智顕，野村万寿美，吉見直己，柴山麿樹，安田 洋：MALT（mucosa-associated lymphoid tissue）lymphoma の 1 症例．日胸疾会誌 34，1009-1014（1996）

新井 正，伊東祐二，早川和良，高屋忠丈，安田 洋，戸島 敏，渋谷智顕，吉見直己，柴山麿樹：右手関節結核の 1 症例．岐阜県医師会医学雑誌 9，263-267（1996）

戸島 敏，渋谷智顕，新井 正，伊東祐二，早川和良，高屋忠丈，安田 洋，吉見直己，柴山麿樹：壁側胸膜原発と考えられた Malignant Fibrous Histiocytoma の 1 症例の病理細胞学的検討．岐阜県医師会医学雑誌 9，269-272（1996）

戸島 敏，新井 正，伊東祐二，早川和良，高屋忠丈，渋谷智顕，吉見直己，安田 洋：悪性細網症と考えられた一症例．岐厚医誌 17，54-57（1996）

新井 正，高屋忠丈，伊東祐二，早川和良，戸島 敏，渋谷智顕，渡辺宜典，野村万寿美，吉見直己，柴山麿樹，安田 洋：アレルギー性気管支肺アスペルギールス症の一症例．岐厚医誌 17，28-31（1996）

篠田 淳，原 明，上田竜也，坂井 昇，山田 弘：Glioblastoma に対する少量 CDDP 併用放射線療法．Neuro-Oncology 6，13-18（1996）

岡田 基，松井明男，米沢佳子，奥田珠生，田中卓二：オートスメアによる微量検体収集装置検討．臨床検査 46，44-47（1997）

吉見直己，井野夏子，高橋京子，戸島 敏，荒井 正，安田 洋，田中卓二：体腔液細胞診材料におけるテロメラゼ活性の検討．日本臨床細胞学会雑誌 36，76-80（1997）

阪本研一，後藤明彦，多羅尾 信，市橋正嘉，角 泰広，福地貴彦，天野和雄，瀬古 章，田中卓二：5 cm 以上の広がりをもつ胆嚢異型上皮の 2 例． 外科 59，109-112（1997）

瀬古 章，天野和雄，杉山 宏，清水洋孝，高木昌一，後藤明彦，近藤博人，杉江茂幸，吉見直己，森脇久隆，武藤泰敏：Helicobacter pylori の除菌にて内視鏡的および病理学的所見が著明に改善した胃 MALT リンパ腫の 1 例． 日消誌 94，21-26（1997）

伊東祐二，新井正，早川和良，高屋忠丈，安田 洋，戸島敏，渋谷智顕，吉見直己，柴山磨樹，野村万寿美，味元宏道，富田良照：孤立性の嚢胞状陰影を呈した肺扁平上皮癌の 1 例．（A case of squamous cell carcinoma of the lung with solitary cystic shadow）臨床画像 13，556-559（1997）

新井 正，伊東祐二，早川和良，高屋忠丈，戸島 敏，渋谷智顕，野村万寿美，吉見直己，柴山磨樹，安田 洋：プランルカスト(オノンカプセル)が有効であった cough variant asthma の 11 例． 現代医療 29，1279-1278（1997）

新井 正，高屋忠丈，伊東祐二，早川和良，戸島敏，渋谷智顕，河合 洋，佐藤正二，吉見直己，安田 洋：アンジオテンシン変換酵素阻害剤(塩酸イミダプリン)により著明に尿蛋白が減少した IgA 腎症に基づくネフローゼ症候群の 1 症例． Prog Med 17，1415-1419（1997）

新井 正，高屋忠丈，伊東祐二，早川和良，戸島 敏，渋谷智顕，野村万寿美，吉見直己，柴山磨樹，安田 洋：Tracheobronchopathia osteochondroplastica の 1 症例．日本臨床内科学会誌 12，264-266（1998）

吉野功二，猿井 宏，山田浩司，柴田敏郎，大洞尚司，宗 友厚，宅野 洋，石塚達夫，安田圭吾，嘉村正徳，原 明：化学療法後腫瘍の縮小にもかかわらず血漿 ACTH が著増した異所性 ACTH 産性肺小細胞癌の 1 例． 日本内科学会雑誌 86，684-686（1997）

久保田芳則，岩井知彦，中谷 圭，坂井 昇，原 明：肺転移を来した副腎皮質癌の 1 例．脳神経外科 25，1039-1042（1997）

安江由里香，石黒源之，橋本和明，大熊俊男，鳥澤昌紀，井上清明，皆川太郎，高田信幸，平野高弘，森 甫，幾高敏晴，藤吉晃彰，浦田裕次，原 明：血漿交換療法が奏効した水泡性類天疱瘡の一例． 岐阜県医師会医学雑誌 10，237-242（1997）

**原著 ( 欧文 · 国内 )**

Okamoto K , Sugie S , Ohnishi M , Makita H , Kawamori T , Watanabe T , Tanaka T , Mori H : Chemopreventive effects of taurine on diethylnitrosamine and phenobarbital-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 87 , 30-36 ( 1996 )

Ohnishi M , Tanaka T , Makita H , Kawamori T , Mori H , Satoh K , Hara A , Murakami A , Ohgashi H , Koshimizu K : Chemopreventive effect of a xanthine oxidase inhibitor 1'-acetoxychavicol acetate on oral carcinogenesis in rats . Jpn J Cancer Res 87 , 349-356( 1996 )

Hirose Y , Tanaka T , Makita H , You M , Satoh K , Hara A , Maeda M , Baba-Toriyama H , Mori H , Tsuda H : Suppressing effects of 6- ( 2 , 5-dichlorophenyl ) -2 , 4-diamino-1 , 3 , 5-triazine and related synthetic compounds on azoxymethane-induced aberrant crypt foci in rat colon . Jpn J Cancer Res 87 , 549-554 ( 1996 )

Hirose Y , Yoshimi N , Makita H , Hara A , Tanaka T , Mori H : Early alteration of apoptosis and cell proliferation in azoxymethane-initiated rat colonic epithelium . Jpn J Cancer Res 87 , 575-582 ( 1996 )

Okumura A , Tanaka T , Mori H : Simultaneous measurement of unscheduled and replicating DNA synthesis by means of a new cell culture insert DNA retention method : Rapid induction of replicating DNA synthesis in response to genotoxic carcinogens . Jpn J Cancer Res 87 , 805-815 ( 1996 )

Sugie S , Okamoto K , Makita H , Ohnishi M , Kawamori T , Tanaka T , Mori H : Inhibitory effect of chlorophyllin on diethylnitrosamine and phenobarbital-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 87 , 1045-1051 ( 1996 )

Sugie S , Ohnishi M , Makita H , Kawamori T , Okamoto K , Ino N , Tanaka T , Mori H : Modifying effect of KYN-54 , a newly synthesized retinoidal butenolide , on 2-amino-3-methylimidazo[ 4 , 5-F ]quinoline( IQ )-induced carcinogenesis in male F344 rats . J Toxicol Pathol 9 , 323-327 ( 1996 )

Yoshimi N , Hara A , Matsunaga K , Kawabata K , Mori H : The inhibitory effects of NS-398 , a selective cyclooxygenase-2- inhibitor , on azoxymethane-induced aberrant crypt foci in colon carcinogenesis of F344 rats . Jpn J Cancer Res 88 , 1044-1051 ( 1997 )

Sugie S ,Okamoto K ,Ohnishi M ,Makita H ,Kawamori T ,Watanabe T ,Tanaka T ,Nakamura YK , Nakamura Y , and Mori H : Suppressive effects of S-methyl methanethiosulfonate on promotion stage of diethylnitrosamine-initiated and phenobarbital-promoted hepatocarcinogenesis model . Jpn J Cancer Res 88 , 5-11 ( 1997 )

Hara A , Yoshimi N , Niwa M , Ino N , Mori H : Apoptosis induced by NS-398 , a selective cyclooxygenase-2 inhibitor , in human colorectal cancer cell lines . Jpn J Cancer Res 88 , 600-604 ( 1997 )

Suzui N , Sugie S , Rahman KMW , Ohnishi M , Yoshimi N , Wakabayashi K , Mori H : Inhibitory effects of diallyl disulfide or aspirin on 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo [ 4 , 5-b ]pyridine-induced mammary carcinogenesis in rats . Jpn J Cancer Res 88 ,705-711( 1997 )

Inaba R , Sugiura H , Iwata H , Tanaka T : Dose-dependent activation of immune function in mice by ingestion of Maharishi Armit Kalash 5 . Environ Health Prev Med 2 ,35-39( 1997 )

Ohnishi M , Yoshimi N , Kawamori T , Ino N , Hirose Y , Tanaka T , Yamahara J , Miyata H , Mori H : Inhibitory effects of dietary protocatechuic acid and costunolide on 7 , 12-dimethylbenz[ a ]anthracene-induced hamster cheek pouch carcinogenesis .Jpn J Cancer Res 88 , 111-119 ( 1997 )

Morishita Y ,Yoshimi N ,Kawabata K ,Matsunaga K ,Sugie S ,Tanaka T ,Mori H : Regressive effects of various chemopreventive agents on azoxymethane-induced aberrant crypt foci in the rat colon . Jpn J Cancer Res 88 , 815-820 ( 1997 )

Tanaka T , Kawabata K , Kakumoto M , Makita H , Matsunaga K , Mori H , Satoh K , Hara A , Murakami A , Koshimizu K , Ohigashi H : Chemoprevention of azoxymethane-induced rat colon carcinogenesis by a xanthine oxidase inhibitor , 1'-acetoxychavicol acetate . Jpn J Cancer Res 88 , 821-830 ( 1997 )

Inaba R , Sugiura H , Iwata H , Tanaka T : Dose-dependent activation of immune function in mice by ingestion of Maharishi Armit Kalash 4 . Environ Health Prev Med 2 , 126-131 ( 1997 )

Sugie S , Okamoto K , Ueda F , Watanabe T , Tanaka T , Mori H : Suppressive effect of

irsogladine maleate on diethyl nitrosamine-initiated and phenobarbital-promoted hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 89 , 371-376 ( 1998 )

Matsunaga K , Yoshimi N , Yamada Y , Shimuzu M , Kawabata K , Ozawa Y , Hara A , Mori H : Inhibitory effects of nabumetone , a cyclooxygenase-2 inhibitor , and esculetin , a lipoxygenase inhibitor , on N-methyl-N-nitrosourea-induced mammary carcinogenesis in rats . Jpn J Cancer Res 89 , 496-501 ( 1998 )

Niwa K , Morishita S , Hashimoto M , Fujimoto J , Mori H , Tamaya T : Effect of tamoxifen on endometrial carcinogenesis in mice . Jpn J Cancer Res 89 , 502-509 ( 1998 )

Sugiura H , Inaba R , Iwata H , Nishida H , Tanaka T : Modifying effects of Maharishi Amrit Kalash 4 and 5 on phagocytic and digestive functions of macrophages in male ICR mice . Environ Health Prev Med 3 , 50-54 ( 1998 )

Suzui M , Yoshimi N , Hara A , Morishita Y , Tanaka T , Mori H : Genetic alterations in a patient with Turcot's syndrome . Pathol Int 48 , 126-133 ( 1998 )

Arai T , akaya T , Ito Y , Hayakawa K , Toshima S , Shibuya C , Nomura M , Yoshimi N , Shibayama M , Yasuda Y : Bronchial asthma induced by rice . Internal Med 37 , 98-101 , ( 1998 )

#### **原著 ( 欧文 · 国外 )**

Mori H , Ohnishi M , Kawamori K , Sugie S , Tanaka T , Ino N , Kawai K : Toxicity and tumorigenicity of purpurin , a natural hydroxyanthraquinone in rats : induction of bladder neoplasms . Cancer Lett 102 , 193-198 ( 1996 )

Yoshimi N , Ino N , Suzui M , Hara A , Nakatani K , Sato S , Mori H : Telomerase activity of normal tissues and neoplasms in rat colon carcinogenesis induced by methylazoxymethanol acetate and its difference from human tissues . Mol Carcinog 16 , 1-5 ( 1996 )

Hara A , Iwai T , Niwa M , Uematsu T , Yoshimi N , Tanaka T , Mori H : Immunohistochemical detection of Bax and Bcl-2 proteins in gerbil hippocampus following transient forebrain ischemia . Brain Res 711 , 249-253 ( 1996 )

Hara A , Hirose Y , Wang A , Yoshimi N , Tanaka T , Mori H : Localization of Bax and Bcl-

2 proteins ,regulators of programmed cell death ,in human central nervous system . Virchows Archiv 429 , 249-253 ( 1996 )

Ino N , Sugie S , Ohnishi M , Mori H; Lack of inhibitory effects of benzyl isothiocyanate on 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo ( 4 , 5-b ) pyridine ( PhIP ) -induced mammary carcinogenesis in rats . J Toxicol Sci 21 , 189-194 ( 1996 )

Tanaka T , Makita H , Ino N , Rahman W , Mori H , Satoh K , Hara A : Modifying effects of the arotinoid mofarotene ( Ro 40-8757 ) on azoxymethane-induced rat colon and liver carcinogenesis . Cancer J 9 , 260-268 ( 1996 )

Onogi N , Okuno M , Komaki C , Moriwaki H , Kawamori T , Tanaka T , Mori H , Muto Y : Suppressing effect of perilla oil on azoxymethane-induced foci of colonic aberrant crypts in rats . Carcinogenesis 17 , 1291-1296 ( 1996 )

Wang A , Yoshimi N , Suzui M , Yamauchi M , Tarao M , Mori H . : Different expression patterns of cyclin A , D1 and E in human colorectal cancer . J Cancer Res Clin Oncol 122 , 122-126 ( 1996 )

Kawamori T , Tanaka T , Hirose Y , Ohnishi M , Mori H : Inhibitory effects of d-limonene on the development of colonic aberrant crypt foci induced by azoxymethane in F344 rats . Carcinogenesis 17 , 369-372 ( 1996 )

Muto Y , Moriwaki H , Ninomiya M , Adachi S , Saito A , Takasaki T , Tanaka T , Tsurumi K , Okuno M , Tomita E , Nakamura T , Kojima T : Prevention of second primary tumors by a retinoid , polyphenolic acid , in patients with hepatocellular carcinoma . N Engl J Med 334 , 1561-1567 ( 1996 )

Komaki C , Okuno M , Onogi N , Moriwaki H , Kawamori T , Tanaka T , Mori H , Muto Y : Synergistic suppression of azoxymethane-induced foci of colonic aberrant crypts by the combination of b-carotene and peilla oil in rats . Carcinogenesis 17 , 1897-1901 ( 1996 )

Ikezaki S , Nishikawa A , Furukawa F , Tanakamaru Z , Kim H-C , Mori H , Takahashi M : Chemopreventive effects of 24R , 25-dihydroxyvitamin D3 , a vitamin D3 derivative , on glandular stomach carcinogenesis initiated by N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine and sodium chloride in rats . Cancer Res 56 , 2767-2770 ( 1996 )



Inaba R , Sugiura H , Iwata H , Mori H , Tanaka T : Immunomodulation by Maharishi Amrit Kalash 4 in mice . J Appl Nutr 48 , 10-21 ( 1996 )

Niwa K , Morishita S , Murase T , Mudigdo A , Tanaka T , Mori H , Tamaya T : Chronological observation of mouse endometrial carcinogenesis induced by N-methyl-N-nitrosourea and 17 $\beta$ -estradiol . Cancer Lett 104 , 115-119 ( 1996 )

Makita H , Tanaka T , Fujitsuka H , Tatematsu N , Satoh K , Hara A , Mori H : Chemoprevention of 4-nitroquinoline 1-oxide-induced rat oral carcinogenesis by the dietary flavonoids chalcone , 2-hydroxychalcone , and quercetin . Cancer Res 56 , 4904-4909 ( 1996 )

Mori H , Sugie S , Ino N , Rahman W , Hara A , Morishita Y , Tanaka T , Nakamura Y : Inhibitory effects of naturally-occurring and related synthetic organosulfur compounds on genotoxicity in hepatocytes and digestive organs carcinogenesis . J Environ Pathol Toxicol Oncol 16 , 281-285 ( 1997 )

Hara A , Hirose Y , Yoshimi N , Tanaka T , Mori H : Expression of Bax and bcl-2 proteins , regulators of programmed cell death , in human brain tumors . Neurol Res 19 , 623-628 ( 1997 )

Hara A , Niwa M , Yoshimi N , Mori H : Apoptotic cell death in vulnerable subpopulation of cerebellar granule cells . Acta Neuropathol 94 , 517-518 ( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Kawabata K , Mori H , Kakumoto M , Satoh K , Hara A , Sumida T , Fukutani K , Tanaka T , Ogawa H : Modulation of N-methyl-N-amyl nitrosamine-induced rat esophageal tumorigenesis by dietary feeding of diosmin and hesperidin , both alone and in combination . Carcinogenesis 18 , 761-770 ( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Ohnishi M , Mori H , Satoh K , Hara A , Sumida T , Fukutani K , Tanaka T , and Ogawa H : Chemoprevention of 4-nitroquinoline 1-oxide-induced oral carcinogenesis in rats by flavonoids diosmin and hesperidin , each alone and in combination . Cancer Res 57 , 246-252 ( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Kawabata K , Mori H , Kakumoto M , Satoh K , Hara A , Sumida T , Tanaka T , Ogawa H : Chemoprevention of azoxymethane-induced rat colon carcinogenesis by the naturally occurring flavonoids , diosmin and hesperidin . Carcinogenesis 18 , 957-965

( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Kawabata K , Mori H , Murakami A , Kuki W , Takahashi Y , Yonei H , Satoh K , Hara A , Ohigashi H , Koshimizu K : A xanthine oxidase inhibitor 1'-acetoxychavicol acetate inhibits azoxymethane-induced colonic aberrant crypt foci in rats . *Carcinogenesis* 18 , 1113-1118 ( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Kawabata K , Mori H , Murakami A , Kuki W , Takahashi Y , Yonei H , Satoh K , Hara A , Ohigashi H , Koshimizu K : Citrus auraptene inhibits chemically induced colonic aberrant crypt foci in male F344 rats . *Carcinogenesis* 18 , 2155-2161 ( 1997 )

Wang A , Yoshimi N , Ino N , Tanaka T , Mori H : WAF1 expression and p53 mutations in human colorectal cancers . *J Cancer Res Clin Oncol* 123 , 118-123 ( 1997 )

Wang A , Yoshimi N , Ino N , Tanaka T , Mori H : Overexpression of cyclin B1 in human colorectal cancers . *J Cancer Res Clin Oncol* 123 , 124-127 ( 1997 )

Deguchi T , Yang M , Ehara H , Ito S , Nishino Y , Takahashi Y , Ito Y , Shimokawa K , Tanaka T , Imaeda T , Doi T , Kawada Y : Detection of micrometastatic prostatic cancer cells in the bone marrow of patients with prostatic cancer . *Br J Cancer* 75 , 634-638 ( 1997 )

Shivapurkar N , Nikula KJ , Tanaka T , Tang ZC , Alabaster O : Absence of p53 gene mutations in rat colon carcinomas induced through the synergistic interaction between methylazoxymethanol and X-irradiation . *Cancer Lett* 113 , 9-16 ( 1997 )

Hirose Y , Yoshimi N , Suzui M , Kawabata K , Tanaka T , Mori H : Expression of Bcl-2 , Bax and Bcl-XL proteins in the azoxymethane-induced rat colonic adenocarcinomas . *Mol Carcinogenesis* 19 , 25-30 ( 1997 )

Yang M , Tanaka T , Hirose Y , Deguchi T , Mori H , Kawada Y : Chemopreventive effects of diosmin and hesperidin on N-butyl-N- ( 4-hydroxybutyl ) nitrosamine-induced urinary bladder carcinogenesis in male ICR mice . *Int J Cancer* 73 , 719-724 ( 1997 )

Tanaka T , Makita H , Kawabata K , Mori H , El-Bayoumy K : 1 ,4-Phenylenebis( methylene ) selenocyanate exerts exceptional chemopreventive activity in rat tongue carcinogenesis . *Cancer Res* 57 , 3644-3648 ( 1997 )

Tanakamaru Z , Nishikawa A , Furukawa F , Imazawa T , Lee I-S , Kasahara K , Tanaka T , Takahashi M : Failure of dietary  $\alpha$ -difluoromethylornithine to inhibit gastric carcinogenesis in rats after 8 weeks of treatment with N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine and sodium chloride . *Cancer Lett* 120 , 95-100 ( 1997 )

Nakatani K , Yoshimi N , Mori H , Yoshimura S , Sakai H , Shinoda J , Sakai N : The significance of telomerase activity in human brain tumors . *Cancer* 80 , 471-476 ( 1997 )

Suzui M , Ushijima T , Yoshimi N , Nakagawa H , Hara A , Sugimura T , Nagao M , Mori H : No involvement of Apc gene mutations in ulcerative colitis-associated rat colon carcinogenesis induced by 1-hydroxyanthraquinone and methylazoxymethanol acetate . *Mol Carcinog* 20 , 389-394 ( 1997 )

Niwa M , Hara A , Kanamori Y , Kohno K , Yoshimi N , Mori H , Uematsu T : Comparison of susceptibility to apoptosis induced by rhTNF- and cycloheximide between human circulating and exudated neutrophils . *Life Sci* 61 , 205-215 ( 1997 )

Niwa M , Hara A , Iwai T , Sassa T , Mori H , Uematsu T : Expression of Bax and Bcl-2 protein in the gerbil hippocampus following transient forebrain ischemia and its modification by phencyclidine . *Neurol Res* 19 , 629-633 ( 1997 )

Shinoda J , Sakai N , Hara A , Ueda T , Sakai H , Nakatani K : Clinical trial of external beam-radiotherapy combined with daily administration of low-dose cisplatin for supratentorial glioblastoma multiforme - A pilot study . *J Neuro-Oncol* 35 , 73-80 ( 1997 )

Nakashima T , Nishimura Y , Sakai N , Yamada H , Hara A : Germinoma in cerebral hemisphere associated with Down syndrome . *Child's Nerv Syst* 13 , 563-566 ( 1997 )

Kubota Y , Ueda T , Kagawa Y , Sakai N , Hara A : Microcystic meningioma without enhancement on neuroimaging . *Neurol Med Chir* 37 , 407-410 ( 1997 )

Kanematsu E , Matsui H , Deguchi T , Yamamoto O , Korematsu M , Kobayashi A , Nezasa S , Yamamoto N , Takeuchi T , Tanaka T , Kawada Y : Significance of AgNOR counts for distinguishing carcinoma from adenoma and hyperplasia in parathyroid gland . *Human Pathol* 28 , 421-427 ( 1997 )

Yanagihara K ,Ueno Y ,Isobe J ,Yoshimi N ,Itoh M : Hemangiopericytoma of the chest wall .  
Ann Thorac Surg 63 , 537-539 ( 1997 )

Arai T , Yasuda Y , Takaya T , Yoshimi N , Ito H , Fujiwara H : Correlation between the immunohistochemical and mRNA expression of glutathione S-transferase- p and cisplatin plus etoposide chemotherapy response in patients with untreated primary non-small cell lung cancer . Int J Oncol 11 , 127-131 ( 1997 )

Hara A , Yoshimi N , Mori H : Evidence for apoptosis in human intracranial aneurysms .  
Neurol Res 20 , 127-130 ( 1998 )

Hara A , Niwa M , Nakashima M , Iwai T , Uematsu T , Yoshimi N , Mori H : Protective effect of apoptosis-inhibitory agent , N-tosyl-L-phenylanyl chloromethyl keton against ischemia-induced hippocampal neuronal damage . J Cereb Blood Flow Metab 18 , 819-823 ( 1998 )

Hirose Y , Sugie S , Yoshimi N , Matsunaga K , Hara A , Mori H : Induction of apoptosis in colonic epithelium by administration of 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo[ 4 ,5-b ]pyridine ( PhIP ) and its modulation by a P4501A2 inducer ,beta-naphthoflavone ,in male F344 rats .  
Cancer Lett 123 , 167-172 ( 1998 )

Suzui M ,Hara A ,Suzui N ,Yoshimi N ,Mori H : Genetic alterations in a patient with Turcot's syndrome . Pathology Int 48 , 126-133 ( 1998 )

Okumura A ,Sugie S ,Wakabayashi K ,Mori H : Rapid induction of replicating DNA synthesis in response to amino-3 , 4-dimethylimidazo [ 4 , 5-f ] quinoline in rat hepatocytes . Environ Mut Res 20 , 35-40 ( 1998 )

Tanaka T , Kawabata K , Kakumoto M , Matsunaga K , Mori H , Murakami A , Kuki W , Takahashi Y , Yonei H , Satoh K , Hara A , Maeda M , Ota T , Odashima S , Koshimizu K , Ohigashi H : Chemoprevention of 4-nitroquinoline 1-oxide-induced oral carcinogenesis by citrus auraptene in rats . Carcinogenesis 18 , 425-431 ( 1998 )

Okuno M , Tanaka T , Komaki C , Nagase S , Shiratori Y , Kajiwara K , Maki T , Moriwaki H : Suppressive effect of low amounts of safflower and perilla oils on diethylnitrosamine-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Nutr Cancer 30 , 186-193 ( 1998 )

Arai T , Yasuda Y , Takaya T , Ito U , Hayakawa K , Toshima S , Shibuya C , Yoshimi N , Kashiki Y : Application of telomerase activity for screening of primary lung cancer in broncho-alveolar lavage fluid . *Oncology Reports* 5 , 405-408 , ( 1998 )

Tanaka T , Kawabata K , Kakumoto M , Hara A , Murakami A , Kuki W , Takahashi Y , Yonei H , Maeda M , Ota T , Odashima S , Yamane T , Koshimizu K , Ohigashi H : Citrus auraptene exerts dose-dependent chemopreventive activity in rat large bowel tumorigenesis : the inhibition correlates with suppression of cell proliferation and lipid peroxidation , and induction of phase II drug-metabolizing enzymes . *Cancer Res* 58 , 2550-2556 ( 1998 )

Sugie S , Okamoto K , Rahman KM , Tanaka T , Kawai K , Yamahara J , Mori H : Inhibitory effects of plumbagin and juglone on azoxymethane-induced intestinal carcinogenesis in rats . *Cancer Lett* 127 , 177-183 ( 1998 )

Morishita Y , Etori F , Sawada K , Kachi H , Yamada T , Kawamori T , Tanaka T : Sarcomatous hepatocellular carcinoma with malignant ascites : a report of two cases . *Acta Cytol* 42 , 759-764 ( 1998 )

Niwa M , Hara A , Iwai T , Nakashima M , Yano H , Yoshimi N , Mori H , Uematsu T : Relationship between magnitude of hypothermia during ischemia and preventive effect against post-ischemic DNA fragmentation in the gerbil hippocampus . *Brain Res* 794 , 338-342 ( 1998 )

Yoshimi N . , Walaszek Z , Mori Y , Mori H , Szemraj J , Adams AK , Sherman U , Hanausek M : Inhibition of azoxymethane-induced rat colon carcinogenesis by potassium hydrogen D-glucarate . *Int J Oncol* ( 1998 ) in press .

Hara A , Niwa M , Iwai T , Nakashima M , Yano H , Uematsu T , Yoshimi N , Mori H : Transport of fragmented DNA in apical dendrites of gerbil CA1 pyramidal neurons following transient forebrain ischemia . *Brain Res* 806 : 274-277 ( 1998 ) .

Suzui M , Yoshimi N , Dashword R , Ushijima T , Sugimura T , Mori H , Nagao M : Frequent mutations in the rat beta-catenine gene( *Ctnnb1* ) of ulcerative colitis-associated colon cancer induced by 1-hydroxyanthraquinone and methylazoxymethanol acetate . *Mol Carcinog* ( 1998 ) in press .

Arai T ,Yasuda Y ,Takaya T ,Toshima S ,Kashiki Y ,Yoshimi N ,Fujiwara H :ACE inhibitors and symptomless dysphagia . Lancet 352 ( 9122 ),( 1998 ) in press .

Betton L , Whitely L , Anver M , Brown R , Deschl U , Elwell M , German PG , Hartig F , Kuettler K , Mori H , Nolte T : Nomenclature of tumors/proliferative lesions of the mouse ; Gastrointestinal tract . ILSI/STP Standard Nomenclature .( 1998 ) in press .

Mori H , Matsunaga K , Tanakamaru Y , Kawabata K , Yamada Y , Sugie S , Nishikawa A : Effects of protocatechuic acid , S-methylmethanethiosulfonate , or 5-hydroxy-4- [ 2-phenyl-( E ) ethenyl ] -c ( 5H ) -furanone ( KYN-54 ) on 4- ( methylnitrosamino ) -1- ( 3-pyridyl ) -1-butanone-induced pulmonary carcinogenesis in mice . Cancer Lett ( 1998 ) in press .

Mori H ,Kawabata K ,Tanaka T ,Murakami T ,Okada T ,Murai H :Chemopreventive effects of ferulic acid and rice germ on oral or large bowel carcinogenesis . Anticancer Res ( 1998 ) in press .

## 病理学第二講座

### 著書（和文）

高見剛：感染症各論，新病理学総論，16版．菊地浩吉，吉木敬編，東京，南山堂，1998．  
378-389

### 総説（和文）

高見剛，田中雄一：CD分類国際会議1996．医学のあゆみ 182，484-486（1997）

高見剛，菊池浩吉：免疫細胞の腫瘍化 - その概念の変遷 - ．Immunology Frontier 7，393-404（1997）

### 原著（和文）

計良夏哉，加藤周司，塚本正樹，山本晃之，里田雅彦，寺田幸治，立川弘孝，井田和徳，高見剛：小腸穿孔にて発症し肺異常陰影を伴った節外性T細胞性悪性リンパ腫の1例．癌の臨床 42，1103-1108（1996）

根笹信一，藤広茂，大西隆哉，島崎信，伊藤陽一郎，中村俊之，西野好則，河田幸道，山田鉄也，高見剛：類白血病反応を呈した腎盂腫瘍の一例．泌尿器外科 10，681-684（1997）

中山崇：アルツハイマー病の老人斑形成機序に関する研究（I）急性期蛋白を中心とした免疫組織化学的検討．岐阜大学医学部紀要 45，215-224（1997）

中山崇：アルツハイマー病の老人斑形成機序に関する研究（・）Interleukin-6，Interleukin-1の老人斑形成における役割の検討．岐阜大学医学部紀要 45，225-234（1997）

井上啓司，加藤周司，森本聡，米山聡嗣，加藤幸治，井田和徳，齊尾征直：心嚢液貯留で発症し尺骨神経浸潤にて発症した回盲部原発悪性リンパ腫の1例．癌の臨床 44，480-485（1998）

齊尾征直，中山崇，田中雄一，山田治，奥野正隆，森脇久隆，高見剛：全身性非定型抗酸菌感染症で死亡した後天性免疫不全症候群の1例．病院病理 15，98（1998）

木村公則，植松孝広，野田直宏，内木隆文，齊尾征直，武藤泰敏，森脇久隆：経皮的エタノール注入療法（PEIT）後に腹腔内リンパ節転移をきたした小肝細胞癌の1例．肝臓 39，

187-192 ( 1998 )

**原著 ( 欧文・国外 )**

Kaneko H , Inoue R , Yamada Y , Kasahara K , Takami T , Kondo N : Ataxia telangiectasia syndrome with B cell lymphoma . Clinical Genetics 49 , 331-332 ( 1996 )

Tajika M , Kato T , Nagaki M , Kato M , Fukutomi Y , Ninomiya M , Moriwaki H , Saio M , Yamada T , Takami T , Muto Y : Endoscopic injection of gelatin solution for severe hemorrhagic gastric cancer . Gastrointestinal Endoscopy 43 , 247-250 ( 1996 )

Kaneko H , Inoue R , Yamada Y , Sukegawa K , Fukao T , Tashita H , Teramoto T , Kasahara K , Takami T , Kondo N : Microsatellite instability in B-cell lymphoma originating from Bloom syndrome . Int J Cancer ( Pred . Oncol . ) 69 , 480-483 ( 1996 )

Sindoh M , Takami T , Arisue M , Yamashita T , Saito T , Kohgo T , Notani K , Totsuka Y , Amemiya A : Comparison between submucosal ( extranodal ) and nodal non-Hodgkin's lymphoma ( NHL ) in the oral and maxillofacial region . J Oral Pathol Med 26 , 283-289 ( 1997 )

Hirose K , Ezaki T , Miyake M , Hi T , Khan A . Q , Kawamura Y , Yokoyama H , Takami T : Survival of Vi-capsulated and Vi-depleted Salmonella typhi strains in cultured macrophage expressing different levels of CD14 antigen . FEMS Microbiology letters 147 , 259-265 ( 1997 )



## 微生物学講座

### 著書（和文）

江崎孝行：外因性要因に関する遺伝子検査，ユニヴァーサルプライマーを使った敗血症の診断システム，遺伝子診療 96，森徹編，東京，医学書院，1996． 74-77

江崎孝行：輸入感染症 - 国際化時代への警告，腸チフス，多田功編，東京，医歯薬出版，1996． 62-65

江崎孝行，河村好章：緑膿菌の分説と同定，緑膿菌の今日的意味，斎藤厚，山口恵三編，大阪，医薬ジャーナル社，1996． 19-26

江崎孝行：人の感染症の増加と温暖化/ 温暖化に追われる生き物，東京，築地書房，1997． 317-385

江崎孝行，河村好章：抗酸菌検査法 - 遺伝子技術による迅速診断，東京，医薬出版，1997． 53-62

江崎孝行，河村好章：細菌の分類体系の概要，抗菌のすべてーヘルスケアとメディカル．食品衛生・繊維・プラスチック・金属への展開 - ，大阪，繊維社，1997． 29-31

河村好章，江崎孝行：PCR による迅速診断，メディカル用語ライブラリー ウイルス細菌感染 new ファイル - ，東京，羊土社，1997． 142-143

河村好章，江崎孝行：分離・培養の困難な細菌の検査法，メディカル用語ライブラリー - ウイルス細菌感染 new ファイル - ，東京，羊土社，1997． 146-147

江崎孝行，河村好章：鼻疽および類鼻疽，細菌学，東京，朝倉書店，( in press )

### 総説（和文）

河村好章，江崎孝行：Enterococcus 属の分類． 検査と技術 24，545-548（1996）

江崎孝行：感染症の変貌と分子生物学． 生命化学 2，7-13（1996）

河村好章：同定キットの使用法． 検査と技術 24，303-306（1996）

江崎孝行：分離した細菌や真菌はどこまで同定すべきか． 検査と技術 24，55-55（1996）

河村好章：新しいレンサ球菌同定キット． 臨床検査 40，409-416（1996）

江崎孝行，河村好章：コアグラゼ陰性のブドウ球菌の新分類． 臨床検査 40，387-391（1996）

江崎孝行：細菌性肺炎の非侵襲性迅速診断法の作成に向けて．健康保持増進のための健康管理．免疫低下防止研究事業．ヒューマンライフサイエンス財団．1，212-213（1997）

江崎孝行，河村好章：感染症の迅速診断の進歩． Modern Physician 17，851-853（1997）

甲畑俊郎：神経変性疾患の感染原因説；感染因子としてのノカルジア．Molecular Medicine 34，885-886（1997）

河村好章，江崎孝行：腸内細菌の新菌種． Medical Technology 25，956-960（1997）

河村好章，江崎孝行：遺伝子に基づく細菌分類学． 最新医学 1，75-79（1997）

橋本安弘：チフス菌の Vi 抗原の遺伝子の解析とその発現調節に関する研究．日本細菌学雑誌 52，649-657（1997）

江崎孝行：院内感染をおこす原因菌． 臨床看護 24，352-356（1998）

江崎孝行：腸管出血性大腸菌およびその他の腸管系病原体の検出法指針とマニュアルの作成に向けて．日本臨床微生物学雑誌 8，65-69（1998）

河村好章：レンサ球菌の分類の現状．日本細菌学雑誌 in press（1998）

#### 原著（和文）

小松 方，島川宏一，相原雅典，松尾収二，江崎孝行：Polymerase chain reaction およびアルカリフォスターゼ 標識オリゴヌクレオチドプローブを用いた 3 菌種の抗酸菌及び属の検出同定法．感染症学雑誌 70，141-150（1996）

大塚喜人，黒田真紀子，鈴木克，渡辺博，江崎孝行：CLEARVIEW STREPA による A 群溶連菌抗原迅速診断キットの有用性．臨床と微生物 24，119-122（1997）

大塚喜人，北村成大，瀬田斉，江崎孝行：慢性心不全に合併した Legionella 肺炎の 1 例．  
日本臨床微生物学雑誌 7，34-38 (1997)

李娜，青山透，堀弘，江崎孝行：24 時間循環風呂のレジオネラ汚染とその感染防止対策．  
感染症学雑誌 71，763-769 (1997)

古賀宏延，河野茂，河村好章，江崎孝行：Ligase Chain Reaction ( LCR ) 法を用いた結核菌  
群 DNA 検出試薬の臨床的検討． 感染症学雑誌 71，1246-1251 (1997)

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Nishibuchi M , Ezaki T : The Thermostable Direct Hemolysin Gene ( tdh ) of *Vibrio hollisae*  
is Dissimilar in Prevalence to and Phylogenetically Distant from the tdh Genes of Other  
Vibrios : Implications in the Horizontal Transfer of the tdh Gene . *Microbiol . Immunol* 40 ,  
59-65 ( 1996 )

Itoh Y , Hirose K , Miyake M , Khan AQ , Hashimoto Y , Ezaki T : Amplification of rfbE and  
fliC genes by polymerase chain reaction for identification and detection of *Salmonella* serovar  
Enteritidis , Dublin , and Gallinarum-Pullorum . *Microbiol . Immunol* 41 ,791-794( 1997 )

Hou XG , Kawamura Y , Ezaki T , Genetic Identification of Members of the genus  
*Corynebacterium* at genus and species levels . with 16S rDNA targeted probes . *Microbiol .  
Immunol* 41 , 453-460 ( 1997 )

Yabuuchi E , Kawamura Y , Kosako Y , Ezaki T : Emendation of Genus *Achromobacter* and  
*Achromobacter xylosoxidans*( Yabuuchi and Yano ) and proposal of *Achromobacter ruhlandii*  
( packer and Vishniac ) comb . nov . , *Achromobacter piechaudii* ( kiredjian et al . ) Comb .  
nov . , and *Achromobacter xylosoxidans* subsp . *denitrificans* ( ruger and Tan ) comb . nov .  
*Microbiol Immunol* 42 , 429-438 ( 1998 )

Nakamine M , Kono Y , Abe S , Hoshino C , Shirai J , Ezaki T : Dual infection with  
Enterotoxigenic *Escherichia coli* and Porcine Reproductive and Respiratory Syndrome Virus  
Observed in Weaning Pigs that Died Suddenly . *J Vet Med Sci* . 60 , 555-561 ( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Wayne LG , Good RC , Bottger EC , Butler R , Dorsch M , Ezaki T : Semantide-and  
Chemotaxonomy-Based Analyses of Some Problematic Phenotypic Clusters of Slowly

Growing Mycobacteria , a Cooperative Study of the International Working Group on Mycobacterial Taxonomy . Int . J . Syst . Bacteriol 46 , 280-297 ( 1996 )

Tishyadhigama P ,Srisawai P ,Yabuuchi E ,Ezaki T :Environmental Surveillance of Legionella Species in Thailand . J . Med . Assoc . Thai 78 , 58-70 ( 1996 )

Sang , W . K . , S . M . Saidi , H . Yamamoto , T . Ezaki , T . Iida , M . Yoh , T . Honda . Haemorrhagic Colitis Due to Escherichia coli 0157 : H7 in Kenya . Journal of Tropical Pediatrics 42 118-119 . ( 1996 )

Hashimoto Y ,Khan AQ ,Ezaki T : Positive Autoregulation of vipR Expression in ViaB Region Encoded Vi Antigen of Salmonella typhi . J . Bacteriol . 178 , 1430-1436 ( 1996 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Ezaki T , Saito I , Kawada Y : Quinolone-resistant Neisseria gonorrhoeae : Correlation of alterations in the GyrA subunit of Gyrase and the ParC subunit of topoisomerase with antimicrobial susceptibility profiles . Antimicro . Agents Chemotherapy 40 , 1020-1023 ( 1996 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ezaki T : Uncommon occurrence of mutations in the gyrB gene associated with Quinolone resistance in clinical isolates Neisseria gonorrhoeae . Antimicrobial . Agents Chemo 40 , 2437-2438 ( 1996 )

Yamamoto H , Hashimoto Y , Ezaki T : Study of nonculturable Legionella pneumophila cells during multiple-nutrient starvation FEMS 20 , 149-154 ( 1996 )

Matsui M , Kawahara K , Ezaki T , Nakano M : Biological activities of lipopolysaccharide of Burkholderia ( Pseudomonas ) pseudomallei . FEMS Microbiol . Letters 137 , 79-83 ( 1996 )

Takemura H , Kaku M , Kohno S , Tanaka H , Yoshida R , Ishima K , Mizukane R , Koga H , Hara K , Usui T , Ezaki T : Cloning and expression of human defensin HNP-1 genomic DNA in Escherichia coli . J . Microbiol . Methods 25 , 287-293 ( 1996 )

Hirose K , Ezaki T , Miyake M , Li T , Khan AQ , Kawamura Y , Yokoyama H , Takami T : Survival of Vi-capsulated and Vi-deleted Salmonella typhi strains in cultured macrophage expressing different levels of CD14 antigen FEMS Microbiol . Lett 147 , 259-265 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Ezaki T : Rapid screening of point mutation of the *Neisseria gonorrhoeae* parC gene associated with resistance to quinolones . J . Clin . Microbiol 35 , 948-950 ( 1997 )

Ito Y , Nagano I , Ezaki T : Laboratory investigation of enteroaggregative *Escherichia coli* O untypable : H10 associated with a massive outbreak of gastrointestinal illness . J . Clin . Microbiol 35 , 2546-2550 ( 1997 )

Yasuda M , Deguchi T , Masahiro M , Tada K , Komeda H , Ezaki T , Kawada Y : Development and Clinical Application of a Polymerase Chain Reaction-Based Assay for Detecting *Bacteroides ureolyticus* , J Infect Chemother 3 , 150-153 ( 1997 )

Hashimoto Y , Khan AQ : Comparison of *ViaB* regions of *Vi*-positive organisms . FEMS Microbiol Lett 157 , 55-57 ( 1997 )

Ito Y , Nagano I , Ezaki T : Laboratory investigation of enteroaggregative *Escherichia coli* O untypable : H10 associated with a massive outbreak of gastrointestinal illness . J . Clin . Microbiol 35 , 2546-2550 ( 1997 )

Sultana F , Kawamura Y , Ezaki T : Determination of 23S rRNA Sequences from members of genus *Streptococcus* and Characterization of genetically distinct organisms previously identified as members of *Streptococcus anginosus* group . FEMS Microbiol Lett 158 , 223-230 ( 1998 )

Kawamura Y , Hou XG , Todome Y , Sultana F , Hirose K , Shu SE , Ezaki T , Okuni H : *Streptococcus peroris* sp . nov . and *Streptococcus infantis* sp . nov . ; new members of the *Streptococcus mitis* group , isolated from human clinical specimens . Int . J . Syst . Bacteriol 48 , ( 1998 )

Miyake M , Zhao L , Ezaki T , Hirose K , Khan AQ , Kawamura Y , Shima R , Kamijo M , Masuzawa T Yanagihara Y : *Vi*-deficient and nonfimbriated mutants of *Salmonella typhi* agglutinate human blood type antigens and are hyperinvasive . FEMS Microbiol Lett 161 , 75-82 ( 1998 )

Khan AQ , Zhao L , Hirose K , Miyake M , Li T , Hashimoto Y , Kawamura Y , Ezaki T :

Salmonella typhi rpoS mutant is less cytotoxic than the parent strain but survives inside resting THP-1 macrophages . FEMS Microbiol Lett 161 , 201-208 ( 1998 )

Nakamine M , Kono Y , Abe S , Hoshino C , Shirai J , Ezaki T : Dual infection with Enterotoxigenic Escherichia coli and Porcine Reproductive and Respiratory Syndrome Virus Observed in Weaning Pigs that Died Suddenly . J Vet Med Sci . 60 , 555-561 ( 1998 )

Hou XG , Kawamura Y , Sultana F , Shu S , Hirose K , Goto K , Ezaki T : Description of Arthrobacter creatinolyticus sp . nov . , isolated from human urine . Int . J . Syst . Bacteriol 48 , 423-429 ( 1998 )

Kawamura Y , Hou XG , Sultana F , Hirose K , Miyake M , Shu S , Ezaki T : Description of Staphylococcus Species among Human Clinical Specimens and Emended Description of Staphylococcus caprae . J . Clin . Microbiol 36 , 2038-2042 ( 1998 )

## 衛生学講座

### 著書（和文）

岩田弘敏：振動障害対策マニュアル．岐阜，岐阜労働基準局，1997. 63 p

岩田弘敏：有機溶剤中毒予防対策マニュアル．岐阜，岐阜労働基準局，1998. 63 p

### 総説（和文）

井奈波良一：公衆衛生と小児の事故．小児科臨床 50，2075-2082（1997）

### 原著（和文）

藤田節也，井奈波良一，岩田弘敏，牧野茂徳，吉田英世：岐阜県における全身性強皮症の記述疫学的研究．西日本皮膚科 58，640-648（1996）

井奈波良一，小野桂子，鷲野嘉映，岩田弘敏，吉田英世，岩崎秀哉，岸田敏彦：長距離トラック運転手のライフスタイル．公衆衛生 60，824-827（1996）

井奈波良一，岩田弘敏，加須屋実，杉浦春雄：医学生の東洋医学，温泉医学に対する意識調査 - 岐阜大学と富山医科薬科大学の比較 - ．東洋医学 25，38-43（1997）

杉浦春雄，西田弘之，杉浦浩子，井奈波良一，岩田弘敏：マウスの非特異的免疫機構に及ぼす自由運動の効果．日本衛生学雑誌 51，734-741（1997）

藤田節也，井奈波良一，サイド・モハマド・ミルボド，永田知里：全身性強皮症の発症と職業歴および産科・婦人科的要因との関係：患者対照研究．岐阜大医紀 45，10-15（1997）

岩田弘敏，井奈波良一，藤田節也，高田晴子，嶋村清志，高塚直子，宮田延子，小野桂子，松田好美，前野浩子，梶間和枝，梅村貞子：岐阜県下市町村における高齢者のための社会的支援の実態．厚生学 44，9-14（1997）

小野桂子，井奈波良一，吉田英世，岩田弘敏：高尿酸血症への職業ストレスおよび食物摂取状況の関与．日本公衆衛生雑誌 44，239-246（1997）

高田和夫，杉田誓子，藤波隆夫，長嶋正実，岩田弘敏，高田晴子，岩田豊：高校一年生の「肥満」をどのように判定するか．日本総合健診医学会誌 24，382-388（1997）

岸田敏彦, 井奈波良一, 岩田弘敏: 最大酸素摂取量と身体活動度, 血圧, 血清脂質との関係.  
日本衛生学雑誌 52, 475-480 (1997)

宮田延子, 大森正英, 水野敏明, 井奈波良一, 岩田弘敏: 在宅高齢者の健康度と生活習慣 第  
1 報 健康生活習慣からみた高齢者の特長. 日本公衆衛生雑誌 44, 574-585 (1997)

村田公一, 井奈波良一, 岩田弘敏: 断続純音を重畳した場合の持続ホワイトノイズの脈音化  
現象. 日本衛生学雑誌 52, 562-566 (1997)

杉浦春雄, 杉浦浩子, 梶間和枝, 植屋悦男, 井奈波良一, 岩田弘敏: 閉経後女性の血清脂質  
および免疫機能に及ぼす長期継続運動の効果. 保健の科学 39, 815-819 (1997)

井奈波良一, 井上真人, 岸田敏彦, 岩田弘敏: 医薬情報担当者のライフスタイルと健康に関  
する研究. 日本災害医学会会誌 45, 655-663 (1997)

井奈波良一, 高田晴子, 藤田節也, 井上真人, 鷺野嘉映, 岩田弘敏: 冬期の遺跡発掘作業に  
関する研究. 日本災害医学会会誌 45, 715-724 (1997)

桑野(大賀)稔子, 高田晴子, 鷺野嘉映, 井奈波良一, 岩田弘敏: 若年女性の咬合力, 身体  
組成および咀嚼活動量の評価. 日本衛生学雑誌 52, 624-630 (1998)

嶋村清志, 高塚直子, 井奈波良一, 岩田弘敏, 吉田英世: 老年痴呆発症に關与する生活環境  
要因. 日本公衆衛生雑誌 45, 203-212 (1998)

井上真人, 井奈波良一, 鷺野嘉映, 高田晴子, 足立はるえ, 岩田弘敏: 一情報処理事業所男  
子従業員における精神健康と自覚症状, ライフスタイル. 日本災害医学会会誌 46, 15-22  
(1998)

#### 原著 (欧文・国内)

Mirbod SM, Inaba R, Iwata H: Low back pain among different groups of subjects exposed  
to hand-arm transmitted vibration. Ind Health 35, 212-221 (1997)

Inaba R, Sugiura H, Iwata H, Tanaka T: Dose-dependent activation of immune function  
in mice by ingestion of Maharishi Amrit Kalash 5. Environ Health Prev Med 2, 35-39 (1997)



Inaba R , Sugiura H , Iwata H , Tanaka T : Dose-dependent activation of immune function in mice by ingestion of Maharishi Amrit Kalash 4. *Environ Health Prev Med* 2 , 126-131 ( 1997 )

Takada H , Washino K , Hanai T , Iwata H : Response of parathyroid hormone to exercise and bone mineral density in adolescent female athletes. *Environ Health Prev Med* 2 , 161-166 ( 1998 )

Takada H , Washino K , Nagashima M , Iwata H : The response of parathyroid hormone to anaerobic exercise in adolescent female athletes. *Acta Paediatr Jpn* 40 , 73-77 ( 1998 )

Takada H , Mirbod SM , Iwata H : The relative vascular age derived from acceleration plethysmogram : A new attempt. *Jpn J Appl Physiol* 28 , 115-121 ( 1998 )

Miyashita K , Tomida K , Morioka I , Sakai T , Iwata H : Health surveillance of forestry workers exposed to hand-arm vibration in Wakayama from 1974 to 1996. *Ind Health* 36 , 160-165 ( 1998 )

Mirbod SM , Yoshida H , Jamali M , Miyashita K , Takada H , Inaba R , Iwata H : Finger skin temperature and laser-doppler finger blood flow in subjects exposed to hand-arm vibration. *Ind Health* 36 , 171-178 ( 1998 )

Okada M , Okada Y , Inaba R , Iwata H : Scavenging effects of methanolic extracts of blood beans on free-radical species. *Environ Health Prev Med* 3 , 6-11 ( 1998 )

Sugiura H , Inaba R , Iwata H , Nishida H , Tanaka T : Modifying effects of Maharishi Amrit Kalash 4 and 5 on phagocytic and digestive functions of macrophages. *Environ Health Prev Med* 3 , 50-54 ( 1998 )

Washino K , Takada H , Iwata H : The increase in lean body mass of pre-pubescent Japanese boys at 10 to 11 years of age. *Environ Health Prev Med* 3 , 102-104 ( 1998 )

Takada K , Sugita S , Nagashima M , Takada H , Iwata H : What triggered sudden death in children at school ? *Acta Paediatr Jpn* , ( in press )

#### **原著 ( 欧文・国外 )**

Inaba R , Sugiura H , Iwata H , Mori H , Tanaka T : Immunomodulatory effects of Maharishi

Amrit Kalash 4 in mice. Journal of Applied Nutrition 48 , 10-21 ( 1996 )

Mirbod SM , Inaba R , Iwata H : Subjective symptoms among motorcycling traffic policemen. Scand J Work Environ Health 23 , 60-63 ( 1997 )

Takada H , Washino K , Harrell JS , Iwata H : Acceleration plethysmography to assess atherosclerosis-The association between the wave pattern and aging-. Med Prog Technol 21 , 205-211 ( 1997 )

Mirbod SM , Iwata H : Proposal for hand-arm vibration exposure limits adopted for Japanese workers operating hand-held vibrating tools. Int Arch Occup Environ Health 69 , 418-422 ( 1997 )

Mirbod SM , Yoshida H , Jamali M , Masamura K , Inaba R , Iwata H : Assessment of hand-arm vibration exposure among traffic police motorcyclists. Int Arch Occup Environ Health 70 , 22-28 ( 1997 )

Takada H , Washino K , Iwata H : Risk factors for low bone mineral density-The effects of lean body mass-. Prev Med 26 , 633-638 ( 1997 )

Takada H , Harrell J , Deng S , Bangdiwara S , Washino K , Iwata H : Eating habits , activity , lipids and body mass index in Japanese children : The Shiratori Children Study. Int J Obesity 22 , 470-476 ( 1998 )

Takada H , Iwata H : Application of the bio-impedance method : Electrocardiographic amplitudes in Japanese obese adolescents , defined by body mass index and body fat. Proceedings of 10<sup>th</sup> International Conference on Electrical Bio-impedance 315-318 ( 1998 )

#### **その他 (和文)**

井口恒男 , 児玉文夫 , 田中耕 , 大塚富美子 , 日置敦巳 , 中島正夫 , 木村英道 , 高岡芳美 , 栗田孝子 , 井奈波良一 , 岩田弘敏 : 母子保健事業の一元化に伴う課題と対応 . 日本公衆衛生雑誌 43 , 578-58 ( 1996 )

館正知 , 岩田弘敏 : 寒冷暑熱の人体影響に関する研究 . 平成 8 年度災害科学に関する委託研究報告書 1-27 ( 1997 )

岩田弘敏，井奈波良一，藤田節也，富田国男，飯田忠男：岐阜県における騒音性難聴の管理に関する研究．平成 8 年度産業保健調査研究報告書 1-75 ( 1997 )

井奈波良一，鳥澤重男，大山昭男，高田晴子：岐阜県における屋外労働者の健康労働に関する研究 - 遺跡発掘者を対象にして - ．平成 8 年度産業保健調査研究報告書 1-75 ( 1997 )

鳥澤重男，岩田弘敏，井奈波良一，川上憲人，井上真人，高田晴子：岐阜県における情報処理事業所における従業員の精神健康調査 - 自覚症状・ライフスタイルとの関係について - ．平成 8 年度産業保健調査研究報告書 1-75 ( 1997 )

館正知，岩田弘敏：グラインダー作業者の振動障害．平成 9 年度災害科学に関する委託研究報告書 1-27 ( 1998 )

井奈波良一，鳥澤重男，岩田弘敏，モハマド・セイド・ミルボド，井上真人：長距離トラック運転手の健康と安全に関する研究．平成 9 年度産業保健調査研究報告書 1-46 ( 1998 )

## 公衆衛生学講座

### 著書（和文）

清水弘之：再生不良性貧血，疫学ハンドブック 重要疾患の疫学と予防．日本疫学会編，東京，南江堂，1998．268-270

川上憲人：従業員援助プログラム（EAP），産業精神保健ハンドブック．加藤正明監修，日本産業精神保健学会編，東京，中山書店，1998．422-432

### 総説（和文）

清水弘之：消化器がん検診の意義．日本医事新報 3789，106-107（1996）

川上憲人：職場のメンタルヘルス - 第1次，第2次および第3次予防の方法 - ．産業医学ジャーナル 19（2），20-24（1997）

川上憲人，河島美枝子，榊元武，大久保浩司，広田昌利，渡辺直登，林剛司，原谷隆史，岩田昇，今中雄一，荒木俊一，村田勝敬：職場におけるストレス対策 介入研究による効果評価．産業医学ジャーナル 19（6），49-53（1996）

清水弘之：MDSの疫学．血液・腫瘍科 34（3），173-176（1997）

清水弘之：骨髄異形成症候群 - 前白血病状態を解き明かす 骨髄異形成症候群の疫学．Modern Physician 17（10），1161-1164（1997）

川上憲人，伊藤弘人，長尾まき子：従業員援助プログラム（EAP）からみた産業精神保健の将来．産業精神保健 5（1），30-36（1997）

川上憲人：職業性ストレスの健康影響 その定量的評価と経済的影響．産業ストレス研究（Job Stress Res.）5（1），2-6（1997）

川上憲人：Job Content Questionnaire（JCQ）の使用経験．産業ストレス研究（Job Stress Res.）4（2），88-92（1997）

川上憲人，清水弘之：公衆衛生と研究のノウハウ．公衆衛生 61（11），787-793（1997）

川上憲人：質問紙による健康測定 第6回 Job Content Questionnaire (JCQ) . 産業衛生学雑誌 39, A129-130 (1997)

川上憲人：諸外国の精神疾患の疫学 - 精神分裂病, 感情障害, 神経症 - . 精神医学レビュー 24, 46-53 (1997)

川上憲人, 原谷隆史, 橋本修二：職業性ストレスの健康影響の評価 . 産業精神保健 5, 255-258 (1997)

川上憲人, 岩田昇：ストレスの考え方 - 評価尺度の立場から . 心療内科 2, 118-124 (1998)

### 原著 (和文)

三島徳雄, 永田頌史, 久保田進也, 原谷隆史, 川上憲人, 荒記俊一：職場におけるストレスと精神健康 . 心身医学 36, 146-151 (1996)

大脇淳子, 高塚直能, 川上憲人, 清水弘之：24 時間思い出し法による各種栄養素摂取量の季節変動 . 栄養学雑誌 54 (1), 11-18 (1996)

伊藤宜則, 清水弘之, 吉村健清, 橋本勉, 早川式彦, 篠原力雄, 高塚直能, 徳井教孝, 笠松隆洋, 鈴木康司：日本の地域住民における血清過酸化脂質値と血清カロテノイド値途の関連性 . Vitamins 71 (9), 427-434 (1997)

仁尾義則, 戸部隆吉, 富永祐民, 清水弘之, 中島聰總, 紀藤毅, 太田和雄：胃ガン切除症例に対する OK - 432 経口カプセル剤 (OK - 432 PO) の二重盲検法による臨床第 相試験 . Biotherapy 11, 1087-1100 (1997)

井戸正代, 川上憲人, 清水弘之, 岡本祥成, 白井曜子：地域高齢者の活動志向性に影響を及ぼす要因および実際の社会活動との関連 . 日本公衆衛生雑誌 44 (12), 894-900 (1997)

橋本修二, 青木利恵, 玉越暁子, 柴崎智美, 永井正規, 川上憲人, 五十里明, 尾島俊之, 大野良之：高齢者における社会活動状況の指標の開発 . 日本公衆衛生雑誌 44, 760-768 (1997)

橋本修二, 青木利恵, 玉越暁子, 永井正規, 川上憲人, 五十里明, 大野良之：高齢者の社会活動における市町村の対策実施状況と個人の活動状況の関連 - 既存統計に基づく検討 - . 厚生指標 45 (2), 18-22 (1998)

#### 原著 ( 欧文 · 国内 )

Nagata C : Assessment of preference for breast cancer chemoprevention in Japanese young women. *Jpn J Cancer Res* 88 , 792-796 ( 1997 )

Suzuki I , Kawakami N , Shimizu H : Reliability and validity of questionnaire for assessment of energy expenditure and physical activity in epidemiologic studies. *J Epidemiol* 8 ( 3 ) , 152-159 ( 1998 )

Nagata C , Ohwaki A , Kurisu Y , Shimizu H : Food diversity and validity of semiquantitative food frequency questionnaire. *J Epidemiology* ( in press )

Takatsuka N , Kawakami N , Ito Y , Kabuto M , Shimizu H : Effect of smoking on serum levels of carotenoids and  $\alpha$ -tocopherol. *J Epidemiol* ( in press )

#### 原著 ( 欧文 · 国外 )

Yu SZ , Shimizu H : Cancer patterns in different racial/ethnic groups. *J Epidemiol* 6 ( 4 ) , S181-S182 ( 1996 )

Nagata C , Ido M , Shimizu H , Misao A , Matsuura H : Choice of response scale for health measurement: Comparison of 4 ,5 ,7-point scale and visual analog scale. *J Epidemiol* 6( 4 ) , 192-197 ( 1996 )

Nagata C , Matsushita Y , Shimizu H : Prevalence of hormone replacement therapy and user's characteristics : a community survey in Japan. *Maturitas* 25 , 201-207 ( 1996 )

Aoki R , Ohno Y , Tamakoshi A , Kawakami N , Nagai M , Hashimoto S , Ikari A , Shimizu H , Sakata K , Kawamura T , Wakai K , Senda M : Lifestyle determinants for social activity levels among the Japanese elderly. *Arch Gerontol Geriatr* 22 , 271-286 ( 1996 )

Ido M , Nagata C , Kawakami N , Shimizu H , Yoshida Y , Nomura T , Mizoguchi H : A case-control study of myelodysplastic syndromes among Japanese men and women. *Leukemia Res* 20 ( 9 ) , 727-731 ( 1996 )

Nagaya T , Yoshida H , Hayashi T , Takahashi H , Kawai M , Matsuda Y : Serum lipid profile in relation to milk consumption in a Japanese population. *J Am College of Nutrition* 15 ( 6 ) ,

625-629 ( 1996 )

Hu YH , Kuroishi T , Matsushita Y , Nagata C , Shimizu H : Birth season and breast cancer risk in Japan. *Breast Cancer Res Treat* 39 , 315-319 ( 1996 )

Kawakami N , Iwata N , Tanigawa T , Oga H , Araki S , Fujihara S , Kitamura T : Prevalence of mood and anxiety disorders in a working population in Japan. *JOEM* 38( 9 ) ,899-905( 1996 )

Kawakami N , Fujigaki Y : Reliability and validity of the Japanese version of Job Content Questionnaire : Replication and Extension in Computer Company Employees. *Industrial Health* 34 , 295-306 ( 1996 )

Shimizu H , Nagata C , Komatsu S , Morita N , Higashiiwai H , Sugahara N , Hisamichi S : Decreased serum retinol levels in women with cervical dysplasia. *British J Cancer* 73 , 1600-1604 ( 1996 )

Kawakami N , Araki S , Kawashima M , Masumoto T , Hayashi T : Effects of work-related stress reduction on depressive symptoms among Japanese blue-collar workers. *Scand J Work Environ Health* 23 ( 1 ) , 54-59 ( 1997 )

Kawakami N , Takatsuka N , Shimizu H : Occupational factors , smoking habits and tobacco withdrawal symptoms among male Japanese employees. *Ind Health* 35 , 9-15 ( 1997 )

Hu YH , Nagata C , Shimizu H , Kaneda N , Kashiki Y : Association of body mass index , physical activity ,and reproductive histories with breast cancer : a case-control study in Gifu , Japan. *Breast Cancer Res Treat* 43 , 65-72 ( 1997 )

Kaneda N ,Nagata C ,Kabuto M ,Shimizu H : Fat and fiber intakes relation to serum estrogen concentration in premenopausal Japanese women. *Nutrition and Cancer* 27 ( 3 ) , 279-283 ( 1997 )

Kawakami N , Tanigawa T , Araki S , Nakata A , Sakurai S , Yokoyama K , Morita Y : Effects of job strain on helper-inducer( CD4+CD29+ )and suppressor-inducer( CD4+CD45RA+ ) T cells on Japanese blue-collar workers. *Psychotherapy and Psychosomatics* 66 , 192-198 ( 1997 )

Nagata C , Kawakami N , Shimizu H : Trends in the incidence rate and risk factors for breast cancer in Japan. *Breast Cancer Res Treat* 44 , 75-82 ( 1997 )

Nagata C , Kabuto M , Takatsuka N , Shimizu H : Associations of alcohol , height , and reproductive factors with serum hormone concentrations in postmenopausal Japanese women. *Breast Cancer Res Treat* 44 , 235-241 ( 1997 )

Nagata C , Matsushita Y , Inaba S , Kawakami N , Shimizu H : Unapproved use of high-dose combined pills in Japan : community study on prevalence and health characteristics of the users. *Preventive Med* 26 , 565-569 ( 1997 )

Nagata C , Kaneda N , Kabuto M , Shimizu H : factors associated with serum levels of estradiol and sex hormone-binding globulin among premenopausal Japanese women. *Environmental Perspectives* 105 ( 9 ) , 994-997 ( 1997 )

Suzuki I , Kawakami N , Shimizu H : Accuracy of calorie counter method to assess daily energy expenditure and physical activities in athletes and nonathletes. *J Sports Med Physical Fitness* 37 ( 2 ) , 131-136 ( 1997 )

Takatsuka N , Kurisu Y , Nagata C , Owaki A , Kawakami N , Shimizu H : Validation of simplified diet history questionnaire. *J Epidemiol* 7 ( 1 ) , 33-41 ( 1997 )

Nagata C , Kaneda N , Kabuto M , Shimizu H : Factors associated with serum levels of estradiol and sex hormonebinding globulin among premenopausal Japanese women. *Environmental Health Perspectives* 105 ( 9 ) , 994-997 ( 1997 )

Nagata C , Kabuto M , Kurisu Y , Shimizu H : Decreased serum estradiol concentration associated with high dietary intake of soy products in premenopausal Japanese women. *Nutrition and Cancer* 29 ( 3 ) , 228-233 ( 1997 )

Kawakami N , Takatsuka N , Shimizu H , Ishibashi H : Effects of smoking on the incidence of non-insulin-dependent diabetes mellitus. *Am J Epidemiol* 145 ( 2 ) , 103-109 ( 1997 )

Nagata C , Takatsuka N , Kurisu Y , Shimizu H : Decreased serum total cholesterol concentration is associated with high intake of soy products in Japanese men and women. *J Nutrition* 128 , 209-213 ( 1998 )



Nagata C , Kabuto M , Shimizu H : Association of coffee , green tea , and caffeine intake with serum concentration of estradiol and sex hormone-binding globulin in premenopausal Japanese women. Nutrition and Cancer 30 ( 1 ) , 21-24 ( 1998 )

Kawakami N , Takatsuka N , Shimizu H , Takai A : Life-time prevalence and risk factors of tobacco/nicotine dependence in male ever-smokers in Japan. Addiction 93 ( 7 ) , 1023-1032 ( 1998 )

Kawakami N , Takatsuka N , Inaba S , Shimizu H : Development of a screening questionnaire for tobacco/nicotine dependence according to ICD-10 , DSM-III-R and DSM-IV. Addictive Behav ( in press )

Kawakami N , Haratani T , Araki S : Job strain and arterial blood pressure , serum cholesterol and smoking as risk factors of coronary heart disease in Japan. Int Arch Occup Environ Health ( in press )

Nagata C , Shimizu H , Higashiiwai H , Sugahara N , Morita N , Komatsu S , Hisamichi S : Serum retinol level and risk of subsequent cervical cancer in cases with cervical dysplasia. Cancer Investigation ( in press )

Nagata C , Shimizu H , Hirashima K , Kakishita E , Fujimura K , Niho Y , Karasawa M , Oguma S , Yoshida Y , Mizoguchi H : Hair dye use and occupational exposure to organic solvents as risk factors for myelodysplastic syndrome. Leukemia Res ( in press )

#### その他

Nagata C , Shimizu H : Risk factors for breast cancer : Finding from comparative studies on Japanese in Japan , Japanese and whites in the United States. Gann Monograph on Cancer Res 44 , 51-57 ( 1996 )

Yu SZ , Shimizu H : Cancer patterns in different racial/ethnic groups. J Epidemiol 6 ( 4 ) , s181-s182 ( 1996 )

## 法医学講座

### 原著（和文）

武内康雄,大谷 勲:救急蘇生術に伴う心筋の変化について.法医病理 2,150-154(1996)

永井 淳,山田定男,武内康雄,中村 功,大谷 勲:毛髪からの DNA 型の検出.日毛美誌 9,5-9(1996)

武内康雄,中村 功,永井 淳,大谷 勲:低温環境下で死亡した事例に認められた胃と肝臓の組織学的所見について.法医学の実際と研究 39,143-147(1996)

中村 功,武内康雄,永井 淳,大谷 勲:著明な引きずり損傷を認めた2例.法医学の実際と研究 39,223-226(1996)

永井 淳,武内康雄,山田定男,中村 功,大谷 勲,山本直樹,河田幸道:腎移植後に発生した腫瘍類似病変の STR 多型による発生起原の同定. DNA 多型 5,141-143(1997)

宮部芳之,松浦一也,中山俊裕,出屋敷喜宏,大谷 勲,原 明:ジヒドロジオール脱水素酵素の高感度蛍光測定法.薬学雑誌 117,167-177(1997)

中村 功,武内康雄,永井 淳,大谷 勲:交通事故屍に認めた頸部開創の3剖検例.法医学の実際と研究 40,211-215(1997)

武内康雄,永井 淳,中村 功,大谷 勲:トレーラーの積み荷による特異な損傷を認めた交通事故の1例.法医学の実際と研究 40,223-227(1997)

武内康雄,永井 淳,中村 功,大谷 勲:右室異形成を認めた突然死の1例.法医学の実際と研究 40,255-259(1997)

大谷 勲,武内康雄:交通事故後,6年余に亘る,主として不定愁訴に係わる鑑定例.賠償科学 23,89-108(1998)

武内康雄,大谷 勲:遷延性肝破裂が疑われた被虐待児の一例.法医病理 4,43-48(1998)

永井 淳,山田定男,中村 功,武内康雄,大谷 勲:蛍光イメージアナライザーを用いた

8 種類の STR 座位の同時検出と日本人集団における各アレルの出現頻度 . DNA 多型 6 , ( 1998 ) , 印刷中

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Takayama T , Yamada S , Watanabe Y , Hirata K , Nagai A , Bunai Y , Ohya I : Isoelectric focusing differences in the mobility of blood and semen PGM1 bands -the role of hemoglobin as a cause -. Jpn J Legal Med 50 , 331-335 ( 1996 )

Kozma Z , Setalo J , Angyal M , Bajnoczky I , Yamada M , Yamamoto Y , Nishi K , Ushiyama I , Nishimura A , Nagai A : Analysis of short tandem repeat ( STR ) loci D18S51 and HUMBFXIII in a population from Baranya County of Hungary. DNA Polymorphism 5 , 148-153 ( 1997 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Matsuura K , Deyashiki Y , Bunai Y , Ohya I , Hara A : Aldose reductase is a major reductase for isocaproaldehyde , a product of side-chain cleavage of cholesterol , in human and animal adrenal glands. Arch Biochem Biophys 328 , 265-271 ( 1996 )

Nagai A , Yamada S , Watanabe Y , Bunai Y , Ohya I : Japanese population data on six STR loci. Advances in Forensic Haemotogenetics 6 , 587-588 ( 1996 )

Bunai Y , Nagai A , Nakamura I , Ohya I : Sudden unexpected death due to Fournier's gangrene. Int J Legal Med 110 , 104-106 ( 1997 )

Watanabe Y , Yamada S , Nagai A , Takayama T , Hirata K , Bunai Y , Ohya I : Japanese population DNA typing data for the loci LDLR , GYPA , HBGG , D7S8 , and GC. J Forensic Sci 42 , 911-913 ( 1997 )

Nagai A , Yamada S , Bunai Y , Nakamura I , Ohya I : Analysis of the STR loci D21S11 and FGA in a Japanese population. Advances in Research on DNA Polymorphisms , 410-414 ( 1997 )

Bunai Y , Ohya I , Nakamura I , Nagai A , Dewa K , Yamanouchi H : Histopathological changes of the lung in methamphetamine abusers. Advances in Legal Medicine 3 , 40-43 ( 1997 )

Watanabe Y , Yamada S , Nagai A , Bunai Y , Ohya I : Japanese population data on the loci LDLR , GYPA , HBGG , D7S8 and GC. Advances in Legal Medicine 3 , 567-570 ( 1997 )

Nagai A , Yamada S , Bunai Y , Ohya I : DNA sequence analysis of the D1S80 interalleles. *Advances in Legal Medicine* 3 , 571-573 ( 1997 )

Nagai A , Yamada S , Bunai Y , Nakamura I , Ohya I : Japanese population data on STR locus D18S51. *Current Topics in Forensic Sciences* 1 , 215-216 ( 1997 )

Kozma Z , Nagai A , Woller J , Furedi S , Setalo J , Ohya I , Nishi K : Fluorescence based co-amplification and automated detection of the STR loci HUMFIBRA and HUMD21S11 in a Hungarian Caucasian population sample. *Int J Legal Med* 111 , 103-104 ( 1998 )

Kozma Z , Nagai A , Woller J , Furedi S , Setalo J , Nishimura A , Ohya I , Bajnoczky I , Nishi K : Population genetic study for the STR loci D21S11 and HUMFIBRA analysed by using a fluorescent based co-amplification and automated detection. *Forensic Genetics* 1998 , ( in press )

Nagai A , Watanabe Y , Yamada S , Bunai Y , Nakamura I , Ohya I : Allele frequencies and sequence data of the STR locus D11S554 in a Japanese population. *Forensic Genetics* 1998 , ( in press )

Kozma Z , Nagai A , Yamada M , Setalo J , Nishimura A , Ohya I , Bajnoczky I , Nishi K : A new ".3" type variant allele in the STR locus HUMTH01. Allele 6.3 found in a Hungarian Caucasian individual. *Forensic Genetics* 1998 , ( in press )

Bunai Y , Nakamura I , Nagai A , Yamada S , Watanabe Y , Takayama T , Ohya I : Blood grouping of mixed bloodstains using immunocytochemical method. *J Forensic Sci* ( in press )

## 寄生虫学講座

### 著書（和文）

高橋優三：エキノコックス症，今日の治療指針，日野原重明，阿部正和 監修，東京医学書院，1997. 186-187

高橋優三：その他の寄生蠕虫症，今日の治療指針，日野原重明，阿部正和 監修，東京医学書院，1998. 195

高橋優三：旋毛虫，標準医動物学，石井明，鎮西康雄，太田伸生 編，東京医学書院，1998. 185-187

### 総説（国外）

Takahashi Y : Antigens of *Trichinella spiralis*. *Parasitology Today* 13 , 104-106 ( 1997 )

Ortega-Pierres MG ,Yepez-Mulia Y ,Homan W ,Gamble HR ,Lim P ,Takahashi Y ,Wassom DL , Appleton JA : Workshop on a detailed characterization of *Trichinella spiralis* antigens : a platform for future studies on antigens and antibodies to this parasite. *Parasite Immunology* 18 , 273-284 ( 1996 )

### 原著（欧文・国内）

Xu D , Nagano I , Takahashi Y : Electron microscopical observations on the normal development of *Trichinella spiralis* from muscle larvae to adult worms in BALB/c mice with emphasis on the body wall , genital organs and gastrointestinal organs. *Journal of Electron Microscopy* 46 , 347-352 ( 1997 )

Xu D , Nagano I , Takahashi Y : Electron microscopical observations of the stichosome during the normal development of *Trichinella spiralis* from muscle larvae to adult worms in BALB/c mice. *Journal of Electron Microscopy* 46 , 439-442 ( 1997 )

Ito A , Wen H , Craig PS , Ma L , Nakao M , Horii T , Pang XL , Okamoto M , Itoh M , Osawa Y , Wang XG , Liu YH : Antibody responses against Em18 and Em16 serodiagnostic markers in alveolar and cystic echinococcosis patients from northwest China. *Japanese Journal*

of Medical Science and Biology 50 , 19-26 ( 1997 )

#### 原著 ( 国外 )

Nagano I , Wu Z , Nakayama M. Takahashi Y : A simple method to design PCR primer to detect genomic DNA of parasites and its application to *Dirofilaria immitis*. Molecular and Cellular Probes. 10 , 423-425 ( 1996 )

Kasuya S , Nagano I , Ikeda T , Goto C , Shimokawa K , Takahashi Y : Apoptosis of lymphocytes in mice induced by infection with *Rickettsia tsutsugamushi*. Infection and Immunity. 64 , 3937-3941 ( 1996 )

Yoshikawa H. , Nagano I. , Yap EF. , Singh M. , Takahashi Y : DNA polymorphism revealed by arbitrarily primed polymerase chain reaction among *Blastocystis* strains isolated from humans , a chicken , and a reptile. Journal of Eukaryote Microbiology. 43 , 127-130 ( 1996 )

Nagano I , Kasuya S , Noda N , Yamashita T : Virulence in mice of *Orientia tsutsugamushi* isolated from patients in a new endemic area in Japan. Microbiol. Immunol 40 , 743-747 ( 1996 )

Rai SK , Uga S , Wu Z , Takahashi Y , Matsumura T : Use of polymerase chain reaction in diagnosis of Toxocariasis ; an experimental study. South Asian J Tropical Medicine and Public Health 28 ( 1997 )

Wu Z , Nagano I , Fukumoto S , Saito S , Yamaguchi T , Pozio E , Takahashi Y : Polymerase Chain Reaction Primers to Identify *Trichinella spiralis* or *T. pseudospiralis*. Parasitology International 46 , 149-154 ( 1997 )

Fujino T , Wu Z , Nagano I , Takahashi Y , Fried B : Specific primers for the detection of genomic DNA of *Echinostoma trivolvis* and *E. caproni* ( Trematodea : Echinostomatidae ) . Molecular and Cellular Probes 11 , 77-80 ( 1997 )

Wu Z , Nagano I , Xu D , Takahashi Y : Primers for polymerase chain reaction to detect genomic DNA of *Toxocara canis* and *T. cati*. J. Helminthology. 71 , 77-78 ( 1997 )

Itoh Y , Nagano I , Kunishima M , Ezaki T : Laboratory investigation of a massive outbreak of gastrointestinal illness associated with enteroaggregative *Escherichia coli* O untypable : H10.

J Clin Microbiol , 35 , 2546-2550 ( 1997 )

Ito A , Ma L , Itoh M , Cho SY , Kong Y , Kang SY , Horii T , Pang XL , Okamoto M , Yamashita T , Lightowers MW , Wang XG , Liu YH : Immunodiagnosis of alveolar echinococcosis by enzyme-linked immunosorbent assay using a partially purified Em18/16 enriched fraction. Clinical and diagnostic laboratory immunology 4 , 57-59 ( 1997 )

Nakaya K , Nakao M , Ito A : Echinococcus multilocularis : mouse strain difference in hydatid development. Journal of Helminthology 71 , 53-56 ( 1997 )

Ito A , Chung WC , Chen CC , Ito M , Endo S , Okamoto M , Fan PC : Human Taenia eggs develop into cysticerci in scid mice. Parasitology 114 , 85-88 ( 1997 )

Fan PC , Chung WC , Eom KS , Ito A : Vaccination trials against Taiwan Taenia eggs in pigs injected with frozen oncospheres of Taiwan Taenia , Korea Taenia , T. saginata or T. solium. Parasitology 114 , 541-544 ( 1997 )

Ma L , Ito A , Liu YH , Wang XG , Yao YQ , Yu DG , Chen YT : Alveolar echinococcosis : Em2plus-ELISA and Em18-Western blots for follow-up after treatment with albendazole. Transactions of the Royal Society of Tropical Medicine and Hygiene 91 , 476-478 ( 1997 )

Ma L , Ito A , Liu YH , Wang XG , Yao YQ , Yu DG : Evaluation of the diagnostic value of Em18 and Em16 in Echinococcus multilocularis by western blotting. Chinese Journal of Parasitology and Parasitic Diseases 15 , 65-68 ( 1997 )

Simanjuntak GM , Margono SS , Okamoto M , Ito A : Taeniasis/cysticercosis in Indonesia as an emerging disease. Parasitology Today 13 , 321-323 ( 1997 )

Kong Y , Chung JY , Yun DH , Kim LS , Kang SY , Ito A , Ma L , Cho SY : Variation of antigenic proteins of eggs and developmental stages of Paragonimus westermani. Korean Journal of Parasitology 35 , 197-202 ( 1997 )

Ito A , Ito M , Eom KS , Chung WC , Chen CC , Ma L , Endo S , Fan PC ( 1997 ) In vitro hatched oncospheres of Asian Taenia from Korea and Taiwan develop into cysticerci in the peritoneal cavity of female scid mice. International Journal for Parasitology 27 , 631-633.

Ito A , Ma L , Sato Y : Cystic metacestodes of a rat-adapted *Taenia taeniaeformis* established in the peritoneal cavity of scid and nude mice. *International Journal for Parasitology* 27 , 903-905 ( 1997 )

Ito A : Basic and applied immunology in cestode infections : from *Hymenolepis* to *Taenia* and *Echinococcus*. *International Journal for Parasitology* 27 , 1203-1211 ( 1997 )

Blair D , Agatsuma T , Watanobe T , Okamoto M , Ito A : Geographical genetic structure within the human lung fluke , *Paragonimus westermani* , detected from DNA sequences. *Parasitology* 115 , 411-417 ( 1997 )

Okamoto M , Agatsuma T , Kurosawa T , Ito A : Phylogenetic relationships of three hymenolepidid species inferred from nuclear ribosomal and mitochondrial DNA sequences. *Parasitology* 115 , 661-666 ( 1997 )

Yoshikawa H , Nagano I , Wu Z , Yap EH , Singh M , Takahashi Y : Genomic polymorphism among *Blastocystis hominis* strains and development of subtype-specific diagnostic primers. *Molecular and Cellular Probes* 12 , in press ( 1998 )

Wu Z , Nagano I , Takahashi Y : The detection of *Trichinella* with polymerase chain reaction ( PCR ) primers constructed using sequences of random amplified polymorphic DNA ( RAPD ) or sequences of complementary DNA encoding excretory-secretory ( E-S ) glycoproteins. *Parasitology* in press ( 1998 )

Nagano I , Kunishima M , Itoh Y , Wu Z , Takahashi Y; Detection of verotoxin-producing *Escherichia coli* O157 : H7 by multiplex polymerase chain reaction. *Microbiol Immunol* , 42 , 371-376 ( 1998 )

Wu Z , Nagano I , Takahashi Y : Differences and similarities between *Trichinella spiralis* and *T. pseudospiralis* in morphology of stichocyte granules , peptide maps of excretory and secretory( E-S )products and messenger RNA of stichosomal glycoproteins. *Parasitology* 116 , 61-66 ( 1998 )

Sato Y , Nakao M , Nakaya K , Ito A : Experimental infection of larval *Echinococcus multilocularis* in the rodent brain as a model for cerebral alveolar echinococcosis. *Journal of Helminthology* 72 59-64 ( 1998 )



Ito A ,Sakakibara Y ,Ma L ,Asano K ,Takiguchi M ,Yasuda J ,Hashimoto A : Ultrasonographic and serologic studies of experimental cysticercosis in rats infected with *Taenia taeniaeformis*. *Parasite Immunology* 20 , 105-110 ( 1998 )

Wu Z , Nagano I , Pozio E , Takahashi Y : Polymerase chain reaction -restriction fragment length polymorphism ( PCR-RFLP ) for the identification of *Trichinella* isolates. *Parasitology* in press ( 1998 )

## スポーツ医・科学講座

### 総説（和文）

長崎幸雄、渡邊和子、小園知、山本哲、小野塚実：身体運動の加齢変化に関連する神経機構について．教育医学 41，268-272（1996）

### 原著（和文）

福地和夫、松岡敏男：ラグビーの試合内容に関する - 考察 高校生の試合を中心として．岐阜経済大学論集 30，17-36（1996）

松岡敏男、福地和夫、寺田泰人、岡本昌也、野々村博：ラグビーフットボールの攻撃方法について ゲーム分析を中心として．岐阜大学教養部研究報告 34，337-345（1996）

今井一、熊谷佳代、杉森弘幸、松岡敏男、川岸興志男、三井淳蔵：女子学生の体脂肪率とライフスタイル（運動と栄養）．教育医学 42，202-208（1997）

長崎幸雄、小園知、渡邊和子、山本哲、小野塚実：SAM小脳における系統発生的に異なる部位の皮質層の生後発達．老化促進マウス（SAM）研究協議会 19-20（1996）

小園知、林弘之、山本哲、長崎幸雄、渡邊和子、小野塚実、原田寧、浜島浩史、平野修助：母体性フェニールアラニン血症の脳組織における髄鞘形成．必須アミノ酸研究 145，11-14（1996）

小園知、林弘之、山本哲、長崎幸雄、渡邊和子、小野塚実、原田寧、須田治彦、浜島浩史、平野修助：母体性高フェニールアラニン血症白鼠における脳組織の塩基性タンパク質について．必須アミノ酸研究 149，73-76（1997）

### 原著（欧文・国外）

Onozuka M ,Watanabe K ,Nagasaki S ,Ozono S ,Yamamoto T ,Hayashi H ,Karasawa N ,Nagatsu I : Involvement of dotarizine in nigrostriatal dopamine system of adult and aged rats : biochemical and immunohistochemical analysis. Biogenic Amines 12 , 69- 82 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Nishiyama K : Dotarizine , a newly produced diphenylpiperazine derivative calcium channel blocker , inhibits [3H] spiperone binding to striatal dopamine receptors. Med.Sci.Res 24 , 57-59 ( 1996 )

Onozuka M , Watanabe K , Nagasaki S , Yamamoto T , Nishiyama K , Ozono S : Evidence that a new diphenylpiperazine derivative , dotarizine , has no effect on nigrostriatal dopamine content in rats. *Med.Sci.Res* 24 , 113-115 ( 1996 )

Yamamoto T , Ozono S , Watanabe K , Nagasaki S , Onozuka M : Structural and functional maturation of the buccal stretch receptors in rats. *Exp.Brain Res.* , 111 , 169-177 ( 1996 )

Watanabe K , Yamamoto T , Ozono S , Nagasaki S , Onozuka M : A novel glutamate-mediated inhibitory mechanism linked with Ca<sup>2+</sup>/ calmodulin-dependent protein kinase II in identified Euhadra neurons. *J.Neurobiol.* , 32 , 139-149 ( 1997 )

## 内科学第一講座

### 著書（和文）

武藤泰敏，加藤昌彦：代謝疾患 3 糖質アミノ酸代謝異常 ・ - 血中アミノ酸異常，最新内科学大系．井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎編，東京，中山書店，1996．185-197

武藤泰敏，奥野正隆，森脇久隆：代謝疾患 1 肥満症，臨床栄養 ・ - ビタミン，カルシウムとその異常 A．ビタミン A，カロテノイド，最新内科学大系．井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎編，東京，中山書店，1996．175-184

森脇久隆，奥野正隆：ビタミン A（レチノイド・カロテノイド分画を含む），臨床検査ガイド '96．Medical Practice 編集委員会編，東京，文光堂，1996．284-285

斎藤公志郎，加藤昌彦，武藤泰敏：アミノ酸とその分画，臨床検査ガイド '96．Medical Practice 編集委員会編，東京，文光堂，1996．223-228

杉原潤一，武藤泰敏：急性（劇症）肝炎 3．急性（劇症）肝炎の治療 治療法の進歩，肝炎・肝硬変・肝癌 分子メカニズムから病態・診断・治療まで．小俣政男編，東京，羊土社，1996．96-98

四童子好広，武藤泰敏：非環式レチノイドによる分化・増殖制御，分子栄養学概論．田中武彦，野口 忠，武藤泰敏編，東京，建帛社，1996．155-178

森脇久隆，武藤泰敏：皮膚症状（くも状血管腫、手掌紅斑、その他），チャートで学ぶ病態生理学．川上義和，丸茂文昭，朝食 均，田代邦雄，溝口秀昭編，東京，中外医学社，1996．176-177

森脇久隆：急性肝炎・慢性肝炎 病態，ビジュアル臨床栄養百科 第 5 巻 疾患別の臨床栄養 内科（・）．足立香代子，武田英二，中西靖子，中村丁次，松枝 啓，松崎政三編，東京，小学館，1996．54-57

森脇久隆：栄養療法の流れと栄養評価，ビジュアル臨床栄養百科 第 2 巻 栄養アセスメント．武藤泰敏，中村丁次，森脇久隆編，東京，小学館，1996．126-131

森脇久隆：レチノイド，からだに役立つ脂溶性ビタミンとそのファミリー - . 柘植治人，小林正編，東京，健康生活研究所，1996 . 47-55

森脇久隆，吉田 貴，加藤昌彦，武藤泰敏：肝臓疾患と栄養，病態と栄養 . 岡田 正編，東京，建帛社，1996 . 164-177

奥野正隆，小野木啓人，森脇久隆，武藤泰敏：脂肪の摂取とガン，成人病予防からみた脂肪の選択 . 柘植治人，高瀬幸子，武藤泰敏編，東京，光生館，1996 . 163-183

奥野正隆，小野木啓人，森脇久隆，武藤泰敏：脂肪の摂取とガン - 大腸ガンの発生は抑えられる - ，成人病予防からみた脂肪の選択 . 柘植治人，高瀬幸子，武藤泰敏編，東京，光生館，1996 . 163-183

大西弘生，村瀬全彦，武藤泰敏：肝性昏睡，内科治療ガイド '96 . Medical Practice 編集委員会編，東京，文光堂，1996 . 685-688

大西弘生，永木正仁，安藤量基，森脇久隆，武藤泰敏：劇症肝炎，肝と免疫 . 各務伸一編，大阪，医薬ジャーナル社，1996 . 135-151

奥野正隆，森脇久隆，今井章子，香田弘司，小嶋聡一，河田則文，武藤泰敏：伊東細胞におけるレチノイン酸の transforming growth factor- 分泌刺激作用，肝類洞壁細胞研究の進歩 第 8 巻 . 谷川久一編，東京，国際医書出版，1996 . 196-199

香田弘司，奥野正隆，森脇久隆，今井章子，小嶋聡一，河田則文，武藤泰敏：培養伊東細胞における transforming growth factor- を介したレチノイン酸のコラ - ゲン産生・肝特異蛋白合成の抑制，肝類洞壁細胞研究の進歩 第 8 巻 . 谷川久一編，東京，国際医書出版，1996 . 200-202

武藤泰敏：レチノイド・カロテノイド - 体内代謝と発癌予防 - . 東京，南山堂，1997 . 210 p

森脇久隆：経口栄養法、臨床栄養管理 . 細谷憲政，中村丁次編，東京，第一出版，1997 . 154-160

森脇久隆，奥野正隆：ビタミン A （レチノイド・カロテノイド分画を含む） ，臨床検査ガイド '97 . Medical Practice 編集委員会編，東京，文光堂，1997 . 286-287

永木正仁, 佐野公泰, 杉山明彦, 田中 学, 安田成雄, 岩井浩子, 渡辺 裕, 大西弘生, 森脇久隆, 武藤泰敏: 急性肝不全におけるサイトカインと接着分子, 第7回肝の生化学・箱根シンポジウム・箱根シンポジウム記録刊行会編, 東京, 中外医学社, 1997. 90-97

永木正仁, 野田直宏, 杉山明彦, 森脇久隆, 武藤泰敏, 金 良一, 三木敬三郎, 石山晴生, 平原一郎: 細胞外マトリックスによる肝細胞分化機能制御機構とハイブリッド型人工肝への応用, 肝臓病学の最前線. 山中正己, 滝川 一編, 東京, 中外医学社, 1997. 340-344

今井章子, 奥野正隆, 香田弘司, 森脇久隆, 小嶋聡一, 河田則文, 武藤泰敏: レチノイン酸による伊東細胞からの二相性の transforming growth factor- $\beta$  放出刺激作用, 肝類洞壁細胞研究の進歩 第9巻. 谷川久一編, 東京, 国際医書出版, 1997. 31-33

大西弘生, 武藤泰敏: 4章肝・胆・膵・腹膜疾患 3 肝・胆・膵・腹膜疾患各論 12. 急性肝炎 2. その他(EB, サイトメガロ), EBM 現代内科学. 黒川 清, 斎藤英彦, 矢崎義雄編, 東京, 金芳堂, 1997. 967-969

大西弘生, 武藤泰敏: 4章肝・胆・膵・腹膜疾患 3 肝・胆・膵・腹膜疾患各論 12. 急性肝炎 3. 劇症肝炎, EBM 現代内科学. 黒川 清, 斎藤英彦, 矢崎義雄編, 東京, 金芳堂, 1997. 969-973

大西弘生, 村瀬全彦, 武藤泰敏: 肝性昏睡, 内科治療ガイド '98. Medical Practice 編集委員会編, 東京, 文光堂, 1998. 724-728

奥野正隆: 肝病態と TGF- $\beta$ , 肝臓フォーラム '97 記録集. 原田 尚, 辻井 正編, 東京, 医事出版社, 1998. 107-125

森脇久隆, 武藤泰敏: 11.10. ビタミン, 肝臓病学 Basic Science. 戸田剛太郎, 織田正也, 清澤研道, 坪内博仁, 中沼安二編, 東京, 医学書院, 1998. 213-217

大西弘生, 武藤泰敏: 26.2. 肝炎劇症化とサイトカイン, 肝臓病学 Basic Science. 戸田剛太郎, 織田正也, 清澤研道, 坪内博仁, 中沼安二編, 東京, 医学書院, 1998. 555-564

森脇久隆, 武藤泰敏: 1.7. 肝とビタミン, 肝臓病学 Clinical Science. 戸田剛太郎, 清澤研道, 沖田 極, 井廻道夫, 林 紀夫編, 東京, 医学書院, 1998. 40-41

大西弘生,武藤泰敏:16.劇症肝炎,肝臓病学 Clinical Science.戸田剛太郎,清澤研道,沖田 極,井廻道夫,林 紀夫編,東京,医学書院,1998.347-362

森脇久隆,奥野正隆,白鳥義宗:発癌制御/非環式レチノイド,肝臓病学.川崎寛中編,東京,国際医書出版,1998.389-396

永木正仁,武藤泰敏:肝炎とサイトカイン,感染症とサイトカイン.今西二郎,笹田昌孝編,大阪,医薬ジャーナル社,1998.168-180

奥野正隆:肝線維化,臨床検査法提要.金井泉,金井正光編,東京,金原出版(印刷中)

田近正洋,武藤泰敏:高齢者の蛋白質代謝,これからの高齢者の栄養管理サ-ビス.小山秀夫,杉山みち子編,東京,第一出版(印刷中)

#### 著書(欧文)

Muto Y, Moriwaki H, Shidoji Y, Omori M: Prevention of liver carcinogenesis. In: Recent Advances in Gastroenterological Carcinogenesis. Tahara H, Sugimachi K, Oohara T eds, Monduzzi Editore, Bologna, 1996. 169-172

Ohmori M, Watanabe M, Shidoji Y, Moriwaki H, Muto Y: Inhibitory effect of a timely dosing of acyclic retinoid on the development of spontaneous hepatomas in C3H/HeNCri mice. In: Recent Advances in Gastroenterological Carcinogenesis. Tahara H, Sugimachi K, Oohara T eds, Monduzzi Editore, Bologna, 1996. 523-526

Shidoji Y, Nakamura N, Omori M, Moriwaki H, Muto Y: Geranylgeranoic acid: an endogenous lipid inducer of apoptosis in human hepatoma-derived cell lines. In: Recent Advances in Gastroenterological Carcinogenesis. Tahara H, Sugimachi K, Oohara T eds, Monduzzi Editore, Bologna, 1996. 527-530

Moriwaki H, Shiratori Y, Okuno M, Yasuda I, Muto Y: Chemoprevention of hepatocarcinogenesis by retinoids - basic mechanisms and clinical experiences. In: Progress in hepatology, vol.3-Hepatocellular carcinoma. Yamanaka M, Tanaka S, Toda G eds, Elsevier Science, Amsterdam, 1997. 47-52

Okuno M, Nagase S, Shiratori Y, Moriwaki H, Muto Y, Kawada N, Kojima S: Retinoids and liver fibrosis. In: Liver Diseases and Hepatic Sinusoidal Cells. Tanikawa K ed, Springer-

Verlag , Tokyo ,( in press )

Tajika M , Kato M , Miwa Y , Mohri H , Moriwaki H : Energy metabolism determines the survival of patients with liver cirrhosis . In : Progress in hepatology . Yamanaka M , Tanaka S , Toda G eds , Elsevier Science , Amsterdam ,( in press )

### 総説 (和文)

内藤智雄 , 森脇久隆 : 劇症肝炎 (付急性肝炎重症型) . 肝胆膵 33 , 673-679 ( 1996 )

武藤泰敏 : レチノイン酸による肝癌の予防 . Molecular Medicine 33 , 434-441 ( 1996 )

武藤泰敏 : リ - バクト顆粒 . 臨床消化器内科 11 , 1751-1753 ( 1996 )

武藤泰敏 , 加藤昌彦 : 高齢者の栄養アセスメント . 日本老年医学会雑誌 33 , 652-656( 1996 )

武藤泰敏 : 栄養と癌 . 日本臨床栄養学会雑誌 18 , 3-9 ( 1996 )

森脇久隆 , 足立定司 , 植松孝広 , 武藤泰敏 : 肝癌患者の治療方針 . Medical Practice 13 , 1445-1447 ( 1996 )

杉原潤一 , 武藤泰敏 : 劇症肝炎 . からだの科学「難病」 190 , 139-142 ( 1996 )

四童子好広 , 武藤泰敏 : 癌予防の分子栄養学 . 栄養 評価と治療 13 , 333-340 ( 1996 )

奥野正隆 , 森脇久隆 , 武藤泰敏 : ビタミン A と免疫 . 栄養 評価と治療 13 , 171-174( 1996 )

戸谷理英子 , 武藤泰敏 : 糖尿病と他疾患合併時の治療 3 . 肝疾患 . 日本内科学会雑誌 85 , 27-31 ( 1996 )

工藤進英 , 田村 智 , 中嶋孝司 , 福岡岳美 , 福富 尉 : 内視鏡の読み方 陥凹型早期大腸癌の陥凹性状 . 臨床消化器内科 11 , 1615-1621 ( 1996 )

加藤昌彦 : 肝疾患の臨床栄養 ( 1 ) 栄養評価 . 臨床栄養 88 , 14 ( 1996 )

加藤昌彦 : 肝疾患の臨床栄養 ( 2 ) エネルギー - 代謝動態 . 臨床栄養 88 , 134 ( 1996 )



- 加藤昌彦：肝疾患の臨床栄養（3）血漿遊離アミノ酸．臨床栄養 88，258（1996）
- 加藤昌彦：肝疾患の臨床栄養（4）肝硬変と分岐鎖アミノ酸．臨床栄養 88，370（1996）
- 加藤昌彦：肝疾患の臨床栄養（5）急性肝不全と分岐鎖アミノ酸．臨床栄養 88，482（1996）
- 加藤昌彦：肝疾患の臨床栄養（6）Nutrition Support Team（NST）．臨床栄養 88，610（1996）
- 加藤昌彦，田近正洋，森脇久隆：総分岐鎖アミノ酸／チロシンモル比（BTR）．臨床科学 10，1343-1348（1996）
- 永木正仁，武藤泰敏：人工肝．内科 77，1088（1996）
- 植松孝広，森脇久隆，武藤泰敏：老年者悪性腫瘍の早期診断とその対応 肝癌．老化と疾患 9，1237-1243（1996）
- 三輪佳行，Phillip M．Harrison，武藤泰敏：N-アセチルシステインとその新しい臨床応用．日本醫事新報 3769，26-30（1996）
- 塩屋正道，村上啓雄，森脇久隆，武藤泰敏：肝硬変脳症の病態と治療．臨床医 22，479-483（1996）
- 工藤進英，田村 智，山野泰穂，中嶋孝司，伊藤 治，日下尚志，福岡岳美，洗川佐代子，後藤英世，鈴木章男，白坂大輔，坂下正典，福富 尉，田中義規，長瀬慶一郎，井出口尚生，松井保憲：大腸腫瘍性病変に対する粘膜切除術．臨床と研究 73，2464-2469（1996）
- 森脇久隆：レチノイドによる肝線維化・肝発癌の予防．医学のあゆみ 181，397-400（1997）
- 森脇久隆：肝癌への進展予防の観点からみた肝硬変治療．Modern Medicine 4，8-11（1997）
- 森脇久隆：レチノイドによる肝癌発生と再発の抑止．内科 80，717-720（1997）
- 森脇久隆：固型癌とレチノイド．癌と化学療法 23，1625-1628（1997）
- 森脇久隆：Acyclic Retinoid．Practical Oncology 10，12-13（1997）

森脇久隆，奥野正隆：レチノイドと発癌．Biotherapy 11，512-517（1997）

森脇久隆，加藤昌彦：肝疾患と高たんぱく・高カロリー - （エネルギー - ）食．臨床栄養 90，266-270（1997）

杉原潤一：ウイルス肝炎 最近のトピックス．岐阜県医師会医学雑誌 10，35-38（1997）

奥野正隆，塩屋正道，森脇久隆，武藤泰敏：発癌よりみた脂肪の選択．栄養 評価と治療 14，291-297（1997）

白鳥義宗，杉原潤一，村上啓雄，内藤智雄，斎尾征直，森脇久隆：亜急性肝炎の病態と治療．集中治療 9，281-295（1997）

田近正洋，森脇久隆：栄養治療 最近の話題 ．薬事日報 29，18（1997）

田近正洋，加藤昌彦：肝硬変患者に対する脂肪乳剤投与の影響．Today's Clinical Nutrition 2，3-5（1997）

加藤昌彦，田近正洋，三輪佳行，森脇久隆，杉山佐織，武藤泰敏：当科における Nutrition Support Service（NSS）の現状．栄養 - 評価と治療 14，361-365（1997）

長瀬清亮，奥野正隆，森脇久隆：レチノ - ル結合蛋白（RBP）．内科 81，1221（1998）

長瀬清亮，奥野正隆，森脇久隆：ミオグロビン（Mb）．内科 81，1222（1998）

長瀬清亮，奥野正隆，森脇久隆：・型プロコラ - ゲンのN末端ペプチド．内科 81，1223-1224（1998）

大西弘生，安藤量基：HBc 抗体の臨床的意義．日本醫事新報 3862，95-96（1998）

奥野正隆，白鳥義宗，長瀬清亮，森脇久隆：ケモプリベンション．血液・免疫・腫瘍 3，694-699（1998）

奥野正隆，森脇久隆：ビタミン A， - カロテン．老年医学 36，389-396（1998）

加藤昌彦，森脇久隆：肝疾患と分岐鎖アミノ酸療法の意義．臨床栄養 92，519-527（1998）

加藤昌彦, 森脇久隆: 肝硬変の治療 アミノ酸製剤, 脳症の治療. Medical Practice 15, 1211-1215 (1998)

奥野正隆, 森脇久隆: 肝線維化とサイトカイン. 日本消化器病学会雑誌 95, 743-749(1998)

安藤量基, 大西弘生, 森脇久隆, 森山貴志: HBV トランスジェニックマウスによる肝炎発症機序の解析. 現代医療 30, 2083-2087 (1998)

白鳥義宗, 安田一郎, 西脇理英, 奥野正隆, 森脇久隆: レチノイドによる clonal deletion を用いた肝発癌抑制. 臨床消化器内科 13, 1519-1524 (1998)

奥野正隆, 森脇久隆, 小島聡一: 肝星細胞とレチノイド. 細胞 (印刷中)

鶴見 寿, 原 武志, 森脇久隆: 血小板輸血不応症. 日本臨床 - 血液症候群 - (印刷中)

原著 (和文)

山内 治: 実験的肝腫瘍発生に対する sarcophytol A の抑制効果 フェノバルビタ - ル処置 C3H/HeNCrj マウスを用いての検討. 岐阜大学医学部紀要 44, 580-586 (1996)

越野陽介: 劇症肝炎の予後に影響を及ぼす因子に関する臨床的検討. 岐阜大学医学部紀要 44, 497-509 (1996)

安田 盛: 急性肝不全における脳浮腫の治療対策に関する実験的研究. 岐阜大学医学部紀要 44, 487-496 (1996)

酒井 勉: C型慢性肝炎の病態とインタ - フェロン療法に関する臨床的研究. 岐阜大学医学部紀要 44, 567-579 (1996)

植松孝広, 四童子好広: 蛋白プレニル化阻害剤によるヒト肝癌由来細胞株に対するアポト - シスの誘導. 岐阜大学医学部紀要 44, 415-426 (1996)

荒木寛司: 非環式レチノイド (4.5 - デヒドロゲラニルゲラノイン酸) の抗発癌作用に関する研究 - とくに肝癌由来細胞株に対する分化誘導とその作用機序. 岐阜大学医学部紀要 44, 403-414 (1996)

齋藤吉男，二ノ宮三生，大島健次郎，島崎 信，名倉一夫，森脇久隆，武藤泰敏：早期大腸癌に対する内視鏡的ポリペクトミ - の適応に関する研究 . 岐阜大学医学部紀要 44 ,563-566 ( 1996 )

齋藤吉男，二ノ宮三生，大島健次郎，島崎 信，名倉一夫，森脇久隆，武藤泰敏：大腸の早期癌と早期癌類似進行癌の内視鏡所見の検討 . 岐阜大学医学部紀要 44 , 556-562 ( 1996 )

加藤達雄，小牧千人，佐野公泰，白木 硬，村上啓雄：Protected Specimen Brush を用いた気管支ファイバ - 下探痰法による呼吸器感染症の起炎菌の検討 . 気管支学 18 , 331-337 ( 1996 )

鶴見 寿，山田俊樹，長瀬清亮，村上啓雄，杉原潤一，森脇久隆，武藤泰敏：急性前骨髄球形白血病における微量残存白血病の検出 . 岐阜県内科医会雑誌 10 , 21-24 ( 1996 )

河瀬晴彦：慢性肝疾患の重症化に関する臨床病理学的研究 . 岐阜大学医学部紀要 44 , 616-641 ( 1996 )

鶴見 寿，山田俊樹，原 武志，村上啓雄，森脇久隆，武藤泰敏：G-CSF、エリスロポエチン投与を契機として骨髄線維症を伴う AML に移行した再生不良性貧血 . 日本臨床血液学会雑誌 37 , 630-632 ( 1996 )

武藤泰敏，大西弘生，酒井 勉，富田栄一，荒木寛司，中村俊之，伊藤陽一郎，亀谷正明，鶴見介登：C 型慢性肝炎に対する SM-10500( ヒトリンパ芽球インタ - フェロン持続性製剤 ) の用法検討臨床試験 . 肝胆膵 32 , 429-451 ( 1996 )

市田文弘，鈴木 宏，古田精市，藤沢 洌，武藤泰敏，辻 孝夫，谷川久一，飯野四郎，松嶋 喬，日野邦彦，上村朝輝，清沢研道，黒木哲夫，山田剛太郎，佐田通夫，中島光好：C 型慢性肝炎に対する SM-10500( ヒトリンパ芽球インタ - フェロン持続性製剤 ) の用量設定二重盲検比較試験 . 肝胆膵 32 , 737-758 ( 1996 )

市田文弘，鈴木 宏，古田精市，藤沢 洌，武藤泰敏，辻 孝夫，谷川久一，飯野四郎，小俣政男，松嶋 喬，日野邦彦，熊田博光，上村朝輝，清沢研道，林 紀夫，黒木哲夫，山田剛太郎，佐田通夫，中島光好：C 型慢性肝炎に対する SM-10500( ヒトリンパ芽球インタ - フェロン持続性製剤 ) の第・相比較試験 . 肝胆膵 33 , 117-141 ( 1996 )

白子順子，富田栄一，武知桂史，加藤則廣，森脇久隆，武藤泰敏：肝硬変における胃酸分泌

能および胃粘膜内ヘキソサミン量に関する検討．消化器科 22, 297-302 (1996)

加藤昌彦, 田近正洋, 森脇久隆, 武藤泰敏: 肝不全用成分栄養剤へパン ED の高アンモニア血症をともなう肝硬変患者に及ぼす影響．JJPEN 18, 635-640 (1996)

鶴見 寿, 山田俊樹, 原 武志, 村上啓雄, 森脇久隆, 武藤泰敏: G-CSF、エリスロポエチン投与を契機として骨髓線維症を伴う AML に移行した再生不良性貧血．日本臨床血液学会雑誌 37, 630-632 (1996)

工藤進英, 中城一男, 田村 智, 山野泰穂, 中嶋孝司, 伊藤 治, 日下尚志, 福岡岳美, 洗川佐代子, 後藤英世, 鈴木章男, 白坂大輔, 坂下正典, 福富 尉, 田中義規, 井出口尚生, 松井保憲, 小松泰介: 臨床から見た大腸腫瘍の pit pattern 診断．胃と腸 31, 1313-1323 (1996)

中嶋孝司, 工藤進英, 田村 智, 日下尚志, 福岡岳美, 鈴木章男, 山野泰穂, 後藤英世, 洗川佐代子, 坂下正典, 白坂大輔, 福富 尉, 田中義規, 井出口尚生, 松井保憲, 小松泰介: 大腸腺腫の経過例の検討．胃と腸 31, 1607-1615 (1996)

渡辺 裕, 大西弘生, 森脇久隆, 武藤泰敏: Immunohistochemical localization of adhesion molecules in autopsied cases of fulminant hepatitis .岐阜大学医学部紀要 44 ,462-470(1996)

武藤泰敏, 奥野正隆: 第 27 回成人病研究助成研究報告(5)大腸癌の発癌抑制に関する基礎的・臨床的研究．臨床成人病 26, 1263-1265 (1996)

林 隆夫, 大西弘生, 前田晃男, 森脇久隆, 武藤泰敏: Role of natural killer cells in liver regeneration in mice with fulminant hepatic failure .岐阜大学医学部紀要 45 ,32-41(1997)

森脇久隆, 加藤昌彦: 肝硬変患者のエネルギー - 代謝動態 - 間接カロリー - メ - タ - を用いた検討．消化と吸収 20, 126-129 (1997)

武藤泰俊, 村瀬全彦, 森脇久隆, 二ノ宮三生, 杉原潤一, 加藤則廣, 足立定司, 村上啓雄, 山田鉄也: 剖検からみた内科臨床 岐阜大学第一内科学教室における 13 年間の総括．日本醫事新報 3814, 44-53 (1997)

原 武志, 鶴見 寿, 山田俊樹, 澤田道夫, 内藤智雄, 村上啓雄, 森脇久隆, 武藤泰敏: CD7, CD34(+), IgH 再構成(+ )線維化を伴う低形成骨髓を特徴とする Smoldering Leukemia .

日本臨床血液学会雑誌 38, 21-27 (1997)

山田俊樹, 鶴見 寿, 村上啓雄, 森脇久隆, 武藤泰敏, 山田鉄也: 1; 7 転座を伴う急性巨核芽球性白血病を発症した Werner 症候群. 日本臨床血液学会雑誌 38, 28-32 (1997)

国枝克行, 竹村茂之, 加藤元久, 杉山保幸, 村瀬全彦, 下川邦泰, 佐治重豊: 重症筋無力症に併存した後腹膜原発 Castleman リンパ腫の 1 例. 日本臨床外科医学会雑誌 58, 672-676 (1997)

加藤昌彦, 田近正洋, 内木隆文, 三輪佳行, 奥野正隆, 森脇久隆, 武藤泰敏: 分岐鎖アミノ酸顆粒 (リ - バクト顆粒) 投与により血清アルブミン濃度の著明な改善を見た原発性胆汁性肝硬変の 2 症例. JJPEN 19, 465-470 (1997)

森脇久隆, 四童子好広, 西脇理英: レチノイド受容体疾患としての癌とその治療 肝癌を例として. ビタミン 71, 494-495 (1997)

下村哲也: 肝予備能検査法としての血漿レチニル・エステル消失曲線の意義に関する臨床的検討 とくに肝硬変症と特発性門脈圧亢進症との鑑別における有用性について . 岐阜大学医学部紀要 45, 196-200 (1997)

下條宏文: 糖尿病患者におけるバリウムシリコンマ - カ - による腸管通過時間の測定と臨床的意義に関する研究. 岐阜大学医学部紀要 45, 252-259 (1997)

高橋利彰, 杉山 宏, 大西弘生: 急性肝不全に対する Prostaglandin E 1 および I 2 の有用性に関する実験的研究 血中 tumor necrosis factor- の動態に及ぼす影響を中心に . 岐阜大学医学部紀要 45, 244-251 (1997)

川島靖浩: Flow cytometry を用いた末梢血単球活性酸素産生能測定を試み. 岐阜大学医学部紀要 45, 209-214 (1997)

黒田剛仁, 白鳥義宗: 劇症肝炎における凝固および線溶系分子マ - カ - の変動とその意義に関する臨床的検討. 岐阜大学医学部紀要 45, 79-81 (1997)

杉浦淳策, 島崎 信: LAK 細胞誘導に及ぼす各種 mitogen の影響に関する検討 とくに健常者, 消化器癌 (肝細胞癌, 大腸癌) 症例における LAK 細胞の増殖能, 細胞障害活性およびリンパ球細胞表面マ - カ - に及ぼす影響について. 岐阜大学医学部紀要 45, 16-23

( 1997 )

渡邊正喜, 大森正英: 非環式レチノイド(ポリプレイン酸)単回投与によるマウス自然発症肝癌の抑制に関する研究 特に組織所見との関連について. 岐阜大学医学部紀要 45, 110-120 ( 1997 )

浅野寿夫, 加藤昌彦, 徳山薫平: 肝硬変患者の耐糖能異常に関する研究 Minimal Model を用いて. 岐阜大学医学部紀要 45, 24-31 ( 1997 )

森野浩太郎: 肝硬変患者の脳 MRI T1 強調画像に見られる淡蒼球高信号の臨床的意義に関する研究. 岐阜大学医学部紀要 45, 169-180 ( 1997 )

安田成雄: ス - パ - 抗原 Staphylococcal Enterotoxin B による肝障害・致死作用とその機序に関する研究 特にエンドトキシンとの対比. 岐阜大学医学部紀要 45, 54-61 ( 1997 )

岩井浩子: 劇症肝炎および急性肝炎患者における血漿エンドトキシンと血清炎症性サイトカイン濃度の臨床的意義に関する検討. 岐阜大学医学部紀要 45, 235-243 ( 1997 )

杉山昭彦, 永木正仁, 内木隆文, 中村憲昭, 畠山啓朗, 四童子好広, 大西弘生, 森脇久隆, 武藤泰敏: 肝細胞増殖におよぼす細胞外マトリックスの影響について 細胞周期遺伝子 ( cyclin D1, p21 ) に関連して. 肝細胞骨格研究会誌 7, 39-42 ( 1997 )

杉山昭彦: TGF- $\beta$  による肝細胞増殖抑制作用における細胞周期遺伝子の関与. 岐阜大学医学部紀要 45, 260-269 ( 1997 )

田近正洋: 急性肝不全患者のエネルギー - 代謝動態に及ぼす分岐鎖アミノ酸投与の影響 間接カロリー - メ - タを用いて . 岐阜大学医学部紀要 45, 270-278 ( 1997 )

瀬古 章, 天野和雄, 清水洋孝, 高木昌一, 後藤明彦, 近藤博人, 杉江茂幸, 吉見直己, 森脇久隆, 武藤泰敏: Helicobacter pylori の除菌にて内視鏡的及び病理学的所見が著明に改善した胃 MALT リンパ腫の 1 例. 日本消化器病学会雑誌 94, 27-32 ( 1997 )

内藤智雄, 鶴見 寿, 原 武志, 山田俊樹, 沢田道夫, 村上啓雄, 森脇久隆, 武藤泰敏: 自己末梢血幹細胞移植術 ( auto-PBSCT ) を施行した第 3 寛解期ホジキン病の 1 例. 岐阜県内科医会雑誌 11, 25-30 ( 1997 )

山田俊樹, 鶴見 寿, 原 武志, 安田 盛, 村上啓雄, 森脇久隆, 武藤泰敏: エトポシド少量経口療法が奏功した多剤抵抗性非分泌型骨髄腫. *Practical Hematology* 7, 84-87 (1997)

木村公則, 杉原潤一, 村上啓雄, 内藤智雄, 石木佳英, 齋尾友希江, 中村俊之, 森脇久隆, 武藤泰敏: ビリルビン吸着と血漿交換が有効であった, メチマゾールによる高度肝内胆汁うっ滞の1例. *肝臓* 38, 172-177 (1997)

渡辺 敬, 西科琢雄, 渡辺 祥, 荒谷 睦, 深田代造, 福富 尉: 回盲部単純性潰瘍の1例. *岐阜県医師会医学雑誌* 10, 307-312 (1997)

山野泰穂, 工藤進英, 田村 智, 中嶋孝司, 日下尚志, 福岡岳美, 洗川佐代子, 後藤英世, 鈴木章男, 白坂大輔, 坂下正典, 福富 尉, 田中義規, 井出口尚生, 松井保憲, 小松泰介: 拡大観察が深達度診断に有用であった表面陥凹型 sm 癌の2症例. *消化器内視鏡* 9, 219-224 (1997)

亀沢 博, 秋田國治, 富田國男, 森脇久隆: 高齢者重症肺炎の2例. *新薬と臨床* 46, 1379-1383 (1997)

永木正仁, 武藤泰敏: 細胞外マトリックスによる肝細胞分化機能制御機構とハイブリッド型人工肝への応用. *肝臓* 38, 276-278 (1997)

塩屋正道, 奥野正隆, 長瀬清亮, 武藤泰敏, 森脇久隆: Lipopolysaccharide による transforming growth factor- $\alpha$  の活性化の機序に関する研究. *岐阜大学医学部紀要* 45, 417-430 (1997)

奥野正隆, 森脇久隆: 肝線維化に関与する新しい内因性レチノイド - 9, 13-di-cis-レチノイン酸. *肝臓* 39, 224-225 (1998)

森脇久隆, 白鳥義宗, 奥野正隆: 非環式レチノイドによる肝発癌制御の作用機序 - 潜在性肝癌細胞クロソンの除去 (clonal deletion). *肝臓* 39, 306-308 (1998)

加藤昌彦, 三輪佳行, 田近正洋, 毛利泰実, 森脇久隆: 肝硬変患者における血清アルブミン測定法の問題点. *J J P E N* 20, 161-165 (1998)

田近正洋, 加藤昌彦, 三輪佳行, 毛利泰実, 森脇久隆: 肝硬変患者のエネルギー - 代謝動態からみた予後. *消化器科* 26, 518-525 (1998)



永木正仁, 森脇久隆: 急性肝不全における肝細胞死と TNF 受容体 . 肝臓 39 , 498-500 ( 1998 )

澤田道夫, 鶴見 寿, 山田俊樹, 原 武志, 大山正巳, 森脇久隆: 化学療法のみで細胞遺伝学的寛解を得た, 8 ; 21 転座陽性低形成白血病の 2 例 . 日本臨床血液学会雑誌 ( 印刷中 )

山田俊樹, 鶴見 寿, 原 武志, 澤田道夫, 大山正巳, 森脇久隆: Cytarabine( Ara-C ) induced pericarditis - 当科における Ara-C 症候群の検討を含めて - . 日本臨床血液学会雑誌 ( 印刷中 )

安藤量基, 大西弘生, 森脇久隆, Francis V Chisari : Impaired liver regeneration における virus specific CTL の関与 . 肝臓 ( 印刷中 )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Nagaki N , Kim Y I , Miki K , Ishiyama H , Hirahara I , Iwai H , Noda N , Sugiyama A , Ohnishi H , Moriwaki H , Muto Y : Clinical and experimental studies on apheresis and development of a bioartificial liver in fulminant hepatic failure . Jpn J Apheresis 16 , 23-24 ( 1997 )

Nakamura T , Mohri H , Shimazaki M , Ito Y , Ohnishi T , Nishino Y , Fujii S , Shima H , Matsushita T , Yasuda M , Moriwaki H , Muto Y , Deguchi T : A case of esophageal metastasis from prostate cancer : Diagnostic use of reverse transcriptase-polymerase chain reaction for prostate-specific antigen . J Gastroenterol 32 , 236-240 ( 1997 )

Kato M , Miwa Y , Tajika M , Hiraoka T , Muto Y , Moriwaki H : Preferential use of branched-chain amino acids as an energy substrate in patients with liver cirrhosis . Internal Medicine 37 , 429-434 ( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Tajika M , Kato T , Nagaki M , Kato M , Fukutomi Y , Ninomiya M , Moriwaki M , Saio M , Yamada T , Takami T , Muto Y : Endoscopic injection of gelatin solution for severe hemorrhagic gastric cancer . Gastrointest Endosc 43 , 247-250 ( 1996 )

Seishima M , Usui T , Naganawa S , Nishimura M , Moriwaki M , Muto Y , Noma Y : Reduction of intestinal apo A- mRNA levels in the cirrhotic rat . J Gastroenterol Hepatol 11 , 746-751 ( 1996 )

Chemin I , Takahashi S , Belloc C , Lang MA , Ando K , Guidotti LG , Chisari FV , Wild CP :

Differential induction of carcinogen metabolizing enzymes in a transgenic mouse model of fulminant hepatitis . *Hepatology* 24 , 649-656 ( 1996 )

Tabas I ,Marathe S ,Keesler GA ,Beatini N ,Shiratori Y :Evidence that the initial up-regulation of phosphatidylcholine biosynthesis in free cholesterol-loaded macrophages is an adaptive response that prevents cholesterol-induced cellular necrosis . *J Biol Chem* 271 , 22773-22781 ( 1996 )

Kato T , Uemura H , Murakami N , Moriwaki M , Muto Y , Ueno K , Watanabe K : Incidence of anaerobic infections among pulmonary diseases : Japanese experience with transtracheal aspiration and immediate bedside anaerobic inoculation . *Clin Infect Dis* 23 ( Suppl 1 ) , S87-96 ( 1996 )

Nishigaki Y , Ohnishi H , Moriwaki H , Muto Y : Ursodeoxycholic acid corrects defective natural killer activity by inhibiting prostaglandin E2 production in primary biliary cirrhosis . *Digestive Diseases and Sciences* 41 , 1487-1493 ( 1996 )

Miwa Y , Ellis AJ , Hughes RD , Langley PG , Wendon JA , Williams R : Effect of ELAD liver support on plasma HGF and TGF- $\beta$  1 in acute liver failure . *Int J Artif Organs* 19 , 240-244 ( 1996 )

Nakamura N ,Shidoji Y ,Moriwaki H ,Muto Y :Apoptosis in human hepatoma cell line induced by 4 ,5-didehydro geranylgeranoic acid( acyclic retinoid )via down-regulation of transforming growth factor- $\beta$  . *Biochem Biophys Res Commun* 219 , 100-104 ( 1996 )

Onogi N , Okuno M , Komaki C , Moriwaki H , Kawamori T , Tanaka T , Moriwaki H , Muto Y : Suppressing effect of perilla oil on azoxymethane-induced foci of colonic aberrant crypts in rats . *Carcinogenesis* 17 , 1291-1296 ( 1996 )

Komaki C , Okuno M , Onogi N , Moriwaki H , Kawamori T , Tanaka T , Mori M , Muto Y : Synergistic suppression of azoxymethane-induced foci of colonic aberrant crypts by the combination of  $\beta$ -carotene and perilla oil in rats . *Carcinogenesis* 17 , 1897-1901 ( 1996 )

Nishimura M , Seishima M , Ohashi H , Noma A : The effects of lipid administration on lymphatic apo A- $\bullet$  and apo B outputs and on their syntheses . *Am J Physiol* 271 , G322-G329 ( 1996 )

Matsushima-Nishiwaki R ,Shidoji Y ,Nishiwaki S ,Moriwaki H ,Muto Y : Limited degradation of retinoid X receptor by calpain . *Biochem Biophys Res Commun* 225 , 946-951 ( 1996 )

Matsushima-Nishiwaki R ,Shidoii Y ,Nishiwaki S ,Yamada T ,Moriwaki H ,Muto Y : Aberrant metabolism of retinoid X receptor proteins in human hepatocellular carcinoma . *Mol Cell Endocrinol* 121 , 179-190 ( 1996 )

Usui K , Urabe A , Tojo A , Moriwaki H , Tsurumi H , Ikeda Y , Kizaki M , Toyama K , Aizawa M , Inai K , Muto Y , Asano S , Takaku F : Differentiation effect of acyclic retinoid on acute promyelocytic leukemia cells . *Ann Hematol* 73 , 219-224 ( 1996 )

Moriwaki H , Yasuda I , Shiratori S , Uematsu T , Okuno M , Muto Y : Deletion of serum lectin-reactive  $\alpha$ -fetoprotein by acyclic retinoid : a potent biomarker in the chemoprevention of second primary hepatoma . *Clin Cancer Res* 3 , 727-731 ( 1997 )

Ando K , Hiroishi K , Kaneko T , Moriyama T , Muto Y , Kayagaki N , Yagita H , Okumura K , Imawari M : Perforin , Fas / Fas ligand , and TNF- $\alpha$  pathways as specific and bystander killing mechanisms of hepatitis C virus-specific human CTL . *J Immunol* 158 , 5283-5291 ( 1997 )

Seishima M ,Takemura M ,Saito K ,Ando K ,Noma A : Increased serum soluble Fas( sFas ) concentrations in HCV-positive patients with liver cirrhosis . *J Hepatol* 27 , 424-425 ( 1997 )

Shidoji Y , Nakamura N , Moriwaki H , Muto Y : Rapid loss in the mitochondrial membrane potential during geranylgeranotic acid-induced apoptosis . *Biochem Biophys Res Commun* 230 , 58-63 ( 1997 )

Okuno M ,Moriwaki H ,Imai S ,Muto Y ,Kawada N ,Suzuki Y ,Kojima S : Retinoids exacerbate rat liver fibrosis by inducing the activation of latent TGF- $\beta$  in liver stellate cells . *Hepatology* 26 , 931-921 ( 1997 )

Okuno M , Kajiwarra K , Imai S , Kobayashi T , Honma N , Maki T , Suruga K , Goda T , Takase S , Muto Y , Moriwaki H : Perilla oil prevents the excessive growth of visceral adipose tissue in rats via down-regulating adipocyte differentiaton . *J Nutr* 127 , 1752-1757 ( 1997 )

Ito Y , Moriwaki H , Muto Y , Kato N , Watanabe K , Ueno K : Effect of lactulose on short-chain fatty acids and lactate production and on the growth of faecal flora , with special reference to Clostridium . J Med Microbiol 46 , 80-84 ( 1997 )

Yamada Y , Kirillova I , Peschon JJ , Fausto N : Initiation of liver growth by tumor necrosis factor : Deficient liver regeneration in mice lacking type I tumor necrosis factor receptor . Proc Natl Acad Sci USA 94 , 1441-1446 ( 1997 )

Miwa Y , Harrison PM , Farzaneh F , Langley PG , Williams R , Hughes R D : Plasma levels and hepatic mRNA expression of transforming growth factor-  $\beta$  1 in patients with fulminant hepatic failure . J Hepatol 27 , 780-788 ( 1997 )

Toba T , Shidoji S , Fujii J , Moriwaki H , Muto Y , Suzuki T , Ohishi N , Yagi Y : Growth suppression and induction of heat-shock protein-70 by 9-cis -retene in cervical dysplasia-derived cells . Life Sci 61 , 839-845 ( 1997 )

Sugiyama A , Nagaki M , Shidoji S , Moriwaki H , Muto Y : Regulation of cell cycle-related genes in rat hepatocytes by transforming growth factor  $\beta$  1 . Biochem Biophys Res Commun 238 , 539-543 ( 1997 )

Imai S , Okuno M , Moriwaki H , Muto Y , Murakami K , Shudo K , Suzuki Y , Kojima S : 9 , 13-di-cis Retinoic acid induces production of tPA and activation of latent TGF-  $\beta$  via RAR in a human liver stellate cell line , LI90 . FEBS Lett 411 , 102-106 ( 1997 )

Iwai H , Nagaki M , Naito T , Ishiki Y , Murakami N , Sugihara J , Muto Y , Moriwaki H : Removal of endotoxin and cytokines in patients with acute hepatic failure by plasma exchange . Crit Care Med 26 , 873-876 ( 1998 )

Yamada Y , Fausto N : Deficient liver regeneration after carbon tetrachloride injury in mice lacking type 1 but not type 2 tumor necrosis factor receptor . Am J Pathol 152 , 1577-1589 ( 1998 )

Okuno M , Tanaka T , Komaki C , Moriwaki H , Shiratori Y , Muto Y , Kajiwara K , Maki T : Suppressive effect of low amounts of safflower oil and perilla oil on dimethylnitrosamine-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Nutr Cancer 30 , 186-193 ( 1998 )

Kajiwara K , Okuno M , Kobayashi T , Honma N , Maki T , Kato M , Ohnishi H , Muto Y , Moriwaki H : Oral supplementation with branched-chain amino acids improves survival rate of rats with carbon tetrachloride-induced liver cirrhosis . Digestive Diseases and Sciences 43 , 1572-1579 ( 1998 )

Onogi N , Okuno M , Matsushima-Nishiwaki R , Fukutomi Y , Moriwaki H , Muto Y , Kojima S : Antiproliferative effect of carotenoids on human colon cancer cells without conversion to retinoic acid . Nutr Cancer 32 , 20-24 ( 1998 )

Yamada Y , Webber E , Kirillova I , Peschon J , Fausto N : Analysis of liver regeneration in mice lacking type 1 but not type 2 tumor necrosis factor receptor . Hepatology ( in press )

Okuno M , Moriwaki H , Muto Y , Kojima S : Protease inhibitors suppress TGF- $\beta$  generation by hepatic stellate cells . J Hepatol ( in press )

Muto Y , Moriwaki H , Shiratori Y : Prevention of second primary tumors by an acyclic retinoid , polyprinoic acid , in patients with hepatocellular carcinoma . Digestion ( in press )

Sano K , Nagaki M , Sugiyama A , Hatakeyama H , Ohnishi H , Muto Y , Moriwaki H : Effects of cytokines on the binding of leukocytes to cultured rat hepatocytes and on the expression of ICAM-1 by hepatocytes . Digestive Diseases and Sciences ( in press )

Kondo H , Kanematsu M , Shiratori Y , Moriwaki H , Hoshi H : Potential pitfall of MR cholangiopancreatography : Right arterial impression of the common hepatic bile duct . J Computer Assisted Tomography ( in press )

## その他

武藤泰敏 , 永木正仁 , 大西弘生 , 森脇久隆 , 金 良一 , 三木敬三郎 , 石山晴生 , 平原一郎 : EHS ゲル内培養細胞を用いたバイオ人工肝モジュールの基礎的検討 . 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班 平成七年度研究報告書 , 70-72 ( 1996 )

武藤泰敏 , 加藤達雄 , 村上啓雄 , 奥野正隆 , 白木 硬 : 老年者肺結核の臨床的検討 . 厚生省長寿科学総合研究事業 老年者の感染症に関する研究班平成七年度研究報告書 . ( 1996 )

杉原潤一 , 大西弘生 , 武藤泰敏 : 劇症肝炎に対するプロスタグランジン E1 およびサイクロスポリン投与の効果 とくに免疫学的側面から . 公益信託加藤記念難病研究助成基金

助成研究報告書 8, 23-41 (1996)

加藤昌彦, 田近正洋, 森脇久隆, 武藤泰敏, 杉山みち子, 服部福德: 高齢者のエネルギー - 代謝測定のための携帯用簡易熱量計の妥当性の検討. 老人にふさわしい医療サ - ビスの開発と評価に関する研究 在宅老人患者の栄養管理に関する研究 報告書, 40-50 (1996)

森脇久隆: 栄養アセスメントの実際, 経腸栄養の進歩と臨床の実際. 岡田 正編, 東京, ラジオたんぱ, 1996. 12-15

三輪佳行: 肝移植とエスカレ - タ - . 岐阜大学医学会館だより 43, 23-24 (1996)

加藤則廣, 山田泰弘, 森脇久隆, 武藤泰敏: Diagnosis Quiz 食道下部の白色隆起性病変. Progress in Medicine 16, 1743 (1996)

武藤泰敏: 岐阜新聞: 肝臓がん再発抑制薬開発 - ビタミン A の有効性を確認 - (1996 年 6 月 11 日)

武藤泰敏: 読売新聞: ビタミン A 化合物で肝臓がん再発抑制 (1996 年 6 月 13 日)

武藤泰敏, 金子栄蔵: 日本消化器病学会ニュー - ス第 31 号: 消化器病治療薬の治験の質の向上を目指して - 医薬品国際化の動向からみた臨床試験のあり方 - (1996 年 8 月 20 日)  
加藤昌彦: 肝硬変の患者の栄養管理. LIVERSIDE Press 1, 1-4 (1996)

森脇久隆: 分岐鎖アミノ酸療法. 毎日ライフ 7, 88-91 (1997)

森脇久隆: - カロチンの安全で効果的な摂取法. ゆほびか 3, 48-51 (1997)

武藤泰敏, 永木正仁, 杉山昭彦, 森脇久隆, 金 良一, 三木敬三郎, 石山晴生, 平原一郎, 高橋啓明: 大型哺乳動物を用いたバイオ人工肝の前臨床的検討. 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班 平成八年度研究報告書, 55-56 (1997)

武藤泰敏, 森脇久隆, 白鳥義宗, 安田一郎: 非環式レチノイドによる肝発癌抑制の機序 - 癌細胞クロ - ン除去の証明. 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班 平成八年度研究報告書, 57 (1997)

村瀬全彦: 私の外来. 岐阜医学会館だより 44, 10-11 (1997)

加藤則廣：岐阜新聞：がん治療テ - マ「健康セミナー」(1998年6月8日)

加藤昌彦：肝硬変治療におけるBCAA補充療法 - BCAA顆粒製剤(リ - バクト顆粒) 投与の意義 - . LIVERSIDE Press 5, 1-3 (1998)

森脇久隆：教授就任に当たって . 岐阜医学館だより 48, 2-3 (1998)

影近弘之, 荻本啓文, 森脇久隆, 橋本祐一：レチノイドによるがんの治療と予防をめぐる話題 . ファルマシア くすりの科学 3, 213-218 (1998)

森脇久隆：医局訪問 . 日経CME 1998年4月号同封別冊 (1998)

森脇久隆：専門医が答えるメディカルQ & A . ぎふ元気人 9, 18 (1998)

加藤則廣：食道疾患と内視鏡 . 岐阜市医師会だより 31, 3-4 (1998)

鶴見 寿：広がる造血幹細胞移植術 . 岐阜県医師会報 557, 18-19 (1998)

永木正仁, 田中 学, 杉山昭彦, 大西弘生, 武藤泰敏, 森脇久隆：IL-10による肝障害抑制効果 . MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW 43, 152-155 (1996)

## 内科第二講座

### 著書（和文）

竹村元三，藤原久義：拘束型心筋症 - アミロイド - シス . 医学のあゆみ 4 , 634-638 (1996)

湊口信也，藤原久義：再灌流障害 . 循環器疾患最新の治療，監修：安田寿一，編集：杉本恒明，篠山重威，南江堂，1996 . 77-80

西垣和彦，藤原久義：弁膜症における心筋障害は . 循環器 NOW 13 弁膜疾患・大動脈疾患 1996 . 59-61

竹村元三，藤原久義：心筋細胞とアポト - シス . Annual Review 循環器 1997 . 9-13

竹村元三，藤原久義：冠動脈プラ - ク破綻 . 循環器病キ - ワ - ド 1997 . 134-135

早川幸博，藤原久義：冠動脈再狭窄 . 循環器病キ - ワ - ド 1997 . 135-136

湊口信也，藤原久義：冠動脈再灌流の諸問題 . 循環器病キ - ワ - ド 1997 . 137-138

野田俊之，藤原久義：冠動脈攣縮 . 循環器病キ - ワ - ド 1997 . 139-141

湊口信也，藤原久義：病理学的検討 . 心筋障害と心筋保護 1997 . 9-15

鷹津久登，藤原久義：薬剤の集積機序 F) 123I-MIBG . 心臓核医学の基礎と臨床 1997 .

鷹津久登，藤原久義：心血管病変におけるアポト - シスと画像 . 心臓病診療プラクティス 14 , 1997 . 37

西垣和彦，湊口信也，浅野喜代治，鷹津久登，野田俊之，佐野浩毅，安田憲生，熊田裕一，谷畠進太郎，渡辺佐知郎，服部有博，田中 孜，藤原久義：急性心筋梗塞における血漿可溶性 Fas 濃度の検討 第二回心・血管とアポト - シス研究会編 . 臨床循環器病学におけるアポト - シスの研究 1997 . 56-59

西垣和彦：私の処方『糖尿病を伴った高血圧』 . Modern Physician 18 ( 5 ) , 1998 . 654-655



野田俊之, 藤原久義: 10. 弁疾患の外科的治療の時期. 循環器最新の治療 '98-'99 ・弁膜疾患 1998 . 11-14

西垣和彦: 診療の秘訣『労作狭心症の特徴的な症状』. Modern Physician 18 (6), 1998 in press

### 著書 (欧文)

Gotoh N ,Kambara K ,Xiao Wen Jiang ,Nishigaki K ,Fujiwara H:Expression of Bcl-2 protein , a suppressor of apoptosis , during formation of acute hydrostatic pulmonary edema in blood-perfused rabbit lungs . Pulmonary Circulation Research 1996 . 23-26

### 総説 (和文)

浅野喜代治, 藤原久義: 腎アミロイド - シスへのアポト - シスの関与 . 医学のあゆみ 10 , 786-790 ( 1996 )

湊口信也, 藤原久義: 再灌流障害と微小循環 . 医学のあゆみ 10 , 1854-1859 ( 1996 )

湊口信也, 藤原久義: 病理学的にみた再灌流療法の有効性 .Cardiologist 1( 1 ),17-20 ( 1996 )

湊口信也, 藤原久義: Ischemic preconditioning . 循環器科 40 ( 6 ) , 1996

神原健治郎, 藤原久義: 慢性心不全患者 . Medical Practice 13 ( 2 ) , 232-237 ( 1996 )

野田俊之, 藤原久義: 狭心症の重症度評価のポイント . 循環器 NOW 14 , 狭心症 111-117 ( 1996 )

野田俊之, 藤原久義: ワンポイントメモ 気をつけなければならない重症狭心症の見分け方 . 循環器 NOW 14 , 狭心症 118-121 ( 1996 )

後藤紘司, 長島賢司, 安田憲生: 心原性肺水腫 . 日本臨床, 循環器症候群・ - その他の循環器疾患を含めて - 95-98 ( 1996 )

大野厚子, 橋本千賀子, 妹背江美, 福岡正博: 肺がん化学療法とインフォ - ムド・ コンセント . がん看護 1 ( 3 ) , 209-213 ( 1996 )

大野厚子: 薬剤耐性 - 臨床検体を用いた耐性の検索 - . Current Review 今日の癌化学療

法 3, 184-190 (1996)

大野厚子:新しい癌抑制遺伝子 p16/CDKN2/MTS1 gene の肺癌における異常 .日本臨床 2, 223-226 (1996)

大野厚子:肺癌の分子生物学 . MEDICO 27 (7), 1-5 (1996)

伊藤裕康, 荒木 肇, 奥野邦彦, 篠田修司, 湊口信也, 渡辺佐知郎:カルシウム拮抗剤 . 医薬ジャーナル 32, 31-46 (1996)

湊口信也:Pharmacological Preconditioning について - 虚血耐性獲得への新しい試みと治療への応用 - . Therapeutic Research 17 (9), 174-180 (1996)

竹村元三, 大野道也, 藤原久義:[特集] アポト - シスと循環器疾患 5 . 心筋梗塞とアポト - シス . 血管と内皮 7 (4), 33-39 (357-363)(1997)

竹村元三, 大野道也, 藤原久義:シンポジウム:アポト - シス-up to date 虚血性心疾患とアポト - シス . 臨床病理 45 (7), 606-613 (1997)

西垣和彦, 藤原久義:高血圧から心肥大、心不全、そして死へ - 心疾患のリスクとしての高血圧 - 高血圧性心肥大の病態と治療 10 拡張心とアポト - シス .Modern Physician 17(8), 983-987 (1997)

野田俊之, 藤原久義:狭心症:診断と治療の進歩 1.病態生理 2.どんな症状の時狭心症を疑うか . 日本内科学会誌 86 (2), 196-200 (1997)

野田俊之, 藤原久義:心筋梗塞の部位診断と重症度診断 .総合臨床 46(5),1673-1674 (1997)

青山琢磨, 沢村達也, 眞崎知生:内皮細胞における新しい酸化 LDL 受容体 . 内分泌・糖尿病科 5 (4), 359-366 (1997)

竹村元三, 藤原久義:細胞内カルシウム調節とアポト - シス . 治療学 32 (2), 31-34 (173-176) (1998)

西垣和彦, 藤原久義:HCM におけるナトリウム利尿ペプチド . Heart View 2 (4), 76-83 (1998)

西垣和彦, 藤原久義: 拡張型心筋症とアポト - シス . Heart View 2 ( 5 ), 60-64 ( 1998 )

野田俊之, 藤原久義: Ca 拮抗薬 . Medical Practice 15 ( 6 ), 1043-1048 ( 1998 )

#### 原著 (和文)

飯田真美, 後藤紘司, 八木安生, 出口富美子, 寺島 寧, 長島賢司, 野村万寿美, 安田憲生, 藤原久義, 平川千里: ヒトにおける左心拍出量曲線と肺静脈還流曲線 . Journal of Cardiology 2721-2727 ( 1996 )

宇野嘉弘, 湊口信也, 大野 嗣, 苅谷達也, 越路正敏, 藤原久義, 藤原兌子: Nicorandil の心筋梗塞サイズ縮小効果 . - 側副循環のないウサギモデルにおける検討 - . Therapeutic Research 17 ( 4 ), 107-108 ( 1996 )

安田憲生, 後藤紘司, 飯田真美, 長島賢司, 野村万寿美, 八木安生, 藤原久義: 体位性誘発ラ音と呼吸機能 . Therapeutic Research 17 ( 8 ), 255-259 ( 1996 )

西垣和彦, 富田政明, 野田俊之, 湊口信也, 藤原久義, 小田 寛, 渡辺佐知郎, 森田則彦: 肥大型心筋症における血漿脳性利尿ペプチドの検討 . 県内科医会雑誌 10, 13-19 ( 1996 )

富田政明, 野田俊之, 西垣和彦, 国島明久, 操 潤, 田所充伸, 藤原久義: 僧帽弁置換術後の潜在性 WPW 症候群に対しての心臓カテ - テルアブレ - ションに成功した 1 例 . 呼吸と循環 44 ( 12 ), 1307-1310 ( 1996 )

西垣和彦, 操 潤, 早川幸博, 藤原久義, 田中 昌: 肥大型心筋症における拡張型心筋症様所見へのリモデリングについて . 循環器科 39 ( 1 ), 86-90 ( 1996 )

野田俊之, 加川憲作, 西垣和彦, 早川幸博, 後藤紘司, 藤原久義: 成人川崎病後遺症患者における無症候性心筋虚血と側副血行路の検討 . 循環器科 39, 601-606 ( 1996 )

湊口信也, 伊藤裕康, 横山仁美, 今井洋子, 越路正敏, 各務雅夫, 宇野嘉弘, 藤原久義: ACE 阻害剤 ( カプトプリル ) の昇圧抑制機序の検討 - アンジオテンシン・受容体遮断剤との対比 - . 循環制御 17 ( 2 ), 223-229 ( 1996 )

横山仁美, 湊口信也, 今井洋子, 越路正敏, 各務雅夫, 宇野嘉弘, 藤原久義, 伊藤裕康: カプトプリルの昇圧抑制機序の推定 . 心臓 ( suppl 4 ) 28, 85-88 ( 1996 )

小野木浩人, 鷹津久登, 香田雅彦, 藤原久義, 鈴木雅雄: 小腸食物異物の 1 例 . 内科 78(2), 363-365 (1996)

安田憲生, 香田雅彦, 野村万寿美, 長島賢司, 竹村元三, 鷹津久登, 湊口信也, 後藤紘司, 藤原久義: 自己免疫性溶血性貧血を合併したサルコイド - シスの 1 例 . 日本胸部疾患学会雑誌 34(8), 931-935 (1996)

後藤紘司, 長島賢司, 野村万寿美, 安田憲生, 藤原久義, 大角幸男, 八木安生, 塚本達夫, 寺島 寧: 安静時 201-Tl 心筋 SPECT 遅延像を用いた陳旧性心筋梗塞領域における viability 評価 . ニュ - タウンカファレンス 49-52 (1996)

藤原久義, 伊藤裕康, 湊口信也, 富田政明, 渡辺佐知郎, 大橋宏重, 森 矩尉, 安田 洋, 塚本達夫, 大角幸男, 長野俊彦, 平野高弘, 皆川太郎, 高田信幸, 杉下総吉, 岩砂和雄, 田中隆平: 本態性高血圧症における TCX-116 (candesartan cilexetil) の左室肥大および耐糖能に及ぼす影響 . 臨床医薬 12(15), 3281-3297 (1996)

鷹津良樹, 竹村元三, 佐藤幸人, 尾野真弓, 和泉俊明, 竹内雄三, 伊藤晴康, 片岡一明: チクロピジン短期単独投与を用いた冠動脈 Palmaz-Schatz スtent留置術の臨床成績 . 心血管インタ - ベンション 11, 427-432 (1996)

佐藤幸人, 竹村元三, 尾野 亘, 竹内雄三, 片岡一明, 伊藤晴康, 鷹津良樹: 肥大型心筋症の自然経過と最近の話題 . 内科専門医会誌 8, 143-148 (1996)

後藤尚己, 皆川太郎, 橋本和明, 大熊俊男, 井上清明, 石黒源之, 平野高弘, 高間郁尚, 鈴木由香里: 左房内球状浮遊血栓の 1 例と本邦報告例の文献的考察 . 超音波医学 23, 815-820 (1996)

鷹津久登, 藤原久義: 講座 実験室からベッドサイドへ プレシナプスにおけるカテコラミンの放出とその調節 . Cardiologist 2(2), 113-117 (1997)

湊口信也, 苅谷達也, 宇野嘉弘, 越路正敏, 荒井正純, 大野道也, 橋本和明, 藤原久義: In vivo Microdialysis 法による Ischemic Preconditioning 時の心筋間質内 Noradrenaline 濃度変化 - 心臓交感神経における KATP Channel, Adenosine A1 Receptor, Protein Kinase C との関連 - . Therapeutic Research 18(3), 177-180 (1997)

土屋邦彦, 野田俊之, 西垣和彦, 藤原久義, 堀江 稔: 2:1 心室伝導を呈した房室結節リエントリ - 性頻拍の一例. Therapeutic Research 18 (4), 36-38 (1997)

加納素夫, 竹村元三, 西垣和彦, 野田俊之, 操 潤, 早川幸博, 渡辺佐知郎, 森田則彦, 藤原兌子, 藤原久義: 心筋症におけるアポト - シスとその抑制因子 Bcl-2 蛋白、促進因子 Bax 蛋白の発現 - 心筋生検組織を用いた免疫組織学的検討 - . 岐阜県内科医会雑誌 11 (1), 21-24 (1997)

富田政明, 野田俊之, 西垣和彦, 国島明久, 操 潤, 田所充伸, 藤原久義: 僧帽弁置換術後の潜在性 WPW 症候群に対しての心臓カテ - テルアブレ - ションに成功した 1 例. 呼吸と循環 4 (12), 1307-1310 (1997)

西垣和彦, 湊口信也, 野田俊之, 浅野喜代治, 佐野浩毅, 小田 寛, 渡辺佐知郎, 服部有博, 田中 孜, 藤原久義: 左室機能低下による慢性心不全における hypoxia とアポト - シス抑制因子可溶性 Fas. 循環器科 41 (4), 418-420 (1997)

湊口信也, 伊藤裕康, 横山仁美, 越路正敏, 宇野嘉弘, 藤原久義: noradrenaline の昇圧反応は captopril で抑制される - bradykinin B2 受容体を介する nitric oxide 産生増加の関与 - . 循環制御 18 (1), 45-50 (1997)

鷹津久登, 藤原久義: MIBG 心集積を規定する因子の検討. 心臓 29 (1), 5-9 (1997)

苅谷達也, 湊口信也, 大野 嗣, 山下和也, 荒井正純, 宇野嘉弘, 越路正敏, 藤原久義, 藤原兌子: Ischemic preconditioning の梗塞サイズ縮小効果には 1B 受容体刺激が関与する - ウサギモデルにおける梗塞サイズ、心筋組織および心筋間質内ノルアドレナリンからの検討. 心臓 29 (2), 54-58 (1997)

飯田宏樹, 渡辺章久, 石山忠彦, 飯田真美, 土肥修司: 脳、脊髄微小血管の炭酸ガスおよび血管収縮薬に対する反応性の違い. 麻酔 46, 2-9 (1997)

皆川太郎, 橋本和明, 安江由里香, 大熊俊男, 鳥澤昌紀, 井上清明, 石黒源之, 高田信幸, 平野高弘, 森 甫: ニプラジロ - ルによる左室肥大退縮作用と心機能への影響. Therapeutic Research 18 (6), 2117-2121 (1997)

石黒源之, 大熊俊男, 橋本和明, 安江由里香, 井上清明, 皆川太郎, 高田信幸, 平野高弘: Ca 型レジンと Na 型レジンを交互投与した高 K 血症と高 P 血症を有する慢性腎不全の 1 例

- Ca 型レジンの血清 P 低下作用 - . 診療と新薬 34 ( 4 ), ( 1997 )

橋本和明, 石黒源之, 幾高敏晴, 安江由里香, 大熊俊男, 鳥澤昌紀, 井上清明, 皆川太郎, 高田信幸, 平野高弘, 森 甫, 松尾仁司, 大橋宏重, 渡辺佐知郎: 血漿 BNP による血液透析患者心筋障害の評価と心血管事故予測因子としての可能性 . 透析学会誌 30( 2 ), 117-123 ( 1997 )

橋本和明, 石黒源之, 後藤尚己, 大熊俊男, 安江由里香, 井上清明, 越野陽介, 皆川太郎, 高田信幸, 鈴木典子, 平野高弘, 森 甫: 腎不全症例、糖尿病症例における胃排出能と潰瘍治療剤プロスタグランジン E2 誘導体の影響 . 臨床透析 13 ( 5 ), ( 1997 )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Tomita M , Ikeguchi S , Kagawa K , Noda T , Nishigaki K , Furuta S , Gotoh K , Fujiwara H : Serial histopathologic myocardial findings in a patient with ectopic atrial tachycardia-induced cardiomyopathy . Journal of Cardiology 29 ( 1 ), 37-42 ( 1997 )

Tomita M , Yagi Y , Gotoh K , Fujiwara H : Assessment of right ventricular contractile function in patients with left ventricular dysfunction by a simplified echocardiographic subtraction method . Journal of Cardiology 29 , 63-71 ( 1997 )

Tomita M , Wada H , Tanaka R , Miwa Y , Kagawa K , Noda T , Nishigaki K , Hirakawa S , Fujiwara H : Effects of albumex infusion on left ventricular inflow velocity in dogs . Journal of Cardiology 29 ( 5 ), 283-291 ( 1997 )

Tomita M , Kagawa K , Noda T , Nishigaki K , Fujiwara H : Assessment of left atrial operative mean stiffness using simultaneous recordings of left ventricular pressure and M-mode echocardiography of the left atrium and mitral valve . Journal of Cardiology 30 , 89-96 ( 1997 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Misao J , Hayakawa Y , Ohno M , Kato S , Fujiwara T , Fujiwara H : Expression of bcl-2 protein , an inhibitor of apoptosis , and Bax , an accelerator of apoptosis , in ventricular myocytes of human hearts with myocardial infarction . Circulation 94 , 1506-1512 ( 1996 )

Takemura G , Hayakawa Y , Fujiwara H : Ultrastructure of apoptosis of smooth muscle cells . Circulation 94 , 1787-1788 ( 1996 )

Noda T , Arakawa M , Miwa H , Ito Y , Kagawa K , Nishigaki K , Hirakawa S , Fujiwara H : Effects of heart rate on flow velocity of the left atrial appendage in patients with nonvalvular atrial fibrillation . *Clinical Cardiology* 19 , 295-300 ( 1996 )

Seishima M , Takemura M , Saito K , Sano H , Minatoguchi S , Fujiwara H , Hachiya T , Noma A : Highly sensitive ELISA for soluble Fas in serum : increased soluble Fas in the elderly . *Clinical Chemistry* 42 ( 12 ) , 1911-1914 ( 1996 )

Ito Y , Arakawa M , Noda T , Miwa H , Kagawa K , Nishigaki K , Fujiwara H : Atrial reservoir and active transport function after cardioversion of chronic atrial fibrillation . *Heart and Vessels* 11 , 30-38 ( 1996 )

Hasegawa K , Fujiwara H , Koshiji M , Inada T , Ohtani S , Doyama K , Tanaka M , Matsumori A , Fujiwara T , Shirakami G , Hosoda K , Nakano K , Sasayama S : Endothelin-1 and its receptor in hypertrophic cardiomyopathy. *Hypertension* 27 , 259-264 ( 1996 )

Nishigaki K , Tomita M , Kagawa K , Noda T , Minatoguchi S , Oda H , Watanabe S , Morita N , Nakao K , Fujiwara H : Marked expression of plasma brain natriuretic peptide is a special feature of hypertrophic obstructive cardiomyopathy . *JACC* 28 , 1234-1242 ( 1996 )

Koshiyama H , Sellitti DF , Akamizu T , Doi SQ , Takeuchi Y , Inoue D , Sakaguchi H , Takemura G , Sato Y , Takatsu Y : Cardiomyopathy associated with Graves' disease . *Clinical Endocrinology* 45 , 111-116 ( 1996 )

Takemura G , Takatsu Y , Kaitani Y , Ono M , Ando F , Tanada S , Niwa H , Tankawa H , Fujiwara T , Yamabe H : Metastasizing uterine leiomyoma : A case with cardiac and pulmonary metastasis *Pathology - Research and Practice* 192 , 622-629 ( 1996 )

Roger G Perez , Arai M , Chris Richardson , Anthony DiPaula , Cynthia Siu , Matsumoto N , James EK Hildreth , Michele M Mariscalco , Wayne C Smith , Lewis C Becker : Factors modifying protective effect of anti-CD18 antibodies on myocardial reperfusion injury in dogs . *Am J Physiol* 270 ( *Heart Circ . Physiol .* 39 ) , H53-64 ( 1996 )

Arai M , David J Lefer , T . So , Anthony DiPaula , Thomas Aversano , Lewis C Becker : An anti-CD18 antibody limits infarct size and preserves left ventricular function in dogs with ischemia and 48-Hour reperfusion . *JACC* 27 , 1278-1285 ( 1996 )

C . P . Cheng , Suzuki M , Ohte N , Ohno M , Z . Wang , W.C . Little : Altered ventricular and myocyte response to angiotensin • in pacing-induced heart failure . Circulation Research 78 , 880-892 ( 1996 )

Kubo A , Yoshikawa A , Hirashima T , Masuda N , Takada M , Takahara J , Fukuoka M , Nakagawa K : Point mutations of the topoisomerase • gene in patients with small cell lung cancer treated with etoposide . Cancer Research 56 , 1232-1236 ( 1996 )

Tsuchiya K , Horie M , Watanuki M , Carlos . A , Obayashi K , Fujiwara H , Sasayama S : Functional compartmentalization of ATP is involved in angiotensin • -mediated closure of cardiac ATP-sensitive K<sup>+</sup> channels . Circulation 96 , 3129-3135 ( 1997 )

Minatoguchi S , Uno Y , Seishima M , Koshiji M , Kakami M , Yokoyama H , Ito H , Fujiwara H : Effects of adrenaline infusion on plasma lipids and noradrenaline levels in rabbits with adriamycin-induced cardiomyopathy . Clini Exp Pharm Physiol 24 , 477-280 ( 1997 )

Yokoyama H , Minatoguchi S , Koshiji M , Uno Y , Kakami M , Nagata C , Ito H , Fujiwara H : Losartan and captopril follow different mechanisms to decrease the pressor responses in the pithed rat . Clini Exp Pharm Physiol 24 , 697-705 ( 1997 )

Minatoguchi S , Ito H , Asano K , Koshiji M , Uno Y , Kakami M , Yokoyama H , Fujiwara H : Simultaneous evaluation of left- and right-sided heart pumping function during dynamic leg exercise in patients with mild chronic congestive heart failure , with special reference to afterload and plasma noradrenaline . Heart and Vessels 12 , 4-42 ( 1997 )

Ohno Y , Minatoguchi S , Uno Y , Kariya T , Arai M , Yamashita K , Fujiwara T , Fujiwara H : Nicorandil reduces myocardial infarct size by opening the KATP channel in rabbits . Int J Cardiol 62 , 81-190 ( 1997 )

Ohno A , Hirashima T , Kubo A , Masuda N , Takada M , Fujiwara H , Yasumitsu T , Kikui M , Fukuoka M , Nakayama K : p53 status and prognosis in stage • - • 'a non-small cell lung cancer . Int Journal Oncolo 10 , 521-528 ( 1997 )

Arai T , Yasuda V , Takaya T , Yoshimi N , Ito H , Fujiwara H : Correlation between the immunohistochemical and mRNA expression of glutathione S-transferase- and cisplatin



plus etoposide chemotherapy response in patients with untreated primary non-small cell lung cancer . *Int Journal Oncolo* 11 ( 1 ), 127-131 ( 1997 )

Nishigaki K , Minatoguchi S , Seishima M , Asano K , Noda T , Yasuda N , Sano H , Kumada H , Takemura M , Noma A , Fujiwara H : Plasma Fas ligand , an inducer of apoptosis , and plasma soluble Fas ,an inhibitor of apoptosis ,in patients with chronic congestive heart failure . *JACC* 29 , 1214-1220 ( 1997 )

Kariya T , Minatoguchi S , Ohno T , Yamashita K , Uno Y , Arai M , Koshiji M , Fujiwara T , Fujiwara H : Infarct size-reducing effect to ischemic preconditioning is related to  $\alpha$ 1b-adrenoceptors but not to  $\alpha$ 1a-adrenoceptors in rabbits . *J Cardiovascu Pharmacol* 30 , 437-445 ( 1997 )

Takemura G , Takatsu Y , Sakaguchi H , Fujiwara H : Intranuclear mitochondria in human myocardial cells . *Pathology - Research and Practice* 193 ( 4 ), 305-311 ( 1997 )

Yasuda N , Gotoh K , Yagi Y , Nagashima K , Sawa T , Nomura M , Hirakawa S , Fujiwara H : Mechanism of Posturally Induced Crackles as Predictor of Latent Congestive Heart Failure . *Respiration* 64 , 336-341 ( 1997 )

Takatsu H , Carlos M Duncker , Arai M , Lewis C Becker : Cardiac sympathetic nerve function assessed by [  $^{131}$  - ] metaiodobenzylguanidine after ischemia and reperfusion in anesthetized dogs . *Journal of Nuclear Cardiology* 4 , 33-41 ( 1997 )

Sawamura T , Kume N , Aoyama T , Moriwaki H , Hoshikawa H , Aiba Y , Tanaka T , Miwa S ,Katsura Y ,Kita Y ,Masaki T :An endothelial receptor for oxidized low-density lipoprotein . *Nature* 386 ( 6620 ), 73-77 ( 1997 )

Takemura G , Ohno M , Hayakawa Y , Misao J , Kanoh M , Ohno A , Minatoguchi S , Uno Y , Fujiwara T , Fujiwara H : Role of apoptosis in the disappearance of infiltrated and proliferated interstitial cells after myocardial infarction . *Circulation Research* 81 ( 11 ) , 1130-1138 ( 1998 )

Arai M , Minatoguchi S , Takemura G , Uno Y , Kariya T , Takatsu H , Fujiwara T , Higashioka M , Yoshikuni Y , Fujiwara H : N-methyl-1-deoxynojirimycin ( MOR-14 ) , an  $\alpha$ -glucosidase inhibitor , markedly reduced infarct size in rabbit hearts . *Circulation* 97 ( 13 ) , 1290-1297

( 1998 )

Takemura G , Takatsu Y , Doyama K , Itoh H , Saito Y , Koshiji M , Ando F , Fujiwara T , Nakao K , Fujiwara H : Ventricular expression of atrial and brain natriuretic peptides and their genes in hearts of patients with cardiac amyloidosis . JACC 31 ( 4 ) , 754-765 ( 1998 )

Takemura G , Takatsu Y , Fujiwara H : Luminal narrowing of coronary capillaries in human hypertrophic hearts : an ultrastructural morphometrical study using endomyocardial biopsy specimens . Heart 79 ( 1 ) , 78-85 ( 1998 )

Yamamoto N , Nishigaki K , Ban Y , Kawada Y : Coronary vasospasm after interferon administration . British Journal of Urology 81 , 916-917 ( 1998 )

## 内科学第三講座

### 著書（和文）

武田則之，安田圭吾：薬剤性クッシング症候群 Cushing syndrome 病態・栄養管理ビジュアル臨床栄養百科 第6巻「疾患別の臨床栄養 2. - 内科（2）」，1996．62-65

三浦 淳，石塚達夫，山田浩司，梶田和男，永島寿彦，加納克徳，石澤正剛，和田啓明，板谷聡実，安田圭吾：OLETF ラットにおけるインスリン抵抗性の検討 - 特に diacylglycerol，PKC isoforms，mRNA の検討 - ，PEPTIDE HORMONES IN PANCREAS16，1996．86-90

板谷聡実，石塚達夫，三浦 淳，和田啓明，梶田和男，山田浩司，加納克徳，石澤正剛，永島寿彦，安田圭吾：血小板のPKC 活性と糖尿病性合併症との関連について，PEPTIDE HORMONES IN PANCREAS 16，1996．175-179

山田浩司，石塚達夫，梶田和男，三浦 淳，加納克徳，石澤正剛，和田啓明，板谷聡実，山本眞由美，安田圭吾：ラット脂肪細胞のインスリン刺激によるPKCmRNA の誘導，分子糖尿病学 7，1996．111-115

石塚達夫，大洞尚司，宗 友厚，山田浩司，諏訪哲也，柴田敏朗，森田浩之，三浦 淳，板谷聡実，梶田和男，安田圭吾：アルドステロン産生副腎腺腫（APA）合併 Pre-Cushing 症候群（PC）のACTH、TPAによるコルチゾール（F）分泌，ACTH RELATED PEPTIDES7，1996．17-22

梶田和男，石塚達夫，三浦 淳，加納克徳，山田浩司，石澤正剛，板谷聡実，和田啓明，木村美香，安田圭吾：OLETF ラットでのインスリン情報伝達異常，OLETF 研究会記録 2，1996．40-44

宗 友厚，安田圭吾：副腎皮質 - 糖質コルチコイド - ，Annual Review 内分泌・代謝，金澤康德 他編，中外医学社，1997．247-253

安田圭吾：副腎性器症候群，今日の診断治療 第4版，亀山正邦 他編，医学書院，1997．1086-1087

武田則之，安田圭吾：当科における糖尿病の診断と治療，糖尿病の診断と治療，真興交易医

書出版部編，真興交易医書，1997．136-145

武田則之，安田圭吾：内分泌性糖尿病の病態・診断，糖尿病臨床ノ - ト I，発症機序・分類・診断，坂本信夫，堀田 饒 監修，現代医療社，1997．185-201

安田圭吾：肝性・脾性糖尿病と一次性糖尿病の差異，質疑応答による糖尿病，七里元亮 編，日本医事新報社，1997．37-39

### 著書（欧文）

H Wada , T Ishizuka , S Itaya , K Yamada , K Kajita , T Nagashima , A Miura , T Shibata , Y Kanoh , M Ishizawa , K Yasuda : Inhibitory effect of glyburide on thrombin-induced platelet aggregation and phosphoinositide metabolism in normal human platelets , Diabetes mellitus , New aspects of pathogenesis and treatment , Eds.T.Kaneko , K.B.Huh , M.Shitiri , Y.Oka , Smith-Gordon , 1997 . 281-282

K Yamada , T Ishizuka , K Yasuda , R V Farese : Insulin stimulates the translocation of protein kinase c- in rat soleus muscle Diabetes mellitus , Eds.T.Kaneko , K.B.Huh , M.Shitiri , Y.Oka , Smith Gordon , 1997 . 157-159

### 総説

柴田敏朗，安田圭吾：クッシング症候群．臨床栄養 189，506-507（1996）

柴田敏朗，安田圭吾：アジソン病．臨床栄養 189，508-509（1996）

宗 友厚，安田圭吾：偽性低アルドステロン症．ホルモンと臨床 44，71-77（1996）

武田則之，安田圭吾：諸種病態とインスリン抵抗性 内分泌疾患とインスリン抵抗性．内科 78，704-708（1996）

安田圭吾：糖尿病の治療 合併症予防を目指して．岐阜県医師会医学雑誌 9，11-16（1996）

大塚節子，木村彰方，石塚達夫：輸血後 GVHD．検査と技術 25，270-274（1997）

山北宜由，小牧卓司，安田圭吾：偶発副腎皮質腺腫 Preclinical Cushing 症候群とその下垂体 - 副腎系の抑制．日本医事新報 3824，26-32（1997）

宗 友厚, 諏訪哲也: ミネラルコルチコイド過剰症の遺伝子異常 . Medical Practice 14 , 1300-1301 ( 1997 )

大塚節子, 木村彰方, 石塚達夫: 輸血による重篤な合併症・副作用とその対策 輸血後 G V H D 臨床像 . 日本臨床 55 , 68-74 ( 1997 )

加納克徳, 石塚達夫, 石澤正剛, 三浦 淳, 梶田和男, 和田啓明, 板谷聡実, 木村美香, 山田浩司, 安田圭吾: ラット脂肪細胞とヒラメ筋におけるインスリン情報伝達機構に対する百日咳毒素の影響 . PEPTIDE HORMONE IN PANCREAS 17 , 139-143 ( 1997 )

宗 友厚, 諏訪哲也, 森田浩之: 食塩感受性高血圧と 11 HSD . VASCULAR SCIENCE 4 , 11-12 ( 1997 )

石塚達夫: 経口血糖降下療法の実際 . 岐阜県医師会医学雑誌 10 , 97-107 ( 1997 )

武田則之: インスリン療法-Post DCCT- . 岐阜県医師会医学雑誌 10 , 109-114 ( 1997 )

板谷聡実: NIDDM の治療を大きく変える - 新しいインスリン抵抗性改善剤・トリグリタゾントロンピンによる血小板凝集を抑制 . Medical Tribune , 30-31 ( 1997 )

柴田敏朗, 古橋直樹, 安田圭吾: 糖尿病性神経障害の成因 . Modern Physician 17 , 1277-1280 ( 1997 )

和田啓明, 石塚達夫, 板谷聡実, 加納克徳, 石澤正剛, 三浦 淳, 梶田和男, 木村美香, 山田浩司, 安田圭吾: インスリン、グリベンクラマイドの血小板凝集能 ・イノシト - ルリン脂質代謝に及ぼす影響 . PEPTIDE HORMONE IN PANCREAS 17 , 172-176 ( 1997 )

宗 友厚, 大洞尚司, 諏訪哲也, 柴田敏朗, 森田浩之, 安田圭吾: 副腎性 Cushing 症候群腫瘍における ACTH および V1a Vasopressin レセプタ - の発現 . ACTH RELATED PEPTIDES 8 , 1-8 ( 1997 )

安田圭吾: インスリン抵抗性・その概念と測定法 . リハビリテーション医学 35 , 79-81 , ( 1998 )

石塚達夫, 武田則之, 安田圭吾: 糖尿病 ( 3 ) 血液関係 抗インスリン抗体 . 日本臨床 56 , 40-43 ( 1998 )

柴田敏朗, 吉野功二, 安田圭吾: 糖尿病(3)機能検査(2)/画像検査 画像検査による器  
官代謝障害の詳細. 日本臨床 56, 510-514 (1998)

武田則之, 中島和也, 安田圭吾: 糖尿病(3)グルココルチコイド過剰症と糖代謝異常. 日  
本臨床 56, 641-645 (1998)

石塚達夫: 膵性糖尿病の発症頻度および治療. 日本医事新報 3867, 111-112 (1998)

安田圭吾: 全身性疾患と感染症. 東西総合医療情報収集概要報告書 149 (1998)

石塚達夫: 主要疾患の薬物療法. 糖尿病 MEDICAMENT NEWS 1580, 27-29 (1998)

森田浩之, 安田圭吾: ・内分泌検査 4 副腎皮質、副腎髄質、交感神経系コルチゾール. 綜  
合臨床 47, 386-389 (1998)

森田浩之, 安田圭吾: ・内分泌検査 4 副腎皮質、副腎髄質、交感神経系 DHEA-S. 総合臨  
床 47, 390-392 (1998)

#### 原著(和文)

高見和久, 武田則之, 華房順子, 足立佳代子, 井上 洋, 川島 卓, 佐々木賢二, 田代征記,  
安田圭吾: 糖尿病を合併した Cystic Fibrosis (CF) の1例. 糖尿病 39, 707-712 (1996)

平松佳子, 武田則之, 奥村昇司, 宅野 洋, 安田圭吾: 著明な胸水、心嚢液貯留を認めた超  
高齢者進行性全身性硬化症の1例. 日本老年医学会雑誌 33, 535-539 (1996)

古橋直樹, 奥村修一, 伊東正孝, 三島 等, 竹腰昭道, 宮崎青爾: 酵素結合性免疫グロブリン  
の3例. 内科 78, 372-375 (1996)

吉野功二, 小牧卓司, 山北宜由, 三浦 清, 池田庸子: 食道を含め全消化管に病変を認めた  
Crohn 病の1例. 内科 78, 567-570 (1996)

山口明子, 宅野 洋, 山本真由美, 華房順子, 森田浩之, 坂田茂樹, 石塚達夫, 安田圭吾:  
Nephrocalcinosis.nephrolithiasis を伴った MEN2A の1例. ホルモンと臨床 44, 239-243  
(1996)

磯村幸範，鈴木武志，嘉村正徳，猿井 宏，森田浩之，宅野 洋，坂田茂樹，石塚達夫，安田圭吾：尿崩症を合併した下垂体卒中の 1 例．ホルモンと臨床 44，29-34（1996）

山北宜由，皆森良明，安田圭吾，三浦 清：クッシング症候群における一般検査結果のコンピュータ解析 一般検査項目によるスクリーニングへの応用 - ．臨床と研究 73，86-91（1996）

鈴木英司，大廻長茂，柴田敏朗，安田紀久子，武田則之，石塚達夫，安田圭吾：磁気共鳴スペクトロスコピーによる糖尿病性神経障害におけるポリオール代謝経路と浸透圧変化の解明．現代医療 28，2489-2498（1996）

石塚達夫，三浦 淳，山田浩司，加納克徳，石澤正剛，板谷聡実，梶田和男，安田圭吾：OLETFラット脂肪細胞でのインスリン情報伝達異常．日本臨床代謝学会記録 33，63（1996）

安田圭吾，石塚達夫，三浦 淳，板谷聡実，大洞尚司，柴田敏朗：糖質ステロイドのインスリン作用抑制機序 - Cキナーゼの関与について - ．「副腎ホルモン産生異常症」調査研究班平成 7 年度研究報告書，97-110（1996）

吉野功二，猿井 宏，山田浩司，柴田敏朗，大洞尚司，宗 友厚，宅野 洋，石塚達夫，安田圭吾，嘉村正徳，原 明：化学療法後腫瘍の縮小にもかかわらず血漿 ACTH が著増した異所性 ACTH 産生肺小細胞癌の 1 例，日本内科学会雑誌 86，684-686（1997）

河合泰典，柴田敏朗，大洞尚司，宗 友厚，武田則之，石塚達夫 安田圭吾：シャルコ - 関節をきたした糖尿病の 2 例．岐阜県内科医会雑誌 11，31-35（1997）

大洞尚司，諏訪哲也，安田圭吾：Cushing 症候群．内科 79，1587-1590（1997）

松井郁雄，高見和久，武田則之：糖尿病の悪化を契機に発見された特発性尿崩症の 1 例．木沢記念病院年報 5，81-85（1997）

磯村幸範，嘉村正徳，奥村昇司，石塚達夫，鈴木雅雄，下川邦泰，佐治重豊，林 慎，安田圭吾：O-Ip+ c型を呈した食道粘膜癌の 1 例．胃と腸 32，1109-1113（1997）

柴田敏朗，山田浩司，棚橋哲也，大洞尚司，宗 友厚，宅野 洋，武田則之，石塚達夫，安田圭吾：Pre-Cushing 症候群を合併した原発性アルドステロン症の 2 症例，ホルモンと臨床 45，175-180（1997）

嘉村正徳，宮崎青爾，古橋直樹，安田圭吾：ニブラジロ - ルの降圧時における 遮断作用とニトロキシキ基の役割について 高血圧症患者での検討 . 岐阜大学医学部紀要 45 , 412-416 ( 1997 )

嘉村正徳，宮崎青爾，古橋直樹，安田圭吾：ニブラジロ - ルの降圧時における 遮断作用とニトロキシキ基の役割について 正常血圧者での検討 . 岐阜大学医学部紀要 45 , 406-411 ( 1997 )

杉本美雪，武田則之，中島和也，奥村昇司，吉野功二，高見和久，服部順子，高見利恵子，石森正敏，佐々木昭彦，安田圭吾：Growth hormone 投与によるインスリン抵抗性に対するトログリタゾン ( CS-045 ) の効果 . 岐阜大学医学部紀要 46 , 14-19 ( 1998 )

板谷聡実，石塚達夫，和田啓明，三浦 淳，加納克徳，石澤正剛，安田圭吾：糖尿病治療変更による血小板凝集能およびイノシト - ルリン脂質代謝への影響に関する検討 . 岐阜大学医学部紀要 46 , 26-33 ( 1998 )

和田啓明，石塚達夫，板谷聡実，木村美香，三浦 淳，加納克徳，石澤正剛，柴田敏朗，安田圭吾：インスリン、グリブライトの血小板凝集能および血小板イノシト - ルリン脂質代謝に対する作用 - 正常血小板を用いた検討 - . 岐阜大学医学部紀要 46 , 7-13 ( 1998 )

石塚達夫，河合泰典，柴田敏朗，吉野功二，宗 友厚，森田浩之，武田則之，安田圭吾：若年でシャルコ - 関節を発症したインスリン依存症型糖尿病の 1 例 . Diabetes Journal 26 , 17-20 ( 1998 )

板谷聡実，石塚達夫，和田啓明，谷口 治，三浦 淳，加納克徳，石澤正剛，安田圭吾：糖尿病治療変更による血小板凝集能およびイノシト - ルリン脂質代謝への影響に関する検討 . 糖尿病 41 , 185-194 ( 1998 )

宗 友厚，諏訪哲也，森田浩之，安田圭吾：Apparent mineralocorticoid excess syndrome . ホルモンと臨床 46 , 61-88 ( 1998 )

柴田敏朗，鈴木英司，安田紀久子，安田圭吾：ヒト糖尿病性神経障害における末梢神経病変の磁気共鳴画像解析による検討 - アルド - ス還元酵素阻害剤、プロスタグランディン I2 誘導体投与効果について - . 糖尿病 41 , 423-431 , ( 1998 )



### 原著 ( 欧文・国内 )

H Koshiyama , S Mori , T Koh , Y Tatsuoka , T Mune , H Katakami : Familial isolated hypoparathyroidism , Case report with serum PTHrP examination . Endocrine J 43 , 569-572 ( 1996 )

T Ishizuka , H Daido , H Morita , T Mune , A Miura , T Suwa , T Shibata , K Yamada , S Itaya , K Kajita , K Yasuda : ACTH-induced cortisol secretion is mediated by cAMP and PKC in various adrenocortical adenomas . Endocrine J 44 , 661-670 ( 1997 )

### 原著 ( 欧文・国外 )

K Miura , K Yasuda , T Yanase , N Yamakita , H Sasano , H Nawata , M Inoue , T Fukaya , Y Shizuta : Mutation of cytochrome P-45017 gene ( CYP17 ) in a Japanese patient previously reported as having glucocorticoid-responsive hyperaldosteronism With a review of Japanese patients with mutations of CYP17 . J Clin Endocrinol Metab 81 , 3797-3801 ( 1996 )

T Ishizuka , K Kajita , K Yamada , A Miura , Y Kanoh , M Ishizawa , H Wada , S Itaya , M Yamamoto , K Yasuda , K Nagata , Y Okano : Insulin regulate PKC isoform mRNA in rat adipocytes . Diabetes Research and Clinical Practice 33 , 159-167 ( 1996 )

H Daidoh , K Matsui , M Kamura , H Morita , N Takeda , H Inoue , T Ishizuka , K Yasuda : Asymptomatic hemobilia with idiopathic thrombocytopenic purpura . Hepato-Gastroenterology 43 , 1470-1471 ( 1996 )

H Morita , M Zhou , M F Foecking , E P Gomez-Sanchez , E N Cozza , C E Gomez-Sanchez : 11 $\beta$ -hydroxysteroid dehydrogenase type 2 complementary deoxyribonucleic acid stably transfected into Chinese hamster ovary cells specific inhibition by 11 $\beta$ -hydroxyprogesterone . Endocrinology 137 , 2308-2314 ( 1996 )

T Mune , P C White : Apparent mineralocorticoid excess . Genotype is correlated with biochemical phenotype . Hypertension 27 , 1193-1199 ( 1996 )

A Avignon , K Yamada , X Zhou , B Spencer , O Cardoma , S Saba-Siddique , M L Standaert , R V Farese : Chronic activation of protein kinase C in soleus muscles and other tissues of insulin-resistant type 2 . diabetic Goto-Kakizaki ( GK ) , obese/aged , and obese/zucker rats A mechanism for inhibiting glycogen synthesis . Diabetes 45 , 1396-1404 ( 1996 )

C E Gomez-Sanchez , M Y Zhou , E N Cozza , H Morita , F C Eddleman , E P Gomez-Sanchez : Corticosteroid synthesis in the central nervous system . Endocrine Research 22 , 463-470 ( 1996 )

E P Gomez-Sanchez , M Y Zhou , H Morita , E N Cozza , M F Foecking , C E Gonez-Sanchez : Mutations in the  $\beta$ -hydroxylase genes in the Dahl SS and SR rats . Endocrine Research 22 , 493-494 ( 1996 )

H Sarui , K Yoshimoto , S Okumura , M Kamura , H Takuno , T Ishizuka , H Takao , K Shimokawa , M Itakura , S Saji , K Yasuda : Cystic glucagonoma with loss of heterozygosity on chromosome 11 in multiple endocrine neoplasia type 1 . Clinical Endocrinology 46 , 511-516 ( 1997 )

C E Gomez-Sanchez , M Y Zhou , E N Cozza , H Morita , M F Foecking , E P Gomez-Sanchez : Aldosterone biosynthesis in the rat brain . Endocrinology 138 , 3369-3373 ( 1997 )

T Ishizuka , T Nagashima , K Kajita , M Yamamoto , H Wada , S Itaya , K Yamada , A Miura , Y Knoch , M Ishizawa , K Yasuda : Acute effects of phorbol ester and insulin on insulin-induced glucose uptake and protein kinase C activation in rat adipocytes Diabetes Research and Clinical Practice 37 , 49-52 ( 1997 )

T Ishizuka , T Nagashima , K Kajita , A Miura , M Yamamoto , S Itaya , Y Kanoh , M Ishizawa , H Murase , K Yasuda : Effect of glucocorticoid receptor antagonist RU 38486 on acute glucocorticoid-induced insulin resistance in rat adipocytes . Metabolism 46 , 997-1002 ( 1997 )

White PC , Mune T , Rogerson FM , Kayes KM , Agarwal AK : Molecular analysis of 11 beta-hydroxysteroid dehydrogenase and its role in the syndrome of apparent mineralocorticoid excess . Steroids 62 , 83-88 ( 1997 )

White PC , Mune T , Rogerson FM , Kayes KM , Agarwal AK : 11 beta-hydroxysteroid dehydrogenase and its role in the syndrome of apparent mineralocorticoid excess . Pediatric Research 41 , 25-29 ( 1997 )

White PC , Mune T , Agarwal AK : 11 beta-hydroxysteroid dehydrogenase and the syndrome of apparent mineralocorticoid excess . Endocrine Review 18 , 135-156 ( 1997 )

T Ishizuka , A Miura , K Kajita , K Yamada , H Wada , S Itaya , Y Kanoh , M Ishizawa , M Kimura , K Yasuda : Alterations in insulin-induced postreceptor signaling in adipocytes of the Otsuka Long-Evans Tokushima fatty rat strain . J Endocrinol 156 , 1-13 ( 1998 )

S Okumura , N Takeda , K Takami , K Yoshino , J Hattori , K Nakashima , M Sugimoto , M Ishimori , R Takami , K Yasuda : Effects of troglitazone on dexamethasone-induced insulin resistance in rats . Metabolism 47 , 351-354 ( 1998 )

M Sugimoto , N Takeda , K Nakashima , S Okumura , K Yoshino , K Takami , J Hattori , R Takami , M Ishimori , A Sasaki , K Yasuda : Effects of troglitazone on hepatic and peripheral insulin resistance induced by growth hormone excess in rats .Metabolism 47 ,783-787( 1998 )

H Daidoh , H Morita , J Hanafusa , T Mune , H Murase , M Sato , T Shibata , T Suwa , T Ishizuka , K Yasuda : In vivo and in vitro effects of AVP and V1a receptor antagonist on Cushing's syndrome due to ACTH-independent bilateral macronodular adrenocortical hyperplasia . Clinical Endocrinology 48 , 403-409 ( 1998 )

T Ishizuka , S Itaya , H Wada , M Ishizawa , M Kimura , K Kajita , Y Kanoh , A Miura , N Muto , K Yasuda : Differential effect of the antidiabetic thiazolidinediones , troglitazone and pioglitazone on human platelet aggregation mechanism . Diabetes 47 , 1494-1500 ( 1998 )

H Wada , T Ishizuka , S Itaya , K Yamada , K Kajita , M Kimura , A Miura , T Shibata , Y Kanoh , M Ishizawa , K Yasuda : Inhibitory effect of glyburide on thrombin-induced platelet aggregation and phosphoinositide metabolism in normal human platelets . Platelets in press ( 1998 )

## その他

安田圭吾：糖尿病の治療 - 合併症予防のために - ，名古屋内科医会会報 94 ，39-46 ，1996

武田則之：教室紹介 第3内科学教室，岐阜医学会館だより 43 ，7-8 ，1996

武田則之：診療のワンポイント手引き 私の外来，岐阜医学会館だより 43 ，8-9 ，1996

山本眞由美：糖質ステロイドホルモンによるインスリン抵抗性の出現機序解明についての研究，日本女医会誌 148 ，5 ，1996

宗 友厚：留学を終えて，岐阜医学会館だより 44，14-15，1997

安田圭吾：ホルモン補充療法，暮らしと健康 5，81，1997

石塚達夫：放っておけない、高い血糖値，ぎふ元気人 5，25，1997

安田圭吾：アルドステロン関連疾患，最近の知見 第7回日本内分泌学会生涯教育集会資料，113-123，1997

安田圭吾：わたしの主治医 血糖が高く、尿タンパク陽性，中日新聞サンデー版 4，1997

安田圭吾，武田則之，奥村昇司：糖尿病，産業医学振興財団，作業関連疾患の予防管理と臨床，92-104，1997

安田圭吾：推薦のことば これだけは知っておこう キャンパスライフの健康管理，岐阜県大学保健管理研究会編，1998

安田圭吾：クリニカル クラ - クシップ，第17回国内医科大学視察と討論の会報告書，32-36，1998

## 外科学第一講座

### 総説（和文）

鬼束惇義：膵腺房細胞癌．別冊日本臨床領域別症候群シリ - ズ 10, 2660268 (1996)

### 原著（和文）

坂東道哉, 佐々木栄作, 石川 真, 高木寿人, 古澤泰伸, 広瀬 一：心筋の誘電特性の温度補正についての検討 - 心筋保護モニタとしての臨床応用をめざして - . 医用電子と生体工学 34 (特別), 250 (1996)

久保清景, 広瀬 一, 松本興治, 不破誠行, 森 義雄, 石川 真：胸骨浸食を呈した術後仮性遠位弓部大動脈瘤に対する 左開胸 / 低体温脳循環停止法による 1 再手術治験例．日本胸部外科学会雑誌 44 (2), 188-191 (1996)

桐生拓司, 松井英介, 塩谷真由美, 星 博昭, 酒井 聡, 下川邦泰：再発を来した多発性肺軟骨性過誤腫の 1 例．肺癌 36 (1), 49-53 (1996)

高木寿人, 広瀬 一, 松本興治, 不破誠行, 村川真司, 森 義雄, 佐々木栄作, 久保清景, 熊田佳孝, 古澤泰伸, 松尾 浩, 可知宏隆：Stanford A 型慢性解離を合併した真性弓部大動脈瘤破裂の 1 治験例．胸部外科 49 (3), 239-242 (1996)

高木寿人, 佐々木栄作, 古澤泰伸, 坂東道哉, 三鴨 肇, 熊田佳孝, 久保清景, 村川真司, 不破誠行, 広瀬 一：広背筋の収縮タイミングが胸背動脈血流に与える影響．骨格筋の心臓への影響 (第7回研究会論文集) 18-20 (1996)

古澤泰伸, 佐々木栄作, 高木寿人, 坂東道哉, 熊田佳孝, 村川真司, 不破誠行, 広瀬 一：脱血量の正確で容易な制御を目的とした脱血量調整装置の試作と特性の検討．人工臓器 25 (2), 355-360 (1996)

林 勝知, 広瀬 一, 二村直樹, 山内希美, 柴田雅也, 今井直基, 千賀省始, 鬼束惇義：直腸癌に対する骨盤内臓器全摘術後の quality of life についての検討．岐阜大学医学部紀要 44 (4), 484-486 (1996)

中谷武嗣, 高野久輝, 佐々木栄作：モ - タ - 体型埋込型左心補助人工心臓システム(LVAS)の開発 - 基礎的検討 - . 人工臓器 25 (3), 576-581 (1996)

坂東道哉, 酒井 聡, 片桐義文, 今井直基, 不破誠行, 広瀬 一: Peutz-Jeghers 症候群に合併した肺癌の 1 例. 外科 58 (10), 1283-1287 (1996)

林 勝知, 広瀬 一, 鬼束惇義, 後藤明彦, 多羅尾 信, 嘉屋和夫, 堀谷喜公, 飯田辰美: 多施設共同研究による大腸癌術後補助化学療法 of 検討. 岐阜大学医学部紀要 44 (5), 543-547 (1996)

高木寿人, 佐々木栄作, 坂東道哉, 古澤泰伸, 村川真司, 不破誠行, 広瀬 一: 広背筋刺激タイミングが胸背動脈血流プロフィールおよび胸背動脈血管抵抗に及ぼす影響の検討. 人工臓器 25 (4), 816-820 (1996)

佐々木栄作, Timothy J. Myers, Robert Jarvik, O.H. Frazier: 左心室埋込み型軸流ポンプ (Jarvik 2000TM) の慢性動物実験による評価. 人工臓器 25 (4), 806-810 (1996)

二村直樹, 中村栄男, 越川 卓, 須知泰山, 小鳥 勝, 鬼束惇義, 林 勝知, 広瀬 一: 消化管悪性リンパ腫における Epstein-Barr virus 関連腫瘍の検討. 日本消化器病学会雑誌 93 (5), 322-330 (1996)

坂東道哉, 広瀬 一, 松本興治, 不破誠行, 村川真司, 柴田雅也: 人工血管を被覆した腹部大動脈壁内面からの緩徐な出血による血腫形成のために瘤壁が除々に拡大した 1 例. 日本血管外科学会雑誌 5 (6), 761-765 (1996)

佐々木栄作, 金武和人, 今井直基, 高木寿人, 坂東道哉, 廣田俊夫, 酒井 聡, 広瀬 一: 医局のパソコン活用便覧 - 教室のパソコン利用状況 -. 外科診療 38 (11), 1317 (1996)

佐々木栄作, 高木寿人, 古澤泰伸, 坂東道哉, 不破誠行, 村川真司, 熊田佳孝, 広瀬 一: 電気特性による骨格筋への血流状態の評価 (フィードバック式刺激システムをめざして). 骨格筋の心臓への応用 (第 7 回研究会論文集) 11-13 (1996)

千賀省始, 林 勝知, 鬼束惇義, 杉本浩志, 今井直基, 柴田雅也, 林 昌俊, 片桐義文, 松友寛和, 宮田知幸, 飯田辰美, 広瀬 一: 虫垂腫瘍と鑑別が困難であった虫垂炎の 1 例. 外科 58 (6), 772-776 (1996)

千賀省始, 鬼束惇義, 橋本昌紀, 片桐義文, 飯田辰美, 林 勝知, 広瀬 一: 肝細胞癌, 盲腸粘膜内癌の重複癌に対し, 一期的に切除した 1 例. 外科 58 (9), 1153-1157 (1996)

佐々木裕茂, 広瀬 一, 酒井 聡, 張 玉清: ラット肺移植における拒絶反応時の白血球及び bronchoalveolar lavege の変化に関する研究 . 岐阜大学医学部紀要 44, 435-442 (1996)

佐々木裕茂, 広瀬 一, 酒井 聡, 張 玉清, 浜崎智仁: ラット肺移植におけるドコサヘキサエン酸静脈内投与の免疫抑制効果に関する研究 . 日本胸部外科学会雑誌 44(7), 936-944 (1996)

飯田辰美, 広瀬 一, 片桐義文, 東 健一郎, 宮田知幸, 酒井 聡, 千賀省始, 不破誠行, 林 勝知, 鬼束惇義: 心疾患を併存する腹部腫瘍症例に対する開心・開腹術一期的施行例の検討 . 外科 58 (7), 889-893 (1996)

松友寛和, 広瀬 一, 千賀省始, 伊藤英夫, 林 昌俊, 片桐義文, 飯田辰美, 林 勝知, 鬼束惇義: Thioacetamide によるラット硬変肝の虚血耐容能に関する実験的検討 . 日本消化器外科学会雑誌 29 (5), 983-989 (1996)

福地貴彦, 鬼束惇義, 林 勝知, 千賀省始, 片桐義文, 林 昌俊, 今井直基, 柴田雅也, 山内希美, 二村直樹, 角 泰廣, 広瀬 一: 胃・大腸手術における術後持続硬膜外モルヒネ投与の安全性および問題点の検討 . 日本消化器外科学会雑誌 29 (5), 960-964 (1996)

今井直基, 鬼束惇義, 林 勝知, 千賀省始, 片桐義文, 今泉松久, 広瀬 一: 腰椎側弯症に伴った上腰ヘルニアの1例 . 外科 58 (1), 1403-1406 (1996)

石川 真, 宮田知幸, 関野昌宏, 野田宜輝, 佐久間義方, 酒井 聡: 器質化肺炎の2例 . 胸部外科 49 (12), 1044-1047 (1996)

高木寿人, 佐々木栄作, 古澤泰伸, 村川真司, 不破誠行, 広瀬 一: リスクスコアによる IABP 症例の検討 . 循環器科 41 (2), 205-206 (1997)

石川 真, 小久保光治, 酒井 聡, 広瀬 一, 柴山磨樹, 下川邦泰: 画像上典型的な像を呈した 葉間胸膜発生の有茎性限局性繊維性胸膜中皮腫の1例 . 胸部外科 50 (3), 251-255 (1997)

佐々木栄作, 高木寿人, 森 義雄, 古澤泰伸, 坂東道哉, 不破誠行, 村川真司, 広瀬 一: 骨格筋の張力, 長さ関係に基づく出力評価のための機械式模擬循環回路 . 骨格筋の心臓への応用研究会誌 (第8回研究会論文集) 8, 23-26 (1997)

高木寿人, 佐々木栄作, 三鴨 肇, 坂東道哉, 古澤泰伸, 安田博之, 村川真司, 森 義雄, 不破誠行, 広瀬 一: 広背筋出力の筋内圧と厚さによる評価. 骨格筋の心臓への応用研究会誌 (第8回研究会論文集) 8, 27-30 (1997)

金武和人, 林 勝知, 角 泰廣, 二村直樹, 山内希美, 今井直基, 柴田雅也, 千賀省始, 鬼束惇義, 広瀬 一: 大網腫瘍と鑑別が困難であった腹膜腔粘液分泌性腫瘍の1例. 日本臨床外科医学会雑誌 58(4), 892-895 (1997)

松友寛和, 広瀬 一, 千賀省始, 福地貴彦, 今井直基, 林 昌俊, 片桐義文, 林 勝知, 鬼束惇義: 実験的ラット脂肪性硬変肝の虚血耐容能に関する検討. 肝臓 38(5), 300-307 (1997)

安村幹央, 平井 孝, 加藤知行, 鳥井彰人, 小寺泰弘, 清水泰博, 安井健三, 森本剛史, 山村義孝, 紀藤 毅: 結腸癌腹壁創癒痕再発の1切除例. 日本消化器外科学会誌 30(5), 1018-1022 (1997)

森 義雄, 広瀬 一, P.Macdonald, A.Keogh, J.Mundy, P.Spratt: 拡張型心筋症に対するdynamic cardiomyoplastyの臨床例の検討. 骨格筋の心臓への応用研究会雑誌 (第8回研究会論文集) 8, 79-81 (1997)

柴田雅也, 鬼束惇義, 片桐義文, 角 泰廣, 二村直樹, 山田卓也, 阪本研一, 金武和人, 千賀省始, 林 勝知, 広瀬 一, 下川邦泰: 縦隔腫瘍として発見され, 診断に内視鏡的超音波検査が有用であった食道平滑筋腫の1例. 胸部外科 50(10), 890-892 (1997)

山田卓也, 森 美樹, 嘉屋和夫, 杉本浩志, 鬼束惇義, 下川邦泰: 膵管分枝に多発した粘液産生膵腫瘍の1例. 外科 59(6), 746-749 (1997)

阪本研一, 金武和人, 二村直樹, 柴田雅也, 林 勝知, 広瀬 一: 糖尿病患者の肛門周囲膿瘍より続発したFournier's gangreneの1例. 日本外科系連合会雑誌 22(6), 946-949 (1997)

佐々木栄作, 広瀬 一: 循環補助. 図説最新麻酔科学シリ - ズ3. 救急医療と集中治療, 125-137 (1997)

広瀬 一, 佐々木栄作: 医用材料・人工血管・人工弁・人工心臓. 日本体外循環研究会, 教育セミナー - テキスト 13, 13-26 (1997)

熊田佳孝, 山本文雄, 石川 巧, 鍵崎康治, 蔦田泰之, 大橋壮樹, 山本浩史, 広瀬 一:



St.Thomas 液 , University of Wisconsin , Bretschneider 液の心保存能力の温度依存性に関する検討 . 日本胸部外科学会雑誌 45 ( 12 ) , 1954-1960 ( 1997 )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Onitsuka A , Yamada N , Yasuda H , Miyata T , Kachi T : Rapid growth of hepatocellular carcinoma after or during Interferon treatment for chronic hepatitis C : Report of three cases . Surgery Today 26 , 126-130 ( 1996 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Futamura N , Onitsuka A , Hayashi M , Senga S , Shibata M , Imai N , Sumi Y , Yamauchi K , Kanetake K , Hirose H : Primary gastric lymphoma : Clinicopathological study of 30 cases . World Congress of Collegium International Chirurgica Digestiva , 659 ( 1996 )

Hirota T , Hirose H , Iwata H , Bando M , Mori Y , Senga S , Onitsuka A , Hamaoka Y , Fujiwara H : Evidence of direct recognition subset in xeno-reactive helper T cells . Artificial Organs 20 ( 8 ) , 890-894 ( 1996 )

Katagiri Y , Hirose H , Onitsuka A , Senga S , Hayashi M , Imai N , Iida T , Hayashi M : Influence of CO<sub>2</sub> tension on hepatic hemodynamics during portal arterialization . Journal of Surg Reser 61 ( 1 ) , 39-43 ( 1996 )

Ishikawa M , Hirose H , Sasaki E , Mori Y , Murakawa S , Fuwa S , Ito H : Detection of myocardial ischemic injury during simple cold storage by measurement of myocardial electrical impedance . J Cardiovasc Surg 37 ( 3 ) , 261-267 ( 1996 )

Fukuchi T , Hirose H , Onitsuka A , Hayashi M , Senga S : Effects of portal-systemic shunt on splanchnic hemodynamics following 90% partial hepatectomy in rats . 15 World Congress of Collegium International Chirurgiae Digestivae 797-800 ( 1996 )

Furuzawa Y , Hirose H , Sasaki E , Takagi H , Bando M : Distinctive Microcirculation of the Brain During Cerebral Perfusion by Observation With a CCD Microscope . ASAIO Journal 42 ( 5 ) , M423-M428 ( 1996 )

Ishikawa M , Hirose H , Sasaki E , Bando M , Mori Y , Murakawa S : Evaluation of myocardial viability during simple cold storage with the use of electrical properties in broad frequencies . J Heart & Lung Transplant 15 ( 10 ) , 1005-1011 ( 1996 )

Kadipashoglu KA , Pehlivanoglu S , Conger JL , Sasaki E , et al : Long-and short-term effects of transmyocardial Laser revascularization in acute myocardial ischemia . Lasers Surg Med 20 , 6-14 ( 1997 )

Takagi H , Hirose H , Sasaki E , Mikamo H , Imaizumi M , Hirota T , Bando M , Furuzawa Y , Murakawa S , Mori Y : Blood Supply to the Latissimus Dorsi Muscle and Muscle Performance During Co- or Counterpulsatile Stimulation for Circulatory Assist . Artificial Organs 21 ( 8 ) , 929-934 ( 1997 )

Takagi H , Hirose H , Sasaki E , Imaizumi M , Hirota T , Bando M , Furuzawa Y , Murakawa S , Mori Y : Monitoring and Regulating Latissimus Dorsi Muscle Performance for Circulatory Assist . ASAIO Journal 43 ( 4 ) , 345 ( 1997 )

Onitsuka A ,Katagiri Y ,Shibata M ,Hirose H ,Shimazaki M : Congenital multiple arterioportal fistula : A case report treated with portocaval shunt . Hepato-Gastroenterologie 44 , 1324-1327 ( 1997 )

Takagi H , Hirose H , Sasaki E , Bando M , Furuzawa Y , Murakawa S , Mori Y : Effects of wrapping tightness on acute cardiac function in dynamic cardiomyoplasty . Ann Thorac Surg 63 , 1706-1712 ( 1997 )

Sasaki E , Miyauchi T , Mori Y , Murakawa S , Hirose H : Skeletal Muscle Actuator for Artificial Heart Driven Reciprocally with Bilateral Latissimus Dorsi Muscles . Artif Organs 21 ( 6 ) , 516 ( 1997 )

## 外科学第二講座

### 著書（和文）

佐治重豊, 杉山保幸: アプト - シス, 癌診療の知識. 磯野可一他編, 東京, 篠原出版, 1997. 106-113

佐治重豊, 杉山保幸, 国枝克行: 非特異的免疫賦活剤, 癌化学療法時の薬物間相互作用. 赤沢修吾他編, 東京, 先端医学社, 1998. 214-226

杉山保幸, 佐治重豊: クレスチン (PSK) の新しい研究動向, これからの癌免疫療法 ~ 21 世紀に向かって ~. 塚越 茂他編, 東京, 医薬ジャーナル社, 1998. 108-121

佐治重豊, 加藤元久: 腫瘍関連抗原 (含む腫瘍マ - カ), 専門医のための消化器外科学レビュー - '98. 跡見 裕他編, 東京, 総合医学社, 1997. 28-33

佐治重豊: 腫瘍, 標準外科学, 8 版. 小柳 仁編, 東京, 医学書院, 1998. 187-212

佐治重豊, 加藤元久, 宮 喜一, 深田代造: 腫瘍、臨床侵襲学、第 1 版. 小川道雄編、東京、へるす出版、1998. 53-56

### 総説（和文）

佐治重豊: 抗腫瘍免疫機構における非特異的免疫賦活剤の役割と新しい作用機序. *Oncology Frontier*, 56-61 (1996)

佐治重豊, 梅本敬夫, 若原正幸: 好中球メディエ - タ. *Biotherapy* 10, 931-939 (1996)

杉山保幸, 佐治重豊, 李 宗一, 永田 緑: 癌治療におけるアプト - シス関連サイトカインの役割. *Surgery Frontier* 3, 18-22 (1996)

佐治重豊: 癌免疫療法の今日と明日. *癌治療・今日と明日* 18, 12-15 (1996)

杉山保幸, 佐治重豊: 自己腫瘍細胞障害活性と癌免疫. *外科* 58, 1825-1829 (1996)

佐治重豊, 曾根三郎: BRM 製剤の臨床評価の問題点. *Biotherapy* 11, 247-248 (1996)

佐治重豊, 加藤元久: 免疫応答からみた SIRS の病態生理 - 宿主防御機構破綻へのステップ  
- . 医学のあゆみ 181, 1 (1997)

佐治重豊, 杉山保幸: 癌の B R M 療法の意義 - その後の展開と期待 - . PTM 8, 6 (1997)

佐治重豊, 深田代造, 梅本敬夫, 杉山保幸: 結腸左半切除術 . 外科治療 76, 668-670 (1997)

佐治重豊: 学会記 - 癌治療学会 . 日本医事新報 3837, 42-44 (1997)

杉山保幸, 佐治重豊: 癌治療とアポト - シス . 消化器外科 20, 1895-1901 (1997)

佐治重豊, 国枝克行: 免疫機能検査 . 消化器外科 21, 556-558 (1998)

佐治重豊, 杉山保幸, 堅田昌弘, 安田邦彦, 足立尊仁: B R M 製剤によるアポト - シス誘導  
とその臨床応用について . 癌治療と宿主 10, 67-74 (1998)

佐治重豊: 学会印象記 . 第 10 回日本 B R M 学会 (広島) - 飛翔 BRM と毛利元就が見事に  
マッチした記念大会を振り返って - . Biotherapy 12, 332-334 (1998)

#### 原著 (和文)

杉山保幸, 佐治重豊: 消化器スト - マ造設が必要な疾患と術式 . 総合消化器 CARE 1, 50-  
56 (1996)

辻 恭嗣: 病期進行度 stage  $\cdot a + \cdot b$ ,  $\cdot a + \cdot b$  胃癌症例における腹腔内洗浄細胞診施行時の  
組織 CEA 染色併用意義について . 岐阜大医紀 44, 510-519 (1996)

辻 恭嗣, 須原貴志, 加藤元久, 杉山保幸, 鷹尾博司, 国枝克行, 梅本敬夫, 宮 喜一, 深田  
代造, 佐治重豊, 下川邦泰: 肉眼的腹膜播種性転移陰性胃癌症例における洗浄細胞診陽性例  
の臨床病理学的特徴について . 岐阜大医紀 44, 520-527 (1996)

宮 喜一, 佐治重豊, 深田代造, 梅本敬夫, 国枝克行, 杉山保幸, 鷹尾博司, 加藤元久, 河  
合雅彦: 胃切除後の逆流性食道炎に対するメシル酸カモスタット (Foipan) の使用経験 . 現  
代医療 28, 2499-2503 (1996)

佐藤元一, 梅本敬夫, 国枝克行, 杉山保幸, 佐治重豊, 下川邦泰: 紅皮症に合併した早期胃  
癌の一例 . 日本臨床外科医学会雑誌 57, 1931-1935 (1996)

杉山保幸，佐治重豊，宮 喜一，深田代造，梅本敬夫，国枝克行，鷹尾博司，加藤元久，河合雅彦：大腸癌肝転移に対する局所療法の検討．癌と化学療法 23，1433-1436（1996）

宮 喜一，佐藤元一，安江紀裕，辻 恭嗣，加藤元久，杉山保幸，鷹尾博司，国枝克行，梅本敬夫，深田代造，佐治重豊：糖尿病併存胃癌切除症例の検討．JJPEN 18，306-310（1996）

梅本敬夫，佐治重豊，加藤元久：胃全摘後1年9ヵ月目に空腸ル - プ全壊死をきたした一治験例．日本腹部救急医学会誌 16，1167-1171（1996）

白子隆志，佐治重豊，深田代造，宮 喜一，梅本敬夫，国枝克行，杉山保幸，鷹尾博司，加藤元久，永田 緑：早期胃癌におけるPCNA，laminin，p53，nm23，c-erbB-2のリンパ節転移高危険因子に関する検討．日本消化器外科学会誌 30，8-14（1997）

日比俊也，佐治重豊，国枝克行，杉山保幸，平岡敬正：下部直腸癌に対する超低位直腸前方切除術施行例の術後排便機能について - 直腸肛門内圧所見と臨床スコア - からの検討．岐阜大医紀 45，147-159（1997）

加藤元久，佐治重豊，宮 喜一，梅本敬夫，Richard B.Bankert：SCID マウス移植ヒト癌細胞に対する human IL-12 の抗腫瘍効果に関する研究．Biotherapy 11，416-418（1997）

北村文近，佐治重豊，深田代造，宮 喜一，国枝克行，杉山保幸，鷹尾博司，加藤元久：p53，c-erbB-2，PCNA，CD44，nm23 の免疫組織染色所見からみた大腸癌異時性肝転移高危険群の検索について．日本消化器外科学会誌 30，838-845（1997）

国枝克行，竹村茂之，加藤元久，杉山保幸，村瀬全彦，下川邦泰，佐治重豊：重症筋無力症に併存した後腹膜原発 Castleman リンパ腫の1例．日本臨床外科医学会誌 58，672-676（1997）

永田 緑，杉山保幸，李 宗一，石原和浩，佐治重豊：OK-432 の末梢血単核球に対する直接作用および末梢血単核球を介する腫瘍細胞傷害機構に関する基礎的検討．Biotherapy 11，356-358（1997）

梅本敬夫，佐治重豊，杉山保幸：耳鼻咽喉科との共同手術による頸部食道再建術17症例の検討．日本外科系連合学会誌 22，159-162（1997）

永田 緑，佐治重豊，宮 喜一，杉山保幸，安田邦彦，李 宗一，石原和浩，鴻村 寿：BRM 製剤の末梢血単核球に対する作用機序についての基礎的検討．Biotherapy 11，604-606（1997）

鴻村 寿，杉山保幸，国枝克行，宮 喜一，深田代造，佐治重豊：大腸癌における Matrix Metalloproteinase-9，Urokinase-type Plasminogen Activator および Tissue Inhibitor of Metalloproteinase の発現と転移に関する研究．岐阜大医紀 45，92-99（1997）

鴻村 寿，杉山保幸，国枝克行，宮 喜一，深田代造，佐治重豊：胃癌における Matrix Metalloproteinase-9，Urokinase-type Plasminogen Activator および Tissue Inhibitor of Metalloproteinase の発現と転移に関する研究．岐阜大医紀 45，100-109（1997）

辻 恭嗣，須原貴志，加藤元久，鷹尾博司，杉山保幸，国枝克行，梅本敬夫，宮 喜一，深田代造，佐治重豊：Phosphatidylinositol phospholipase C を用いた carcinoembryonic antigen 可溶化の試みと腹腔洗浄細胞診への応用．日本消化器外科学会誌 30，1725-1733（1997）

佐治重豊，国枝克行，宮 喜一：逆流性食道炎防止機構を備えた胃全摘後再建術式と術後評価．手術 51，1311-1318（1997）

佐治重豊，加藤元久，杉山保幸，国枝克行：進行胃癌患者の免疫能．消化器外科 20，1399-1407（1997）

日比俊也，佐治重豊，深田代造，宮 喜一，梅本敬夫，国枝克行，杉山保幸，加藤元久：下部直腸癌に対する超低位直腸前方切除術施行例の術後排便機能回復経緯について - 直腸肛門内圧検査と臨床スコア - からの評価 - ．日本外科系連合学会誌 22，601-610（1997）

辻 恭嗣，国枝克行，須原貴志，加藤元久，杉山保幸，梅本敬夫，深田代造，宮 喜一，佐治重豊，下川邦泰：胃癌の腹腔播種性転移に及ぼす転移陽性リンパ節の影響 - 腹腔洗浄細胞診による検討 - ．日本消化器外科学会誌 30，2140-2145（1997）

杉山保幸，佐治重豊，宮 喜一，永田 緑，李 宗一，石原和浩，安田邦彦，鴻村 寿：サイトカインとの関連からみた PSK の作用機序．Biotherapy 11，610-612（1997）

国枝克行，佐治重豊，熊沢伊和生，杉山保幸，宮 喜一，下川邦泰：肝転移に対し肝動注免疫化学療法が有効であった総胆管カルチノイドの 1 例．日本消化器外科学会誌 30，2201-2205（1997）

安藤智重, 永田 緑, 佐野 純, 杉山保幸, 国枝克行, 佐治重豊: 胃癌治癒切除例に対する術後補助免疫化学療法で非奏効となる血行転移症例の特徴について - SIP 研究症例を用いた免疫組織学的検討 - . Biotherapy 11, 937-948 (1997)

高木幸浩, 鴻村 寿, 二村 学, 青木信一郎, 山口和也, 川口順敬, 加藤元久, 鷹尾博司, 杉山保幸, 国枝克行, 梅本敬夫, 宮 喜一, 深田代造, 佐治重豊: 新しい癌抑制遺伝子と SMAD-2, SMAD-4 のヒト大腸癌での異常と臨床的悪性度との関連 . 消化器癌の発生と進展 9, 17-18 (1997)

堅田昌弘, 杉山保幸, 国枝克行, 佐治重豊, 渡辺 祥, 渡辺 敬: 大腸前癌病変アポト - シヌ制御機構の関与に関する検討 . 消化器癌の発生と進展 9, 501-503 (1997)

国枝克行, 佐治重豊, 川口順敬, 加藤元久, 杉山保幸, 梅本敬夫, 宮 喜一, 深田代造, 稲田 潔, 下川邦泰: 血清  $\alpha$ -fetoprotein 陽性胃癌の臨床病理学的特徴と増殖活性、基底膜形成に関する検討 . 日本消化器外科学会誌 30, 2231-2238 (1997)

足立尊仁, 竹内 賢, 永田 緑, 加藤元久, 宮 喜一, 佐治重豊: 凍結融解処理肝組織感作による肝細胞増殖因子の誘導と感作部病理所見の検討 . 日本外科系連合学会誌 22, 740-743 (1997)

佐治重豊, 相羽恵介, 荒木 浩, 佐々木一晃, 白坂哲彦, 曾和融生, 田中正俊, 鄭 容錫, 峠 哲哉, 平田公一, 安元公正, 山光 進, 和田洋巳: 低用量 CDDP, 5-FU 療法の現況について . 癌と化学療法 24, 1892-1900 (1997)

深田代造, 佐治重豊, 川口順敬, 梅本敬夫, 宮 喜一, 下川邦泰: Dynamic MRI による広汎な乳管内進展の診断が術式決定に有用であった乳癌の 1 例 . 日本外科系連合学会誌 22, 922-924 (1997)

杉山保幸, 佐治重豊, 石原和浩: Low-dose CDDP, 5-FU, レンチナン療法の治療成績と免疫学的意義 . Biotherapy 11, 1238-1244 (1997)

竹村茂之, 石原和浩, 杉山保幸, 鷹尾博司, 国枝克行, 梅本敬夫, 宮 喜一, 佐治重豊: 担癌生体における手術侵襲とステロイド処置前投与の功罪について . Biotherapy 12, 147-150 (1998)

石原和浩, 李 宗一, 永田 緑, 杉山保幸, 佐治重豊: 進行再発癌症例に対する免疫化学療法  
の免疫活性に及ぼす影響について. *Biotherapy* 12, 241-243 (1998)

安田邦彦, 佐治重豊, 宮 喜一, 杉山保幸, 李 宗一, 石原和浩, 永田 緑, 竹村茂之: OK-  
432, IL-2 徐放型エマルジョンの肝転移抑制機序に関する検討. *Biotherapy* 12, 83-86 (1998)

李 宗一, 永田 緑, 石原和浩, 安田邦彦, 竹村茂之, 杉山保幸, 宮 喜一, 佐治重豊: OK-  
432 により誘導されるサイトカインの腫瘍細胞傷害機序に関する検討. *Biotherapy* 12, 23-  
26 (1998)

杉山保幸, 佐治重豊, 深田代造, 宮 喜一, 梅本敬夫, 国枝克行, 鷹尾博司, 加藤元久, 河  
合雅彦, 川口順敬, 足立尊仁, 渡辺 敦: 高度進行癌に対する低用量化学療法剤と lenchinan,  
PSK の併用投与の有用性. *Biotherapy* 12, 127-130 (1998)

国枝克行, 山田 誠, 山口和也, 加藤禎洋, 佐治重豊, 清水信雄: HBs 抗原陽性小児成人型  
肝癌の 1 例. *小児外科* 30, 317-321 (1998)

国枝克行, 河合雅彦, 佐野 文, 渡辺 敦, 竹村茂之, 佐治重豊, 後藤裕夫, 下川邦泰: 直  
腸癌を合併した成人腸回転異常症の 2 例. *日本消化器外科学会誌* 31, 1136-1140 (1998)

国枝克行, 石原和浩, 山口和也, 加藤元久, 杉山保幸, 佐治重豊: 臍転移( Sister Mary Joseph's  
nodule) で発見された 4 型胃癌の 1 例. *日本外科系連合学会誌* 23, 113-116 (1998)

竹内 賢, 渡辺 敦, 足立尊仁, 加藤元久, 佐治重豊: 凍結融解処理肝組織前感作による切  
除後肝の再生作用と四塩化炭素障害肝に対する保護作用の検討. *日本消化器外科学会誌* 31,  
1065-1072 (1998)

足立尊仁, 永田 緑, 李 宗一, 杉山保幸, 佐治重豊: 凍結融解処理腫瘍抗原と BRM 製剤  
併用による Th1, Th2 バランスの制御と抗腫瘍効果増強の可能性に関する基礎的検討.  
*Biotherapy* 12, 704-706 (1998)

北村文近, 佐治重豊, 深田代造, 宮 喜一, 国枝克行, 杉山保幸, 加藤元久, 早川雅弘, 山  
口和也, 佐野 純: 大腸癌異時性肝転移予測因子としての腫瘍内微小血管密度の検索につい  
て. *日本臨床外科医学会誌* 56, 1496-1500 (1998)



### 原著 (欧文・国内)

Kato M , Saji S , Kanematsu M , Hoshi H , Ishiguchi T , Kunieda K , Takao H , Sugiyama Y : Palliative Therapy Using Polyurethane-covered Self-expandable Metallic Stents for Malignant Esophageal Strictures : Experiences in Six Patients . Jpn J Clin Oncol 26 , 461-464 ( 1996 )

Saji S , Sugiyama Y , Kunieda K : Pre-and/or Post-operative Immunochemotherapy for Advanced Digestive Cancer . Jpn J Cancer Chem 24 , 239-249 ( 1998 )

Kato M , Saji S , Kanematsu M , Fukada D , Miya K , Umemoto T , Kunieda K , Sugiyama Y , Kuwabara I , Shimokawa K : A Case of Liver Metastasis from Colon Cancer Masquerading as Focal Sparing in a Fatty Liver . Jpn J Clin Oncol 27 , 189-192 ( 1998 )

Kato M , Saji S , Kunieda K , Yasue T , Nishio K , Adachi T : Mediastinal Lipoma : Report of a Case . Jpn J Surg 27 , 766-768 ( 1997 )

Adachi T , Takeuchi M , Uno S , Kato M , Miya K , Saji S : Characterization of Certain Hepatocyte-Proliferating and/ or Protective Factors Induced by the Sensitization of Freezing-Thawing Hepatic Tissue . Jpn J Surg 27 , 1144-1149 ( 1997 )

### 原著 (欧文・国外)

Adachi T , Nakashima S , Saji S , Nakamura T , Nozawa Y : Mitogen-Activated Protein Kinase Activation in Hepatocyte Growth Factor-Stimulated Rat Hepatocytes : Involvement of Protein Tyrosine Kinase and Protein Kinase C . HEPATOLOGY 23 , 1244-1253 ( 1996 )

Adachi T , Nakashima S , Saji S , Nakamura T , Nozawa Y : Phospholipase D Activation in Hepatocyte Growth Factor-Stimulated Rat Hepatocytes Mediates the Expressions of c-jun and c-fos : Involvement of Protein Tyrosine Kinase , Protein Kinase C and Ca<sup>2+</sup> . HEPATOLOGY 24 , 1274-1281 ( 1996 )

Williams S , Chen F , Kida H , Yokota S , Miya K , Kato M , Barcos M , Wang H , Alosco T , Umemoto T , Croy B , Reposky E and Bankert R : Engraftment of Human Tumor-Infiltrating Lymphocytes and the Production of Anti-Tumor Antibodies in SCID mice . J.Immunolgy 156 , 1908-1915 ( 1996 )

Kato M , Saji S , Tsuya H , Miya K , Fukada D , Umemoto T , Kunieda K , Takao H , Sugiyama

Y , Tsuji K , Sato M : Colinical Study of the Relationship Between Cytological Cancer Cases With Special Reference to Nuclear DNA Content and Nucleolar Organizer Regions . J Surg Oncol 64 , 36-41 ( 1997 )

Adachi T , Nakashima S , Saji S , Nakamura T , Nozawa Y : Possible Involvement of Pertussis Toxin-Sensitive G Protein in Hepatocyte Growth Factor-Induced Signal Transduction in Cultured Rat Hepatocytes , Pertussis Toxin Treatment Inhibits Act ivation of Phospholipid Signaling ,Calcium Oscillation ,and Mitogen-Activated Protein Kinase .HEPATOLOGY 26 , 295-297 ( 1997 )

Takagi Y , Osada H , Kuroishi T , Mitsudomi T , Kondo M , Niimi T , Saji S , Gazdar A , Takahashi T , Minna J , Takahashi T : p53 Mutations in non-small-cell lung cancers occurring in individuals without a past history of active smoking .British J Cancer 77 ,1568-1572 ( 1998 )

Futamura M , Takagi Y , Koumura H , Kida H , Tanemura H , Shimokawa K , Saji S : Spread of Colorectal Cancer Micrometastases in Regional Lymph Nodes by Reverse Transcri ptase-Polymerase Chain Reactions for Carcinoembryonic Antigen and Cytokeratin 20 .J Surg Oncol , 68 , 34-40 ( 1998 )

## その他

医学関係の内容での新聞，週刊誌記事

九州医事新報，久留米大学集学センタ - セミナ - 第 8 回講座 - 外科医からみたがんの集学医療，平成 9 年 11 月

中日新聞，主治医のカルテ，平成 9 年 12 月

Medical Tribune，第 20 回癌局所療法研究会，第 7 回日本癌病態治療研究会合同大会，平成 10 年 4 月

MEDICAMENT NEWS，癌治療と QOL，平成 10 年 5 月

## 文部省報告

国枝克行：PI-PLC による CEA 遊出現象を応用した胃癌潜在性腹膜播種性転移検出法の開発平成 6 年度科学研究費補助金（基盤 B）研究成果報告書，1-28（1998）

## 産科婦人科学講座

### 著書（和文）

玉舎輝彦：婦人科癌の手術，朝日サイエンス社，1996年・1-・11

玉舎輝彦，今井篤志，藤本次良他：更年期医療Q & A ~中高年婦人のQ O Lのために~，石川睦男，玉舎輝彦編，医薬ジャーナル社，大阪，1996．135 p

玉舎輝彦：産婦人科薬物療法のすべて，金芳堂，京都，1996．512 p

玉舎輝彦：産婦人科の要点，金芳堂，京都，1997．352 p

玉舎輝彦：子宮内膜症と免疫，医科学出版社，東京，1997．55 p

玉舎輝彦，青野敏博，小山博記ほか：エストロゲン補充療法の基礎と臨床，尾形悦郎編，メディカルレビュー社，大阪，1997．45 p

玉舎輝彦：外陰・膣癌の薬物療法，婦人科がん治療学，野澤志朗，大川智彦編，金原出版，東京，1997．81 - 85

玉舎輝彦：子宮内膜症の診断と治療，大学病院による診断と治療シリーズ，真興交易医書出版部編，東京，1997．5 - 13

玉舎輝彦：月経異常，EBM現代内科学，黒川 清他編，金芳堂，京都，1997．194-197

玉舎輝彦：思春期の月経異常，今日の治療指針，日野原重明他編，東京，医学書院，1997．691-692

玉舎輝彦：色素，発毛の異常，新女性医学大系4女性の症候学，武谷雄二他編，東京，中山書店，1998．127-136

### 著書（欧文）

Fujimoto J, Ichigo S, Hori M, Misao R, R. Hirose, Tamaya T: Effects of sex steroids on cell-to-cell adhesion molecules in various endometrial cells of the uterus, and their biological implications. In vitro Biology of Sex Steroid Hormone Action, ed by H. Kuramoto et al.,

Churchill Livingstone , Tokyo , 1996 . 17-30

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Misao R , Hirose R , Nakanishi Y , Sakaguchi H , Tamaya T : Danazol decreases estrogen receptor ( ER ) and ER mRNA levels in peripheral monocytes due to suppression of the transcription rate of the ER gene . In : Endometriosis Today : Advances in research and practice ( The Proceedings of the Vth World Congress on Endometriosis , Yokohama , Japan , October 1996 ) Minaguchi H . ed , The Parthenon Publishing Group , New York , 1997 . 386-391

総説 ( 和文 )

今井篤志 , 伊藤美穂 , 玉舎輝彦 : 芍薬甘草湯のプロスタグランジン産生抑制とその機序 . 漢方医学 20 , 218-221 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 子宮体部境界悪性病変 ホルモン療法の実際 . 臨床婦人科産科 50 , 1036-1038 ( 1996 )

玉舎輝彦 : ホルモン療法をめぐる最近の話題 . 産婦人科治療 73 , 141-147 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 逆隔離が必要な妊婦の感染症 ( Q & A ) . CLINICIAN 43 , 64-69 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 第 4 度会陰裂傷 . 周産期医学 26 , 1087-1089 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 骨粗鬆症 ~ 婦人科的立場から ~ . 岐阜県医師会医学雑誌 9 , 75-77 ( 1996 )

川鱈市郎 , 玉舎輝彦 : 胎盤の画像診断 ( MRI ) . 産と婦 63 , 1377-1381 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 性器出血のコントロール . 産婦の実際 45 , 1151-1158 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 低用量ピルの服用法の実際 . 女性のヘルスケア ( ラジオ短波放送内容集 ) 20 , 24-25 ( 1996 )

玉舎輝彦 : 性ステロイドよりみる黄体機能 プロゲステロン作用の多様性 . 産婦治療 73 , 584-594 ( 1996 )

玉舎輝彦 : H R T におけるプロゲステロンの意義 . 産婦の実際 45 , 1315-1321 ( 1996 )

広瀬玲子, 藤本次良, 玉舎輝彦: 性ステロイド受容体の遺伝子多型と婦人科疾患. ホルモンと臨床 44, 91-95 (1996)

玉舎輝彦: 早産と絨毛羊膜炎. 産婦人科治療 73, 643-538 (1996)

玉舎輝彦: 女性のライフサイクルよりみるエストロゲンの移り変り 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 632-637 (1996)

玉舎輝彦: エストロゲンのつくられる場所 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 738-743 (1996)

玉舎輝彦: エストラジオール, エストロン, エストリオール 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 806-810 (1996)

玉舎輝彦: HRTにおけるエストロゲン 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 876-881 (1996)

玉舎輝彦: エストロゲンはどのようにして作用を発揮するか 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 986-992 (1996)

玉舎輝彦: 植物性エストロゲン 女性ホルモン エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 15, 1095-1098 (1996)

佐藤泰昌, 三嶋廣繁, 川添香子, 玉舎輝彦: 細菌の病原性発現の機序. 東海産婦誌 33, 1-8 (1996)

玉舎輝彦: エストロゲン雑病論. 産婦治療 74, 85-92 (1997)

玉舎輝彦: 思春期女性のヘルスケア. リプロダクティブヘルス 5-9 (1997)

玉舎輝彦: 産婦人科領域の感染症. The Current Clinical Technologist 3, 2-8 (1997)

玉舎輝彦: エストロゲンのよくない効果 女性ホルモン・エストロゲンよもやま話. .ペリネイタルケア 16, 22-27 (1997)

玉舎輝彦: 骨盤内感染症 (PID). 臨婦産 51, 158-160 (1997)

玉舎輝彦：疫学からみた卵巣癌とその予防．産婦治療 74，142-148（1997）

藤本次良，市古 哲，広瀬玲子，坂口英樹，玉舎輝彦：癌治療における血管新生抑制 ～特に婦人科癌の治療理論から～．Oncology & Chemotherapy 13，23-29（1997）

玉舎輝彦：中高年女性の性器癌とリスク因子．産婦治療 74，265-268（1997）

玉舎輝彦：HRTの理念と問題点．産婦の世界 49，3-10（1997）

玉舎輝彦：プロゲステロン産生から妊娠へ 黄体ホルモンよもやま話・．ペリネイタルケア 16，161-167（1997）

玉舎輝彦：黄体ホルモン作用とその作用出現のメカニズム 黄体ホルモンよもやま話・．ペリネイタルケア 16，261-266（1997）

玉舎輝彦：合成の黄体ホルモン剤の出現 黄体ホルモンよもやま話・．ペリネイタルケア 16，323-328（1997）

玉舎輝彦：黄体ホルモン剤による避妊とは 黄体ホルモンよもやま話・．ペリネイタルケア 16，447-452（1997）

玉舎輝彦：子宮体癌治療上の問題点( 予後を含めて)～若年体癌の治療～．産婦の実際 46，383-389（1997）

藤本次良，市古 哲，堀 昌志，広瀬玲子，坂口英樹，玉舎輝彦：婦人科悪性腫瘍の浸潤・転移における内分泌関与．産婦治療 74，473-478（1997）

玉舎輝彦：産科手術に必要な基本手技．産婦治療 74，787-794（1997）

今井篤志，大野 元，堀部進次，玉舎輝彦：Gn - RH 受容体．日本臨牀 55（増），463-467（1997）

玉舎輝彦：産婦人科領域感染症．実地医家のための治療薬 2，97-100（1997）

玉舎輝彦：機能（性）出血とホルモン．日産婦誌 研修コーナー 49，N131-N134（1997）

玉舎輝彦：アンドロゲンの生物学的作用 アンドロゲンよもやま話・．ペリネイタルケア 16, 537-541 (1997)

玉舎輝彦：アンドロゲンの生合成と代謝 アンドロゲンよもやま話・．ペリネイタルケア 16, 657-662 (1997)

玉舎輝彦：アンドロゲンの運搬 アンドロゲンよもやま話・．ペリネイタルケア 16, 785-788 (1997)

玉舎輝彦：アンドロゲン作用部位である受容体の異常とからだの変化 アンドロゲンよもやま話・．ペリネイタルケア 16, 889-893 (1997)

玉舎輝彦：アンドロゲンの臨床 アンドロゲンよもやま話・．ペリネイタルケア 16, 989-995 (1997)

今井篤志, 高木敦志, 堀部進次, 玉舎輝彦：ホルモンのおもしろい話・．岐阜県母性衛生学会雑誌 20, 15-18 (1997)

玉舎輝彦：腹部腫瘍 ～卵巣癌～．産婦の実際 46, 1285-1290 (1997)

玉舎輝彦：ステロイドレセプターとその異常．日産婦誌 49, 618-628 (1997)

玉舎輝彦：ホルモン療法（HRTなど）と性器出血．産婦治療 75, 158-161 (1997)

玉舎輝彦：低用量ピルの種類．思春期学 15, 264-268 (1997)

玉舎輝彦：エストロゲンと免疫系．現代医療 29, 65-71 (1997)

玉舎輝彦：後腹膜縫合 ～するか，しないか，その長所と短所～．産婦の実際 46, 1621-1626 (1997)

玉舎輝彦：子宮体癌の治療法と問題点．産婦治療 75, 652-656 (1997)

横山康宏, 高橋雄一郎, 玉舎輝彦：リボザイムによる遺伝子治療．Oncology & Chemotherapy 13, 257-260 (1997)

玉舎輝彦：外陰部腫瘍．産と婦 64 (suppl), 33-34 (1997)

伊藤直樹,平野聡子,玉舎輝彦:産婦人科領域における性ステロイドと Insulin - like Growth Factor (IGF) のかかわり. 東海産婦誌 34, 9-15 (1997)

玉舎輝彦:妊娠とくすり. 日医雑誌 119, J137-J139 (1998)

玉舎輝彦:産婦人科領域における IGF 系 (その1). 産婦治療 76, 120-126 (1998)

玉舎輝彦:産婦人科領域における IGF 系 (その2). 産婦治療 76, 246-253 (1998)

玉舎輝彦:ステロイド作用と関連した芍薬甘草湯考. 漢方と最新治療 6, 355-360 (1998)

横山康宏,玉舎輝彦:婦人科癌におけるテロメラゼ ~基本的検討~. Oncology & Chemotherapy 14, 36-40 (1998)

伊藤直樹,平野聡子,玉舎輝彦:産婦人科領域における性ステロイドと Insulin - like Growth Factor (IGF) のかかわり. 東海産婦誌 34, 9-15 (1998)

玉舎輝彦:産婦人科診療と予防医学. 産婦治療 76, 457-462 (1998)

玉舎輝彦:GnRHα 療法の卵巣腫瘍への応用 ~ホルモン依存性など~. 産婦の実際 47, 455-462 (1998)

横山康宏,高橋雄一郎,篠原有美,玉舎輝彦:ハンマーヘッド型リボザイムの応用. 日本臨牀 56, 34-38 (1998)

三嶋廣繁,川添香子,玉舎輝彦:産婦人科領域感染症. モダンフィジシャン 18, 493-498 (1998)

玉舎輝彦:産婦人科感染症. 化学療法の領域 14 (S-2), 68-81 (1998)

玉舎輝彦:性ステロイドホルモンの非ゲノム作用. 産婦治療 76, 1133-1138 (1998)

玉舎輝彦:若年者における機能温存・機能代謝 子宮体癌 ~妊孕性温存~. 産と婦 65, 729-737 (1998)

玉舎輝彦,井上滋夫,竹内理恵,千村哲朗:座談会”子宮内膜症,子宮筋腫に対する漢方薬



の使い方” . 漢方医学 22 , 172-181 ( 1998 )

### 総説 ( 欧文・国外 )

Fujimoto J , Ichigo S , R . Hirose , H . Sakaguchi , Hori M , Tamaya T : Invasion and metastasis of gynecological cancers with reference to endocrine milieu . Gynecological Endocrinology 10 , 71-72 ( 1996 )

### 原著 ( 和文 )

松田静治 , 玉舎輝彦 , 三鴨廣繁 , 川添香子 , 和泉孝治 , 伊藤邦彦 他全 52 名 : 性感染症としての子宮頸管炎における Azithromycin の臨床的検討 . 日本性感染症学会誌 7 , 92-102 ( 1996 )

伊藤直樹 , 丹羽憲司 , 玉舎輝彦 : 卵巣癌科学療法 of 骨髄抑制に対する rhG - CSF 少量連日投与・隔日投与の検討 . 日本癌治療学会誌 31 , 305-310 ( 1996 )

伊藤美穂 , 川添香子 , 玉舎輝彦 : 自己抗体陽性患者における芍薬甘草湯の使用経験 . 産婦人科漢方研究のあゆみ 13 , 55-58 ( 1996 )

藤本次良 : 婦人科悪性腫瘍の浸潤・転移における内分泌関与 . 日産婦誌 48 , 633-643 ( 1996 )

伊藤美穂 , 玉舎輝彦 : 妊娠中毒症における自己抗体抑制のための芍薬甘草湯投与の一例 . 日東洋医誌 47 , 271-275 ( 1996 )

三鴨廣繁 , 川添香子 , 和泉孝治 , 玉舎輝彦 : 簡易培地による皮膚糸状菌の分離培養成績 ~ DNA フジとスラント N 日研の比較 ~ . 産婦の世界 48 , 87-89 ( 1996 )

山元貴雄 , 玉舎輝彦 , 伊藤邦彦 , 三鴨廣繁 , 山田新尚他 : 産婦人科領域におけるキノロン系合成抗菌薬 Prulifloxacin の体内動態および臨床検討 . 産婦の世界 48 , 57-75 ( 1996 )

三鴨廣繁 , 川添香子 , 和泉孝治 , 伊藤邦彦 , 玉舎輝彦 , 山田新尚 : 産婦人科領域における NM441 の基礎的・臨床的検討 . 日化療会誌 44 ( suppl . 1 ) , 495-502 ( 1996 )

藤本次良 : 婦人科癌の浸潤転移における性ステロイドの関与 . 医学のあゆみ 179 , 408-409 ( 1996 )

川鱈市郎 , 森下重雄 , 玉舎輝彦 : 特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠 . 周産期医学 26 , 1385-1388 ( 1996 )

中西義人, 操 良, 藤本次良, 玉舎輝彦: 卵巣子宮内膜症における性ステロイドレセプターの発現. エンドメトリオーシス研究会会誌 17, 86-89 (1996)

三鴨廣繁, 川添香子, 佐藤泰昌, 玉舎輝彦: 1995年の岐阜大学医学部産科婦人科における細菌感染症の原因菌と静注用抗菌薬の使用状況. 新薬と臨牀 46, 3-12 (1997)

森下重雄, 丹羽憲司, 玉舎輝彦: マウス子宮内膜癌における Tamoxifen, Medroxyprogesterone Acetate, Danazol, 甘草エキスの影響に関する研究. 岐阜大医紀 45, 121-132 (1997)

市古 哲, 藤本次良, 玉舎輝彦: 子宮内膜癌の浸潤・転移における性ステロイドによる内分泌関与とその臨床的意義. 岐阜大医紀 45, 133-146 (1997)

玉舎輝彦, 川鱈市郎, 高橋雄一郎, 高木敦志: 常位胎盤早期剥離の症例から得られるMRI診断の意義. 産婦の実際 46, 131-133 (1997)

松田静治, 三鴨廣繁, 伊藤邦彦, 玉舎輝彦, 山田新尚, 荒堀憲二, 村田修吾, 熊田俊夫, 近藤英明, 伊藤俊哉ほか: 周産期における cefozopran の治療効果. 日化療会誌 45, 99-107 (1997)

川添香子, 三鴨廣繁, 玉舎輝彦, 和泉孝治: ラットモデルにおける子宮留膿腫に対する十全大補湯, 竜胆瀉肝湯の効果. 産婦人科漢方研究のあゆみ 14, 67-70 (1997)

伊藤美穂, 玉舎輝彦: 月経困難症と芍薬甘草湯. 漢方と最新治療 6, 52-54 (1997)

三鴨廣繁, 川添香子, 佐藤泰昌, 玉舎輝彦: Group B Streptococcus 選択分離用培地 GBS培地 F の検討. 産婦の世界 49, 55-58 (1997)

玉舎輝彦: 更年期治療と漢方治療. MEDICAMENT NEWS 3, 9 (1997)

川鱈市郎, 玉舎輝彦: 羊水穿刺. 臨婦産 51, 508-509 (1997)

川鱈市郎, 玉舎輝彦: 産道・胎児因子と難産. ペリネイタルケア 16, 21-25 (1997)

広瀬玲子, 藤本次良, 市古 哲, 坂口英樹, 玉舎輝彦: 日本人女性に特徴的なエストロゲン

受容体の遺伝子多型 . DNA 多型 5 , 119-122 ( 1997 )

松田静治 , 玉舎輝彦 , 伊藤邦彦 , 三鴨廣繁 , 山田新尚 , 伊藤俊哉 , 荒堀憲二ほか : 産婦人科領域感染症に対する grepafloxacin と ofloxacin の二重盲検比較試験成績 . 日化療会誌 45 , 525-552 ( 1997 )

高橋雄一郎 , 横山康宏 , 玉舎輝彦 : 子宮内膜症におけるテロメラゼ活性の検討 . エンドメトリオーシス研究会誌 18 , 44-48 ( 1997 )

中西義人 , 操 良 , 藤本次良 , 玉舎輝彦 : 子宮内膜症組織における sex hormone-binding globulin exon 7 splicing variant mRNA の発現 . エンドメトリオーシス研究会誌 18 , 69-72 ( 1997 )

坂口英樹 , 藤本次良 , 市古 哲 , 広瀬玲子 , 玉舎輝彦 : 卵巣内膜症における estrogen receptor exon 5 splicing variant ( ER E5SV ) mRNA の発現 . エンドメトリオーシス研究会誌 18 , 73-76 ( 1997 )

川鱒市郎 , 玉舎輝彦 : 子宮内胎児死亡をどこまで予測できるか 臨婦産 51 , 1036-1037 ( 1997 )

三鴨廣繁 , 川添香子 , 佐藤泰昌 , 玉舎輝彦 : クラミジア抗原検出キットであるクリアビュークラミジア法の有用性の検討 . 産婦の世界 49 , 67-72 ( 1997 )

中西義人 , 操 良 , 玉舎輝彦 : GnRH アナログ療法で血清エストラジオールの抑制が困難であった子宮内膜症の一例 . 東海産婦誌 34 , 61-63 ( 1997 )

高橋雄一郎 , 川鱒市郎 , 玉舎輝彦 : 出生前診断が出生後の管理に有用であった先天性心疾患の 2 例 . 東海産婦誌 34 , 85-89 ( 1997 )

橋本 緑 , 丹羽憲司 , 名和武彦 , 森下重雄 , 玉舎輝彦 , 下川邦泰 : 高齢者に認められた , 子宮内膜増殖症を伴った Brenner 腫瘍の 1 例 . 東海産婦誌 34 , 97-100 ( 1997 )

平野聡子 , 伊藤直樹 , 玉舎輝彦 : 婦人科腫瘍ならびに腫瘍性疾患における性ステロイドホルモンと増殖因子 . 岐阜産婦紀要 11 , 1-8 ( 1998 )

早崎 容 , 三鴨廣繁 , 川添香子 , 玉舎輝彦 : 産婦人科領域重症感染症の現状と抗菌化学療法 . 岐阜産婦紀要 11 , 9-13 ( 1998 )

三鴨廣繁，川添香子，佐藤泰昌，玉舎輝彦：1996年の岐阜大学医学部産科婦人科における細菌感染症の原因菌と静注用抗菌薬の使用状況．新薬と臨牀 47，30-38（1998）

三鴨廣繁，川添香子，佐藤泰昌，早崎 容，玉舎輝彦：岐阜大学医学部産科婦人科におけるカルバペネム薬の使用状況．新薬と臨牀 47，88-93（1998）

中西義人，操 良，玉舎輝彦：エストロゲン依存性婦人科腫瘍における細胞内 SHBG mRNA の発現の生物学的意義．岐阜大医紀 46，98-113（1998）

川添香子，三鴨廣繁，玉舎輝彦：実験的ラット子宮内膜筋層炎モデルの作成と抗菌薬における治療効果の判定の有用性．岐阜大医紀 46，114-124（1998）

伊藤美穂，橋本 緑，三鴨廣繁，玉舎輝彦：当科における10代女子の受診状況．思春期学 16，129-133（1998）

橋本 緑，丹羽憲司，玉舎輝彦：マウス子宮内膜発癌に対する十全大補湯の抑制効果と Fos/Jun 発現との関連．産婦人科漢方研究のあゆみ 15，82-89（1998）

川添香子，三鴨廣繁，佐藤泰昌，玉舎輝彦，和泉孝治：子宮内感染に対する十全大補湯および竜胆瀉肝湯を構成する生薬の効果．産婦人科漢方研究のあゆみ 15，123-125（1998）

藤本次良，坂口英樹，廣瀬玲子，玉舎輝彦：子宮内膜症とカドヘリン．産婦の世界 50，39-43（1998）

岩垣重紀，操 良，玉舎輝彦：Androgen-binding protein / sex hormone-binding globulin の機能および相同性を有する蛋白の機能（その1）．産婦の世界 50，69-74（1998）

三鴨廣繁，佐藤泰昌，早崎 容，川添香子，玉舎輝彦：1997年の岐阜大学医学部産科婦人科における細菌感染症の原因菌と静注用抗菌薬の使用状況．新薬と臨牀 47，101-110（1998）

川鱈市郎：弛緩出血．ペリネイタルケア 17，19-22（1998）

橋本 緑，丹羽憲司，伊藤直樹，玉舎輝彦：再発卵巣癌，子宮頸癌に対する CPT - 11 および CDDP 併用療法とその副作用対策．Oncology & Chemotherapy 14，167-169（1998）

### 原著 ( 欧文 · 国内 )

Yokoyama Y , Takahashi Y , Hashimoto M , Morishita S , Tamaya T : Immunohistochemical study of estradiol , epidermal growth factor , transforming growth factor alpha and epidermal growth factor receptor in endometrial neoplasia . Jpn J Clin Oncol 26 , 411-416 ( 1996 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Relatively high expression ratio of sex hormone binding globulin exon VII splicing variant to wild-type mRNA in human uterine cervical cancers . Jpn J Cancer Res 89 , 47-52 ( 1998 )

Horibe S , Imai A , Tamaya T : Studies on gonadotropin-releasing hormone receptor in reproductive tract tumors evidence for differential transmembrane signaling pathway from anterior pituitary . Acta Scholae Medicinalis Universitatis in Gifu 46 , 133-145 ( 1998 )

Niwa K , Morishita S , Hashimoto M , Itoh T , Fujimoto J , Tamaya T : Effects of tamoxifen on endometrial carcinogenesis in mice . Jpn J Cancer Res 89 , 502-509 ( 1998 )

### 原著 ( 欧文 · 国外 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Morishita S , Tamaya T : Progestins and danazol effect on cell-to-cell adhesion , and E-cadherin and  $\beta$ -and  $\gamma$ -catenin mRNA expressions . J Steroid Biochem Molec . Biol 57 , 275-282 ( 1996 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Tamaya T : Expressions of the fibroblast growth factor family ( FGF-1 , -2 and -4 ) mRNA in endometrial cancers . Tumor Biol 17 , 226-233 ( 1996 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Tamaya T : Expression of basic fibroblast growth factor and its mRNA in uterine endometrium during the menstrual cycle . Gynecol Endocrinol 10 , 187-191 ( 1996 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Tamaya T : Alteration of E-cadherin ,  $\beta$ -and  $\gamma$ -catenin mRNA expression in human uterine endometrium during the menstrual cycle . Gynecol Endocrinol 10 , 193-197 ( 1996 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Tamaya T : Expression of E-cadherin ,  $\beta$ -and  $\gamma$ -catenin mRNAs in ovarian endometriosis . European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 67 , 179-183 ( 1996 )

Imai A , Takagi H , Horibe S , Fuseya T , Tamaya T : Coupling of gonadotropin-releasing hormone receptor to Gi protein in human reproductive tract tumors . Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism 81 , 3249-3253 ( 1996 )

Fujimoto , Hori M , Ichigo S , Hirose R , Tamaya T : Ability of ovarian steroids to regulate the expression of the fibroblast growth factor family in fibroblasts derived from uterine endometrium . Journal of Biomedical Science 3 , 280-285 ( 1996 )

Misao R , Fujimoto J , Nakanishi Y , Tamaya T : Expression of estrogen and progesterone receptors and their mRNAs in ovarian endometriosis .Gynecol Endocrinol 10 ,303-310( 1996 )

Fujimoto J ,Hori M ,Ichigo S ,Tamaya T : Sex steroids regulate the expression of plasminogen activator inhibitor-1 ( PAI-1 )and its mRNA in uterine endometrial cancer cell line Ishikawa . J Steroid Biochem Molec Biol 59 , 1-8 ( 1996 )

Mudigdo A , Niwa K , Morishita S , Hashimoto M , Murase T , Tamaya T : Silver-stained nucleolar organizer regions in the uterine myomatous tumors . Cancer Letter 107 , 273-275 ( 1996 )

Fujimoto J ,Hori M ,Ichigo S ,Tamaya T : Sex steroids regulate the expression of plasminogen activator inhibitor-1 and its mRNA in fibroblasts derived from uterine endometrium . Ann Clin Biochem 33 , 545-550 ( 1996 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Pelvic abscess and fungemia caused by Candida glabrata . J Infect Chemother 2 , 294-296 ( 1996 )

Miwa T , Hyer J , Itoh N , Wei Y : Retroviral vectors to study cardiovascular development . Trends in Cardiovascular Medicine 6 , 79-86 ( 1996 )

Olofsson JI , Leung CHB , Bjurulf E , Ohno T , Selstam G , Peng C , Leung PCK : Characterization and regulation of a mRNA encoding the prostaglandin F2 receptor in the rat ovary . Molecular and Cellular Endocrinology 123 , 45-52 ( 1996 )

Imai A , Tamaya T : Chromosome abnormalities associated with recurrent abortion . Res Commun Mol Pathol Pharmacol 94 , 323-326 ( 1996 )

Imai A , Tamaya T : Kallmann syndrome in females , gonadotropin versus GnRH to induce fertility . J Med 27 , 237-240 ( 1996 )

Imai A , Horibe S , Tamaya T : Perdite ematiche genitali in bambine prima del menarca . Giorn It Ost Gin 10 , 605-608 ( 1996 )

Takagi H , Imai A , Horibe S , Fuseya T , Tamaya T : GTP-binding protein and its associated event in membranes from endometrial carcinoma . Oncology Reports 3 , 161-163 ( 1996 )

Fuseya T , Imai A , Horibe S , Takagi A , Tamaya T : Evidence for common signalling pathways of GnRH receptor and Fas in tumors . Oncology Reports 3 , 1111-1113 ( 1996 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Intra-amniotic infection caused by Capnocytophaga species . Infect Dis Obstet Gynecol 4 , 301-302 ( 1996 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Pelvic abscess and fungemia caused by Candida glabrata . J Infect Chemother 2 , 294-296 ( 1996 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Morishita S , Tamaya T : Novel screening technique for dissemination potential of ovarian cancer cells to peritoneum . Invasion & Metastasis 16 , 302-307 ( 1996 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin mRNA in uterine cervical cancers . Tumor Biol 18 , 6-12 ( 1997 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Hirose R , Sakagichi H , Tamaya T : Comparative study on expression of plasminogen activator inhibitor / and its mRNA in endometrial cancers and normal endometria . Tumor Biol 18 , 13 -21 ( 1997 )

Mikamo H , Kawazoe K , Izumi K , Watanabe K , Ueno K , Tamaya T : Comparative study on vaginal or oral treatment of bacterial vaginosis . Chemotherapy 43 , 60-68 ( 1997 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Hirose R , Tamaya T : Antiestrogenic compounds inhibit estrogen-induced expressions of basic fibroblast growth factor and its mRNA in well-differentiated endometrial cancer cells . Gen Pharmac 28 , 215-219 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Expression of basic fibroblast growth factor and its mRNA in advanced uterine cervical cancers . Cancer Letters 111 , 21-26 ( 1997 )

Mikamo H , Kawazoe K , Izumi K , Tamaya T : Effects of long-term administration of roxithromycin on neutrophil count and interleukin-8 level in endometrial cavity subjected to pyometra . Chemotherapy 43 , 148-152 ( 1997 )

Tamaya T : Fujimoto J , Comparison between transabdominal-vulvar and transvulvar approaches for peritoneal vaginoplasty in patients with congenital absence of the vagina . Eur J Obstet Gynecol Reproduct Biol 72 , 79-81 ( 1997 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Tamaya T : Ovarian steroids regulate the expression of basic fibroblast growth factor and its mRNA in fibroblasts derived from uterine endometrium . Ann Clin Biochem 34 , 91-96 ( 1997 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Plausible novel therapeutic strategy of uterine endometrial cancer with reduction of basic fibroblast growth factor secretion by progestin and O-( chloroacetyl-carbamoyl ) fumagillol( TNP-470; AGM-1470 ) . Cancer Letter 113 , 187-194 ( 1997 )

Misao R , Fujimoto J , Itoh N , Nakanishi Y , Tamaya T : Localization of sex hormone-binding globulin mRNA expression in human uterine endometrium . Gynecol Endocrinol 11 , 1-4 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Expression of estrogen receptor wild type and exon 5 splicing variant mRNAs in normal and endometriotic endometria during the menstrual cycle . Gynecol Endocrinol 11 , 11-16 ( 1997 )

Imai A , Horibe S , Takagi A , Tamaya T : Gi protein activation of gonadotropin-releasing hormone-mediated protein dephosphorylation in human endometrial carcinoma . Am J Obstet Gynecol 176 , 371-376 ( 1997 )

Imai A , Horibe S , Fuseya T , Takagi H , Takagi A , Tamaya T : Detection of SRY in 45 , X/47 , XYY mosaicism leading to phenotypic female . Clin Genet 51 , 124-126 ( 1997 )



Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Expression of E-cadherin and  $\beta$ -catenin mRNAs in ovarian cancers . Cancer Letter 115 , 207-212 ( 1997 )

Yokoyama Y , Takahashi Y , Morishita S , Hashimoto M , Tamaya T : Introduction of p21Waf1/Cip1 gene into a carcinoma cell line of the uterine cervix with inactivated p53 . Cancer Letter 116 , 233-239 ( 1997 )

Misao R , Fujimoto J , Niwa K , Morishita S , Nakanishi Y , Tamaya T : Immunohistochemical expressions of estrogen and progesterone receptors in human epididymis at different ages -A preliminary study . Int J Fertil 42 , 39-42 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Hori M , Tamaya T : Expression of estrogen receptor exon 5 splicing variant ( ER E5SV ) mRNA in gynaecological cancer . J Steroid Biochem Molec Biol 60 , 25-30 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Expression of E-cadherin and  $\beta$ -catenin mRNAs in uterine cervical cancers . Tumor Biol 18 , 206-212 ( 1997 )

Imai A , Horibe S , Fuseya T , Takagi H , Tamaya T : Detection of SRY in a 46 , XY female ( Swyer's syndrome ) . Journal of Medicine 28 ( 1&2 ) , 49-54 ( 1997 )

Imai A , Horibe S , Takagi A , Ohno T , Tamaya T : Frequent expression of Fas in gonadotropin-releasing hormone receptor-bearing tumors . Eur J Obstet Gynecol Reproductive Biology 74 , 73-78 ( 1997 )

Imai A , Horibe S , Takagi H , Fuseya T , Tamaya T : Decrease in G protein coupling to phosphatidylinositol kinase stimulation in pregnant myometrium . J Clin Endocrinol Metabolism 4 , 33-39 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Misao R , Hirose R , Nakanishi Y , Sakaguchi H , Tamaya T : Sex steroidal regulation of neovascularization in uterine endometrial cancers normal counterparts . CD-ROM proceed "Sex Steroid Action 2" in Third Internet World Congress on Biomedical Science . AE0105 ( 1996 )

Mikamo H , Kawazoe K , Izumi K , Hachiya S , Satoh M , Munakata K , Tamaya T : Therapeutic effects of cefluprenam ( CFLP ) on polymicrobial infections associated with Enterococcus faecalis in rat pyometra model . Int J Antimicrobial Agents 8 , 7-11 ( 1997 )

Mikamo H ,Kawazoe K ,Izumi K ,Sato Y ,Tamaya T : Therapeutic effects of herbal medicines ( juzen-taiho-to and ryutan-shakan-to ) in a rat intrauterine infection ( pyometra ) model .  
Curr Ther Clin Exp 58 , 454-458 ( 1997 )

Yokoyama Y , Morishita S , Takahashi Y , Hashimoto M , Tamaya T : Silver-stained nucleolar organizer regions in adenocarcinoma of the cervix-a light and electron microscopic study .  
Pathol Res Pract 193 , 275-281 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Expression of basic fibroblast growth factor and its mRNA in advanced ovarian cancer . Eur J Gynaec Oncol 18 , 349-352 ( 1997 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Effects of danazol and progesterone on sex hormone-binding globulin mRNA expression in human endometrial cancer cell line Ishikawa .  
J Steroid Biochem Molec Biol 62 , 321-325 ( 1997 )

Misao R , Fujimoto J , Nakanishi Y , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin exon VII splicing variant mRNA in human uterine endometrium . J Steroid Biochem Molec Biol 62 , 385-390 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Clinical implication of expression of progesterone receptor form A and B mRNAs in secondary spreading of gynecologic cancers .  
J Steroid Biochem Molec Biol 62 , 449-454 ( 1997 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin exon VII splicing variant messenger RNA in human uterine endometrial cancers . Cancer Res 57 , 5579-5583 ( 1997 )

Misao R , Nakanishi R , Fujimoto J , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin exon VII splicing variant mRNA in human myometrium and leiomyoma . J Steroid Biochem Molec Biol 63 , 269-274 ( 1997 )

Misao R , Itoh M , Nakanishi Y , Tamaya T : Direct intraperitoneal insemination in ovarian hyperstimulation cycles induced with gonadotropin-releasing hormone agonist . Clin Exp Obstet Gynecol 24 , 133-134 ( 1997 )

Yokoyama Y , Morishita S , Takahashi Y , Hashimoto M , Tamaya T : Modulation of c-fms proto-oncogene in an ovarian carcinoma cell line by a hammerhead ribozyme . Br J Cancer 76 , 977-982 ( 1997 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Ichigo S , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin and corticosteroid-binding globulin mRNAs in corpus luteum of human subjects . Horm Res 48 , 191-195 ( 1997 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Uterine bacterial flora on the first and fifth postpuerperal days after continuous , open-label , uncontrolled cefditoren dosing . Curr Ther Res Clin Exp 58 , 809-814 ( 1997 )

Niwa K , Morishita S , Hashimoto M , Yokoyama Y , Tamaya T : Conservative therapy for endometrial carcinoma in young women treated with repeated curettage and progestogen . Int J Clin Oncol 2 , 165-169 ( 1997 )

Misao R , Niwa K , Morishita S , Nakanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Immunohistochemical detection of estrogen and progesterone receptors in spermatozoa of infertile men . Int J Fertil 42 , 421-425 ( 1997 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hirose R , Sakaguchi H , Tamaya T : Suppression of E-cadherin and -and -catenin mRNA expression in the metastatic lesions of gynecological cancer . Eur J Gynaec Oncol 18 , 484-487 ( 1997 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Tamaya T : Antiestrogenic compounds inhibit estrogen-induced expression of fibroblast growth factor family( FGF - 1 , 2 , and 4 )mRNA in well-differentiated endometrial cancer cells . Eur J Gynaec Oncol 18 , 497-501 ( 1997 )

Imai A , Furui T , Matsunami K , Tamaya T : Magnetic resonance evaluation of uterine malformation with corpus agenesis . Journal of Medicine 28 , 223-227 ( 1997 )

Ohno T , Imai A , Takagi A , Horibe S , Takagi H , Tamaya T : Cloning and partial sequencing of a novel human activin receptor-like kinase . Oncology Reports 4 , 1349-1351 ( 1997 )

Mikamo H , Kawazoe K , Izumi K , Sato Y , Tamaya T : In vitro and in vivo antibacterial

activities of a new carbapenem BO-2727 for use in obstetrics and gynecology . *Chemotherapy* 44 , 12-16 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Tamaya T : Effects of long-term/low-dose clarithromycin on neutrophil count and interleukin-8 level in pyometra . *Chemotherapy* 44 , 50-54 ( 1998 )

Fujimoto J , Hori M , Ichigo S , Morishita S , Tamaya T : Estrogen and progestin inhibit invasiveness of gynecologic metastatic cancer cells to blood vessel endothelium . *Eur J Gynaec Oncol* 19 , 42-45 ( 1998 )

Fujimoto J , Ichigo S , Hori M , Tamaya T : Expressions of E-cadherin and  $\beta$ - and  $\gamma$ -catenin mRNAs in uterine endometrial cancers . *Eur J Gynaec Oncol* 19 , 78-81 ( 1998 )

Misao R , Naanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Expression of sex hormone-binding globulin exon VII splicing variant messenger ribonucleic acid in human ovarian endometriosis . *Fertil Steril* 69 , 324-328 ( 1998 )

Fujimoto J , Hirose R , Ichigo S , Sakaguchi H , Li Y , Tamaya T : Expression of progesterone receptor form A and B mRNAs in uterine leiomyoma . *Tumor Biol* 19 , 126-131 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Izumi K , Sato Y , Tamaya T : Effects of crude herbal ingredients on intrauterine infection in a rat model . *Current Therapeutic Reseach* 59 , 122-127 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Tamaya T : Therapeutic effects of an injectable new quinolone , pazufloxacin , against polymicrobial infections in the uterine endometritis model . *Chemotherapy* 44 , 99-102 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Therapeutic effects of cefozopran on polymicrobial infections associated with *Enterococcus faecalis* in a rat pyometra model . *Chemotherapy* 44 , 103-107 ( 1998 )

Takagi A , Imai A , Horibe S , Ohno T , Tamaya T : Lack of evidence for expression of Fas ligand in Fas - bearing tumors . *Oncology Reports* 5 , 377-380 ( 1998 )

Imai A , Takagi A , Horibe S , Takagi H , Tamaya T : Evidence for tight coupling of gonadotropin-releasing hormone receptor to stimulated fas ligand expression in

reproductive tract tumors : Possible mechanism for hormonal control of apoptotic cell death .  
J Clin Endocrinol Metab 83 , 427-431 ( 1998 )

Imai A , Takagi A , Horibe S , Fuseya T , Takagi H , Tamaya T : A gonadotropin-releasing hormone analogue impairs glucose tolerance in a diabetic patient . Eur J Obstet Gynecol Reproduct Biol 76 , 121-122 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : Therapeutic effects of a new quinolone , DU - 6859a , on polymicrobial infections in a newly designed model of rat uterine endometritis . Journal of Antimicrobial Chemotherapy 41 , 131-133 ( 1998 )

Fujimoto J , Ichigo S , Sakaguchi H , Hirose R , Tamaya T : Expression of platelet-derived endothelial cell growth factor ( PD-ECGF ) and its mRNA in ovarian cancers . Cancer Letter 126 , 83-88 ( 1998 )

Yokoyama Y , Ito T , Hanson V , Schwartz GK , Aderen AA , Holland JF , Tamaya T , Ohnuma T : PMA - induced reduction in invasiveness is associated with hyperphosphorylation of MARCKS and talin in invasive bladder cancer cell . Int J Cancer 75 , 774-779 ( 1998 )

Fujimoto J , Hirose R , Ichigo S , Sakaguchi H , Tamaya T : DNA polymorphism in B-domain of the estrogen receptor- among Japanese women . Steroid 63 , 146-148 ( 1998 )

Yokoyama Y , Takahashi Y , Morishita S , Hashimoto M , Niwa K , Tamaya T : Telomerase activity in the human endometrium throughout the menstrual cycle . Molecular Human Reproduction 4 , 173-177 ( 1998 )

Yokoyama Y , Takahashi Y , Shinohara A , Lian Z , Tamaya T : Telomerase activity in the female reproductive tract and neoplasms . Gynecol Oncol 68 , 145-149 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Tamaya T : In vitro and in vivo antibacterial activities of S-1090 , a new oral cephalosporin , in the fields of obstetrics and gynecology . Chemotherapy 44 , 153-156 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Hayasaki Y , Satoh M , Kai J , Tamaya T : In vitro bactericidal activities and morphologic changes in *Escherichia coli* and *Bacteroides fragilis* by Cephalosporins . Chemotherapy 44 , 157-163 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Ito K , Tamaya T : Pharmacokinetics of miconazole in serum and exudate of pelvic retroperitoneal space after radical hysterectomy and pelvic lymphadenectomy . International Journal of Antimicrobial Agents 9 , 207-211 ( 1998 )

Misao R , Nakanishi Y , Fujimoto J , Tamaya T : Effect of medroxyprogesterone acetate on sex hormone-binding globulin mRNA expression in the human endometrial cancer cell line Ishikawa . Eur J Endocrinol 138 , 574-582 ( 1998 )

Mikamo H , Kawazoe K , Sato Y , Izumi K , Ito K , Tamaya T : Bacterial flora in the uterine endometrial cavity of healthy subjects on the first and fifth days of the puerperium . J Infect Chemother 4 , 12-15 ( 1998 )

Fujimoto J , Ichigo S , Sakaguchi H , Hirose R , Tamaya T : Expression of platelet-derived endothelial cell growth factor and its mRNA in uterine endometrium during the menstrual cycle . Molecular Human Reproduction 4 , 509-513 ( 1998 )

Tamaya T , Kawabata I : A ten-year ( 1987 - 1996 ) obstetrical experience in Gifu University affil

## 整形外科科学講座

### 著書（和文）

和田栄二：頸部椎弓反転拡大形成術（RLR）時の椎弓棘突起の処置．整形外科治療のコツと落とし穴（脊椎・骨盤）．山内裕雄他．東京，中山書店，1997．109-111

糸数万正：小切開による顎間隆起骨折の手術法．整形外科治療のコツと落とし穴，山内裕雄他，東京，中山書店，1997．134-135

糸数万正：脛骨粗面傾斜骨切内前方移動術 Elmslei-Trillat．整形外科治療のコツと落とし穴，山内裕雄他，東京，中山書店，1997．144-145

清水克時：腰椎後方進入椎体間固定術．整形外科治療のコツと落とし穴（脊椎・骨盤），山内裕雄他，東京，中山書店，1997．198-199

和田栄二：自家摘出棘突起椎弓を使用する PLIF．整形外科治療のコツと落とし穴（脊椎・骨盤），山内裕雄，小野村敏信，小林晶，東京，中山書店，1997．200-201

清水克時：転移性脊椎腫瘍の手術，整形外科治療のコツと落とし穴（脊椎・骨盤），山内裕雄，小野村敏信，小林晶，東京，中山書店，1997．268-269

糸数万正：下腿骨折に対する骨接合術．整形外科術前・術後のマネージメント，東京，医学書院，1997．195-197

糸数万正，徳山 剛，伊藤芳毅：小児の股関節痛と鑑別診断．股関節の整形外科 - 今日の常識と話題，東京，金原書店，1997．397-402

細江英夫：腰痛，30 の大学病院による診断と治療シリーズ「腰痛・五十肩の診断と治療」，東京，真興交易医書出版部，1998．18-122

石井光一：「いわゆる五十肩」に対する保存療法 - 運動療法指導のコツ - ，30 の大学病院による診断と治療シリーズ「腰痛・五十肩の診断と治療」，東京，真興交易医書出版部，1998．122-126

清水克時：腰痛，老年学大事典．村上元庸編，東京，西村書店，1998．216-219

清水克時：腰部脊柱管狭窄症，老年学大事典．村上元庸編，東京，西村書店，1998．448-451

### 総説（和文）

清水克時：臨床講義 脊椎腫瘍の診断と治療．日本医事新報 356，3-6（1996）

系数万正：足の変形に新手術法（距骨体部切除術）．月刊フリーダム 5，32-33（1997）

系数万正：脛骨平原骨折（関節鏡と人工骨の応用）．月刊フリーダム 6，47-48（1997）

系数万正：人工関節シリーズ（股関節）．月刊フリーダム 7，58-59（1997）

系数万正：人工関節シリーズ（膝関節）．月刊フリーダム 8，72-73（1997）

系数万正：人工関節シリーズ（肩関節）．月刊フリーダム 9，60-61（1997）

系数万正：人工関節シリーズ（手・指関節）．月刊フリーダム 10，32-33（1997）

系数万正：子供が脚全体の痛みか股関節痛を訴えた．月刊フリーダム 11，22-25（1997）

系数万正：子供の膝・下腿の痛みとスポーツ障害．月刊フリーダム 12，34-36（1997）

### 原著（和文）

大野貴敏，西本 裕，武内章二，E.S.P.Reddy：アンチセンス EWS-fusion 遺伝子 RNA の発現が Ewing 肉腫細胞におよぼす影響について．日整会誌 70，S1202（1996）

安田 義，清水克時，石川裕志，西原秀紀，中村孝志：培養軟骨細胞の分化と基質石灰化に対するデキサメサゾンの効果．日整会誌 70，S1282（1996）

清水克時，井戸一博，赤木将男，高田秀彰，中村孝志：環軸椎不安定症に対するハローベストを応用した整復固定術．中部整災誌 40，611-612（1997）

井戸一博，清水克時，多田弘史，麻田義之，中村孝志：胸椎後縦靱帯骨化症に対する開胸前側法進入除圧固定術．中部整災誌 39，1051-1052（1996）

井戸一博，清水克時，多田弘史，麻田義之，中村孝志：椎体切除前方進入で摘出した頸胸椎硬膜内髄外腫瘍の2例．中部整災誌 39，1067-1068（1996）



細江英夫,和田栄二,松永隆信,坂口康道,堀 裕彦:MR画像上隅角欠損を呈する腰椎椎体骨棘.中部整災誌 39,621-622(1996)

堀 裕彦,細江英夫,坂口康道:腰椎側弯とMRIにおける腰椎椎間板像との関連について.中部整災誌 39,623-624(1996)

野々村秀彦,和田栄二,糸数万正,大野義幸,横井達夫,鈴木 康:絞扼性神経障害に対する Neurometer の有用性の評価.岐阜大学医学部紀要(1996)

細江英夫,和田栄二,西本博文,糸数万正,清水克時:小児脊椎のMR画像.第7回日本小児整形外科学会抄録集.(1996)

大野貴敏,西本 裕,武内章二,Reddy ESP:アンチセンス EWS-fusion 遺伝子 RNA の発現が Ewing 肉腫細胞におよぼす影響について:日整会誌 70,S1202(1996)

清水克時,井戸一博,麻田義之,中村孝志:椎体切除前方進入で摘出した頸胸椎硬膜髄外腫瘍の2例.中部整災誌 39,1067-1068(1996)

清水克時,安藤元郎,井戸一博,斉藤聡彦,中村孝志,濱淵正延,堀口 誠:胸骨鎖骨部分切除前方進入法で切除した頸胸椎砂時計腫の1例.整形外科 47,1710-1712(1996)

太田牧雄,栄枝裕文,上村修一,和田栄二,松永隆信:軸椎棘突起に発生した骨軟骨腫による環軸関節亜脱臼の一例.東海脊椎外科 10,44-45(1996)

栄枝裕文,太田牧雄,上村修一,和田栄二,野口耕司:腰椎椎間板障害手術のCTD所見と治療法の検討.東海脊椎外科 10,48-49(1996)

栄枝裕文,飯沼宣樹,島 寛人,加藤直樹,加藤はる,渡辺邦友:激症型A群レンサ球菌による下肢壊死性菌膜炎の一例.感染症学会雑誌 70,273-277(1996)

飯沼宣樹,栄枝裕文,大野義幸:神経科疾患を有する患者における整形外科手術的加療の問題.中部整災誌 39,995-996(1996)

櫛田喜輝,横井達夫,鈴木直樹,鈴木 康,飯沼宣樹:上腕骨骨腫瘍に対するEnder法-特にend stage例において-.中部整災誌 39,1571-1572(1996)

堀 裕彦, 細江英夫, 坂口康道: M R Iにおける上位腰椎椎間板変性の検討. 日脊会誌 6, 71-76 (1996)

細江英夫, 和田栄二, 松永隆信, 坂口康道, 堀 裕彦: M R画像上隅角欠損を呈する腰椎椎体骨棘. 中部整災誌 39, 621-622 (1996)

井戸一博, 清水克時, 多田弘史, 中村孝志: 開胸胸椎前方除圧術に合併した髄液漏. 中部整災誌 39, 655-656 (1997)

西本 裕, 武内章二, 大野貴敏, 楊文毅, 森田正浩, 清水克時: 骨腫瘍切除再建術時の置換, 固定材料に関する検討. 日整会誌 71, (1997)

清水克時, 井戸一博, Weam F Mousa, 多田弘史, 中村孝志: 胸骨鎖骨部分切除進入法による上位胸椎前方アプローチ. 日本パラプレジア医学会誌 10, (1997)

大野貴敏, 西本 裕, 清水克時, 武内章二, E.S.P. Reddy: キメラ蛋白 EWS / ATF - 1 の転写活性機能の解析. 日整会誌 71, (1997)

吉富啓之, 清水克時, 井戸一博, 小田裕造, 中村孝志, 板倉宏次: 胸骨鎖骨部分切除前方進入法で手術した上位胸椎カリエスの1例. 整形・災害外科 40, 193-196 (1997)

清水克時, 井戸一博: 胸椎手術のための放射線解剖 特集/画像診断 Up To Date ・放射線学的解剖. 脊椎脊髄ジャーナル 10, 283-286 (1997)

麻田義之, 井戸一博, 伊勢健太郎, 中村正生, 玉木茂行, 高木治樹, 高塚和孝, 清水克時: 重度腰椎すべり症に対する整復・固定術の一例. 臨床整形外科 32, 209-212 (1997)

清水克時: 研究の手順. 臨床整形外科 32, 111 (1997)

清水克時: BOOK REVIEW 勉強・研究・発表の技法: 草間 悟著. 整形外科 48, 586 (1997)

益田和明, 青木隆明, 西本 裕, 系数万正: プロトン密度強調M R像での膝前十字靭帯の観察. 中部整災誌 40, 57-58 (1997)

西本 裕, 尾下英史, 大野貴敏, 松永隆信, 堀谷喜公, 武内章二, 下川邦泰: 左大腿骨軟骨

肉腫の一例．東海骨軟部腫瘍 8, 14-15 (1997)

小倉広泰, 西本 裕, 尾下英史, 楊 文毅, 大野貴敏, 松永隆信, 武内章二, 入江善二, 下川邦泰: 大腿骨骨腫瘍の一例．東海骨軟部腫瘍 8, 47-49 (1997)

佐藤正夫, 葛西千秋, 武内章二, 下川邦泰: 脊髄硬膜外腫瘍の一例．東海骨軟部腫瘍 8, 26-28 (1997)

田中健一郎, 西本 裕, 大野貴敏, 松永隆信, 武内章二, 下川邦泰: 骨結核との鑑別を要した肋骨好酸球性肉芽腫の一例．東海骨軟部腫瘍 8, 97-99 (1997)

栄枝裕文, 大野義幸, 飯沼宣樹, 太田牧雄: より高位の黄色靭帯骨化症に再手術が必要であった脊椎後彎変形による脊椎麻痺の1例．東海脊椎外科 11, 156-158 (1997)

鈴木勝郎, 和田栄二, 丹羽剛雄, 西本博文, 細江英夫, 松永隆信: 転移性脊椎腫瘍(Th10)に対するチタニウム メッシュ人工椎体の使用経験．東海脊椎外科 11, 89-90 (1997)

大野義幸, 栄枝裕文, 飯沼宣樹, 和田栄二, 清水克時: 上肢絞扼性末梢神経障害における MEP を用いた中枢運動神経機能評価の検討．手の外科学会誌 (1997)

石部達也, 多田弘史, 井戸一博, 松田康孝, 中村孝志, 伊勢健太郎, 中山裕一郎, 清水克時: 巨大脊髄空洞症と側弯症を伴った頸髄内血管芽腫の一例．臨床整形外科 32, 703-706 (1997)

清水克時, 和田栄二, 細江英夫, 西本博文, 益田和明, 四戸隆基: PLIF 手術に A - W ガラスセラミックスを用いる利点と成績．整形外科 48, 969-972 (1997)

大野貴敏: EWS-fusion 遺伝子．整形外科 48, 1200 (1997)

清水克時, 井戸一博, 岡田欣文, 四方實彦: 胸椎椎間板ヘルニアの前方手術と成績．脊椎脊髄ジャーナル 10, 467-469 (1997)

清水克時: 整形外科医は基礎研究をする必要があるか? . 整形・災害外科 40, 981 (1997)

系数万正, 西本 裕, 増田剛宏, 清水克時, 栄枝裕文: 減圧によるハイドロキシアパタイトブロックへの薬剤の含浸法．中部整災誌 40, 971-972 (1997)

西本 裕, 武内章二, 大野貴敏, 楊 文毅, 清水克時: 骨肉腫に対する 5 - FU 持続 CDDP 少量間歇投与による術前動注化学療法. 中部整災誌 40, 945-956 (1997)

野々村秀彦, 大野義幸, 横井達夫, 鈴木 康, 清水克時: Neurometer CPT/C による手根管症候群の定量的知覚評価. 中部整災誌 40, 877-878 (1997)

栄枝裕文, 飯沼宣樹, 大野義幸, 系数万正, 清水克時: 合併損傷から見た floating knee 骨折の治療. 中部整災誌 40, 797-798 (1997)

西本博文, 和田栄二, 細江英夫, 四戸隆基, 清水克時: 脊髓円錐部脊髓腫瘍の臨床的検討. 中部整災誌 40, 1129-1130 (1997)

鈴木勝郎, 和田栄二, 細江英夫, 西本博文, 清水克時: 自家摘出棘突起椎弓を使用した PLIF の検討. 中部整災誌 40, 1223-1224 (1997)

鈴木勝郎, 尾下佳史, 細江英夫: 胸郭出口症候群に対する第 1 肋骨切除術の 1 治験例. 中部防衛衛生学会記事 第 36 回, 69-70 (1997)

清水克時, 井戸一博, 四方實彦, 松下睦, 赤木将男, 中村正生: 頭蓋頸椎移行部病変に対する手術治療. 脊椎外科 11, 117-122 (1997)

清水克時: 多発性腰椎分離・すべり症の治療, 特集: 最新腰椎分離・すべり症診療マニュアル. Orthopaedics 10, 173-176 (1997)

西本 裕, 和田栄二, 清水克時, 下中裕之, 和仁俊廣, 大塚節子: C;X2;K"術中アナフィラキシー様反応を示した自己血輸血症例. 自己血輸血 10, 204-207 (1997)

系数万正, 石井光一, 伊藤芳毅, 楊 文毅, 宮田慶男 (高山日赤病院), 平松 哲 (養老中央病院): 白蓋骨欠損症における セメントレス T H A の移 植骨の形態による推移と骨移植法. 岐阜人工関節フォーラム誌 2, 28-31 (1997)

神谷宣広, 系数万正, 益田和明, 伊藤芳毅, 清水克時, 尾下佳史, 小倉広泰: TKA 術後感染症に対する抗生剤含浸ハイドロキシアパタイトブロック治療の一例. 岐阜人工関節フォーラム誌 2, 28-31 (1997)

井戸一博, 清水克時, 多田弘史, 中村孝志: 開胸胸椎前方除圧術に合併した髄液漏. 中部整

災誌 40, 655-656 (1997)

宮本 敬, 前田雅人, 宮田慶男, 飯沼宣樹, 喜久生明男, 和田栄二, 清水克時: 腰椎ベルト (ウエイトベルト) のバイオメカニクス (ウエイトフターの意識調査と biomechanical study との比較検討). 東海スポ - ツ障害研究会誌 15, 14-17 (1997)

清水克時: 脊椎手術と人工材料. マルホ整形外科 세미나 - 125 集, 19-21 (1997)

石部達也, 多田弘史, 井戸一博, 松田康孝, 中村孝志, 伊勢健太郎, 中山裕一郎, 清水克時: 巨大脊髄空洞症と側弯症を伴った頸髄随内血管芽腫の一例. 臨床整形外科 32, 703-706 (1997)

清水克時: マトリックス分解酵素としてのカルパインの研究. 整形外科 48, 225-228 (1997)

系数万正, 栄枝裕文: A 群 溶血性レンサ球菌感染と骨髄炎発症関連性. 日本医事新報 3798, 112-113 (1997)

山本啓二, 系数万正, 加藤直樹, 渡辺邦友: 抗菌薬含有凍結乾燥フィブリン塊による実験的化膿性骨髄炎の治療効果. 日本化学療法学会誌 45, 82-98 (1997)

佐藤正夫, 葛西千秋: 骨傷をとまなわない頸髄損傷のMRI 所見の検討. 日本画像医学雑誌 16, 30-40 (1997)

和田栄二, 清水克時, 西本博文, 鈴木勝郎, 細江英夫: ブロック型椎間スパンサーAW ガラスセラミックを用いた椎体間固定術, 採骨をしない脊椎固定術. J MIOS 6, 33-39 (1998)

清水克時: 主治医のカルテ, 骨粗鬆症で骨折, 歩行に障害. 中日新聞サンデー版 (1998.02.01)

中川偉文, 土屋隆之, 濱淵正延, 清水克時, 井戸一博: 胸椎病変による歩行障害を呈した慢性関節リウマチの一例. 整形外科 49, 277-280 (1998)

杉山誠一, 鈴木 康, 四戸隆基, 伊藤正志, 横井達夫, 櫛田喜輝, 系数万正, 清水克時: 変形性膝関節症の疫学調査. 日整会誌 72, S 501 (1998)

松末吉隆, 飯田寛和, 中村正生, 清水克時: ポリ - L - 乳酸 (PLLA) 骨接合材料使用症例の長期成績. 日整会誌 72, S 31 (1998)

清水克時：脊椎インスツルメンテーションによる変形矯正．理療 28，41-45（1998）

清水克時，西本 裕，大野貴敏，野々村秀彦，中村孝志：末節骨の内軟骨腫．日手会誌 15，（1998）

栄枝裕文，飯沼宣樹，大野義幸，清水克時，加藤直樹：髄膜刺激症状を呈した腰椎硬膜外膿瘍の2手術症例．中部整災誌 41 春季学会号：39（1998）

清水克時：提示症例1に対する私の治療法（B）．脊椎脊髄ジャーナル 11，421-423（1998）

西本 裕，葛西千秋，大野貴敏，森 敦幸，清水克時，武内章二：腫瘍用人工膝関節置換術後骨萎縮を来した2例．岐阜人工関節フォーラム誌 3，in press

大橋 稔，大野貴敏，西本 裕，松永隆信，田中健一郎，武内章二，下川邦泰：右大腿骨骨腫瘍の一例．東海骨軟部腫瘍 9，24-26（1998）

伏見一成，西本 裕，大野貴敏，西本博文，武内章二，下川邦泰：Venous Aneurysm の一例．東海骨軟部腫瘍 9，52-54（1998）

四戸隆基，大野貴敏，西本 裕，和田栄二，下川邦泰，武内章二：診断に難渋した腸骨及び仙骨の形質細胞腫の一例．東海骨軟部腫瘍 9，87-89（1998）

西本 裕，葛西千秋，土屋昭義，嘉本将治，池田庸子，武内章二，下川邦泰：右小指基節骨軟骨腫の一例．東海骨軟部腫瘍 10 in press

四戸隆基，西本 裕，大野貴敏，清水克時，奥富 直，高井則子，下川邦泰，武内章二：左上顎部に発症し多発性転移を来した横紋筋肉腫の一例．東海骨軟部腫瘍 10 in press

仲俣岳晴，野口耕司，山田鉄也，中島安彬，西本 裕，下川邦泰，武内章二：腰部硬膜内に発生した骨肉腫の一例．東海骨軟部腫瘍 10 in press

#### 原著（欧文 国外）

Shimizu K，Ido K，Iwasaki R，Matsusita M，Nakayama Y，Nakamura T：Correction of lumbar spinal deformities by posterior lumbar interbody fusion（PLIF）．XXX WORLD CONGRESS OF THE INTERNATIONAL COLLEGE OF SURGEONS Nov．25-29，1337-1340（1996）

Fujimura Y , Ohno T , Siddique H , Lee L , Rao V N , Reddy E S P : The EWS-AATF-1 gene involved in malignant melanoma of soft parts with t ( 12 : 22 ) chromosome translocation , encodes a constitutive transcriptional activator . *Oncogene* 12 , 159-167 ( 1996 )

Nonmura H , Ohno Y , Itokazu M , Matsunaga T , Kato N , Watanabe K : Indigenous bacterial flora of medical leeches and their susceptibilities to various antimicrobial agents . *Proceedings 12th Symposium of the international Society of Reconstructive Microsurgery* 461-462 ( 1996 )

Tada H , Shimizu K , Ido K , Iida H , Shikata J , Nakamura T : RADIOGRAPHIC CHANGES AROUND THE A-W GLASS CERAMIC VERTEBRAL PROSTHESIS IN THE HUMAN SPINE . *Bioceramics* 9 , 507-510 ( 1996 )

Hosoe H , Wada E , Matsunaga T , Sakaguchi Y , Hori H : MR images of lumbar vertebral spurs.20th World Congress SICOT 96 Amsterdam Final Program ( 1996 )

Ishii M , Oshita Y , Itokazu M , Matsunaga T , Troiano N , Friedlaender G E : The effects of chemotherapeutic agents ( methotrexate and doxorubicin ) on fracture healing . *Transactions of Orthopaedic Research Society* 21 , 226 ( 1996 )

Ido K , Shimizu K , Nakayama Y , Shikata J , Matsushita M , Nakamura T : Suction/ irrigation for deep wound infection after spinal instrumentation-a case study . *Europ Spine J* 5 , 345-349 ( 1996 )

Shimizu K , Matsushita M , Fujibayashi S , Toguchida J , Ido K , Nakamura T : Correction of Kyphotic Deformity of the Cervical Spine in Ankylosing Spondylitis Using General Anesthesia and Internal Fixation . *Journal of Spinal Disorders* 9 , 540-543 ( 1996 )

Shimizu K , Ido K , Fujio F , Tanaka K , Nakamura T : Total spondylectomy and spinal shortening for giant-cell tumour of spine . *THE LANCET* 348 ( 9023 ) , 342 ( 1996 )

Ban M , Hosoe H , Yamada T , Nakatani A , Satoh M , Shimizu H , Kitajima Y : Kindler's syndrome with recurrence of bullae in the fifth decade . *British Journal of Dermatology* 135 , 503-504 ( 1996 )

Itokazu M , Kumazawa S , Wada E , Wenyi Y : Sustained release of adriamycin from implanted hydroxyapatite blocks for the treatment of experimental osteogenic sarcoma in mice . *Cancer*

Letters 107 , 11-18 ( 1996 )

Yasuda T , Shimizu K , Nakagawa Y , Ishikawa H , Nishihara H , Nakamura T : Possible involvement of RGD-containing extracellular matrix proteins in rat growth plate chondrocyte differentiation in culture . Journal of Bone and Mineral Research 11 , 1430-1437 ( 1996 )

Yasuda T , Shimizu K , Ishikawa H , Nakamura T : Alteration in Fibronectin Synthesis During Rat Growth Plate Chondrocyte Differentiation in Culture . Biomedical Research 17 , 297-303 ( 1996 )

Takeda T , Shimizu K , Chen W H : Senescence-Accelerated Mouse ( SAM ) , A Novel Mouse Model of Accelerated Senescence . Amyloid Arthropathy and Degenerative Joint Disease in the Senescence-Accelerated Mouse ( SAM ) 455-471 ( 1996 )

Nonomura H , Kato N , Ohno Y , Itokazu M , Matsunaga T , Watanabe K : Indigenous bacterial flora of medicinal leeches and their susceptibilities to 15 antimicrobial agents . J . Med . Microbiol . 45 , 490-493 ( 1996 )

Dohjima T , Itokazu M , Ohno T , Tanemori T , Wada E , Kato N , Watanabe K : Antibiotic-loaded hydroxyapatite blocks in the treatment of experimental osteomyelitis in rat . J Med Microbio. 46 , 779-783 ( 1997 )

Itokazu M , Yamamoto K , Yang W , Aoki T , Kato N , Watanabe K : The Studies Release of Antibiotic from Freeze-Drying Fibrin-antibiotic Compound and Efficacies on a Rat Model of Osteomyelitis. Infection 25 , 359-363 ( 1997 )

Itokazu M , Masuda K , Ohno T , Itoh Y , Yang W : A Simple Method of Intraoperative Limb Length Measurement in Total Hip Arthroplasty . Bull Hosp Jt Dis 56 , 202-203 ( 1997 )

Itokazu M , Yang W , Aoki T , Ohara A , Kato N : Synthesis of antibiotic loaded interporous hydroxy - apatite blocks by vacuum method and in vitro drug release testing . Biomaterials 19 , 817-919 ( 1997 )

Shimizu K , Kotoura Y , Nishijima N , Nakamura T : Enchondroma of the Distal Phalanx of the Hand . J . Bone Joint Surg . 79-A , 898-900 ( 1997 )



Ido K , Shimizu K , Matsuda Y , Tsuboyama T , Tada H , Aoyama T , Nakamura T : Total en bloc Spondylectomy for Giant Cell Tumor in the Thoracic Spine : a Case Report Neuro-Orthopedics 21 , 75-80 ( 1997 )

Okada Y , Shimizu K , Ido K , Kotani S : Multiple thoracic disc herniations . case report and review of the literature . Spinal Cord 35 , 183-186 ( 1997 )

Matsusue Y , Nakamura T , Iida H , Shimizu K : A Long-term Clinical Study on Drawn Poly-L-Lactide Implants in Orthopaedic Surgery .Journal of Long-Term Effects of Medical Implants 7 , 119-137 ( 1997 )

Ido K , Shimizu K , Tada H , Matsuda Y , Shikata J , Nakamura T : Consideration for Surgical Treatment of Patients with Upper Lumbar Disc Herniations .Journal of Spinal Disorders 11 , 75-79 ( 1997 )

Itokazu M , Takahashi K , Matsunaga T , Hayakawa S , Emura S , Isono H , Shoumura S : A study of the arterial supply of the human acetabulum using a corrosion casting method . Clinical Anatomy 10 , 77-81 ( 1997 )

Dohjima T ,Kato Y ,Banno Y ,Ohno T ,Nozawa Y ,Shimizu K : Preferential down-regulation of phospholipase C-b1 during the early stage of differentiation in MC3T3-E1 osteoblast cells . Biomedical Research 18 , 445-451 ( 1997 )

Itokazu M , Sugiyama S , Ohno T , Wada E , Katagiri Y : Development of a porous apatite ceramics for local delivery of chemotherapeutic agents .J Biomed Mater Res 39 ,536-538( 1998 )

Itokazu M , Shinozaki M , Ohno T : Quantitative Analysis of Hyaluronan in the Synovial Tissues of the Patients with Joint Disorders . Clin Rheumatology 17 , 261-262 ( 1998 )

Itokazu M ,Yang W ,Masuda K ,Tanaka S : Giant abscess on the thigh caused by postoperative osteomyelitis-A case report . Arch Orthop Trauma Surg 51 , 1-4 ( 1998 )

Itokazu M , Masuda K , Wada E , Ohno T , Yoshida M , Takatsu T : Range of Motion After Total Knee Arthroplasty is More Revelant to Anterior-Posterior Rather than Medial-Lateral Instability.Orthopedics ( in Press )

Itokazu M , Aoki T , Nonomura H , Nishimoto Y , Yang W : Antibiotic-loaded Porous Hydroxyapatite Block as a Treatment of Osteomyelitis and Postoperative Infection of Joint Replacement . Bull Hosp Jt Dis ( in press )

Itokazu M , Uemura S , Aoki T , Yang W : Analysis of Rising From a Chair by Using Gyroscopic Goniometers and Range of Motion After Total Knee Arthroplasty . Bull Hosp Jt Dis ( in press )

Itokazu M , Ohno T , Itoh T , Ohno Y : An Exposure of the Hip by Anterior Osteotomy of the Greater Trochanter . Bull Hosp Jt Dis ( in press )

Ohno Y , Itokazu M , Inuma N , Shima K : Meniscal cyst in the posterior intercondylar space found MRL . Arch Orthop Trauma Surg ( in press )

#### 原著 ( 欧文 国内 )

Itokazu M , Takami K , Matsunaga T , John M : Immunohistochemical Demonstration of Hyaluronic Acid in the Synovial Tissues of the Rheumatoid Arthritis by Using Hyaluronic Acid Binding Protein . Jpn Clin Rheumatology 8 , 13-17 ( 1996 )

Itokazu M , Ishii M , Masuda K , Yang W , Aoki T : Prediction of post-operative quadriceps angle ( Q angle ) in the Elmslie-Trillat realignment procedure . Kansai Arthroscopy and Knee Soc 9 , 1-3 ( 1998 )

#### その他

清水克時：脊椎手術と人工材料，マルホ整形外科セミナー，平成 9 年 6 月 18 日 放送

清水克時：中日新聞社，主治医のカルテ，平成 10 年 2 月 1 日

#### 医学教育ビデオ

細江英夫，西本博文，坂口康道，清水克時：腓骨移植による頸椎前方手術，岐阜大学整形外科，1997

坂口康道，細江英夫，西本博文，清水克時，小久保光治，左合 哲 ( 第 1 外科 )：脊椎外科のための開胸手術，岐阜大学整形外科，1997

西本博文，細江英夫，坂口康道，野々村諭香，森敦幸，清水克時，飯沼宣樹 ( 岐阜赤十字病院整形外科 )：骨粗鬆症性椎体圧潰に対する脊椎短縮手術，彩プロダクション，1998

## 脳神経外科学講座

### 著書（和文）

坂井 昇, 篠田 淳, 山田 弘: 側頭葉の疾患と手術『良性脳腫瘍』, 図説脳神経外科 New Approach 側頭葉[機能・解剖・手術], 高倉公朋, 斎藤 勇, 佐藤 潔編, 東京, Medical View 社, 1996 . 94-105

玉田 章, 山川弘保: くも膜下出血, クリニカルスタディブック 2 実習に役立つ病態マップ, メヂカルフレンド社編集部編, 東京, メヂカルフレンド社, 1998 . 78-81

安藤 隆他: 手術室で働く人のための手術医学テキスト, 小林寛伊監修, 医薬ジャーナル社, 1997.170-175

### 著書（欧文）

Yoshimura S , Kaku Y , Ueda T , Nishimura Y , Andoh T , Sakai N , Yamada H : Embolization of scalp AVF direct puncture of venous pouch . Advances in Interventional Neuroradiology and Intravascular Neurosurgery , Taki W ed , Elsevier , 1996 . 121-123

Kaku Y , Yoshimura S , Ueda T , Andoh T , Sakai N , Yamada H : Superselective intra-arterial infusion of papaverine for the treatment of cerebral vasospasm . Advances in Interventional Neuroradiology and Intravascular Neurosurgery , Taki W ed , Elsevier , 1996 . 191-195

### 総説（和文）

坂井 昇, 竹中勝信, 酒井秀樹, 吉村紳一: グリオーマ細胞の分化誘導の試み. 脳外 25 , 875-882 ( 1997 )

山川弘保, 坂井 昇, 山田 弘: 脳ドックと脳出血の予防. クリニカ 24 , 22-26 ( 1997 )

山川弘保, 坂井 昇, 山田 弘: 脳卒中の予防 外科的立場から. Clinical Neuroscience 15 , 1366-1369 ( 1997 )

郭 泰彦, 坂井 昇: 血管内視鏡の応用. Clinical Neuroscience 16 , 684-685 ( 1998 )

吉村紳一: 血管内超音波検査法の応用. Clinical Neuroscience 16 , 686-689 ( 1998 )

奥村 歩，川口雅裕，竹中勝信，坂井 昇，水野晋二，星 博昭，木島竜吾，小鹿丈夫：脳神経外科における Virtual Reality . 先端医療 5 , 82-84 ( 1998 )

奥村 歩、川口雅裕、竹中勝信、浅野好孝、山川弘保、服部達明、篠田 淳、西村康明、安藤 隆、坂井 昇：Functional MRI と運動負荷脳血流 SPECT . 第 56 回日本脳神経外科学会総会特集 脳循環研究 TODAY 3 ( 1998 )

坂井 昇他：血管内手術の現況 . 岐阜県医師会雑誌 ( in press )

### 原著 (和文)

西村康明，奥村 歩，浅野好孝，松久 卓，郭 泰彦，安藤 隆，坂井 昇，山田 弘：前交通動脈瘤に対する pterional approach について - 手術時穿通枝損傷と脳血管攣縮との関係に於いて - . 脳血管攣縮 11 , 211-216 ( 1996 )

荒木有三，小林裕志，野田伸司，安藤 隆，坂井 昇，山田 弘：脳血管障害患者の視床脳血流量に影響する臨床的因子の検討 . 脳神経 48 , 811-817 ( 1996 )

山田 弘，谷川原徹哉，岩村真事，出口一樹，安藤 隆，坂井 昇：ウィリス動脈輪閉塞症におけるサイトメガロウイルスおよび EB ウイルスの抗体価とウイルスゲノムの検討 . 厚生省特定疾患ウィリス動脈輪閉塞症調査研究班 平成 7 年度報告書 136-141 ( 1996 )

竹中勝信，今尾幸則，佐分利良公，堀本佳彦，鈴木日子，三竹愛子，高橋典三，河野親夫，山下依子，伊藤雅文，西村康明，坂井 昇，山田 弘：多彩な神経所見を呈したクリプトコッカス髄膜脳炎の一例 . 岐阜県医師会雑誌 9 , 139-143 ( 1996 )

谷川原徹哉：ウィリス動脈輪閉塞症に関する研究 - 特にウイルス感染症について - . 岐阜大学医学部紀要 44 , 129-139 ( 1996 )

岩村真事：ウィリス動脈輪閉塞症における細菌感染症の関与に関する研究 - 特に Streptococcus sanguis との関連について - . 岐阜大学医学部紀要 44 , 99-107 ( 1996 )

小林裕志：Clinical applications of single cell gel electrophoretic ( SCG ) assay in human malignant gliomas . 岐阜大学医学部紀要 44 , 140-150 ( 1996 )

熊谷守雄：MRI シネ位相画像による髄液拍動流の臨床的研究 . 岐阜大学医学部紀要 44 , 80-98 ( 1996 )

浅野好孝：破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血の臨床的検討 - 576 例の治療成績 - 岐阜大学医学部紀要 44, 215-229 (1996)

浅野好孝：破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血の臨床的検討 - 脳血管攣縮に対する薬物治療 - 岐阜大学医学部紀要 44, 230-236 (1996)

杉本信吾：Two-dimensional cine phase-contrast MRI を用いた内頸静脈流速測定法の臨床的研究．岐阜大学医学部紀要 44, 108-119 (1996)

上田竜也：Supratentorial malignant glioma における予後因子の臨床的検討．岐阜大学医学部紀要 44, 201-214 (1996)

郭 泰彦：脳血管攣縮に対する治療法．Brain Nursing 12, 785-788 (1996)

篠田 淳，原 明，上田竜也，坂井 昇，山田 弘：Glioblastoma に対する少量 CDDP 併用放射線療法．Neuro-Oncology 6, 13-18 (1996)

奥村 歩，白紙伸一，西村康明，安藤 隆，坂井 昇，桑田一夫：Magnetization Transfer Contrast による脳浮腫研究（第1報）．第19回脳浮腫研究会報告集 89-97 (1996)

荒木有三，小林裕志，野田伸司，安藤 隆，坂井 昇，山田 弘：脳血管障害患者の視床脳血流量に影響する臨床的因子の検討．脳神経 48, 811-817 (1996)

服部達明，小林裕志，宇野俊郎：Ceftriaxone の髄液移行に関する検討．日本抗生物質学術協議会雑誌 49, 813-817 (1996)

松久 卓，篠田 淳，西村康明，安藤 隆，坂井 昇，山田 弘：悪性グリオーマ患者の治療経過中における末梢血 T リンパ球の比率と活性化率の変動について．神経免疫研究 9, 41-45 (1996)

久保田芳則，西村康明，安藤 隆，坂井 昇，山田 弘：Glycerol 投与時の TCD による頭蓋内圧の評価 - 脳腫瘍患者における検討 - ．Neurosonology 10, 29-33 (1997)

酒井秀樹，村瀬 悟，鷺見靖彦，竹中勝信，山川弘保，坂井 昇：スノーボード事故による頭部外傷 109 例の検討 - スキーによる頭部外傷との比較 - ．脳神経外科速報 7, 385-390

( 1997 )

白紙伸一, 西村康明, 安藤 隆, 坂井 昇: モヤモヤ病患者における 31P - CSI の臨床的検討 . 日本臨床 55 , 1785-1788 ( 1997 )

奥村 歩, 竹中勝信, 浅野好孝, 白紙伸一, 坂井 昇, 桑田一夫, 恵良聖一: Magnetization transfer technique の中枢神経疾患診断への応用 - 脳神経外科医の立場から - . 映像情報臨時増刊号 28 , 110-114 ( 1997 )

竹中勝信, 西村康明, 山川弘保, 吉村紳一, 熊谷守雄, 山川春樹, 杉本由佳, 坂井 昇: トランスフェリンと脳血管攣縮 - トランスフェリンによる iNOS の誘導 - 脳血管攣縮 12 , 238-242 ( 1997 )

西村康明, 吉村紳一, 久保田芳則, 後藤至宏, 上田竜也, 浅野好孝, 白紙伸一, 服部達明, 安藤 隆, 坂井 昇: 脳血管攣縮に対する TCD の有用性と限界 . 脳血管攣縮 12 , 311-314 ( 1997 )

奥村 歩, 川口雅裕, 竹中勝信, 浅野好孝, 山川弘保, 服部達明, 篠田 淳, 西村康明, 安藤 隆, 坂井 昇: 脳浮腫領域の Functional Mapping . 第 20 回脳浮腫研究会講演集 33-42 ( 1997 )

松久 卓, 村瀬 悟, 酒井秀樹, 篠田 淳, 坂井 昇: IFN -  $\gamma$  が悪性グリオーマ患者の末梢血リンパ球サブセットおよび NK 活性に及ぼす影響について . 神経免疫研究 10 , 21-24 ( 1997 )

篠田 淳, 川口雅裕, 中谷 圭, 坂井 昇, 下川邦泰: 乳児後頭蓋窩 Choroid Plexus Carcinoma の 1 例 . 藤田学園医学会誌 21 , 354-355 ( 1997 )

西村康明, 浅野好孝, 坂井 昇: 多変量解析による破裂脳動脈瘤患者の予後の術前予測 . 藤田学園医学会誌 21 , 329 ( 1997 )

山田 弘: 悪性脳腫瘍の診断と治療 . 北野紀要 42 , 18-36 ( 1997 )

篠田 淳, 川口雅裕, 中谷 圭, 坂井 昇, 下川邦泰: 再発を繰り返した Ependymoma の 1 例 . 第 1 回東海脳腫瘍病理検討会 藤田学園医学会誌 21 , 174-175 ( 1997 )

西村康明, 奥村 歩, 浅野好孝, 安藤 隆, 坂井 昇, 矢野大仁, 今尾幸則, 船越 孝, 山田 弘: Presigmoid approach による窓形成を有した脳底動脈本幹部破裂動脈瘤の治療経験. 脳卒中の外科 25, 434-439 (1997)

久保田芳則, 岩井知彦, 中谷 圭, 坂井 昇, 原 明: 脳転移を来した副腎皮質癌の1例. 脳外 25, 1039-1042 (1997)

篠田 淳, 川口雅裕, 酒井秀樹, 松久 卓, 坂井 昇: 成人テント上 WHO grade II astrocytoma 28 例の臨床的検討. Neuro-Oncology 7, 31-35 (1997)

服部達明, 坂井 昇: 水頭症に伴う神経症状. Brain Nursing 14, 217-221 (1998)

竹中勝信, 酒井秀樹, 吉村紳一, 伊藤 毅, 黒田竜也, 小谷嘉則, 坂井 昇: グリア細胞分化誘導による新規遺伝子の探索とこれら遺伝子のラットの出生後変化および虚血脳における検討. 神経組織の成長・再生・移植 10, 43-44 (1998)

#### 原著 (欧文・国内)

Yamakawa H: Experimental study on mechanism of aneurysmal enlargement: Aneurysm model and its morphological changes. 岐阜大学医学部紀要 44, 120-128 (1996)

Yamakawa H, Sakai N, Takenaka K, Yoshimura S, Andoh T, Yamada H, Ohkuma A, Takada M, Funakoshi T: Clinical analysis of recurrent subarachnoid hemorrhage after neck clipping surgery. Neurol Med-Chir (Tokyo) 37, 380-386 (1997)

Kubota Y, Ueda T, Kagawa Y, Sakai N, Hara A: Microcystic meningioma without enhancement on neuroimaging -case report-. Neurol Med-Chir(Tokyo) 37, 407-410(1997)

Hattori T, Inoue S, Sakai N: Fenestration of the basilar artery associated with persistent primitive trigeminal artery -case report-. Neurol Med-Chir (Tokyo) 37, 841-843 (1997)

Sakai N: Direct surgery for brainstem lesions. 岐阜大学医学部紀要 45, 334-339 (1997)

Takenaka K, Ito M, Kumagai M, Yamakawa H, Sugimoto S, Yamakawa H, Nishimura Y, Sakai N: Moyamoya Disease Associated With Pulmonary Sarcoidosis -Case Report-. Neurol Med-Chir (Tokyo)(in press)

### 原著 ( 欧文 · 国外 )

Sakai N , Niikawa S , Yamada H , Nishimura Y , Andoh T , Shimokawa K : Longer survival in high-grade gliomas : IORT and immunocytochemical assessment of their growth potential . J Clin Neurosc 3 , 46-51 ( 1996 )

Hara A , Sakai N , Yamada H , Iwata T : Clinoidal meningioma arising from falxiforme process of optic canal : Case report and review . Neurol Res 18 , 237-240 ( 1996 )

Sakai H , Nakashima S , Shirakami S , Nakatani K , Shinoda J , Sakai N , Nozawa Y : Suppressed expression of CD44 variant isoforms during human glioma A172 cell differentiation induced by cyclic AMP . Neurosc Lett 210 , 189-192 ( 1996 )

Yoshimura S , Nakashima S , Ohguchi K , Sakai H , Shinoda J , Sakai N , Nozawa Y : Differential mRNA expression of phospholipase D ( PLD ) isozymes during cAMP-induced differentiation in C6 glioma cells . Biochem Biophys Res Comm 225 , 494-499 ( 1996 )

Yoshimura S , Hashimoto N , Goto Y , Sampei K , Tsukahara T , Iihara K : Intra-arterial infusion of high concentration papaverine damages the cerebral arteries in rats . AJNR 17 , 1981-1994 ( 1996 )

Yoshimura S , Hashimoto N , Tsukahara T : Does papaverine cause endothelial injury in clinically relevant doses? AJNR 18 : 1799-1800 ( 1997 )

Nakashima T , Takenaka K , Fukazawa S , Andoh T , Sakai N , Yamada H , Banno Y , Nozawa Y : Purification of a factor from CSF in patient after SAH which induces the cytosolic free calcium elevation in vascular smooth muscle cells . Neurol Res 19 , 51-56 ( 1997 )

Yoshimura S , Sakai H , Nakashima S , Nozawa Y , Shinoda J , Sakai N , Yamada H : Differential expression of Rho family GTP-binding proteins and protein kinase C isozymes during C6 glial cell differentiation . Mol Brain Res 45 , 90-98 ( 1997 )

Yamada H , Deguchi K , Tanigawara T , Takenaka K , Nishimura Y , Shinoda J , Hattori T , Andoh T , Sakai N : The relationship between Moyamoya disease and bacterial infection . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 2 , s221-224 ( 1997 )

Yamakawa H , Takenaka K , Yoshimura S , Sakai N , Hayamawa D , Chen H , Shoumura S :



Experimental study on mechanism of aneurysmal enlargement . J Cereb Blood Flow Metab 17 suppl 1 , s205 ( 1997 )

Takenaka K , Yamakawa H , Yoshimura S , Sugimoto Y , Kumagai M , Sakai N : Detection of transferrin in CSF from SAH patients , which induces nitric oxide synthase mRNA in cultured smooth muscle cells . J Cereb Blood Flow Metab 17 suppl 1 , s481 ( 1997 )

Yoshimura S , Takenaka K , Yamakawa H , Sakai H , Nishimura Y , Sakai N , Nakashima S , Nozawa Y : Intracellular signal transduction during ceramide - induced apoptosis in cultures glial cells . J Cereb Blood Flow Metab 17 suppl 1 , s722 ( 1997 )

Sakai N ,Andoh T ,Nishimura Y ,Takenaka K ,Yamakawa H ,Nakatani K ,Sakai H ,Yoshimura S : Surgical treatment of cavernous angioma involving the brainstem . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s57 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Nakatani K , Takenaka K , Sakai N , Nozawa Y : Expression of CD44 variant isoforms and their relationship to cellular differentiation in human gliomas. Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s127 ( 1997 )

Nakatani K , Yoshimi N , Mori H , Yoshimura S , Sakai H , Takenaka K , Shinoda J , Sakai N : Alteration of telomerase activity during differentiation of A172 human glioblastoma cells . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s128 ( 1997 )

Yoshimura S , Sakai H , Takenaka K , Nakatani K , Yamakawa H , Sakai N , Nakashima S , Nozawa Y : Intracellular signal transduction during ceramide-induced apoptosis in cultured glioma cells . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s128 ( 1997 )

Yamakawa H , Takenaka K , Sakai H , Nakatani K , Ito T , Murase S , Yoshimura S , Sakai N , Hayamawa D , Shomura S : Experimental study on the mechanism of aneurysmal enlargement . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s135 ( 1997 )

Takenaka K , Kumagai M , Sakai N , Nishimura Y , Yamakawa H , Sakai H , Nakatani K , Yoshimura S ,Itoh T ,Murase S ,Yamakawa H ,Sugimoto Y :Is transferrin one of the candidates as spasmogen for cerebral vasospasm? Transferrin induced nitric oxide synthase mRNA in rat cultured aortic smooth muscle cells . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s136 ( 1997 )

Ito T , Murase S , Sakai H , Nakatani K , Takenaka K , Andoh T , Sakai N : Posttraumatic malignant lymphoma of the skull : A case report . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 s253 ( 1997 )

Murase S , Saio M , Ito T , Yoshimura S , Sakai H , Nakatani K , Yamakawa H , Takenaka K , Shinoda J , Andoh T , Sakai N , Takami T : Soluble CD27 as a tumor marker of central nervous system lymphoma . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s254 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Sakai N , Nozawa Y : Identification of differentially expressed mRNAs during rat C6 glial cell differentiation by mRNA fingerprinting using arbitrarily primed PCR ( RAP ) . Neurosci Lett 229 , : 93-96 ( 1997 )

Yoshimura S , Sakai H , Ohguchi K , Nakashima S , Banno Y , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Changes in the activity and mRNA levels of phospholipase D during ceramide-induced apoptosis in rat C6 glial cells . J Neurochem 69 , 713-720 ( 1997 )

Nakatani K , Yoshimi N , Mori H , Yoshimura S , Shinoda J , Sakai N : The significant role of telomerase activity in human brain tumors . Cancer 80 , 471-476 ( 1997 )  
238-242 ( 1997 )

Shinoda J , Sakai N , Hara A , Ueda T , Sakai H , Nakatani K : Clinical trial of external beam-radiotherapy combined with daily administration of low-dose cisplatin for supratentorial glioblastoma multiforme -A pilot study . J Neuro-Oncology 35 , 73-80 ( 1997 )

Yano H , Funakoshi T , Shinoda J , Sakai N , Kokuzawa G , Shimokawa K : Primary pleomorphic adenoma in posterior cranial fossa . Brain Tumor Pathol 14 , 75-78 ( 1997 )

Deguchi K , Takenaka K , Sakai H , Nakatani K , Yoshimura S , Yamakawa H , Murase S , Nishimura Y , Andoh T , Sakai N : Immunological and hereditary studies on moyamoya disease . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1167-1170 ( 1997 )

Yamakawa H , Takenaka K , Sakai H , Nakatani K , Ito T , Murase S , Yoshimura S , Sakai N , Hayakawa D , Shomura S : Experimental study on the mechanism of aneurysmal enlargement . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1799-1801 ( 1997 )

Nakatani K , Yoshimi N , Mori H , Yoshimura S , Sakai H , Takenaka K , Shinoda J , Sakai N : Alteration of telomerase activity during differentiation of A172 human glioblastoma cells . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1739-1743 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Nakatani K , Takenaka K , Sakai N , Nozawa Y : Expression of CD44 variant isoforms and their relationship to cellular differentiation in human gliomas . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1735-1738 ( 1997 )

Takenaka K , Kumagai M , Sakai N , Nishimura Y , Yamakawa H , Sakai H , Nakatani K , Yoshimura S , Itoh T , Murase S , Yamakawa H , Sugimoto Y : Is transferrin one of the candidates as spasmogen for cerebral vasospasm? Transferrin induced nitric oxide synthase mRNA in rat cultured aortic smooth muscle cells . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1809-1813 ( 1997 )

Sakai N , Andoh T , Nishimura Y , Takenaka K , Yamakawa H , Nakatani K , Sakai H , Yoshimura S : Surgical treatment of cavernous angioma involving the brainstem . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 1159-1163 ( 1997 )

Ito T , Murase S , Sakai H , Nakatani K , Takenaka K , Andoh T , Sakai N : Posttraumatic malignant lymphoma of the skull : A case report . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 783-786 ( 1997 )

Murase S , Saio M , T Ito , Yoshimura S , Sakai H , Nakatani K , Yamakawa H , Takenaka K , Shinoda J , Andoh T , Sakai N , Takami T : Soluble CD27 as a tumor marker of central nervous system lymphoma . Proceeding of 11th International Congress of Neurological Surgery 799-803 ( 1997 )

Yoshimura S , Sakai H , Takenaka K , Nakatani K , Yamakawa H , Sakai N , Nakashima S , Nozawa Y : Intracellular signal transduction during ceramide-induced apoptosis in cultured glioma cells . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl 1 , s128 ( 1997 )

Yamakawa H , Sakai H , Nishimura Y , Okumura A , Sawafuji M , Sakai N , Yamada H : Intracranial arachnoid cyst with subdural hematoma . Journal of Clinical Neuroscience 4 , 493-498 ( 1997 )

Nakashima T ,Nishimura Y ,Sakai N ,Yamada H ,Hara A : Germinoma in cerebral hemisphere associated with Down syndrome . Child's Nervous System 13 , 563-566 ( 1997 )

Tanigawara T , Yamada H , Sakai N , Andoh T , Deguchi K , Iwamura M : Studies on cytomegalovirus and Epstein-Barr virus infection in Moyamoya disease . Clinical Neurology and Neurosurgery 99 suppl2 , s225-228 ( 1997 )

Yoshimura S , Ueda T , Kaku Y , Nishimura Y , Andoh T , Sakai N : Results and problems on direct embolization of cerebral aneurysms using interlocking detachable coils . Interventional Neuroradiology 3 suppl 2 , 162-164 ( 1997 )

Ueda T , Yoshimura S , Kaku Y , Shirakami S , Andoh T , Sakai N : 2D-TOF MRA follow-up study of percutaneous transluminal angioplasty for severely stenotic cervical internal carotid artery . Interventional Neuroradiology 3 suppl 2 , 187-189 ( 1997 )

Sakai H , Nakashima S , Nakatani K , Yoshimura S , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Messenger RNA finger printing analysis using arbitrarily primed PCR ( RAP ) of genes expressed during rat C6 glioma cell differentiation . Brain Tumor Pathology 14 , 119-123 ( 1997 )

Okumura A , Kawaguchi M , Takenaka K , Nishimura Y , Itoh T , Andoh T , Sakai N : The activation study with combination of f-MRI and SPECT in stroke patients with hemiparesis . European Journal of Neurology 5 ( Suppl 1 ) , S32 ( 1998 )

Takenaka K ,Yamakawa H ,Nishimura Y ,Okumura A ,Itoh T ,Andoh T ,Sakai N:Angiotensin I-converting enzyme gene polymorphism in intracranial aneurysm patients .European Journal of Neurology 5 ( Suppl 1 ) , S48 ( 1998 )

Itoh T , Yoshimura S , Okumura A , Takenaka K , Yamakawa H , Andoh T , Sakai N : The effect of tissue plasminogen activator ( t-PA ) on proximal middle cerebral artery ( MCA ) thrombosis in hamster . European Journal of Neurology 5 ( Suppl 1 ) , S49 ( 1998 )

Yamakawa H , Takenaka K , Hirayama H , Nishimura Y , Itoh T , Okumura A , Andoh T , Sakai N : Epidemiology of asymptomatic cerebrovascular disease in high risk populations in a local community in Japan : an exploration by MRI and MRA . European Journal of Neurology 5 ( Suppl 1 ) , S51 ( 1998 )

Yoshimura S ,Banno Y ,Nakashima S ,Takenaka K ,Sakai H ,Nishimura Y ,Sakai N ,Shimizu S , Eguchi Y , Tsujimoto Y , Nozawa Y : Ceramide formation leads to caspase-3 activation during hypoxic PC12 cell death . J Biol Chem 273 , 6921-6927 ( 1998 )

Okumura A , Kuwata K , Takenaka K , Nishimura Y , Shirakami S , Sakai N , Hayashi T , Era S : Pulsed off-resonance magnetization transfer for brain tumor in patients . Neurol Res 20 , 313-319 ( 1998 )

Okumura A , Kuwata K , Nishimura Y , Kawaguchi M , Takenaka K , Sakai N , Era S , Hoshi H : Clinical applicability of functional magnetic resonance imaging and activation study with single photon emission computerized tomography for functional mapping . Neurological Research 20 , 191-197 ( 1998 )

Sakai H , Nakashima S , Yoshimura S , Nishimura Y , Sakai N , Nozawa Y : Molecular cloning of a cDNA encoding a serine protease homologous to complement C1s precursor from rat C6 glial cells and its expression during glial differentiation . Gene 209 , 87-94 ( 1998 )

Yamamoto N , Ishihara S , Yoshimura S , Ueda T , Takeuchi T , Kawada Y : Endovascular embolization of a renal artery aneurysm using interlocking detachable coils . Scand J Urol Nephrol 32 , 143-145 ( 1998 )

Takenaka K , Yamakawa H , Sakai H , Yoshimura S , Murase S , Okumura A , Nakatani K , Kimura T , Nishimura Y , Yoshimi N , Sakai N : Angiotensin I-converting enzyme gene polymorphism in intracranial saccular aneurysm individuals . Neurol Res ( in press )

Takenaka K , Sakai H , Yoshimura S , Ito T , Hayashi K , Kuroda T , Kotani Y , Sakai N : Analysis for differentially induced genes in development and ischemic state of rat brain . Restorative Neurology and Neuroscience ( in press )

Yoshimura S , Ueda T , Hayashi K , Kaku Y , Andoh T , N Sakai : Results and problems on percutaneous transluminal angioplasty for internal carotid artery stenosis . Interv Neuroradiol ( in press )

Nakatani K , Yoshimi N , Mori H , Sakai H , Shinoda J , Andoh T , Sakai N : The significance of the expression of tumor suppressor gene DCC in human gliomas . J Neuro-Oncol ( in press )

Murase S , Takenaka K , Shinoda J , Nishimura Y , Sakai N , Saio M , Takami G : Increased levels of CSF soluble CD27 in patients with primary central nervous system lymphoma .  
Cancer letter ( in press )

## 眼科学講座

### 著書（和文）

北澤克明：緑内障クリニック，改訂第三版．東京，金原出版，1996．303 p

北澤克明：視神経乳頭所見のとり方 - 各種検査方法の特徴，眼科検査 - 診断のコツと落とし穴 Part 1．小暮文雄，湖崎克，林文彦編，東京，中山書店，1996．94-95

北澤克明：隅角の見方，artifact の避け方，眼科検査，診断のコツと落とし穴 Part 1．小暮文雄，湖崎克，林文彦編，東京，中山書店，1996，112-113

北澤克明，山本哲也：トラベクレクトミー，カラーアトラス 眼科手術/Special Technique．白井正彦，坪田一夫編，東京，診断と治療社，1996．217-221

山本哲也：結膜下組織の創傷治癒(緑内障濾過手術と関連して)，眼科診療プラクティス 22．やさしい眼の細胞・分子生物学．東京，文光堂，1996．173-175

山本哲也：トラベクレクトミー，緑内障，診断と治療の最前線．東京，診療新社，1996．137-144

富田剛司：レーザー眼科 2.4 レチナトモグラフィ（ハイデルベルグ型），眼科学大系 5B．東京，中山書店，1996．124-4-124-6

谷口徹，北澤克明：原発開放隅角緑内障，緑内障，診断と治療の最前線．東京，診療新社，1996．6-10

川瀬和秀：眼科領域の疾患，Rieger 奇形，遺伝子病マニュアル下 33（増刊）．1996．342-343

北澤克明，山本哲也：緑内障診断における視野検査の位置，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて．東京，文光堂，1997．36-37

北澤克明，山本哲也：トラベクレクトミー，カラーアトラス眼科手術/Special Technique．東京，診断と治療社，1997．217-221

山本哲也：緑内障性視野障害の特色，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて．東京，文

光堂，1997．10-15

山本哲也：乳頭陥凹，眼科診療プラクティス 30，診療に必要な眼底アトラス．東京，文光堂，1997．22-25

山本哲也：結膜の取り扱い方，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．33

山本哲也：強膜弁作成のコツ，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．37

山本哲也：強膜弁縫合時のポイント，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ，東京，メジカルビュー社，1997．57

山本哲也：結膜縫合のコツ，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．63

山本哲也：正常眼圧緑内障に対するトラベクレクトミー，適応と不適応，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．75-77

山本哲也：ステロイド緑内障，眼科診療プラクティス 32，眼疾患診療ガイド．東京，文光堂，1997．562

山本哲也：水晶体嚢性緑内障(落屑症候群)，眼科診療プラクティス 32，眼疾患診療ガイド．東京，文光堂，1997．563

山本哲也：色素緑内障，眼科診療プラクティス 32，眼疾患診療ガイド．東京，文光堂，1997．564

山本哲也：院内感染対策ほか計 12 項目，眼科ブレイクスルー，緑内障治療．東京，中山書店，1997．30，69，70-71，78，79，83，106-107，125，127，132，137，144-145

山本哲也：緑内障，眼薬物療法，隅角，眼科学体系差し替え版 1998．東京，中山書店，1997．120-2-120-3



富田剛司：視野理解のための視神経乳頭解剖，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて．東京，文光堂，1997．105-107

富田剛司：虹彩切除，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．46-49

富田剛司：強膜弁の縫合方法，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．52-55

富田剛司：結膜の縫合，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．58-61

富田剛司：結膜の抜糸，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．64-65

富田剛司：水晶体に起因する緑内障，眼科診療プラクティス 32，眼疾患診療ガイド．東京，文光堂，1997．566

富田剛司：無水晶体緑内障，眼科診療プラクティス 32，眼疾患診療ガイド．東京，文光堂，1997．567

谷口徹：術中合併症，結膜に穴があいた場合，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．80-81

谷口徹：術中合併症，強膜弁が薄い場合，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - ．東京，メジカルビュー社，1997．82-83

谷口徹，北澤克明：原発開放隅角緑内障，緑内障，診断と治療の最前線．東京，診断新社，1997．6-10

谷口徹：神経保護作用という観点から望まれる新しい治療法，1997 ARVO レポート - 緑内障治療の最先端を探る．東京，ライフサイエンス出版，1997．6

谷口徹：ウノプロストンとラタノプロスト - 家兎眼での比較検討，1997 ARVO レポート - 緑内障治療の最先端を探る．東京，ライフサイエンス出版，1997．12-13

杉山和久：低眼圧黄斑症，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - . 東京，メジカルビュー社，1997 . 100-103

杉山和久：巨大濾過胞，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - . 東京，メジカルビュー社，1997 . 104-107

岩瀬愛子：視野異常からの診断，緑内障の視野，Octopus 視野計による緑内障診断，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて . 東京，文光堂，1997 . 27

岩瀬愛子：ワンポイントアドバイス，Oculo-kinetic perimetry ( OKP )，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて . 東京，文光堂，1997 . 211

稲積幸介：ワンポイントアドバイス，Dicon TKS4000，LD400，眼科診療プラクティス 28，視野のすべて . 東京，文光堂，1997 . 176-177

一圓三恵子，山本哲也：MMC，5-FUの投与法，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - . 東京，メジカルビュー社，1997 . 66-68

太田澄子，山本哲也：濾過胞の形態，機能，分類，Eye Surgery Now illustrated 5，トラベクレクトミー - 増殖抑制薬の併用 - . 東京，メジカルビュー社，1997 . 124-127

## 総説（和文）

北澤克明，山本哲也：緑内障手術療法 . 週間医学界新聞 2187号 : 3，(1996)

山本哲也，澤田明：眼科診療に関連した最近の医療機器 - UBM，CDI，HRF - . 視覚の科学 17，32-36 (1996)

山本哲也，太田澄子：外科的治療と予後(特集緑内障). 医薬ジャーナル 32，1743-1747(1996)

山本哲也：緑内障診療と超音波生体顕微鏡 . 臨床眼科 50，1335-1339 (1996)

山本哲也：緑内障手術をめぐる Controversy，正常眼圧緑内障 . 臨床眼科 50 (増刊)，135-138 (1996)

山本哲也：線維柱帯切除術(トラベクレクトミー). 臨床眼科 50 (増刊)，198-201 (1996)

富田剛司, 北澤克明: 緑内障・眼圧の展望 - 1994 年度 - . 眼科 38, 761-792 (1996)

富田剛司: 新しい治療と検査シリーズ 60, Nerve fiber layer analyzer . あたらしい眼科 13, 897-898 (1996)

富田剛司: レーザー走査眼底観察装置の緑内障への応用 . 日本眼科紀要 47, 637-644 (1996)

富田剛司: 乳頭の診かた・読みかた, 緑内障 Today, . , 確定診断を得るために . 臨床眼科 50 (増刊), 73-75 (1996)

杉山和久: 共焦点走査型レーザー検眼鏡 (SLO). 臨床眼科 50 (増刊), 145-148 (1996)

恩田鋭治, 山本哲也: 緑内障性視神経障害, 循環障害説の立場から . 臨床眼科 50 (増刊), 17-20 (1996)

河野吉喜, 山本哲也: 視野検査の評価 . 静的視野の解釈 - ハンフリー視野計を中心に . 臨床眼科 50 (増刊), 53-56 (1996)

末森晋典, 山本哲也: 超音波生体顕微鏡 (UBM) による結膜濾過胞の観察 . 臨床眼科 50 (増刊), 202-203 (1996)

末森晋典, 山本哲也: トラベクトミーと眼内レンズ同時手術 . 眼科手術 9, 157-163 (1996)

北澤克明, 望月清文: 麦粒腫、霰粒腫 . 小児科 38, 537-539 (1997)

北澤克明, 富田剛司: 序説: 最近の緑内障検査, 特集「緑内障の検査 - 最近の進歩 -」. あたらしい眼科 14, 821-822 (1997)

山本哲也: 緑内障に関連する新しい診断装置 . あたらしい眼科 14, 175-180 (1997)

山本哲也: 正常眼圧緑内障の診断, 基本的な診断法と新しい機器の紹介 . 眼科 39, 931-937 (1997)

山本哲也: 緑内障の新しいレーザー治療 . 日本レーザー医学会誌 18, 37-41 (1997)

富田剛司, 北澤克明: 緑内障・眼圧の展望 - 1995 年度 - . 眼科 39, 681-695 (1997)

富田剛司，澤田 明：緑内障の診断と検査法．薬局 48，199-204（1997）

富田剛司：緑内障における乳頭末梢循環の評価，特集「緑内障の検査 - 最近の進歩 - 」．あたらしい眼科 14，843-846（1997）

富田剛司，内田英哉，安藤宏：Scanning Laser Tomography を用いた視神経乳頭，眼底疾患の3次元的评价．日本レーザー医学会誌 18，11-16（1997）

富田剛司，北澤克明：Scanning laser polarimeter 特集「眼科検査法—最近の進歩」．網膜．眼科 39，1225-1231（1997）

富田剛司，Ki Ho Park ，劉新毅：スキャニングレーザードップラーフローメーターを用いた乳頭部の無侵襲血管造影と血流測定．神眼 14，122-127（1997）

川瀬和秀，川上秀昭：緑内障手術 - 炎症 ,Choroidal Detachment .眼科手術 10 ,35-39( 1997 )

澤田明，山本哲也：レーザー走査型眼底観察装置による緑内障性視神経症の検査．日本の眼科 68，339-343（1997）

澤田明，山本哲也：超音波生体顕微鏡を用いた閉塞隅角緑内障の診断．あたらしい眼科 14，823-827（1997）

#### 総説（欧文・国外）

Kitazawa Y，Yamamoto T：Glaucomatous visual field defects; Their characteristics and how to detect them，Clin Neurosci，4，279-283（1997）

Kitazawa Y：Unilateral normal-tension glaucoma，J Glaucoma，6，50-55（1997）

Kitazawa Y：History of the Japanese Glaucoma Society，J Glaucoma，6，69-71（1997）

Taniguchi T，Kitazawa Y：The potential systemic effect of topically applied  $\beta$ -blockers in glaucoma therapy，Curr Opin Ophthalmol，8，55-58（1997）

#### 原著（和文）

北澤克明，塚原重雄，東郁郎，中島光好：原発開放隅角緑内障および高眼圧症に対する WP-

934 点眼液の第・相試験 - 8 週間および長期投与試験 - . 臨床医薬 12 ,2663-2682 ( 1996 )

北澤克明, 塚原重雄, 東郁郎, 阿部春樹, 三島弘, 根木昭, 中島光好: 原発開放隅角緑内障および高眼圧症に対する WP - 934 点眼液の第・相試験 - 0.5%チモプトール点眼薬との比較試験 - . 臨床医薬 12 , 2683-270 ( 1996 )

北澤克明, 塚原重雄, 阿部春樹, 新家真, 中島光好: 原発開放隅角緑内障患者および高眼圧症患者における WP - 934 点眼液の眼圧下降作用の持続性の検討 . 臨床医薬 12 ,2703-2715 ( 1996 )

山本哲也, 萩原葉子, 一圓三恵子, 澤田明, 一圓公治, 末森央美, 北澤克明: 正常眼圧緑内障に対するマイトマイシンC併用トラベクレクトミーの効果と問題点 . 緑内障 6 , 21-24 ( 1996 )

山本哲也, 高橋慎一, 北澤克明: 緑内障性視野の新しいスコア化 ( C I S 分類 ) の試み . 緑内障 6 , 113-116 ( 1996 )

山本哲也: 白内障と緑内障の同時手術, その効果と問題点 - トラベクレクトミー + P E A + I O L - . 眼科手術 9 , 421-424 ( 1996 )

山本哲也, 高橋慎一, 北澤克明: 緑内障性視野の新しいスコア化 ( C I S 分類 ) の試み . あたらしい眼科 13 , 605-608 ( 1996 )

山本哲也, 澤田明, 河野吉喜, 富田剛司, 北澤克明: PhXA41 点眼の視神経乳頭パラメータに対する影響 . 臨床眼科 90 , 762-765 ( 1996 )

山本哲也, 萩原葉子, 一圓三恵子, 澤田明, 一圓公治, 末森央美, 北澤克明: 正常眼圧緑内障に対するマイトマイシンC併用トラベクレクトミーの効果と問題点 . あたらしい眼科 13 , 585-588 ( 1996 )

谷口徹, 出口敬章, 小河貴裕, 北澤克明: 塩酸アモスラロールの家兔眼圧および房水動態に及ぼす影響 . 日眼会誌 100 , 279-283 ( 1996 )

谷口徹: 緑内障手術をめぐる Controversy , 原発閉塞隅角緑内障 ( 虹彩切開術後 ) 2 . 臨床眼科 50 , 160-162 ( 1996 )

稲積幸介，山本哲也，北澤克明：Dicon LD400 視野計閾値測定プログラムの使用経験．あたらしい眼科 13，1433-1436（1996）

井戸忠美，早川友康，稲積幸介，堀 暢英，安藤優子，富田剛司，北澤克明：糖尿病患者の網膜神経線維層厚と視野変化．日本眼科紀要 47，806-810（1996）

井戸忠美：眼圧日内変動．臨床眼科 50，46-47（1996）

井戸忠美，早川友康，稲積幸介，堀 暢英，安藤優子：C型慢性肝炎患者の涙液分泌．あたらしい眼科 13，1255-1258（1996）

井戸忠美：Nerve Fiber Analyzer による網膜神経線維層厚の測定．あたらしい眼科 13，1325-1331（1996）

河合憲司，塩谷滝雄，恩田 恵：走査電子顕微鏡によるアトピー白内障の前囊下混濁の観察．臨床眼科 50，1567-1570（1996）

望月清文，北澤克明：乾性角結膜炎に対する点眼薬によりび慢性表層角膜炎をきたした1例．副作用症例データベース．診断と治療 84，726（1996）

塩谷滝雄，河合憲司：硝子体手術を施行した眼内悪性リンパ腫の1例．眼科臨床医報 90，1056-1059，1996

伊東延子，堀川沙紀，百瀬隆行，金井淳，加藤由香里，石田恭子，直原修一，北澤克明，別所京子，馬嶋慶直，渡辺潔，浜野保，田野保雄：一回使い切りタイプ人工涙液，ティアレーイCLのソフトコンタクトレンズ装用者に対する使用経験．診断と新薬 33，421-428（1996）

林 信人，中谷 智：防護マスクに対する眼鏡処方についての考察：第2報—瞳孔間距離と両眼視の面から—．防衛衛生 43，37-44（1996）

林 信人，中安清夫，沖坂重邦：in vivo および in vitro での角膜新生血管形成過程における酸性および塩基性線維芽細胞成長因子の局在．日眼会誌 100，587-591（1996）

小栗章弘，白木玲子，佐久間毅，恩田鋭治，望月清文，山本哲也，直原修一：Ultrasound Biomicroscope による経毛様体扁平部硝子体手術後の強膜切開創の観察．臨床眼科 90，909-913（1996）

小栗章弘, 恩田鋭治, 望月清文, 直原修一, 船橋正員: 摘出眼内レンズの観察. あたらしい眼科 13, 1451-1454 (1996)

東松敦子, 堀 暢英, 安藤優子, 望月清文: Polymerase Chain Reaction (PCR) 法が有用であった重症角膜潰瘍の2例. あたらしい眼科 13, 87-90 (1996)

東松敦子, 直原修一, 望月清文, 川瀬和秀, 山本哲也: 線維芽細胞増殖阻害薬併用線維柱帯切除術後の濾過胞の組織学的検討. あたらしい眼科 13, 1429-1432 (1996)

河野吉喜, 遅啓民, 富田剛司, 山本哲也: Neural capacity index および光感度閾値と視神経乳頭辺縁面積との関係. 日眼会誌 100, 223-229 (1996)

河野吉喜, 遅 啓民, 富田剛司: Neural capacity index および光感度閾値と視神経乳頭変縁面積との関係. 日眼会誌 100, 223-229 (1996)

澤田明, 佐久間毅, 山本哲也, 北澤克明: レーザー虹彩切開術を施行した色素緑内障の1例. 臨床眼科 50, 1933-1937 (1996)

西村幸三九, 岩瀬愛子, 富田剛司, 山本哲也, 北澤克明: 正常眼圧緑内障における時間周波数特性. 日眼会誌 100, 307-312 (1996)

一圓公治, 望月清文, 石橋康久, 北澤克明: *Alternaria alternata* による角膜真菌症の1例. あたらしい眼科 13, (1996)

北澤克明, 東郁郎, 白土城照, 塚原重雄, 三嶋弘, 溝上国義: 原発開放隅角緑内障および高眼圧症に対する AG - 901 点眼液の第 III 相臨床試験 - 長期点眼試験. 眼科紀要 48, 818-827 (1997)

北澤克明, 山本哲也, 富田剛司, Ki Ho Park, 澤田明, 萩原葉子: 正常眼圧緑内障. 第1回国際眼科シンポジウムプロシーディング 162-163 (1997)

山本哲也, 澤田明, 佐久間毅, 北澤克明: 閉塞隅角緑内障における Ultrasound Biomicroscopy の有用性. あたらしい眼科 14, 391-394, 1997, および緑内障 7, 19-22 (1997)

山本哲也, 澤田明, 北澤克明: AG - 901 (塩酸レボブノロール) 点眼液の1回点眼時の眼圧

下降作用．あたらしい眼科 14, 1119-1125 (1997)

山本哲也, 北澤克明, 安藤宏, 河合憲司, 恩田鋭治: 血管新生緑内障に対する濾過手術と内視鏡毛様体手術．眼科手術 10, 441-444 (1997)

谷口徹, 川上秀昭, 辻 明, 杉山和久, 北澤克明: プロスタグランدين関連薬の家兔の眼圧などへの作用．あたらしい眼科 14, 1831-1833 (1997)

稲積幸介, 富田剛司, 遅 啓民, 北澤克明: スキャニングレーザーポラリメーターを用いた網膜神経線維層厚の測定と視神経乳頭陥凹との関連．眼紀 48, 332-336 (1997)

林 信人, 富田剛司, 劉 新毅, 北澤克明: 緑内障術後長期の乳頭変化 - 正常眼圧緑内障と原発開放隅角緑内障との比較 - ．あたらしい眼科 14, 749-752 (1997)

林 信人, 富田剛司, 劉 新毅, 北澤克明: Heidelberg Retina Tomograph と Topographic Scanning System による視神経乳頭計測の相関．あたらしい眼科 14, 1539-1542 (1997)

一圓公治, 山本哲也: トラベクレクトミー後の角膜乱視．眼科手術 10, 309-313 (1997)

川上秀昭, 富田剛司, 劉 新毅, 篠原久司, 北澤克明: スキャニングレーザードップラーフローメーターによる視神経乳頭部血流の測定変動．臨眼 51, 995-998 (1997)

加藤明子, 富田剛司, 河野吉喜, 北澤克明: 正常半視野を有する緑内障眼の視野と乳頭障害との関連．あたらしい眼科 14, 921-923 (1997)

白木玲子, 望月清文, 小栗章弘, 澤田明, 東松敦子, 山本哲也, 直原修一: 眼内炎治療における Ultrasound Biomicroscope の有用性．あたらしい眼科 14, 1263-1267 (1997)

原著 (欧文・国内)

Yamamoto T, Kitazawa Y, Noma A, Maeda S, Kato A, Ando Y, Ido T, Inazumi K, Hayakawa T, Goto Y, Ichien M: The effects of the b-adrenergic-blocking agents, timolol and carteolol, on plasma lipids and lipoproteins in Japanese glaucoma patients. J Glaucoma 5, 252-257 (1996)

Taniguchi T, Yamamoto T, Mochizuki K, Haque MRS, Kitazawa Y, Yokoi N, Komuro A, Kinoshita S: Epithelial barrier function of the filtering bleb conjunctiva and the cornea



after trabeculectomy with mitomycin C . J Glaucoma 5 , 233-236 ( 1996 )

Uchida H , Tomita G , Onda E , Sugiyama K , Kitazawa Y : Relations between nerve fiber layer bundle defects and parafoveal visual field defects in glaucomatous eyes . Jpn J Ophthalmol ( 1996 )

Haque MSR , Sugiyama K , Taniguchi T , Kitazawa Y : Effects of BQ-123 , an ETA receptor-selective antagonist , on changes intraocular pressure , blood-aqueous barrier and aqueous prostaglandin concentrations caused by endothelin-1 in rabbits . Jpn J Ophthalmol 40 , 26-32 ( 1996 )

Yamamoto T , Kitazawa Y , Azuma I , Tsukahara S , Nakashima M , the WP-934 Study Group : Clinical evaluation of a new formula of timolol maleate ( WP-934 ophthalmic solution ) . Jpn J Ophthalmol 41 , 244-250 ( 1997 )

原著 ( 欧文 · 国外 )

Kitazawa Y , Yamamoto T , Noma A , Ido T , Goto Y : The effect of topical  $\beta$ -blockers on plasma lipids and lipoproteins . Glaucoma: Decision Making in Therapy M.G .Bucchi( Editor ) , 181-183 ( 1996 )

Kitazawa Y , Yamamoto T : Glaucoma : Decision Making in Therapy . Therapeutic problems of normal tension glaucoma . Springer-Verlag , 213-215 ( 1996 )

Kitazawa Y , Yamamoto T , Sawada A , Hagiwara Y : Surgery for refractory glaucoma . Australian & New Zealand J of Ophthalmol 24 , 327-332 ( 1996 )

Taniguchi T , Haque MSR , Sugiyama K , Okada K , Nakai Y , Kitazawa Y : Effects of endothelin A and B receptors on aqueous humor dynamics in the rabbit eye . J of ocular pharmacol and therapeutics 12 , 123-130 ( 1996 )

Taniguchi T , Haque MSR , Sugiyama K , Hori N , Kitazawa Y : Ocular hypotensive mechanism of topical isopropyl unoprostone , a novel prostaglandin metabolite-related drug , in rabbits . J of ocular pharmacol and therapeutics 12 , 489-498 ( 1996 )

Sugiyama K , Haque MSR , Onda E , Taniguchi T , Kitazawa Y : The effects of intravitreally injected endothelin-1 on the iris-ciliary body microvasculature in rabbits . Curr Eye Res 15 ,

633-637 ( 1996 )

Sawada A , Kitazawa Y , Yamamoto T , Okabe I , Ichien K : Prevention of visual field defect progression with brovincamine in eyes with normal-tension glaucoma . *Ophthalmology* 103 , 283-288 ( 1996 )

H Mishima , K Masuda , Kitazawa Y , Azuma I : A comparison of latanoprost and timolol in primary open angle-glaucoma and ocular hypertension . A 12week . *Arch Ophthalmol* 114 , 929-932 ( 1996 )

Raitta C , Tomita G , Vesti E , Harju M , Nakao H . Optic disc topography before and after trabeculectomy in advanced glaucoma . *Ophthalmic Surg Lasers* 27 , 349-354 ( 1996 )

Park KH , Tomita G , Liou SY , Kitazawa Y : Correlation between peripapillary atrophy and optic nerve damage in normal-tension glaucoma . *Ophthalmology* 103 , 1899-1906 ( 1996 )

Park KH , Tomita G , Onda E , Kitazawa Y , Cioffi GA : In vivo detection of perineural circular arterial anastomosis( circular of Zinn-Haller )in a patient with large peripapillary chorioretinal atrophy . *Am J Ophthalmol* 122 , 905-907 ( 1996 )

Takashima Y , Taniguchi T , Igaki T , Yoshida M , Yoshimura M , Honda Y : Effect of CNP on aqueous humor dynamics . *Vision Research* 36 , 149 ( 1996 )

Yamamoto T , Kitazawa Y , Azuma I , Masuda K : Clinical evaluation of UF-021 ( ResculaR ; isopropyl unoprostone ) . *Surv Ophthalmol* 41 , 99-103 ( 1997 )

Yamamoto T , Kitazawa Y : Iris color change developed following topical isopropyl unoprostone treatment . *J Glaucoma* 6 , 430-432 ( 1997 )

Sugiyama K , Tomita G , Kitazawa Y , Onda E , Shinohara H , Ki Ho Park : The association of optic disc hemorrhage with retinal nerve fiber layer defect and peripapillary atrophy in normal-tension glaucoma . *Ophthalmology* 104 , 1926-1933 ( 1997 )

Iwase A , Okada K , Yamamoto T , Kitazawa Y : Clinical evaluation of HFA ( model 750 ) in glaucoma patients . In Wall M & Heijl A ( Eds ) *Perimetry Update 1996/1997* , 125-128 , Kugler Amsterdam ( 1997 )

Onda E , Ando H , Jikihara S , Kitazawa Y : Holmium YAG laser sclerostomy ab externo for refractory glaucoma . *Int Ophthalmol* 20 , 309-314 ( 1997 )

Mochizuki K , Jikihara S , Ando Y , Hori N , Yamamoto T , Kitazawa Y : Incidence of delayed-onset infection after trabeculectomy with adjunctive mitomycin C or 5-fluorouracil treatment . *Br J Ophthalmol* 81 , 877-883 ( 1997 )

Ito N , Shirahata A , Yagi T , Matsushima T , Kawase K , Watanabe M , Uchikawa Y : Development of Artificial Retina using Cultured Neural Cells and Photoelectric Device : A Study on Electric Current with Membrane Model . *Neural information Processing ( ICONIP'97 )* , 124-127 ( 1997 )

Chen PP , Yamamoto T , Sawada A , Parrish RK , Kitazawa Y : Use of antifibrosis agents and glaucoma drainage devices in the American and Japanese Glaucoma Societies . *J Glaucoma* 6 , 192-196 ( 1997 )

Ichien K , Yamamoto T , Kitazawa Y , Oguri A , Ando H , Kondo Y : Mitomycin C dissolved in a reversible thermosetting gel : target tissue concentrations in the rabbit eye . *Br J Ophthalmol* 81 , 72-75 ( 1997 )

Sakuma T , Sawada A , Yamamoto T , Kitazawa Y : Appositional angle closure in eyes with narrow angles : an ultrasound biomicroscopic study . *J Glaucoma* 6 , 165-169 ( 1997 )

Daugeliene L , Yamamoto T , Kitazawa Y : Risk factors for the progression of visual field damage in open-angle glaucoma eyes . *Proceedings of XIth Congress of the European Society of Ophthalmology . Monduzzi Editore , Bologna , Italy , 397-401 ( 1997 )*

Yamada N , Mills RP , Leen MM , Emond MJ , Reynolds AC , Stanford DC : Probability maps of sequential Glaucoma-Scope images help identify significant change . *J Glaucoma* 6 , 279-287 ( 1997 )

Sawada A , Sakuma T , Yamamoto T , Kitazawa Y : Appositional angle closure in eyes with narrow angles . Comparison between the fellow eyes of acute angle-closure glaucoma and normotensive cases . *J Glaucoma* 6 , 288-292 ( 1997 )

Kono Y , Chi QM , Tomita G , Yamamoto T , Kitazawa Y : High-pass resolution perimetry

and a Humphrey Field Analyzer as indicators of glaucomatous optic disc abnormalities : A comparative study . Ophthalmology 104 , 1496-1502 ( 1997 )

Kono Y , Yamamoto T , Kitazawa Y : A new scoring system for comparing the results of high-pass resolution perimetry and differential light sensitivity perimetry in glaucoma patients . Acta Ophthalmol Scand 75 , 537-540 ( 1997 )

Kono Y , Iwase A , Maeda M , Yamamoto T , Kitazawa Y : Applications of fractal analysis to differential light-sensitive perimetry in glaucoma patients and normal subjects . Perimetry Update 1996/1997 . Amsterdam/New York : Kugler Publication , 299 ( 1997 )

#### その他

北澤克明 : 厚生省厚生科学研究費補助金 , 長寿科学総会研究 老齡病各論 , 平成 7 年度研究報告 4 , 241-243 , 1996

北澤克明 : 特集 : 緑内障 序 , 医薬ジャーナル 32 , 61-62 , 1996

北澤克明 , 新家 真 , 桑山泰明 , 阿部春樹 : 座談会”緑内障の最近の話題と今後の展望 - 新しい緑内障の薬物治療について - . 医薬ジャーナル 32 , 111-118 , 1996

山本哲也 , 澤田明 : 眼科診療に関連した最近の医療機器 . 学会新報 17 , 5-9 , 1996

山本哲也 : マイトマイシン C と緑内障手術 , Current Insights in Ophthalmic Surgery 7 , 6-7 , 1996

山本哲也 : 正常眼圧緑内障に注意 , 毎日ライフ 1996 年 8 月号 , 43-45

山本哲也 , 北澤克明 : 交感神経 2 作動薬 brimonidine tartarate の眼科用薬としての可能性 , K.E.R.研究会会誌 13 , 22 , 1996

山本哲也 : 前眼部画像解析装置の緑内障への応用 , Medical Academy News 631 号 , 9 , 1996

河合憲司 : HUMAN SCIENCE MUSEUM 人体老若細見一眼 , 東海大学社会教育センター「ふれあいBOX」, 10-11 , 1996

東郁郎 , 山本哲也 , 今泉昌利 , 難波光義 : 緑内障をめぐって - 眼科と内科の接点 - ( 座談会 ) ,

Pharma Medica 14 , 89-103 , 1996

桑山泰明 , 沢口昭一 , 谷原秀信 , 中島正之 , 松元俊 , 山本哲也 , 吉富健志 : 治療開始のタイミングと私の処方 , 臨床眼科 50 ( 増刊 ) , 96-104 , 1996

桑山泰明 , 沢口昭一 , 谷原秀信 , 中島正之 , 松元俊 , 山本哲也 , 吉富健志 : 座談会「緑内障、今何が controversial か」 , 臨床眼科 50 ( 増刊 ) , 226-238 , 1996

西村幸三九 : 明日への医療 20 , 白内障手術 , 可茂ジャーナル 11.2 号 , 1996

Yamamoto T , Hagiwara Y , Sawada A , Kitazawa Y : Prognostic factors of normal-tension glaucoma under adequate intraocular pressure control . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 28 , 1996

Uchida H , L . Brigatti , J . Caprioli : Discrimination between normal and early glaucoma with a Confocal Scanning Laser . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 1096 , 1996

Uchida H , L . Brigatti , J . Caprioli : Detection of structural damage from glaucoma with Confocal Laser Image Analysis . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 2393-2401 , 1996

Ando H , Yoh M , Niwa Y , Onda E , Mochizuki K , Tomita G , Jikihara S , Kitazawa Y : Parafoveal retinal blood flow after rhegmatogenous retinal detachment surgery . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 268 , 1996

Kondo Y , Mochizuki K , Tomita G , Kitazawa Y : Pattern visual evoked potentials in early stage of normal-tension glaucoma and normal subjects . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 29 , 1996

Mochizuki K , Jikihara S , Ando Y , Hori N , Yamamoto T , Kitazawa Y : Late infection after trabeculectomy with adjunctive mitomycin C and 5-fluorouracil . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 26 , 1996

Sawada A , Sakuma T , Yamamoto T , Kitazawa Y : Configuration difference of the chamber angle between two types of appositional closure in eyes with narrow angle . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 820 , 1996

J .E .Morgan ,Uchida H ,J .Caprioli : The pattern of retinal ganglion cell death in the monkey glaucoma model . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 815 , 1996

Takashima Y , Taniguchi T , Haque MSR , Yoshida M , Yoshimura N , Honda Y : Ocular hypotensive mechanism of intravitreally injected brain natriuretic peptide in rabbits . Invest Ophthalmol & Vis Sci 37 , 202 , 1996

北澤克明 , 谷口 徹 : 緑内障に禁忌の薬物 , 日本醫事新報 3813 , 93-94 , 1997

山本哲也 , 北澤克明 , 塚原重雄 , 阿部春樹 , 新家真 , 中島光好 : 熱応答性ゲル化基剤を配合したチモロール製剤 WP - 934 点眼液の眼圧下降作用持続性の検討 , 眼薬理 11 , 39-40 , 1997

山本哲也 , 北澤克明 : 緑内障性視神経症に対する神経防御治療 - カルシウム拮抗薬は有用 - , Ophthalmology Times Japan 1 , 13 , 1997

吉川啓司 , 山本哲也 , 田原昭彦 : 第 50 回日本臨床眼科学会印象記 , 緑内障セッション 3 , 4 ( 444-448 ) . 眼科 39 , 441-453 , 1997

Yamamoto T , Ichien K , Sawada A , Sakuma T , Kitazawa Y : Clinical factors related to a well-functioning filtering bleb . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 819 , 1997

Taniguchi T , Sawada A , Sugiyama K , Kawakami H , Tsuji A , and Kitazawa Y : Ocular hypotensive effects and mechanisms of prostaglandin-related drugs . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 815 , 1997

Sugiyama K , Tomita G , Kawase H , Onda E , Hayakawa T , Kawakami H , Ishida K , Takahashi E , Tsuji A , Shinohara H , Kitazawa Y : The prevalence of disc hemorrhage and peripapillary atrophy in subjects at the time of health check - up . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 824 , 1997

Uchida H , Ugurlu S , Caprioli J : Peripapillary atrophy in glaucoma : A risk factor for progression . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 834 , 1997

Ando H , Niwa Y , Kawakami H , Miyake K , Sawada A , Yamamoto T , Kitazawa Y : Involvement of retrobulbar vessels in patients with diabetic retinopathy determined by color Doppler

imaging . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 774 , 1997

Ichien K , Sawada A , Shiraki M , Yoh M , Yamamoto T , Kitazawa Y : Effect of mitomycin C dissolved in a reversible thermosetting gel on outcome of a filtering surgery in the rabbit . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 144 , 1997

Ishida K , Yamamoto T , Sawada A , Kitazawa Y : Visual field prognostic factors and calcium-channel blocker treatment in normal-tension glaucoma . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 249 , 1997

Sawada A , Sakuma T , Yamamoto T , Kitazawa Y : Ultrasound biomicroscopic characteristics of candidate eyes of acute primary angle-closure glaucoma . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 165 , 1997

Kono Y , Iwase A , Maeda M , Yamamoto T , Kitazawa Y : Applications of fractal analysis to differential light-sensitive perimetry in glaucoma patients and normal subjects . In Wall M & Heijl A ( Eds ) Perimetry Update 1996/1997 , 299 , Kugler Amsterdam , 1997

Kondo Y , Kono Y , Yamamoto T , Kitazawa Y : A frequency doubling perimetric study of normal-tension glaucoma with hemifield defects . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 566 , 1997

Niwa Y , Yamamoto T , Kitazawa Y : The effect of nilvadipine , a calcium-channel blocker , on orbital blood flow in normal-tension glaucoma . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 777 , 1997

Brigatti L , Uchida H , Candal E , Hoffman D , Caprioli J : Virtual Perimetry : A novel perimetric technique . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 834 , 1997

Morgan J E , Uchida H , Hoffman D , Grober B , Caprioli J : Derivation of a scleral reference plane with a Confocal Scanning Laser Tomograph . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 912 , 1997

Hayakawa T , Sugiyama K , Tomita G , Kawase K , Tsuji A , Shinohara H , Kitazawa Y : Correlation of peripapillary atrophy area with optic disc cupping in apparently normal and glaucomatous eyes . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 824 , 1997

Oguri A , Sogano S , Yamamoto T , Kitazawa Y : Incidence of elevation of IOP over time and associated factors in normal-tension glaucoma . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 1052 , 1997

Yamada N , Mills RP , Leen MM , Stanford DC , Emond MJ : Glaucoma-Scope detection of optic disc changes following surgical IOP reduction . Invest Ophthalmol & Vis Sci 38 , 830 , 1997

杉山和久 : 「命のかけ橋」活躍する岐阜県 , 移植コーディネーター ( 岐阜放送テレビ ) , 1998



## 耳鼻咽喉科学講座

### 著書（和文）

宮田英雄：Me´ni`ere病，疾患・症状別今日の治療と看護 - ナース・看護学生へ贈る専門医からのメッセージ．水島 裕監修，東京，南江堂，1996．1102-1104

宮田英雄：動揺病，疾患・症状別今日の治療と看護 - ナース・看護学生へ贈る専門医からのメッセージ．水島 裕監修，東京，南江堂，1996．1107-1108

水田啓介：主訴で何を考える，メマイ診療の鍵，1版．中井義明，鈴木淳一編，東京，篠原出版，1996．10-11

水田啓介：慢性メマイの取扱い，メマイ診療の鍵，1版．中井義明，鈴木淳一編，東京，篠原出版，1996．59-63

水田啓介：直立・重心動揺・足踏み・歩行検査で何がわかる，メマイ診療の鍵，1版．中井義明，鈴木淳一編，東京，篠原出版，1996．83-89

水田啓介：シェロング検査の原理，メマイ診療の鍵，1版．中井義明，鈴木淳一編，東京，篠原出版，1996．121

水田啓介：メマイの素因検査で何がわかる，メマイ診療の鍵，1版．中井義明，鈴木淳一編，東京，篠原出版，1996．131-132

宮田英雄：顔面外傷，TEXT耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，1版．神崎 仁編，東京，南山堂，1997．190-195

宮田英雄：鼻・副鼻腔疾患，TEXT耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，1版．神崎 仁編，東京，南山堂，1997．195-201

水田啓介，伊藤八次，宮田英雄：Me´ni`ere病の自発眼振と病態，クリニカルトレンド2．野村恭也，本庄 巖，平出文久編，東京，中山書店，1997．92-93

宮田英雄，伊藤八次：フィギュアスケート選手はなぜ回転しても目がまわらないのか，クリ

ニカルトレント 2 . 野村恭也 , 本庄 巖 , 平出文久編 , 東京 , 中山書店 , 1997 . 111

水田啓介 , 伊藤八次 , 宮田英雄 : 簡便な視運動性眼振検査とは , クリニカルトレント 2 . 野村恭也 , 本庄 巖 , 平出文久編 , 東京 , 中山書店 , 1997 . 124-125

宮田英雄 , 伊藤八次 , 澤井薫夫 : jumbling とは何か , その検査法は , クリニカルトレント 2 . 野村恭也 , 本庄 巖 , 平出文久編 , 東京 , 中山書店 , 1997 . 126-127

宮田英雄 , 伊藤八次 , 澤井薫夫 : 当科におけるめまいの診断と治療 - 負荷・減荷平衡機能検査と平衡訓練 - , めまい・慢性中耳炎の診断と治療 . 真興交易医書出版部編 , 東京 , 真興交易医書出版 , 1998 . 196-208

### 総説 (和文)

宮田英雄 , 伊藤八次 , 水田啓介 : 前庭眼反射の臨床 Vestibulo Spinal Reflex . 神経眼科 13 , 263-268 ( 1996 )

宮田英雄 , 澤井薫夫 , 伊藤八次 : めまい・平衡障害例のリハビリテーション - 平衡訓練を中心として - . 耳展 40 , 510-517 ( 1997 )

宮田英雄 , 伊藤八次 , 白戸弘道 : 高齢者の薬物療法の一般的注意 ・抗めまい薬 . 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 70 ( 増 5 ) , 151-153 ( 1998 )

### 原著 (和文)

高橋英二 , 鈴木智雄 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 白戸弘道 , 宮田英雄 : 耳下腺 Salivary duct carcinoma 例 . 耳鼻臨床 89 , 1475-1480 ( 1996 )

松波謙一 , 川島 卓 , 佐竹裕孝 , 小西朝隆 , 宮田英雄 , 水田啓介 : 人工現実感の解明に関する研究 ヘッドマウンテッドディスプレイを使った人工現実感とその客観的評価基準の作製 . 人工現実感に関する基礎的研究 平成 7 年度 仮想空間の生成と人間との相互作用に関する研究 25-26 ( 1996 )

高橋英二 , 西田 基 : 鼻腔側壁多形腺腫の 1 例 . 日本鼻科学会会誌 36 , 6-9 ( 1997 )

宮崎貴子 , 水田啓介 , 伊藤八次 , 岩崎聖雄 , 牛田 淳 , 服部彩樹 , 白戸弘道 , 澤井薫夫 , 宮田英雄 : 蝸牛症状を随伴する反復性めまいの検討 . Equilibrium Res 56 , 51-59 ( 1997 )

澤井薫夫 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 加藤雅也 , 鈴木智雄 , 宮田英雄 : めまい・平衡障害例の平

平衡訓練成績 . Equilibrium Res 56 , 60-85 ( 1997 )

白戸弘道 , 伊藤八次 , 加藤雅也 , 小川晴子 , 水田啓介 , 宮田英雄 : 高齢者の歩行  
- 歩行分析による検討 - . Equilibrium Res 56 , 86-99 ( 1997 )

佐久間伸二 , 水田啓介 , 伊藤八次 , 宮田英雄 : 高齢者の視運動性眼振 . Equilibrium Res 56 ,  
242-257 ( 1997 )

加藤雅也 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 久世文也 , 宮田英雄 , 山田剛寛 : 視運動刺激負荷重心動揺  
検査による評価 - 優れたスポーツマンを見いだすために - . Equilibrium Res 56 , 366-375  
( 1997 )

近藤由香 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 加藤雅也 , 海田健宏 , 早川和喜 , 宮田英雄 : 前庭型メニエ  
ール病の検討 . Equilibrium Res 56 , 530-541 ( 1997 )

時田 喬 , 大川 剛 , 柴田康成 , 大野通敏 , 森 充広 : ニューラルネットワークの学習によ  
る重心動揺の識別 . Equilibrium Res 56 , 542-549 ( 1997 )

水田啓介 , 伊藤八次 , 浅野幸一郎 , 小塩勝博 , 森 充広 , 海田健宏 , 宮田英雄 : 2 相性頭位  
眼振を認めた頭部外傷例 . Equilibrium Res 56 , 582-585 ( 1997 )

加藤雅也 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 青木光広 , 森 充広 , 宮田英雄 : 体平衡機能向上の研究 -  
運動の記憶における N M D A 受容体の関与 - . Equilibrium Res 56 , 586-593 ( 1997 )

岩崎聖雄 , 伊藤八次 , 水田啓介 , 海田健宏 , 小塩勝博 , 白戸弘道 , 澤井薫夫 , 鈴木智雄 , 宮  
田英雄 : 鼻腔原発悪性黒色腫の 3 例 . 耳鼻臨床 90 , 1215-1221 ( 1997 )

伊藤博隆 , 高木一平 , 馬場駿吉 , 藤宮 大 , 水田啓介 , 宮田英雄 , 西村忠郎 , 宇佐神 篤 :  
花粉症に対するアレギサル R の効果 - 花粉飛散量との相関 - . 耳鼻臨床 90 , 1287-  
1298 ( 1997 )

水田啓介 , 伊藤八次 , 西田 基 , 秋田茂樹 , 加藤雅也 , 小塩勝博 , 海田健宏 , 古田充哉 , 宮  
田英雄 , 柳田正巳 , 柴田康成 , 横山壽一 , 松原茂規 , 小泉 光 , 森 芳郎 , 大野通敏 , 近藤  
由香 , 藤宮 大 , 山田匡彦 , 渡辺英彦 , 加藤洋治 : スギ花粉症に対するアイピーディ R の  
効果 . 耳鼻臨床 90 , 1399-1407 ( 1997 )

秋田茂樹，新井信一郎，堀部昌代，藤井恵子，加藤洋治，水田啓介，伊藤八次，宮田英雄：  
家兎における実験的副鼻腔炎（その1） - 慢

## 皮膚科学講座

### 著書（和文）

北島康雄：細胞骨格と細胞接着の構造・機能とその異常としての皮膚疾患，分子医科シリーズ，2，細胞：構造と機能，月田承一郎編，東京，メディカルビュー社，1996．89-116

北島康雄：紛らわしい自己免疫性水疱症，誤りやすい皮膚病変（追補），西山茂夫，本田光芳，山本一哉監修，東京，メディカルビュー社，1996．206-209

北島康雄：免疫組織化学検査，今日の皮膚疾患治療指針，池田重男編，東京，医学書院，1996．93-96

北島康雄：免疫組織化学に用いる抗体，今日の皮膚疾患治療指針，池田重男編，東京，医学書院，1996．138-139

前田 学：皮膚潰瘍，・ - 1a 保存的療法－薬物療法，吉川邦彦監修，東京，医事出版社，1996．87-96

前田 学：血と皮膚科疾患－レーダーグラフ（渡邊）を用いた検討，東京，緑書房，1996．

高木 肇，可知久代，前田 学，北島康雄：レボフロキサシンによる乾癬患者の播種状紅斑丘疹型薬疹の1例，診断と治療，84（臨増）．東京，診断と治療社，1996．537

高木 肇，前田 学，北島康雄，山田俊樹：抗腫瘍剤による表皮壊死を伴った薬疹の1例，診断と治療，84（臨増）．東京，診断と治療社，1996．686

北島康雄：皮膚アミロイドーシス，今日の診断指針 4 版，亀山正邦編，東京，医学書院 1997．1418-1419

北島康雄：多形滲出性紅斑，皮膚疾患最新の治療'97 - 98，堀 嘉昭，新村真人編，東京，南江堂，1997．33-34

北島康雄：炎症性角化症，New 皮膚科学，飯塚 一，大塚藤男，宮地良樹編，東京，南江堂，1997．191-198

北島康雄：レチノイド，前実績研修講習会必須Bコース，東京，日本皮膚科学会研修委員会刊，1997．1-21

前田 学：全身性強皮症と二段階摘み上げ法，膠原病 - 診断と治療の最新ポイント - 皮膚から内臓へ，宮地良樹，竹原和彦編，東京，診断と治療社，1997．110-111

前田 学：限局性強皮症，今日の治療指針，1998年版（Vol40）．日野原重明，阿部正和監修，東京，医学書院，1997．604-605

北島康雄：5 .皮膚細胞生物学 - ケラチノサイト ,基礎皮膚科学レビュー ,宮地良樹編 ,1998 . 21-26

高木 肇，前田 学，北島康雄：Bloom 症候群，日本臨床増刊．先天性代謝異常症候群（上巻）．1998．498-501

北島康雄：角化機転，TEXT 皮膚科学，小川秀興，新村真人編，東京，南江堂，1998．43-51

北島康雄：私はこう治療している - 紅皮症（剥脱性皮膚炎） - ，今日の治療指針，1999年版．日野重明，阿部正和監修，東京，医学書院，1998．（印刷中）

前田 学：膠原病診療の最前線，東京，谷口書店，1998．（印刷中）

前田 学：凍瘡，漢方治療指針，京都，緑書房，1998．（印刷中）

前田 学：瘡，漢方治療指針，京都，緑書房，1998．（印刷中）

前田 学：酒 ，漢方治療指針，京都，緑書房，1998．（印刷中）

#### 著書（欧文）

Kitajima Y ,Nozawa Y : Lipids of and dimorphism of *Candida albicans* and *Sporothrix schenckii* , Lipid of Pathogenic Fungi . R Parasad ed , CRC Press Inc , London , 1996 . 220-233

Nozawa Y ,Mirbod F ,Banno Y ,Ibrahim AS ,Nakashima S ,Kitajima Y ,Cole GT Ghannoum MA : Lysophospholipase-transacylase as a virulence factor in *Candida albicans* , Genes and

Genomes in Medically Important Fungi .Tanaka K ,Yamaguchi H ,Magee PT eds ,Foundation for Advancement of International Science , 1997 . 167-173

Kitajima Y : Protein metabolism during the stratum corneum formation : Molecular aspects of keratinization , cell adhesions and cytoskeletons , Symposium on Skin : Interface of a Living system , Elsevier , Netherland , 1998 .( in press )

### 総説 (和文)

北島康雄 : 先天性表皮水疱症 . 皮膚科の臨床 38 ( 1 ) , 53-60 ( 1996 )

北島康雄 : ケラチノサイト系の疾患 - 特集 皮膚の電顕病理 . 細胞 28 ( 4 ) , 6 ( 126 ) -10 ( 130 )( 1996 )

北島康雄 : 表皮と角膜のケラチン発現 . あたらしい眼科 13 ( 3 ) , 345-350 ( 1996 )

北島康雄 : 皮膚 : 表皮 - 特集 その新しい視点 . 生体の科学 47 ( 5 ) , 496-499 ( 1996 )

北島康雄 : 水疱を生じる疾患と発症機序 . 岐阜県内科医会雑誌 10 ( 別冊 ) , 1-8 ( 1996 )

北島康雄 : 天疱瘡と類天疱瘡の発生機序はここまで分かっている . 日本臨床皮膚科医学会雑誌 49 , 182 ( 15 ) -196 ( 29 )( 1996 )

北島康雄 : 表皮細胞接着構造と抗接着分子抗体による表皮剥離 - 接着分子の基礎と臨床 . 医学のあゆみ ( 別冊 ) , 95-99 ( 1996 )

北島康雄 : 抗真菌剤の作用機序 . 日本皮膚科学会誌 106 , 1589-1591 ( 1996 )

北島康雄 : 角化異常症の遺伝子 . 病理と臨床 15 ( 臨増 ) 「病理学キーワード」 , 402 ( 1997 )

北島康雄 : 掌蹠角化症 . 皮膚科の臨床 39 , 1035-1039 ( 1997 )

北島康雄 : 皮膚疾患と細胞骨格 . 細胞 29 , 215-219 ( 1997 )

北島康雄 : 帯状疱疹 , 単純性疱疹 , カポジ - 水痘様発疹症 - 小児の皮膚疾患 . 小児科診療 4 ( 1 ) , 589-594 ( 1997 )

北島康雄：創傷治癒と細胞接着因子インテグリン．興和医報平成 9 年 1 号，26-30 ( 1997 )

中島 茂，Mirbod Fariba，北島康雄，野澤義則：Differential display による *Candida albicans* 遺伝子探索．日本医真菌学会雑誌 38 ( 4 )，291-295 ( 1997 )

清島真理子：尋常性乾癬の診断と治療，乾癬の尋常性乾癬の病因・病態 - 表皮細胞の増殖・分化機構．Monthly Book Derma 2，23-30 ( 1997 )

青山裕美，北島康雄：病態・疾患と接着分子 - 自己免疫性水疱症と接着分子．臨床免疫 30 ( Suppl-18 )「接着分子のすべて」，252-261 ( 1998 )

#### 総説 ( 欧文・国外 )

Kitajima Y : Adhesion molecules in the pathophysiology of bullous diseases . Eur J Dermatol 6 , 399-405 ( 1996 )

Kitajima Y : Transmembrane signaling linked with cell-cell detachment by pemphigus antibody in keratinocytes . Dermatology at the Millennium , Proceedings of the 19th World Congress of Dermatology , ( 1998 ) ( in press )

#### 原著 ( 和文 )

井上稲子，黒須まゆみ，北島康雄：足蹠および口腔内に限局した扁平苔癬の 1 例．臨床皮膚科 50，601-603 ( 1996 )

坂 昌範，市来善郎，山田孝宏，北島康雄：Nodular-cystic Fat Necrosis の 3 例．皮膚科の臨床 38，1729-1732 ( 1996 )

前田 学，北島康雄：生毛部急性深在性白癬と異型白癬 ( 顔面 ) の合併例．皮膚科の臨床 38 ( 1 )，17-20 ( 1996 )

前田 学：皮膚科疾患と加味逍遙散 - レーダーグラフ ( 渡邊 ) を用いた検討．現代東洋医学 17 ( 1 )，51-56 ( 1996 )

前田 学，高木 肇，清島真理子，中谷明美，藤広満智子，桑原まゆみ，鷲見 烈，長谷川核三，伊藤 隆：汗疹および小児アトピー性皮膚炎患者に対するオーツ麦エキスイ配合入浴剤の使用経験．西日皮膚 58 ( 2 )，330-336 ( 1996 )



前田 学,高木 肇,清島真理子,中谷明美,長田和子,北島康雄,藤広満智子,桑原まゆみ,鷺見 烈,長谷川核三,伊藤 隆:皮脂欠乏症湿疹および小児アトピー性皮膚炎患者に対するオーツ麦エキス配合入浴剤の使用経験. 西日皮膚 58 (6), 1045-1051 (1996)

坂 昌範,前田 学:Lupus erythematosus profundus の1例. 皮膚科の臨床 38, 2001(1996)

和泉智子,長田和子,可知久代,前田 学,北島康雄,坂 昌範:色素異常と全身性強皮症. 皮膚病診療 18 (8), 705-708 (1996)

清島真理子:掌蹠膿疱症の薬物療法. 薬事新報 1899, 461-464 (1996)

清島真理子:AIDS 患者における乾癬 - 乾癬発症機序を解明する糸口があるのか. 第11回日本乾癬学会記録集, 22-25 (1996)

長田和子,清島真理子,秋山朋子,中谷明美,和泉智子,北島康雄:ミノサイクリン内服とビタミン D3 外用が有効であった鱗状毛包性角化症の1例. 臨皮 50, 275-277 (1996)

井上稲子,清島真理子,北島康雄:抗真菌剤による *Trichophyton rubrum* 細胞内カルシウム濃度の変化. 第2回 Dermatological Mycology Club 例会記録集, 105-111 (1996)

佐藤史歩,清島真理子,秋山朋子,野尻麻里,山田孝宏,小山田 亮,北島康雄:二重濾過血漿交換療法でコントロールできた落葉状天疱瘡の1例. 皮膚科の臨床 38, 359-362(1996)

野尻麻里,清島真理子,北島康雄,若松建一:職業性接触皮膚炎 - 洗浄用溶剤 SC - 51 による接触皮膚炎. 日皮会誌 106 (2), 139-142 (1996)

秋山朋子,清島真理子,北島康雄:全身性強皮症に合併した環状肉芽腫. 臨皮 50, 47-49 (1996)

佐藤美貴,清島真理子,市橋直樹,北島康雄,山田幸治,加藤義弘:皮下結節を伴った先天性白血病の1例. 臨皮 50, 933-935 (1996)

山田孝宏,大谷道廣,清島真理子,北島康雄:Neumann 型増殖性天疱瘡の1例. 臨皮 50, 773-775 (1996)

高木 肇,掛札啓資,前田 学,北島康雄:全身性強皮症の小児例. 皮膚病診療 18 (8), 721-724 (1996)

和泉智子,野田徳朗,舟橋美雪,井上稲子,浦田裕次,神谷秀喜,北島康雄:レックリングハウゼン病にみられた巨大神経線維腫の切除術における Argon beam coagulator の使用例. 臨皮 50, 279-281 (1996)

神谷秀喜,北島康雄:注射用プロスタグランジンの点滴静注が有効であった全身性強皮症と閉塞性動脈硬化症の合併例. 現代医療 28 (増1), 702-703 (1996)

神谷秀喜,浦田裕次,北島康雄:当科におけるマイボーム腺癌の臨床的検討. Skin Cancer 11 (2), 167-171 (1996)

広瀬美知代,可知久代,神谷秀喜,北島康雄:雪状炭酸圧抵療法後の巨大色素性母斑上に発生した基底細胞腫. 皮膚科の臨床 38 (10), 1599-1601 (1996)

佐藤史歩,神谷秀喜,中谷明美,松原勝利,北島康雄:爪下外骨腫の3例. 皮膚科の臨床 38 (1), 175-178 (1996)

佐藤美貴,長田和子,神谷秀喜,北島康雄,中川恵子:下腿に有茎性腫瘤を生じた基底細胞上皮腫の1例. 皮膚 38, 233-237 (1996)

佐藤美貴,長田和子,中谷明美,神谷秀喜,清島真理子,北島康雄:腫瘤型を示した進行期乳房外パジェット病の1例. Skin Cancer 11, 115-118 (1996)

広瀬美知代,市橋直樹,神谷秀喜,北島康雄,鶴見 寿:皮膚症状で初発した単球性白血病の1例. 皮膚のリンホーマ 15, 194-197 (1996)

立松憲親,津屋多美子,市原秀記,江崎智香子,野田徳朗:顔面腫瘤切除後の広範囲欠損に対する補綴的処置の経験. 岐阜大医紀 44, 388-392 (1996)

秋山朋子,野尻麻里,市来善郎,広瀬美知代,北島康雄:テルフェナジンによる固定薬疹の1例. 皮膚科の臨床 39, 434-435 (1997)

米田和史,川合美里,柳原 誠,藤沢百合子,中谷明美,北島康雄:尋常性魚鱗癬を伴った Russel-silver 症候群の1例. 皮膚科の臨床 39, 1205-1207 (1997)

和泉智子,山田孝宏,北島康雄,杉山陽子,雄山瑞栄,井上稲子,大谷道廣,松岡正則,和

泉真蔵：らい腫らい．西日皮膚 59，716-719（1997）

前田 学，和泉智子，北島康雄：角層下膿疱症の1例．皮膚病診療 19（4），343-346（1997）

前田 学，掛札啓資，雄山瑞栄，可知久代，北島康雄：家族内発症した全身性強皮（PSS）の姉弟例．西日皮膚 59（1），15-19（1997）

前田 学，可知久代，市橋直樹，高木 肇，北島康雄，中島智子：膠原病患者における振動覚閾値と自覚症状に対するリポ PGE1 製剤の効果．西日皮膚 59（1），126-132（1997）

前田 学：アトピー性皮膚炎患者の加療中に出現したおくびに対する半夏厚朴の効果．漢方診療 21（4），119-123（1997）

前田 学：保存療法，薬物療法，難治性皮膚潰瘍 - 病態と治療の実体．現代医療 29（増刊・），1217-1221（1997）

前田 学：皮膚科における漢方治療の現況9 アトピー性皮膚炎の治療 - どのように漢方を用いるか．皮膚科東洋医学研究会，79-93（1997）

藤田節也，井奈波良一，前田 学，サイド・モハマド・ミルボト，永田知里：全身性強皮症の発症と職業歴および産科・婦人科的要因との関係．岐阜大医紀 45（1），10-15（1997）

可知久代，前田 学，北島康雄：モルフォメトリー法を用いた全身性強皮症患者の前腕伸側部病理組織所見の定量化．日皮会誌 107（5），607-613（1997）

清島真理子：乾癬における表皮細胞の増殖と分化．第12回日本乾癬学会記録集，18-21（1997）

井上稲子，清島真理子，北島康雄：病原性皮膚糸状菌細胞骨格の観察の試み．第3回 Dermatological Mycology Club 例会記録集，34-38（1997）

神谷美知代，清島真理子，野尻麻里，藤沢百合子，佐藤史歩，米田和史，北島康雄：疱疹状天疱瘡の3例．臨皮 51（8），612-614（1997）

清水英樹，中谷明美，野尻麻里，清島真理子，北島康雄，桑原まゆみ：表皮細胞間抗体も陽性を示した水疱性類天疱瘡の1例．皮膚科の臨床 39，553-555（1997）

鹿野博明,加藤義弘,加藤善一郎,伊上良輔,岩田雅子,山田幸治,清島真理子,北島康雄,近藤直美:皮膚型結節性多発動脈炎の1例.小児科臨床 50(11),139-143(1997)

荒田次郎,森 俊二,神谷秀喜,米田和史,中谷明美,広瀬美知代,その他:皮膚細菌感染症に対する grepafloxacin と ofloxacin の二重盲検比較試験成績.日本化学療法学会雑誌 47,506-524(1997)

佐藤史歩,小山田 亮,神谷秀喜,北島康雄,米田和史:鼠径部にみられた巨大な Nevus lipomatosus superficialis の1例.臨皮 51(2),165-167(1997)

加納宏行,市橋直樹,清島真理子,和泉智子,北島康雄,森 俊二:妊娠後期に発症し水疱を伴った膿疱性乾癬の1例.第12回日本乾癬学会記録集,114-115(1997)

山田孝宏,青山裕美,大谷道廣,山田昌夫:頭部単発性皮膚潰瘍が診断のきっかけとなった肺腺癌の1例.皮膚科の臨床 39,1470-1471(1997)

秋山朋子,広瀬美知代,市来善郎,掛札啓資,江崎智香子,北島康雄,浦田裕次:手指に生じた平滑筋肉腫の1例.皮膚科の臨床 39,1739-1742(1997)

前田 学:皮膚疾患と漢方;10 膠原病 - どのように漢方を用いるか. Monthly book derma 11,73-80(1998)

神谷美知代,野田徳朗,中谷明美,米田和史,藤広満智子,宇田川俊一:リンパ管型スポロトリコーシス様病変を示した *Pseudallescheria boydii* による皮膚真菌症の1例.日本医真菌誌 39(1),33-36(1998)

山田孝宏,大谷道廣,和泉智子,北島康雄:熱傷瘢痕部に生じ骨化を伴った基底細胞上皮腫の1例.日本皮膚病理組織学会誌(1998)(in press)

神谷美知代,野田徳朗,北島康雄:Hypertrophic DLE の1例.皮膚科の臨床(1998)(in press)

神谷秀喜,江崎智香子,市橋直樹,北島康雄:皮膚欠損創に対する人工真皮ペルナックス R の使用経験.皮膚科の臨床(1998)(in press)

和泉智子,可知久代,神谷秀喜,北島康雄:Nerofibrosarcoma と思われた1例. Skin Cancer

( 1998 )( in press )

市橋直樹，神谷秀喜，高木 肇，北島康雄，長田和子：骨肉腫と悪性腫瘍を生じた Werner 症候群の 1 例 . Skin Cancer ( 1998 )( in press )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Maeda M , Kachi H , Mori S : Plasma levels of molecular markers of blood coagulation and fibrinolysis in progressive systemic sclerosis ( PSS ) . J Derm Sci 11 ( 3 ) , 223-227 ( 1996 )

Maeda M ,Kachi H ,Matsubara K ,Mori S ,Kitajima Y :Pigmentation abnormalities in systemic scleroderma examined by using a colorimeter ( chromometer CR-200 ) . J Derm Sci 11 ( 3 ) , 228-233 ( 1996 )

Maeda M , Kachi H , Kitajima Y : Circadian variations of plasma levels of blood coagulation-fibrinolysis molecular markers in progressive systemic sclerosis ( PSS ) . J Derm Sci 13 , 18-24 ( 1996 )

Nishioka K , Katayama I , Kondoh H , Shinkai H , Ueki H , Tamaki K , Takehara K , Tajima S , Maeda M , Hayashi S , Kodama H , Miyachi Y , Mizutani H , Fujisaku A , Sasaki T , Shimizu M , Kaburagi J : Epidemiologic analysis of prognosis of 496 Japanese patients with progressive systemic sclerosis ( SSc ) . J Dermatol 23 ( 10 ) , 677-682 ( 1996 )

Inoue I , Seishima M , Osada K , Kitajima Y : Different effects of azole-antifungal agents on the regulation of intracellular calcium concentration of *Trichophyton rubrum* . J Dermatol Sci 12 , 156-162 ( 1996 )

Sato M , Nakatani A , Nojiri M , Noda T , Maeda M , Kitajima Y : A case of dominant dystrophic epidermolysis bullosa ; abnormal distribution of structural molecules at the dermal-epidermal junction . J Dermatol 23 , 440 ( 1996 )

Maeda M , Kachi H , Takagi H , Kitajima Y : Is there circadian variation in plasma endothelin ( ET-1 ) of patients with systemic scleroderma ( SSc ) ? . J Derm Sci 16 ( 1 ) , 38-44 ( 1997 )

Maeda M , Kachi H , Ichihashi N , Oyama Z , Kitajima Y : The effect of electrical acupuncture-stimulation therapy using thermography and plasma Endothelin ( ET-1 ) levels in patients with progressive systemic sclerosis ( PSS ) . J Derm Sci 17 , 151-155 ( 1998 )

Maeda M , Kachi H , Mori S : Platelet ultrastructure in progressive systemic sclerosis . J Dermatol 25 , 222-230 ( 1998 )

**原著 ( 欧文・国外 )**

Ban M , Hosoe H , Yamada T , Nakatani A , Sato M , Shimizu H , Kitajima Y : Kindler's syndrome with recurrence of bullae in the fifth decade . Br J Dermatol 135 , 503-504 ( 1996 )

Nakashima S , Iwasaki Y , Mizutani T , Ohguchi K , Nagata K , Kitajima Y , Nozawa Y : Differential expression of protein kinase C isozymes and small GTP-binding proteins during HL60 cell differentiation by retinoic acid and cyclic AMP : relation with phospholipase D ( PLD ) activation . Immunobiology 196 , 588-598 ( 1996 )

Maeda M , Nakashima T , Kitajima Y , Inaba H , Hochi M : Subcutaneous mucormycosis seen after gypsum fixation for bone fracture . Cutis 57 ( 3 ) , 147-150 ( 1996 )

Maeda M , Ichiki Y , Shikano Y , Mori S , Kitajima Y : Detection of scleroderma with capillaroscopic abnormalities of nailfolds . Int J Dermatol 35 , 857-861 ( 1996 )

Seishima M , Nojiri M , Akiyama T , Seishima M , Noma A , Etoh Y , Kitajima Y : Expression of activin A in human keratinocytes at early stages of cultivation . FEBS Lett 398 , 120-124 ( 1996 )

Nojiri M , Seishima M , Hirose M , Fujisawa Y , Satoh S , Yoneda K , Kitajima Y : Immunofluorescence and immunoblot studies of herpetiform pemphigus . Eur J Dermatol 6 , 406-408 ( 1996 )

Fujihara T , Takeuchi T , Saito K , Kitajima Y , Kobayashi TK , Tsubota K : Evaluation of human conjunctival epithelium by a combination of brush cytology and flow cytometry : An approach to the quantitative technique . Diagn Cytopathol 17 ( 6 ) , 456-460 ( 1997 )

Shimizu H , Sato M , Ban M , Kitajima Y , Ishizaki S , Harada T , Bruckner-Tuderman L Fine JD , Burgeson R , Kon A , McGrath J , Christiano A , Uitto J , Nishikawa T : Immunohistochemical , ultrastructural and molecular features of Kindler syndrome distinguish it from dystrophic epidermolysis bullosa . Arch Dermatol 133 , 1111-1117 ( 1997 )

Mirbod F , Nakashima S , Kitajima Y , Cannon RD , Nozawa Y : Molecular cloning of a Rho family , CDC42Ca gene from *Candida albicans* and its mRNA expression changes during morphogenesis . *J Med Vet Mycol* 35 , 173-179 ( 1997 )

Mirbod F , Nakashima S , Kitajima Y , Ghannoum MA , Cannon RD , Nozawa Y : Molecular cloning of a gene encoding translation initiation factor ( TIF ) from *Candida albicans* . *J Med Vet Mycol* 35 , 393-400 ( 1997 )

Maeda M , Kachi H , Takagi H , Kitajima Y : Hemorrhagic patterns in the cuticles distal to the proximal nailfolds of the fingers of patients with systemic scleroderma . *Eur J Dermatol* 7 , 191-196 ( 1997 )

Seishima M , Satoh S , Nojiri M , Osada K , Kitajima Y : Pemphigus IgG induces expression of urokinase plasminogen activator receptor on the cell surface of cultured keratinocytes . *J Invest Dermatol* 109 , 650-655 ( 1997 )

Osada K , Seishima M , Kitajima Y : Pemphigus IgG activates and translocates protein kinase C from the cytosol to the particulate/cytoskeleton fractions in human keratinocytes . *J Invest Dermatol* 108 , 482-487 ( 1997 )

Hirose M , Akiyama T , Ichiki Y , Satoh S , Izumi T , Seishima M , Kitajima Y : A case of herpes gestationis ; time course of the change in antibody titer after abortion . *Eur J Dermatol* 7 , 134-136 ( 1997 )

Satoh S , Seishima M , Izumi T , Itoh A , Kamiya H , Kitajima Y : A vesicular variant case of bullous pemphigoid with autoantibodies against new basement membrane zone 205-and 150-kDa proteins as well as BPAG2 . *Br J Dermatol* 137 , 768-773 ( 1997 )

Akiyama T , Seishima M , Kitajima Y : Granuloma annulare associated with scleroderma . *Eur J Dermatol* 7 , 581-583 ( 1997 )

Takagi H , Esaki C , Seishima M , Izumi S , Matsuoka M , Kitajima Y : A case of tuberculoid leprosy . *Proceedings of the 10th Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology* ,487-490( 1997 )

Ban M , Kamiya H , Yamada T , Kitajima Y : Hair follicle nevi and accessory tragi : variable quantity of adipose tissue in connective tissue framework . *Pediatric Dermatology* 14 ( 6 ) ,

433-436 ( 1997 )

Ichiki Y , Hirose M , Akiyama T , Esaki C , Kitajima Y : Skin infection caused by Mycobacterium avium . Br J Dermatol 136 , 260-263 ( 1997 )

Kitajima Y , Nojiri M , Yamada T , Hirako Y , Owaribe K : Internalization of the 180kDa bullous pemphigoid antigen as immune complexes in basal keratinocytes ; an important early event in blister formation in bullous pemphigoid . Br J Dermatol 138 , 71-76 ( 1998 )

Iwasaki-Bessho Y , Banno Y , Yoshimura S , Ito Y , Kitajima Y , Nozawa Y : Decreased phospholipase D ( PLD ) activity in ceramide-induced apoptosis of human keratinocyte cell line HaCa T . J Invest Dermatol 110 ( 4 ) , 376-382 ( 1998 )

Inoue I , Seishima M , Kitajima Y : Effects of azole antifungal agents on ionomycin- induced changes in intracellular calcium concentration in Trichophyton rubrum . Mycol Res 102( 2 ) , 193-198 ( 1998 )

Sato M , Shimizu H , Ishiko A , Matsunaga T , Akiyama M , Hashimoto T , Kitajima Y , Nishikawa T : Precise ultrastructural localization of in vivo deposited IgG antibodies in fresh perilesional skin of patient with bullous pemphigoid . Br J Dermatol 138 , 965-971 ( 1998 )

Hirako Y , Usukura J , Uematsu J , Hashimoto T , Kitajima Y , Owaribe K : Cleavage of BP180 ( Type XVII collagen ) yields a 120 kDa collagenous extracellular polypeptide . J Biol Chem 273 ( 16 ) , 9711-9717 ( 1998 )

## その他

北島康雄 : 細胞外マトリックス , キーワードを読む皮膚科 . 塩原哲夫・宮地良樹編 , 東京 , 医学書院 , 1996 . 92

北島康雄 : 細胞骨格 , キーワードを読む皮膚科 . 塩原哲夫・宮地良樹編 , 東京 , 医学書院 , 1996 . 93

北島康雄 : 成人のアトピー性皮膚炎・皮疹のみかた , 臨床アレルギー講習会テキスト「アレルギー性疾患の診断と治療」 , 1996

北島康雄 , 中谷明美 , 佐藤美貴 , 野尻麻里 , 中島智子 : 優性栄養障害型表皮水疱症の表皮下



裂隙に関する研究,厚生省特定疾患稀少難治性皮膚疾患調査研究班平成7年度報告書.117-121,1996

北島康雄,長田和子,清島真理子:天疱瘡水疱形成メカニズムにおけるCキナーゼの関与,厚生省特定疾患稀少難治性皮膚疾患調査研究班平成7年度報告書.293-297,1996

北島康雄:皮膚科学会-学会記,日本医事新報3774.27-29,1996

北島康雄:皮疹の見方と悪性,難治性皮膚疾患の鑑別,岐阜市医師会だより(内科だより)28(8).10-12,1996

前田 学,可知久代,高木 肇,掛札啓資,清水英樹,北島康雄:全身性強皮症患者におけるエンドセリン濃度-日内変動と針通電刺激の影響,厚生省特定疾患強皮症調査研究班平成7年度報告書.103-108,1996

Maeda M, Kachi H, Takagi H, Kitajima Y: Abnormalities in vibration thresholds of the patients with systemic scleroderma examined by using a vibrometer ( SMV-5 ), 厚生省特定疾患強皮症調査研究班平成7年度報告書.128-135,1996

前田 学,川瀬晴美,野間昭夫,大橋宏重:膠原病、特に強皮症予備群における循環生理学的検査の有用性について,厚生省特定疾患強皮症調査研究班平成7年度報告書.136-142,1996

前田 学,可知久代,北島康雄:全身性強皮症における前腕伸側皮膚生検部の病理組織学的検討-モルフォメトリー法を用いた真皮血管成分の定量化,厚生省特定疾患強皮症調査研究班平成7年度報告書.143-148,1996

前田 学,掛札啓資,雄山瑞栄,神谷秀喜,可知久代,北島康雄:家族内発症した全身性強皮症(PSS)の姉弟例,厚生省特定疾患強皮症調査研究班平成7年度報告書.218-224,1996

前田 学:東海医真菌懇話会の思い出-感じるままに,東海医真菌懇話会20周年記念誌.27-28,1996

前田 学:限局性強皮症の治療,皮膚病診療18(9).843-844,1996

前田 学:皮膚科領域における副腎皮質ホルモン剤の諸問題-その利点と欠点を中心に,第

27 回アルカロイド研究会報告書 . 81-87 , 1996

堀 嘉昭, 諸橋正昭, 前田 学, 山口全一 : 座談会 - 皮膚科における証と漢方薬の使い方 , 漢方医学 20 ( 10 ). 307-316 , 1996

新田悠紀子, 清島真理子 : 第 46 回日本皮膚科学会中部支部総会および学術大会から , 皮膚病診療 18 . 194-200 , 1996

北島康雄 : 健康相談室「いまどきめずらしいのですが寒くなるとしもやけができます」, 笑顔 2 月号 . 33 , 1997

北島康雄 : 天疱瘡の発症機序 - 抗原抗体反応後のシグナル伝達 , 厚生省特定疾患稀少難治性皮膚疾患分科会平成 8 年度報告書 . 101-106 , 1997

北島康雄 : 天疱瘡 IgG 誘導性ウロキナーゼプラスミノゲンアクチベーター受容体発現 , 厚生省特定疾患稀少難治性皮膚疾患分科会平成 8 年度報告書 . 107-112 , 1997

北島康雄 : 培養表皮細胞における天疱瘡抗体による各種 C キナーゼアイソザイムの特異的活性化 , 厚生省特定疾患稀少難治性皮膚疾患分科会平成 8 年度報告書 . 113-118 , 1997

前田 学, 市橋直樹, 可知久代, 高木 肇, 舟橋美雪, 北島康雄 : 全身性強皮症 ( PSS ) 患者と血管病変 - 血中エンドセリン ( ET-1 ), 血中セロトニン, 亜硝酸・硝酸イオン濃度の検討 , 平成 8 年度セロトニン ( 5-HT<sub>2</sub> ) 研究報告会 ( 2 ). 9-10 , 1997

前田 学 : 皮膚疾患に対する漢方の見方, 考え方 - 全身と皮膚の関連 , 岐阜新聞平成 9 年 2 月 16 日発行 . 10 , 1997

前田 学 : 膠原病診療の最前線 - 岐阜大学皮膚科における現状と臨床的な見方について , 岐阜医学会館だより平成 9 年 8 月 1 日発行 46 号 . 10-17 , 1997

前田 学, 北島康雄 : 東洋医学と膠原病診療 - 全身性強皮症とその不全型患者を対象とした漢方・針治療 , 第 4 回漢方ライフ懇話会講演集 ( 岐阜県健康づくり財団 ). 7-36 , 1997

高木 肇, FK-506 研究会 : アトピー性皮膚炎に対する FK - 506 ( タクロリムス ) 軟膏の長期観察試験 , 臨床医学 13 ( 16 ). 4225-4254

北島康雄：魚鱗癬，3° C Plus One . 1998 ( in press )

## 泌尿器科学講座

### 著書（和文）

河田幸道：膀胱炎，今日の治療指針，日野原重明，阿部正和監修，東京，医学書院，1996．466-467

河田幸道：尿路感染症，イヤート内科・外科等編，Selected Articles 1997，青木裕美他編，東京，MEDIC MEDIA，1996．617-625

坂 義人：細菌尿検査，検査値のみかた，中井利昭編，東京，中外医学社，1996．800-802

坂 義人：発熱を伴わない複雑性腎盂腎炎「私の処方とその解説」，今月の治療，酒井 紀，早川弘一，猿田享男，西崎 統，小林祥泰，福井次矢編，東京，総合医学社，1996．13-15

坂 義人：留置カテーテル尿路感染症，抗生物質療法ガイド，和田 攻，大久保昭行，永田直一，矢崎義雄編，東京，文光堂，1996．428

栗山 学，高橋義人，河田幸道 他：泌尿器腫瘍の病期と標準治療「腎癌」，泌尿器腫瘍治療指針，東海泌尿器腫瘍研究会編，名古屋，1996．1-9

栗山 学，上野一哉，鄭 漢彬，河田幸道：PSA-ACT 複合体と非結合 PSA，KEY WORD 1997 - '98 泌尿器科系，斎藤 泰，小柳知彦，穂坂正彦編，東京，先進医学社，1996．180-181

栗山 学，高橋義人，山本直樹，河田幸道：PSA の標準化，KEY WORD 1997 - '98 泌尿器科系，斎藤 泰，小柳知彦，穂坂正彦編，東京，先進医学社，1996．186-187

栗山 学：腫瘍マーカーはどこまで役立つか，前立腺疾患 '96 臨床泌尿器科（第 50 巻増刊号），東京，医学書院，1996．163-165

出口 隆，楊 睦正，河田幸道：微小転移の遺伝子診断，KEY WORD 1997 - '98 泌尿器科系，斎藤 泰，小柳知彦，穂坂正彦編，東京，先進医学社，1996．188-189

永井 司，兼松 稔：CAPD 患者における栄養指導としての血清アルブミン濃度の意義に

ついて，腹膜透析 '96，腹膜透析研究会編，東京，東京医学社，1996．94-96

河田幸道：尿路感染症，イヤート内科・外科等編，Selected Articles 1997 - 1998，青木裕美他編，東京，MEDIC MEDIA，1997．617-625

坂 義人：カテーテル長期留置患者のケア，今日の治療指針，1997 年版．日野原重明，阿部正和 監修，東京，医学書院，1997．873-874

坂 義人：泌尿器科における周術期感染予防と院内感染対策，大森弘之，公文裕巳編，東京，医薬ジャーナル社，1997．16-29

栗山 学：骨盤腔のリンパ節郭清（2．リンパ節郭清），泌尿器科手術に必要な局所解剖（臨床泌尿器科 51 巻増刊号），東京，医学書院，1997．259-263

栗山 学：前立腺特異抗原（PSA）の意義と問題点，Prostate Cancer，New points of view，Medical Publisher，1997．1-8

栗山 学：TPA，腎尿路系疾患の検査 ベッドサイドノート（腎と透析第 43 巻臨時増刊），東京，東京医学社，1997．754-756

竹内宣夫，大島伸一，小野佳成，佐橋正文，栗山 学，高橋義人，田中卓二，清水弘之，河田幸道，三宅弘治：Stage D 前立腺癌初期治療としての内分泌化学療法の評価，第 23 回尿路悪性腫瘍研究会記録 進行性前立腺癌の治療，新島端夫，阿曾佳朗編，東京，協和企画通信，1997．45-50

高橋義人，出口 隆，栗山 学，河田幸道，竹内敏視，酒井俊助：内分泌療法抵抗性進行前立腺癌に対する動注化学療法の臨床検討，第 23 回尿路悪性腫瘍研究会記録 進行性前立腺癌の治療，新島端夫，阿曾佳朗編，東京，協和企画通信，1997．64-66

永井 司，兼松 稔：CAPD 患者における低アルブミン血症 蛋白喪失量との関連性，腹膜透析'97，腹膜透析研究会編，東京，東京医学社，1997．143-147

栗山 学，河田幸道：前立腺疾患，とくに前立腺肥大症と前立腺癌について．血尿・タンパク尿・排尿障害の診断と治療（大学病院による診断と治療シリーズ），東京，真興交易医書出版，1998．72-79

栗山 学, 上野一哉, 宇野裕巳, 長谷行洋, 小林 覚, 林 秀治, 山本直樹, 高橋義人, 石原 哲, 坂 義人, 河田幸道: 前立腺特異抗原 (PSA) に関する最近の知見. 早期前立腺癌の診断とその対策, 第 24 回尿路悪性腫瘍研究会記録, 新島端夫, 阿曾佳郎編, 東京, 協和企画通信, 1998. 22-29

#### 著書 (欧文)

Kawada Y, Kanimoto Y: Response of Escherichia coli to fleroxacin in an in vitro model of the urinary Bladder, Urinary Tract Infectiology vol 1, (ed T. Bergan), Karger, Basel, 1997. 84-88

Brawer M, Abrahamsson P. A, Blumenstein B, Catalona W, Gilbaugh J, Kuriyama M, Murphy G. P, Olsson C, Villers A, Wirth M: PSA and other serum markers, First International Consultation on Prostate Cancer, S. C. I., 1997. 87

Kuriyama M: PSA as a screening method for prostate cancer in Japan, First International Consultation on Prostate Cancer, S. C. I., 1997. 99-103

#### 総説 (和文)

河田幸道: 特集 感染症と抗生物質の使い方, 尿路感染症. 医学と薬学 36, 241-247 (1996)

栗山 学: 高齢者の排尿障害について. 岐阜県医師会医誌 9, 17-22 (1996)

出口 隆, 宇野雅博, 安田 満, 米田尚生, 河田幸道: 非淋菌性尿道炎における Mycoplasma genitalium の病原的意義. 感染症 26, 69-73 (1996)

石原 哲, 河田幸道: 最近の性病の傾向と治療の進歩 - 軟性下疳・鼠径リンパ肉芽腫. 臨牀と研究 73, 1508-1511 (1996)

河田幸道: 解説 [I] UTI 薬効評価基準 (第 4 版暫定案). 感染症 27, 177-184 (1997)

河田幸道: 資料解説 UTI 薬効評価基準 第 4 版暫定案, 日本化学療法学会臨床評価法制定委員会泌尿器系委員会. 日化療会誌 45, 203-247 (1997)

河田幸道, 清水喜八郎, 稲垣克彦, 岩垂孝一, 河盛勇造, 藤井良知, 副島林造, 高谷隆男, 熊本悦明, 岩田正之, 西原達郎, 島田甚五郎, 那須 勝, 熊澤浄一, 紺野昌俊: 日本化学療法学会特別企画学術集会「ペニシリンの半世紀」. 日化療会誌 45, 320-351 (1997)

坂 義人，出口 隆，河田幸道：「STD 最近の話題」各科領域の STD：泌尿器科（岐阜）. 臨床と微生物 24，415-420（1997）

出口 隆，安田 満，宇野雅博，河田幸道：男子尿道炎における DNA 診断について．日本医事新報 3795，33-36（1997）

宇野雅博，出口 隆，米田尚生，安田 満，河田幸道：軽症 STD としての Mycoplasma genitalium 感染症．治療学 31，843-846（1997）

斎藤 厚，河田幸道，荒田次郎，砂川慶介，斎藤 篤：最近の外来感染症とその治療 Cefcapene pivoxil を中心として．Jpn J of Antib 50，507-524（1997）

河田幸道：腎疾患検査の基本手技 主要疾患に対する基本的アプローチ・尿路感染症．腎と透析 43，88-90（1997）

河田幸道：わたしの主治医「繰り返す膀胱炎」．中日新聞日曜版（1997）

栗山 学，宇野裕己，上野一哉：PSA，フリー・バウンド分別測定の意義（特集：新しい腫瘍マーカー，その臨床的意義）. Biotherapy 11，81-86（1997）

栗山 学：腫瘍マーカー（特集：増えつつある前立腺肥大症と前立腺がん，前立腺疾患の診断）. 臨床と研究 74，288-291（1997）

栗山 学：前立腺癌の診断と PSA（特集：免疫血清検査 - トラブルシューティングと臨床からみた検査の意義 - ，3）PSA）. Medical Technology 25，203-206（1997）

栗山 学：Erythropoietin 投与による貧血改善・維持目標・精神・心理的立場から．透析会誌 12，207-242（1997）

栗山 学，竹本正男：前立腺特異抗原（PSA）・その測定と臨床的意義．けんさ 27，3-11（1997）

栗山 学：泌尿器科領域の腫瘍マーカー．医薬ジャーナル 33，2773-2779（1997）

栗山 学：PSA molecular form の臨床的意義．Pharma Medica 15，33-38（1997）

坂 義人：尿路感染症の薬物療法「薬物療法 最近の話題」. Medical Academy NEWS 672 , 6 ( 1998 )

坂 義人：ブレイクポイントからみたアミノ配糖体の有用性( 尿路系 ). 「アミノ配糖体系抗生物質 評価の見直し」. 医薬ジャーナル 34 , 116-122 ( 1998 )

坂 義人：「印象深いインデアナパウチ造設患者」. 膀胱全摘術と尿路変向術のすべて . 臨泌 52 , 62 ( 1998 )

坂 義人：尿路変向術とストーマ合併症「膀胱全摘除術と尿路変向術のすべて」. 臨泌 52 , 309-315 ( 1998 )

坂 義人：尿路感染症「抗菌薬の選び方と使い方」. Modern Physician 18 , 483-487 ( 1998 )

栗山 学：総説：PSA の意義 . Video Journal of Urology of Japanese Urological Association 4 ( 2 ) ( 1998 )

栗山 学：前立腺特異抗原 ( PSA ) の臨床的意義 . ( 特集：前立腺癌～早期発見と治療のポイント～ ). 実験治療 651 , 57-60 ( 1998 )

石原 哲 坂 義人：「接着因子と尿路感染症」. 感染症と腎障害 . 腎と透析 44 , 319-322 ( 1998 )

#### **総説 ( 欧文・国内 )**

Kawada Y : Criteria for evaluation of clinical efficacy of antimicrobial agents on urinary tract infection ( Draft Fourth Edition ) UTI Subcommittee of the Clinical Evaluation Guidelines Committee , Japan Society of Chemotherapy . Japanese Journal of Antibiotics 50 , 535-578 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Saito I , Kawada Y : Quinolone-resistant Neisseria gonorrhoeae . J Infect Chemother Journal of Infection and Chemotherapy 3 , 73-84 ( 1997 )

Abrahamsson P . A , Kuriyama M : Molecular forms of serum prostate-specific antigen : The clinical usefulness of percent free PSA to discriminate prostate cancer from BPH . Acta Urol Jpn 44 , 223-232 , ( 1998 )



## 総説（欧文・国外）

Deguchi T ,Yang M ,Kawada Y: Micrometastasis of prostate cancer to lymph nodes : detection by means of reverse transcription-polymerase chain reaction . J Natl Cancer Inst of the National Cancer Institute 89 , 1471-1473 ( 1997 )

Nakano M , Ishihara S , Deguchi T , Kuriyama M , Kawada Y : Fluoroquinolone-associated bladder stones . Orion Pharma J Urol 3 , 10-11 ( 1997 )

## 原著（和文）

岡野 学 ,川本正吾 ,根笹信一 ,玉木正義 ,江原英俊 ,山田伸一郎 ,出口 隆 ,河田幸道 : 腎癌における制癌剤効果増強について . 日泌尿会誌 87 , 1041-1047 ( 1996 )

石原 哲 ,宇野裕巳 ,上野一哉 ,岩田英樹 ,多田晃司 ,米田尚生 ,岡野 学 ,伊藤康久 ,斉藤昭弘 ,坂 義人 ,河田幸道 ,藤本佳則 ,山田伸一郎 ,磯貝和俊 : 尿路感染症における NM441 の基礎的・臨床的検討 . 日化療会誌 44 ( S-1 ) , 414-419 ( 1996 )

熊澤浄一 ,松本哲朗 ,熊本悦明 ,広瀬崇興 ,河田幸道 ,坂 義人 ,守殿貞夫 ,荒川創一 ,大森弘之 ,公文裕巳 ,永山在明 ,田中 豊 : 複雑性尿路感染症に対する NM441 の臨床用量の検討 . 日化療会誌 44 ( S-1 ) , 451-461 ( 1996 )

斉藤 功 ,吉田雅彦 ,広瀬友信 ,小島弘敬 ,河村 毅 ,石田仁男 ,森山正敏 ,川崎千尋 ,福島修司 ,河田幸道 : 女子急性単純性膀胱炎の治療後長期観察 - UTI 薬効評価基準と IDSA 基準との比較 . 日化療会誌 44 , 896-901 ( 1996 )

宇野裕巳 ,石原 哲 ,松田聖士 ,江原英俊 ,兼松 稔 ,伊藤雅康 ,長谷川義和 ,徳山宏基 ,栗山 学 ,坂 義人 ,河田幸道 : 透析患者の低血圧に対する amezinium methylsulfate の臨床効果 - QOL の検討 - . 透析会誌 29 , 1067-1071 ( 1996 )

兼松江巳子 ,西野るり子 ,小口健一 ,楠本 裕 ,川本正吾 ,蟹本雄右 ,北島和一 ,白井哲夫 ,北岡建樹 ,北井啓勝 ,河田幸道 : 妊娠・分娩に成功した透析患者 1 例 - 塩酸リトドリンと硫酸マグネシウムの併用療法について . 透析会誌 29 , 1413-1418 ( 1996 )

田中正利 ,熊澤浄一 ,松本哲朗 ,熊本悦明 ,広瀬崇興 ,坂 丈敏 ,山崎清仁 ,町田豊平 ,小野寺昭一 ,清田 浩 ,後藤博一 ,岡崎武二郎 ,斉藤 功 ,西古 靖 ,石田仁男 ,小島弘敬 ,河村信夫 ,星野英章 ,田中元章 ,石田俊哉 ,原島康寿 ,河田幸道 ,坂 義人 ,出口 隆 ,米

田尚生,伊藤康久,前田真一,守殿貞夫,荒川創一,長久祐史,松井 隆,彦坂幸治,三田俊彦,大前 博,大森弘之,公文裕巳,占部治邦,宮崎良春,原 三信,鷺山和幸,中山 宏,加野資典,中尾偕主,南里和成,大井好忠,後藤俊弘,川原元司,北川敏博,坂本日朗,川畠尚志,片平可也,下稻葉耕作,下稻葉耕生,富山哲郎,角 耕一,福崎三彦,永山在明,齊藤 厚,島田 肇:性感染症としての男子尿道炎における Azithromycin の基礎的・臨床的検討.日性感染症会誌 7,76-91(1996)

前田真一,玉木正義,出口 隆,坂 義人,河田幸道:トヨタ記念病院における男子尿道炎の臨床的検討.日性感染症会誌 17,103-108(1996)

伊藤雅康,石原 哲,伊藤康久,栗山 学,河田幸道:遺伝子組替え型ヒト顆粒球コロニー形成刺激因子(rhG-CSF)のヒト末梢血および尿中白血球機能に影響について.感染症誌 70,1140-1146(1996)

福岡明久,原田吉将,鄭 漢彬,行岡直哉,江原英俊,栗山 学,河田幸道:嚢胞状腫瘤を形成した腎盂移行上皮癌の1例.泌尿紀要 42,739-742(1996)

出口 隆,楊 睦正,西野好則,江原英俊,高橋義人,河田幸道,伊藤慎一,伊藤康久,土井達朗:前立腺癌微小転移診断への分子生物学的アプローチ-リンパ節転移および骨転移の検討-.泌尿紀要 42,787-790(1996)

谷口光宏,葦島謙一,竹内敏視,酒井俊助,沢村俊比古,滝谷博志,笹岡郁乎,河田幸道:下大静脈腫瘍塞栓を伴った成人 Wilms 腫瘍の1例.泌尿外 9,39-41(1996)

熊澤浄一,松本哲朗,熊本悦明,塚本泰司,土田正義,河辺香月,町田豊平,大石幸彦,小野寺昭一,齊藤 功,鈴木恵三,河村信夫,鈴木和雄,名出頼男,河田幸道,守殿貞夫,荒川創一,大森弘之,公文裕巳,碓井 亜,藤田幸利,野田進士,大井好忠,中島光好,猪狩淳:複雑性尿路感染症を対象とする経口用キノロン薬 balofloxacin と ofloxacin の比較試験.西日泌尿 58,1149-1165(1996)

山田伸一郎,出口 隆,根笹信一,川本正吾,江原英俊,高橋義人,岡野 学,藤本佳則,磯貝和俊,河田幸道:尿路上皮癌の Anthracycline 系抗癌剤 3 剤に対する In vitro 感受性の比較検討.癌と化療 23,1339-1341(1996)

西山 勉,岸 賢治,出口 隆,川上宏昭,小原健司,照沼正博,富田善彦,谷川俊貴,高橋公太:泌尿器科癌化学療法に伴う末梢血 CD34 陽性細胞の変化ならびに末梢血肝細胞採

取時期の検討．日泌尿会誌 87, 1183-1190 (1996)

小幡浩司, 栗山 学, 藤田公生, 酒井俊助, 置塩則彦, 阪上 洋, 東野一郎, 三宅弘治: 前立腺癌の臨床的検討 - 東海地方会腫瘍登録 683 例の集計と予後調査 - . 泌尿紀要 42, 503-507 (1996)

村瀬達良, 栗山 学, 前田真一, 安藤 裕, 伊藤 博, 渡邊秀輝: 前立腺偶発癌 StageA の予後についての検討．泌尿紀要 42, 639-643 (1996)

服部良平, 絹川常郎, 小野佳成, 加藤範夫, 山田 伸, 武田明久, 藤田民夫, 西山直樹, 大島伸一, 松浦 治, 竹内宣久: 限局性前立腺癌に対する腹腔鏡下骨盤内リンパ節郭清術の意義．泌尿紀要 42, 775-780 (1996)

宮本康二, 玉木雅人, 山本哲也, 清水幸雄, 由良二郎, 岩田英樹, 長谷川義和, 山本直樹: イレウスをきたした回腸導管造設術後傍ストーマヘルニアの 1 例 . 臨床外科 51, 1633-1635 (1996)

杉山 宏, 佐々木稔, 高見和久, 河合英博, 飯田 豊, 伊藤英夫, 田辺 博, 小林 覚, 宇野雅博, 下川邦泰: 脾原発悪性リンパ腫( Hodgkin 病 ) の 1 例 . 癌の臨床 42, 461-465(1996)

小出卓也, 宇野裕巳, 蓑島謙一, 谷口光宏, 竹内敏視, 酒井俊助: 尿管狭窄症に対する柴苓湯の使用経験．UROLOGY AND KAMPO 3, 15-20 (1996)

宇野雅博, 小林 覚: 当院における尿路結石症に対する体外衝撃波碎石術の治療成績．岐阜県医師会医誌 9, 103-107 (1996)

杉山 宏, 佐々木稔, 河合英博, 高見和久, 林 宏史, 木澤英實, 宇野雅博, 小林 覚, 岡本博之: 内視鏡的止血術にて止血しえた急性出血性直腸潰瘍の 2 例 . 岐阜県医師会医誌 9, 131-138 (1996)

長谷川義和, 岩田英樹, 原なつ子, 大久保さよ子, 杉本祐二, 足立光生, 杉本康明, 青木真矢, 渋谷睦子, 渡辺裕美: 松波総合病院人工透析センターにおける慢性透析患者統計．岐阜県医師会医誌 9, 209-213 (1996)

永井 司, 兼松 稔: 透析患者の栄養評価 - HD と CAPD の比較 . 羽島病紀 5, 13-17(1996)

兼松 稔,永井 司,江原英俊,野田知弘,千原 勉,富田重作:当院における体外衝撃波腎尿管結石破砕術 (ESWL) の経験. 羽島病紀 5, 51-59 (1996)

藤広 茂,根笹信一,西野好則:岐阜赤十字病院泌尿器科における開設 5 年間(1991 - 1995 年) の入院・手術統計. 岐阜赤十字病医誌 8, 23-28 (1996)

藤広 茂,根笹信一,島崎 信,伊藤陽一郎,中村俊之,島 寛人:診断困難であった石灰化を伴った腎癌の 1 例. 岐阜赤十字病医誌 8, 47-49 (1996)

根笹信一,藤広 茂,島崎 信,伊藤陽一郎,島 寛人:両側腎細胞癌に対する一側腎保存手術の経験. 岐阜赤十字病医誌 8, 51-54 (1996)

河田幸道,出口 隆,仲野正博,安田 満:尿由来緑膿菌における gyrA 遺伝子変異の臨床的意義に関する研究. 日化療会誌 45, 750-756 (1997)

谷口光宏,藁島謙一,竹内敏視,酒井俊助,出口 隆,河田幸道,佐藤久美子,原 明:N-Butyl-N-(4-hydroxybutyl) nitrosamine (BBN) によるラットの膀胱癌発生における組織中および血中ポリアミン値の検討. 日泌尿会誌 88, 945-949 (1997)

根笹信一,藤広 茂,出口 隆,河田幸道,川本正吾,玉木正義,山田伸一郎,岡野 学:膀胱癌における抗癌剤投与による MDR1 遺伝子発現誘導の解析. 泌尿紀要 43: 629-636 (1997)

玉木正義,前田真一,出口 隆,河田幸道:腎細胞癌における核 DNA 量,AgNOR 数,PCNA, c-erbB-2 の予後予測因子としての有用性に関する研究. 泌尿紀要 43, 697-702 (1997)

谷口光宏,藁島謙一,竹内敏視,酒井俊助,出口 隆,河田幸道,佐藤久美子,原 明:N-Butyl-N-(4-hydroxybutyl) nitrosamine (BBN) によるラットの膀胱癌発生における組織中および血中ポリアミン値の検討. 日泌尿会誌 88, 658-663 (1997)

幾高敏晴,石黒源之,江原英俊,石原 毅,平野高弘,橋本和明,早川幸博,藤原久義:器質化血栓除去 (Adherent Clot) カテーテルの血管損傷に関する検討. 透析会誌 30, 1375-1379 (1997)

栗山 学,宇野裕巳,上野一哉,山本直樹,高橋義人,篠田育男,坂 義人,河田幸道:Prostate specific antigen (PSA) からみた前立腺癌の診断と治療. 泌尿紀要 43, 453-456 (1997)

林 宣男，川村壽一，藤田公生，名出頼男，小林弘明，磯貝和俊，須床 洋，三宅弘治：前立腺癌に対する前立腺全摘除術の臨床的検討：東海腫瘍登録症例の解析．泌尿紀要 43，471-476（1997）

齊川茂樹，金丸洋史，秋野裕信，西淵繁夫，磯松幸成，村中幸二，蟹本雄右，岡田謙一郎：福井医科大学泌尿器科開設後 10 年間（1984 年 6 月～1994 年 9 月）の膀胱全摘除術治療成績．泌尿紀要 43，605-610（1997）

江原英俊，岡田将直，福地貴彦，河村 毅，西田泰幸，河田幸道：残存ヘルニア嚢より発症した陰嚢血瘤．臨泌 51，845-847（1997）

根笹信一，藤広 茂，大西隆哉，島崎 信，伊藤陽一郎，中村俊之，西野好則，河田幸道，山田鉄也，高見 剛：類白血病反応を呈した腎盂腫瘍の一例．泌尿外 10，681-684（1997）

山田 徹，鈴木基文，藤田喜一郎，浜寄公久，石塚英司，井上滋彦，宗像昭夫，平野美和，岸 洋一，板倉宏尚：若年性膀胱癌の 1 例．泌尿外 11，61-64（1997）

藤田喜一郎，鈴木基文，山田 徹，浜寄公久，石塚英司，井上滋彦，宗像昭夫，平野美和，岸 洋一，木下牧子，隅谷護人，藤波陸代：ループス膀胱炎の 1 例．泌尿外 11，263-267（1997）

熊澤浄一，松本哲朗，熊本悦明，広瀬崇興，折笠精一，河辺香月，町田豊平，河村信夫，名出頼男，河田幸道，坂 義人，大川光央，岡田謙一郎，吉田 修，守殿貞夫，荒川創一，宮崎茂典，大森弘之，公文裕巳，津川昌也，碓井 亜，香川 征，藤田幸利，野田進士，大井好忠，永山在明：複雑性尿路感染症に対する prulifloxacin と ofloxacin の二重盲検比較試験．西日泌尿 59，357-372（1997）

守殿貞夫，荒川創一，岡田 弘，松井 隆，宮崎茂典，今井敏夫，田中一志，河田幸道，坂義人，石原 哲，仲野正博，熊澤浄一，松本哲朗，高橋康一，佐久本 操，土井達朗，伊藤康久，伊藤慎一，松田聖士，長谷行洋，羽間 稔，今西 治，武田 雅，梅津敬一，杉多良文，長久裕史，片岡頌雄，武中 篤，林 晃史，藤井 明，松本弘人，伊藤健治，片岡陳正，佐藤茂秋：複雑性尿路感染症に対する BO-2727 の臨床用量の検討．西日泌尿 59，629-63（1997）

鈴木基文，藤田喜一郎，山田 徹，浜寄公久，山崎 哲，石塚英司，井上滋彦，平野美和，

岸 洋一：異時性両側性精巣腫瘍の 1 例．西日泌尿 59，202-205（1997）

川本正吾，江原英俊，安田 満，仲野正博，高橋義人，林 秀治，石原 哲，栗山 学，河田幸道，兼松 稔，野尻 真：静脈瘤破裂をきたした内シャント感染の 2 例．臨透 13，391-394（1997）

高橋義人，栗山 学，山田伸一郎，藤本佳則，竹内敏視，土井達朗，酒井俊助，磯貝和俊，兼松 稔，林 秀治，藤広 茂，長谷川義和，江原英俊，前田真一，伊藤文雄，小林 覚，堀江正宣，松田聖士，武田明久，鄭 漢彬，河田幸道：表在性膀胱腫瘍の術後膀胱内注入療法 of 臨床的検討．癌と化療 24，1817-1819（1997）

今井強一，山中英壽，久保田 裕，三木 誠，伊藤貴章，赤座英之，内田克紀，穎川 晋，栗山 学，渡邊 決，沖原宏治，古武敏彦，宇佐美道之，荒井陽一，前田 浩，鷺山和幸，齋藤 泰，酒井英樹，志田圭三：E プレート PSA‘栄研’の基礎的検討および正常値設定に関する検討．医学と薬学 38，421-427（1997）

栗山 学，河田幸道：新しい EIA 法による前立腺特異抗原測定法を用いた前立腺癌の鑑別診断における有用性について．医学と薬学 38，1267-1272（1997）

守殿貞夫，荒川創一，広瀬崇興，押 正也，坂 義人，公文裕巳，松本哲朗，小川暢也，渡辺邦友：複雑性尿路感染症に対する Cefluprenam と Ceftazidime の薬効比較試験．薬理と治療 25，283-306（1997）

出口 隆，安田 満，宇野雅博：尿路性器感染症における Mycoplasma genitalium の病原性．日本マイコプラズマ学会雑誌 24，37-40（1997）

石原 哲：上部尿路感染症 - 病因と治療：コメント．Therapeutic research 18，3848-3849（1997）

竹内敏視，蓑島謙一，谷口光宏，酒井俊助：前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺電気蒸散術（transurethral electrovaporization of prostate：TVP）の経験．岐阜県医師会医誌 10，173-178（1997）

岩田英樹，長谷川義和：ステロイドが著効を示した後腹膜線維症の 1 例．岐阜県医師会医誌 10，349-352（1997）

多田晃司：Polymerase chain reaction 法による *Ureaplasma urealyticum* の検出法の開発と男子尿道炎診断への応用．岐阜大医紀 45，1-9（1997）

川本正吾：ヒト腎癌由来培養細胞株における P-glycoprotein の発現と抗癌剤多剤耐性との関連性及び P-glycoprotein 由来の多剤耐性克服の検討．岐阜大医紀 45，279-285（1997）

宇野雅博：Mycoplasma genitalium の男子非淋菌性尿道炎における病原的意義．岐阜大医紀 45，286-291（1997）

谷口光宏：膀胱癌に対する化学療法の効果の予測およびモニタリングにおけるポリアミン測定の有用性の検討．岐阜大医紀 45，340-345（1997）

斉藤昭弘：計算盤を用いた膿尿の定量的検査法の検討．岐阜大医紀 45，366-372（1997）

岩田英樹：Polymerase chain reaction 法による男子非淋菌性尿道炎患者からの Mycoplasma 属の検出．岐阜大医紀 45，396-400（1997）

原田吉将：慢性複雑性膀胱炎における尿中 antibody coated bacteria (ACB) の臨床的検討．岐阜大医紀 45，401-405（1997）

江原英俊：内分泌療法による前立腺間質細胞でのエストロゲン受容体発現の増加．岐阜大医紀 45，380-384（1997）

上野一哉：前立腺癌における血清 PSA-1-antichymotrypsin 複合体測定の臨床的意義．岐阜大医紀 45，373-379（1997）

西田泰幸：膀胱癌における in situ hybridization 法を用いた 7，11 および 17 番染色体数異常の臨床病理学的意義に関する研究．岐阜大医紀 45，385-395（1997）

河村 毅：Staphylococcus haemolyticus 臨床分離株における gyrA 遺伝子変異の検討．岐阜大医紀 45，359-365（1997）

兼松 稔：慢性腎不全患者の透析導入時における治療法の選択について 患者の意識調査の検討．羽島市民病紀 6，63-71（1997）

永井 司, 兼松 稔: 精巢類表皮嚢胞の 1 例 . 羽島病紀 6 , 105-111 ( 1997 )

根笹信一, 藤広 茂: コンパクト型衝撃波破碎装置を用いた尿路結石の治療 . 岐阜赤十字病医学雑誌 9 , 17-21 ( 1997 )

藤広 茂, 根笹信一, 西野好則: 岐阜赤十字病院泌尿器科における 1991 年 ~ 1996 年の悪性腫瘍統計 . 岐阜赤十字病医誌 9 , 23-27 ( 1997 )

前田真一, 玉木正義, 仲野正博, 山本直樹, 河田幸道: 尿路結石症に対する ESWL の治療成績 . トヨタ医報 7 , 31-36 ( 1997 )

栗山 学, 河田幸道, 荒井陽一, 前田 浩, 潁川 晋, 小柴 健, 今井強一, 山中英寿: PSA 軽度上昇症例における free to total PSA ratio の意義に関する共同研究 . 泌尿外 11 , 639-643 ( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国内 )

Tada K , Deguchi T , Kato N , Kawada Y : Detection of Ureaplasma urealyticum in urethral swab samples from asymptomatic men and men with urethritis by a polymerase chain reaction-based assay . J Infect Chemother 2 , 209-212 ( 1996 )

Ehara H , Deguchi T , Koji T , Yang M , Ito S , Kawada Y , Nakane P . K : Autoclave antigen retrieval technique for immunohistochemical staining of androgen receptor in formalin-fixed paraffin sections of human prostate . Acta Histochem Cytochem 29 , 311-318 ( 1996 )

Nishiyama T , Kishi K , Deguchi T , Mukaiyama T , Terunuma M : High-dose chemotherapy with peripheral blood stem-cell transplantation for hormone-refractory advanced carcinoma of the prostate : experience of two cases . Int J Urol 3 , 320-323 ( 1996 )

Shintaku I , Ono Y , Katoh N , Takeda A , Ohshima S : Anterior urethral diverticulum produced by Cowper's gland duct cyst . Int J Urol 3 , 412-413 ( 1996 )

Kuriyama M , Obata K , Miyagawa Y , Nishikawa E , Koide T , Takeda A , Komeda Y , Kanbayashi T , Nakano M , Miyake K : Serum prostate specific antigen values for the prediction of clinical stage and prognosis in patients with prostate cancer , An analysis of 749 cases . Int J Urol 3 , 462-467 ( 1996 )



Hirose Y , Tanaka T , Makita H , Yang M , Satoh K , Hara A , Maeda M , Baba H , Toriyama H . B , H Mori , Tsuda H : Suppressing Effects of 6- ( 2 , 5-Dichlorophenyl ) -2 , 4-diamino-1 , 3 , 5-triazine and related synthetic compounds on azoxymethane-induced aberrant crypt foci in rat colon . *Jpn J Cancer Res* 87 , 549-554 ( 1996 )

Takeda A , Ono Y , Katoh N , Yamada S , Mizutani K , Shintaku I , Yokoi S , Ohshima S : Efficacy of the retroperitoneal approach for laparoscopic surgery . *Jpn J Endourol ESWL* 9 , 85-89 ( 1996 )

Ushio Y , Yamamoto N , Sanchez-Bueno A , Yoshida R : Failure to Reject an Allografted Tumor after Elimination of Macrophage in Mice . *Microbiol Immunol* 40 , 489-498 ( 1996 )

Kawamoto S , Deguchi T , Nezasa S , Yamada S , Okano M , Kawada Y : Detection of low-level expression of p-glycoprotein in ACHN renal adenocarcinoma cells . *Jpn J Cancer Res* 87 , 475-479 ( 1996 )

Yasuda M , Deguchi T , Uno M , Tada K , Komeda H , Ezaki T , Kawada Y : Development of clinical application of a polymerase chain reaction-based assay for detecting *Bacteroides ureolyticus* . *J Infect Chemother* 3 , 150-153 ( 1997 )

Nakamura T , Mohri H , Shimazaki M , Ito Y , Ohnishi T , Nishino Y , Fujihira S , Shima H , Matsushita T , Yasuda M , Moriwaki H , Muto Y , Deguchi T : Esophageal metastasis from prostate cancer : Diagnostic use of reverse transcriptase-polymerase chain reaction for prostate-specific antigen . *J Gastroenterol* 32 , 236-240 ( 1997 )

Kuriyama M , Ueno K , Uno H , Kawada Y , Akimoto S , Noda M , Nasu Y , Tsushima T , Ohmori H , Sakai H , Saito Y , Meguro N , Usami M , Kotake T , Suzuki H , Arai Y , Shimazaki J : Clinical evaluation of serum prostate-specific antigen-1-antichymotrypsin complex values in diagnosis of prostate cancer; A cooperative study . *Int J Urol* 5 , 48-54 ( 1998 )

Ishihara S , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Deguchi T , Ban Y , Kawada Y : Significance of *Stenotrophomonas maltophilia* in urinary tract infections . *J Infect Chemother* 4 , 20-23 ( 1998 )

Nakano M , Deguchi T , Ishihara S , Yasuda M , Nishino Y , Ozeki S , Kawada Y : Antimicrobial activity of a new fluoroquinolone , DU-6859a , against quinolone-resistant clinical isolates of *Pseudomonas aeruginosa* with genetic alterations in the GyrA subunit of DNA gyrase and the

ParC subunit of topoisomerase IV . J Infect Chemother 4 , 142-144 , 1998

**原著 ( 欧文・国外 )**

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Kanematsu E , Kawada Y , Ezaki T , Saito I : Uncommon occurrence of mutations in the gyrB gene associated with quinolone resistance in clinical isolates of Neisseria gonorrhoeae . Antimicrob Agents Chemother 40 , 2437-2438 , ( 1996 )

Uno H , Deguchi T , Komeda H , Yasuda M , Tamaki M , Maeda S , Saito I , Kawada Y : Prevalence of Mycoplasma genitalium in men with gonococcal urethritis . Int J STD AIDS 7 , 443-444 ( 1996 )

Deguchi T , Yasuda M , Uno M , Tada K , Iwata H , Komeda H , Maeda S , Latila V , Saito I , Kawada Y : Comparison among performances of a ligase chain reaction-based assay and two enzyme immunoassays in detecting Chlamydia trachomatis in urine specimens from men with nongonococcal urethritis . J Clin Microbiol 34 , 1708-1710 ( 1996 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Ezaki T , Maeda S , Saito I , Kawada Y : Rapid detection of point mutations of the Neisseria gonorrhoeae gyrA gene associated with decreased susceptibilities to quinolones . J Clin Microbiol 34 , 2255-2258 ( 1996 )

Takikawa O , Oku T , Ito N , Ushino Y , Yamamoto N , Yoneda Y , Tsuji J , Sanchez-Bueno A , Verkusha V , Yoshida R : Multiple expression of Iy-6c and accumulation of a Iy-6c pre-m RNA in activated macrophages involved in rejection of an allografted tumor . 226 , 247-253 ( 1996 )

Deguchi T , Gilroy C . B , Taylor-Robinson D : Failure to detect Mycoplasma fermentans , Mycoplasma penetrans , or Mycoplasma pirum in the urethra of patients with acute nongonococcal urethritis . Eur J Clin Microbiol Infect Dis 15 , 169-171 ( 1996 )

Kanematsu M , Hoshi H , Imaeda T , Yamawaki Y , Ueno K , Yasuda M , Kuriyama M , Shimokawa K : Renal pelvic and ureteral carcinoma with huge hydronephrosis , US , CT , and MR findings . Rad Med 14 , 321-323 ( 1996 )

Nagai T , Kuriyama M , Kawada Y : Oxidative metabolism of polymorphonuclear leukocytes in continuous ambulatory peritoneal dialysis . Peritoneal Dialysis International 17 , 167-174

( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Kanematsu E , Ozeki S , Ishihara S , Saito I , Kawada Y : Antimicrobial activity of a new fluoroquinolone , DU-6859a , against quinolone-resistant clinical isolates of *Neisseria gonorrhoeae* with genetic alterations in the GyrA subunit of DNA gyrase and the ParC subunit of topoisomerase IV . *J Antimicrob Chemother* 39 , 247-249 ( 1997 )

Deguchi T , Fukuoka A , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Kanematsu E , Nishino Y , Ishihara S , Ban Y , Kawada Y : Alterations in the GyrA subunit of DNA gyrase and the ParC subunit of topoisomerase IV in quinolone-resistant clinical isolates of *Klebsiella pneumoniae* . *Antimicrob Agents Chemother* 41 , 699-701 ( 1997 )

Uno M , Deguchi T , Saito A , Yasuda M , Komeda H , Kawada Y : Prevalence of *Mycoplasma genitalium* in asymptomatic men in Japan . *Int J STD AIDS* 8 , 259-260 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Kanematsu E , Ozeki S , Nishino Y , Ezaki T , Maeda S , Saito I , Kawada Y : Rapid screening of point mutations of the *Neisseria gonorrhoeae* parC gene associated with resistance to quinolones . *J Clin Microbiol* 35 , 948-950 ( 1997 )

Nakano M , Ishihara S , Deguchi T , Kuriyama M , Kawada Y : Fluoroquinolone associated bladder stone . *J Urol* 157 , 946 ( 1997 )

Deguchi T , Yang M , Ehara H , Ito S , Nishino Y , Takahashi Y , Ito Y , Shimokawa K , Tanaka T , Imaeda T , Doi T , Kawada Y : Detection of micrometastatic prostate cancer cells in the bone marrow of patients with prostate cancer . *Br J Cancer* 75 , 634-638 ( 1997 )

Kanematsu E , Matsui H , Deguchi T , Yamamoto O , Korematsu M , Kobayashi A , Nezasa S , Yamamoto N , Takeuchi T , Kawada Y : Significance of AgNOR counts for distinguishing carcinoma from adenoma and hyperplasia in parathyroid gland . *Hum Pathol* 28 , 421-427 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Kanematsu E , Fukuda H , Maeda S , Kawada Y : Comparison of in vitro antimicrobial activity of AM-1155 , a new fluoroquinolone , with those of tosufloxacin and fleroxacin against clinical isolates of *Neisseria gonorrhoeae* harboring quinolone resistance alterations in GyrA and ParC . *Chemotherapy ( Basel )* 43 ,

239-244 ( 1997 )

Uno M , Deguchi T , Komeda H , Hayasaki M , Iida M , Nagatani M , Kawada Y : Mycoplasma genitalium in the cervixes of Japanese women . Sex Transm Dis 24 , 284-286 ( 1997 )

Deguchi T , Saito I , Tanaka M , Sato K , Deguchi K , Yasuda M , Nakano M , Nishino Y , Kanamatsu E , Ozeki S , Kawada Y : Fluoroquinolone treatment failure in gonorrhoea : Emergence of a Neisseria gonorrhoeae strain with enhanced resistance to fluoroquinolones . Sex Transm Dis 24 , 247-250 ( 1997 )

Ozeki S , Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Nishino Y , Kawada Y : Development of a rapid assay for detecting gyrA mutations in Escherichia coli and determination of incidence of gyrA mutations in clinical strains isolated from patients with complicated urinary tract infections . J Clin Microbiol 35 , 2315-2319 ( 1997 )

Deguchi T , Kawamura T , Yasuda M , Nakano M , Fukuda H , Kato H , Kato N , Okano Y , Kawada Y : In vitro selection of Klebsiella pneumoniae strains with enhanced quinolone resistance during fluoroquinolone treatment of urinary tract infections . Antimicrob Agents Chemother 41 , 1609-1611 ( 1997 )

Nakano M , Deguchi T , Yasuda M , Kimura M , Okano Y , Kawada Y : Mutations in the gyrA and parC genes in fluoroquinolone-resistant clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa . Antimicrob Agents Chemother 41 , 2289-2291 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Ishihara S , Takahashi Y , Okezaki E , Nagata O , Saito I , Kawada Y : In-vitro antimicrobial activity of HSR-903 , a new fluoroquinolone , against clinical isolates of Neisseria gonorrhoeae with quinolone resistance-associated alterations in GyrA and ParC proteins . J Antimicrob Chemother 40 , 437-439 ( 1997 )

Nishino Y , Deguchi T , Yasuda M , Kawamura T , Nakano M , Kanematsu E , Ozeki S , Kawada Y : Mutations in the gyrA and parC genes associated with fluoroquinolone resistance in clinical isolates of Citrobacter freundii . FEMS Microbiol Lett 154 , 409-414 ( 1997 )

Deguchi T , Yang M , Takahashi Y , Kawada Y , Doi T : Prostate cancer micrometastases to lymph nodes . Urology 50 , 826-827 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Nakano M , Ozeki S , Kanematsu E , Nishino Y , Ishihara S , Kawada Y : Detection of mutations in the gyrA and parC genes in quinolone-resistant clinical isolates of *Enterobacter cloacae* . J Antimicrob Chemother 40 , 543-549 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Kawamura T , Nakano M , Ozeki S , Kanematsu E , Nishino Y , Kawada Y : Improved antimicrobial activity of DU-6859a , a new fluoroquinolone , against quinolone-resistant *Klebsiella pneumoniae* and *Enterobacter cloacae* isolates with alterations in GyrA and ParC proteins . Antimicrob Agents Chemother 41 , 2544-2546 ( 1997 )

Ehara H , Takahashi Y , Saitoh A , Kawada Y , Shimokawa K , Kanemura T : Clear cell melanoma of the renal pelvis presenting as a primary tumor . J Urol 157 , 634 ( 1997 )

Kuriyama M , Takahashi Y , Sahashi M , Ono Y , Oshima S , Tanaka T , Shimizu S , Miyake K , Kawada Y : Prospective and randomized evaluation of endocrine-chemo combination therapy for initial treatment of prostate cancer . Br J Urol 80 , 279 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Kawamura T , Takahashi Y , Okezaki E , Nagata O , Kato H , Kawada Y : In-vitro antimicrobial activity of HSR-903 , a new fluoroquinolone , against clinical isolates of *Klebsiella pneumoniae* and *Enterobacter cloacae* with fluoroquinolone resistance-associated amino acid alterations in GyrA and ParC . J Antimicrob Chemother 40 , 907-909 ( 1997 )

Kawada Y , Kanimoto Y : Response of *Escherichia coli* to fleroxacin in an in vitro model of the urinary bladder . Infectiology 11 , 84-88 ( 1997 )

Jones R . N , Barrett M . S , Deguchi T : Antimicrobial activity of trovafloxacin tested against ciprofloxacin-susceptible and -resistant *Neisseria gonorrhoeae* . Interpretive criteria and comparisons with Etest results . Diagn Microbiol Infect Dis 28 , 193-200 ( 1997 )

Kawamoto S , Deguchi T , Nezasa S , Yamada S , Okano M , Kawada Y : Correlation of expression levels of P-glycoprotein with resistance to adriamycin in renal adenocarcinoma cell line . Urol Res 25 , 407-412 ( 1997 )

Yang M , Tanaka T , Hirose Y , Deguchi T , Mori H , Kawada Y : Chemopreventive effects of diosmin and hesperidin on N-butyl-N- ( 4-hydroxybutyl ) nitrosamine-induced urinary-bladder carcinogenesis in male ICR mice . Int J Cancer 73 , 719-724 ( 1997 )

Deguchi T , Yasuda M , Maeda S , Saito I , Kawada Y : Serotyping of quinolone-resistant *Neisseria gonorrhoeae* isolates with alterations in GyrA and ParC . *J Antimicrob Chemother* 41 , 418-420 ( 1998 )

Uno M , Deguchi T , Ehara H , Ishihara S , Kobayashi S : Prostatic cancer in a man who underwent a bilateral orchiectomy 30 years ago . *Br J Urol* 81 , 506-507 ( 1998 )

Kanematsu E , Deguchi T , Yasuda M , Kawamura T , Kawada Y : Alterations in the GyrA subunit of DNA gyrase and the ParC subunit of DNA topoisomerase IV associated with quinolone resistance in *Enterococcus faecalis* . *Antimicrob Agents Chemother* 42 , 433-435 ( 1998 )

Maeda S , Tamaki M , Nakano M , Uno M , Deguchi T , Kawada Y

## 神経精神医学講座

### 著書（和文）

小出浩之：分裂病性欠陥について - 想像的同一化と現実的同一化 - ，分裂病の精神病理と治療 7 経過と予後，市橋秀夫編，東京，星和書店，1996，241-262

小出浩之：人工的な自明性のネガシオ - 死の欲動と種の生命 - ，分裂病論の現在，花村誠一、加藤 敏編，東京，弘文堂，1996，93-114

小出浩之：破瓜型（解体型）分裂病，臨床精神医学講座 3、精神分裂病・，中根・小山・丹羽・中安編，東京，中山書店，1997，27-40

小出浩之：破瓜型分裂病，今日の精神科治療指針，大原・広瀬監修，東京、星和書店，1997，22-24

高岡 健：私の処方 - インターフェロン療法に伴う精神症状の治療 - ，精神分裂病治療における私の処方 ，大阪，診療新社，1996，112-115

高岡 健：結婚・離婚・再婚・シングル論，宮迫千鶴、高岡 健、富 哲也、浜田寿美男、小林昌広，大阪，るな書房，1997

高岡 健：不登校を解く．門眞一郎、高岡 健、滝川一廣，京都，ミネルヴァ書房，1998

高木千浩：鎮咳薬依存，精神科ケースライブラリーⅣ アルコール・薬物の依存と中毒，高木千浩，山田堅一，東京，中山書店，1998，251-262

伊藤嘉浩：災害後の心のケア，検証 災害とは何か，後藤俊夫編，名古屋，新日本法規出版，1997，213-226

伊藤嘉浩：介護とインフォームド・コンセント，高齢者および知的障害者の権利譲渡に関する調査研究報告，東京，長寿社会開発センター，1997，3-5

伊藤嘉浩：意思能力について，高齢者および知的障害者の権利譲渡に関する調査研究報告，東京，長寿社会開発センター，1997，16-19

伊藤嘉浩：意思能力の判定について，高齢者および知的障害者の権利譲渡に関する調査研究報告，東京，長寿社会開発センター，1997，20-22

伊藤嘉浩：オーストラリア・ニュージーランドにおける医療福祉，高齢者および知的障害者の権利譲渡に関する調査研究報告，東京，長寿社会開発センター，1997，62-69

伊藤嘉浩：オーストラリア・ニュージーランド病院訪問記，高齢者および知的障害者の権利譲渡に関する調査研究報告，東京，長寿社会開発センター，1997，104-106

### 総説（和文）

小出浩之：精神病理学と心理学．第24回日本医学界総会会誌，552-553（1996）

高岡 健：＜境界＞の精神医学 診断行為論．ら・るな 3巻 28-34（1996）

高岡 健，高田知二：セクシャル・ハラスメント．Medicina 33巻 1770-1771（1996）

高岡 健：英国の精神保健法とコミュニティケア．ぎふ精神保健 34（1）81-85（1997）

高田知二、高木千浩、野寄 理、吉田 優、高岡 健：日本におけるインターフェロン療法に伴う精神症状・文献的検討．総合病院精神医学 8巻 20-28（1996）

田村純子、高岡 健：児童虐待の実態と対策．教育と医学 45（9）832-842（1997）

伊藤嘉浩：意思能力の判定について．高齢者の人権と財産権擁護の新次元 32-43（1996）

### 総説（欧文・国内）

Takaoka K，Takata T：Change in studies of school refusal：a comparison between U．K and Japan．IMJ 4 81-85（1997）

Nozaki O，Takagi C，Takata T，Yosida M，Takaoka K：Psychiatric manifestations accompanying interferon therapy for patients with chronic hepatitis C：An overview of cases in Japan Psychiatry and Clinical Neurosciences 51 175-180（1997）

Takata T，Takagi C，Nozaki O，Takaoka K，Yosida M：Prevention and Treatment of Interferon-Induced Mental Disorders：An Overview of Cases in Japan 5（2）135-141（1998）



## 原著（和文）

高岡 健、森 貞子、柴田昭彦：うつ状態の後に anorexia nervosa と不登校を残した 1 症例．小児の精神と神経 36，173-179（1996）

植木啓文：S L E による二次性躁病の 1 症例 - 発症と経過についての精神医学的検討 - 臨床精神医学 25，1591-1597（1996）

飯田 眞，横山知行，佐藤 新，大橋正和，市川 潤，植木啓文：双生児研究からみた躁うつ病の発症モデル．P H A R M A M E D I C A 15，27-34（1997）

植木啓文、深尾 琢、上松正幸、児玉佳也、高井昭裕：大うつ病エピソードの経過と感情表出との関連についての検討．精神医学 40，23-30（1998）

小川直志、植木啓文、野口耕司、吉村 剛、井上真人、寺田佳代：老年期の大腿骨骨頭骨折患者をめぐるリエゾン精神医学的問題．精神科治療学 13，93-99（1998）

高田知二、児島一樹、高岡 健：精神遅滞者の非定型精神病．臨床精神医学 25，689-696（1996）

高田知二、渡会龍一、藤川昭彦、安立富明：ある円形脱毛症の治癒過程 - そのオートポイエーシス論的理解を目指して - 岐阜赤十字病院医学雑誌 8，20-28（1996）

高田知二、小出浩之：産褥精神病の心的力動．臨床精神病理 25，231-243（1996）

高田知二、磯村陽子、高岡 健、池田哲朗、寺田龍也、加藤芳幸、鈴木 隆：冠攣縮性狭心症とパニック障害を伴う 1 例．精神科治療学 12，805-810（1997）

高田知二、高岡 健：若年者のうつ病における持続的葛藤状況に対する検討．臨床精神医学 26，1483-1488（1997）

## その他

小出浩之：「健康なこころ」の幻想：岐大ひろば v o l . 27 p7（1996）

小出浩之：「死の恐怖を訴える閉所恐怖症の中年男性との面接」(松本由紀子著)へのコメント：京都大学教育学部心理教育相談室紀要・臨床心理事例研究 22（1995）p176-177

小出浩之：巻頭言：「実証君」と「直感君」の会話：精神医学 39（5），p454-455（1997）

小出浩之：初老期の精神保健：ぎふ精神保健 34（2），p2-3（1997）

高岡 健：ポスターセッション演題11～12に対するコメント：児精医誌 37巻 p205（1996）

高岡 健：ポスターセッションについて：児精医誌 37巻 p216（1996）

高岡 健：倫敦で見た独立系邦画の精神：地球の子ども舎通信 21巻 p7-8（1996）

高岡 健：一般演題「神経症」について：児精医誌 38巻 p175-176（1997）

植木啓文：E Eと単極性うつ病の経過について：平成7年度厚生省精神・神経疾患研究委託費研究報告集 p61（1996）

田中生雅：土岐総合病院における診療の実態：無床総合病院精神科における機能的現状と課題，土岐市立総合病院年報 9：9-14（1997）

清水章子：精神保険福祉愛知 1996，39-53（1997）

## 小児科学講座

### 著書（和文）

近藤直実：アレルギーと IL-2，アレルギーとサイトカイン，宮本昭正・石川 哮ら編，大阪，医薬ジャーナル社，1996． 34-40

近藤直実：食物アレルギー喘息発症予防，小児気管支喘息の予防・診断・治療，宮本昭正編，東京，現代医療社，1996． 39-53

近藤直実：食品アレルギー対策ハンドブック，上野川修一・近藤直実編，東京，サイエンスフォーラム，1996． 1-491

近藤直実：食品アレルギーの臨床的諸問題，食品アレルギー対策ハンドブック，上野川修一・近藤直実 編，東京，サイエンスフォーラム，1996． 19-22

近藤直実：アレルギーを起こしやすい体質，素因，食品アレルギー対策ハンドブック，上野川修一・近藤直実 編，東京，サイエンスフォーラム，1996． 60-73

近藤直実：血液検査(3)，リンパ球の反応，食品アレルギー対策ハンドブック，上野川修一・近藤直実 編，東京，サイエンスフォーラム，1996． 113-128

近藤直実：診断の実際，食品アレルギー対策ハンドブック，上野川修一・近藤直実 編，東京，サイエンスフォーラム，1996． 151-165

折居忠夫，戸松俊治，祐川和子：ムコ多糖症，最新内科学大系 11，代謝疾患 6，ミトコンドリア病リソソーム病（井村裕夫等編，中山書店），1996． 247-268

鈴木康之，橋本 隆，折居忠夫：疾患とペルオキシソーム，井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎（編），最新内科学大系 11，ミトコンドリア病，リソソーム病．中山書店，1996． 335-339

鈴木康之，橋本 隆，折居忠夫：脳肝腎症候群（Zellweger 症候群），井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎（編），最新内科学大系 11，ミトコンドリア病，リソソーム病．中山書店，1996． 340-343

小林由季,篠田紳司,近藤直実:食品アレルギーの予知,リンパ球反応を中心に食品アレルギー対策ハンドブック,上野川修一・近藤直実 編,東京,サイエンスフォーラム,1996. 211-223

新原光喜,縣 裕篤,近藤直実:経口免疫寛容(2),臨床からアプローチ,食品アレルギー対策ハンドブック,上野川修一・近藤直実 編,サイエンスフォーラム,1996. 413-423

近藤直実,篠田紳司:アレルギー疾患における DHA の効果,食品アレルギー対策ハンドブック,上野川修一・近藤直実 編,東京,サイエンスフォーラム,1996. 424-436

近藤直実:アレルギーと遺伝,今日の治療,小児のアレルギー疾患,古川 漸 編,大阪,永井書店,1996. 17-28

近藤直実:薬物アレルギー,今日の治療,小児のアレルギー疾患,古川 漸 編,大阪,永井書店,1996. 138-146

近藤直実:小児の気管支喘息,今日の治療指針,稲垣義明・多賀須幸男ら編,東京,医学書院,1997. 785-786

近藤直実:Ataxia telangiectasia における悪性リンパ腫と白血病の発症,Annual Review 血液 1997,高久史磨・宮崎澄雄ら編,東京,中外医学社,1997. 177-184

近藤直実:Ataxia telangiectasia と ATM 遺伝子,Annual Review 神経 1997,後藤文男・高倉公朋ら編,東京,中外医学社,1997. 282-287

近藤直実:蕁麻疹,小児科学,白木和夫・前川喜平ら編,東京,医学書院,1997. 766-767

近藤直実:アトピー性皮膚炎,小児科学,白木和夫・前川喜平ら編,東京,医学書院,1997. 767-773

近藤直実:免疫疾患,標準小児科学,前川喜平・辻 芳郎ら編,東京,医学書院,1997. 251-269

近藤直実:原発性免疫不全症候群,(1)抗体不全を主とする疾患,現代内科学,黒川 清・齋藤英彦ら編,京都,金芳堂,1997. 1656-1661

鈴木康之：Zellweger 症候群，小児科学，白木和夫・前川喜平編，東京，医学書院，1997．  
291-294

鈴木康之：酸化酵素欠損症，小児科学，白木和夫・前川喜平編，東京，医学書院，1997．  
296-297

近藤直実：食物アレルギーの診断と治療，小児の発熱，アレルギー，喘息の診断と治療，第  
1 版，真興交易 編，東京，真興交易，1998． 27-50

近藤直実：IgE 抗体産生，アレルギー - 疾患イラストレイテッド，森田 寛・永倉俊和編，東  
京，メディカルレビュー - 社，1998． 120-124

近藤直実：アトピーと IgE 遺伝子，分子アレルギー学，富岡玖夫ら編，東京，メディカルビ  
ュー社，1998． 435-445

近藤直実：15 章 アレルギー性疾患，New 小児科学，東京，南江堂（印刷中）

鈴木康之：先天代謝異常症，今日の産婦人科治療指針第 2 版，武田佳彦，武谷雄二編，東  
京，医学書院（印刷中）

鈴木康之：学会に行こう，小児科研修医ノート．柳澤正義編，東京，診断と治療社（印刷中）

鈴木康之：サンドホフ病，ツェルベーター症候群，プロピオン酸血症， - ケトチオラーゼ  
欠損症，リソソーム蓄積症．医学大辞典，伊藤正男，井村裕夫，高久史磨編，東京，医学  
書院（印刷中）

#### 著書（欧文）

Kondo N：Corticosteroids present and future use．In：Current Advances in Pediatric Allergy  
and Clinical Immunology．Shinomiya K ed，Churchill Livingstone，New York，1996．119-  
120

Agata H，Naiki Y，Shinoda S，Fukao T，Kaneko H，Shinbara M，Fukutomi O，Kondo N：  
Glucocorticoid effects in asthma at a molecular level．In：Current Advances in Pediatric  
Allergy and Clinical Immunology．Shinomiya K ed，Churchill Livingstone，New York，1996．  
87-93

Fukutomi O ,Kato Z ,Yamazaki M ,Shinoda S ,Agata H ,Inoue R ,Kondo N : Administration protocol for theophylline .In : Current Advances in Pediatric Allergy and Clinical Immunology . Shinomiya K ed , Churchill Livingstone , New York , 1996 . 197-203

Kondo N : The role of helper T lymphocytes in food allergy . In : Progress in Allergy and Clinical Immunology 4 . Oehling A K , Huerta Lopez J G ed , Hogrefe & Huber Publishers Seattle , Cancu ´ n , 1997 . 61-64

Suzuki Y , Orii T : Peroxisomal Disorders . Zellweger syndrome and adrenoleukodystrophy . In : Clinical Studies in Medical Biochemistry . Glew R H , Ninomiya Y ed , Oxford University Press , New York , 1997 . 247-259

### 総説（和文）

近藤直実：食物アレルギーの診断．Medico 27（2），6-12（1996）

近藤直実：アレルギーの日常診療．岐阜県医師会医学雑誌 9（1），3-10（1996）

近藤直実：抗けいれん薬（エトスクシミド）により誘発されたと考えられる SLE 様症状，副作用症例データベース．診断と治療 84 増刊号，152（1996）

近藤直実：抗けいれん薬（プリミドン）によると考えられる低 IgA 血症の 1 例，副作用症例データベース．診断と治療 84 増刊号，153（1996）

近藤直実：アミノフィリン製剤中に含まれるエチレンジアミンにより誘導されたと考えられる気管支喘息発作の憎悪の 1 例，副作用症例データベース．診断と治療 84 増刊号，335（1996）

近藤直実：IgE 産生遺伝子．喘息 9（3），45-52（1996）

福富 悌，篠田紳司，近藤直実，縣 裕篤，近藤富雄：食物アレルギーと自律神経異常．アレルギーの臨床 16（5），26-35（1996）

鈴木康之，下澤伸行：ペルオキシソーム病，組織培養，22（3），111-115（1996）

鈴木康之：Zellweger 症候群および類縁疾患，小児内科（増刊）小児疾患の病態生理 1，28，449-453（1996）

鈴木康之：先天性脂質代謝異常症，周産期医学（増刊）周産期医学必修知識，26，518-519（1996）

鈴木康之：先天性有機酸代謝異常症，周産期医学（増刊）周産期医学必修知識，26，520-522（1996）

下澤伸行，鈴木康之：極長鎖脂肪酸，小児の臨床検査指針，小児科診療 59 増刊号，171-173（1996）

祐川和子，岩田晶子，国立三恵，近藤直実，折居忠夫：尿中ムコ多糖，小児科診療，59，増刊号，166-168（1996）

高橋幸利：尿中オリゴ糖，小児科診療，59，増刊号，168-171（1996）

祐川和子，福田誠司，折居忠夫：遺伝性ムコ多糖症，小児内科，28，399-406（1996）

福田誠司，戸松俊治，祐川和子，山岸篤至，Golam Md．Maruf Rezvi，加藤善一郎，山田直人，磯貝光治，近藤直実，折居忠夫：ムコ多 糖症の遺伝子レベルでの病因解析．日本先天代謝異常学会誌 12（1），35-41（1996）

深尾敏幸，金子英雄，近藤直実：T-cell，B-cell．小児科診療 59（sup），364-366（1996）

近藤直実：喘息治療薬の使い方，ステロイド．小児科 38（1），17-25（1997）

近藤直実：Ataxia telangiectasia の責任遺伝子 ATM．医学のあゆみ 180，226-227（1997）

近藤直実：ATM 遺伝子(ataxia telangiectasia mutated gene)．医学のあゆみ 181，604（1997）

下澤伸行，福田誠司，鈴木康之，近藤直実，藤木幸夫，塚本利朗，大隅 隆：遺伝性ペルオキシソーム欠損症の遺伝子解析 実験医学 15，136-138（1997）

近藤直実：小脳失調と毛細血管拡張を伴う免疫不全症候群．小児内科 29 増刊号，1007-1011（1997）

伊上良輔，金子英雄，近藤直実：Chediak-Higashi 症候群．小児内科 29 増刊号，1050-1054

( 1997 )

近藤直実, 深尾敏幸, 吉田任子, 寺本貴英, 田下秀明, 金子英雄 : Ataxia terangiectasia の病因 . 小児内科 29 増刊号 , 963-968 ( 1997 )

近藤直実 : 食物アレルギーの診断と除去食療法の適応 . アレルギーの領域 4 , 22-29 ( 1997 )

近藤直実, 金子英雄 : ヘリカーゼと発癌 . 血液・腫瘍科 34 , 466-476 ( 1997 )

近藤直実 : 気管支喘息 . 小児科診療 7 , 1167-1173 ( 1997 )

近藤直実 : ATM 遺伝子 . 医学のあゆみ 182 , 63-68 ( 1997 )

近藤直実 : 食物アレルギーと負荷試験 . アレルギー科 4 , 97-106 ( 1997 )

近藤直実 : アトピーの遺伝子と IgE 産生の分子遺伝学 . アレルギーの臨床 17 , 71-72 ( 1997 )

近藤直実, 深尾敏幸, 寺本貴英, 笠原貴美子, 横山由香里 : アトピーの遺伝子と IgE 産生調節の異常 . 呼吸 16 , 1224-1232 ( 1997 )

近藤直実 : 非即時型アレルギー . Medico 28 , 13-17 ( 1997 )

近藤直実 : IgA 単独欠損症 . 医学のあゆみ 182 , 790-792 ( 1997 )

金子英雄, 深尾敏幸, 近藤直実 : 多機能遺伝子 ATM ( ataxia-telangiectasia mutated ) . 医学のあゆみ 182 , 736-740 ( 1997 )

鈴木康之, 下澤伸行, 今村 淳, 内山 温, 近藤直実 : ペルオキシソーム病の病因と診断法 . 小児科 38 , 1373-1379 ( 1997 )

近藤直実 : 食物アレルギーと遺伝 . アレルギーの領域 4 , 63-71 ( 1997 )

鈴木康之, 下澤伸行, 山口清次 : ペルオキシソーム病 . 臨床と病理 ( 増刊 ) 病理学キーワード 97 , 165 ( 1997 )

鈴木康之 : 新生児期に緊急処置を要する先天代謝異常症 . 周産期医学 ( 増刊 ) 周産期診療



指針 '97 , 574-576 ( 1997 )

深尾敏幸 : Ataxia-telangiectasia の責任遺伝子と免疫不全および発癌 , 臨床免疫 , 29 ( 1 ) , 88-94 ( 1997 )

深尾敏幸 : サクシニル-CoA : 3-ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症 アセトン血性嘔吐症との鑑別を . 小児科 , 38 , 321-326 ( 1997 )

鈴木康之 : 胸郭・脊柱・体型の異常 . 小児科診療( 増刊 ) 症候からみた小児の診断 60 suppl , 177-180 ( 1997 )

下澤伸行 : 指の奇形 . 小児科診療( 増刊 ) 症候からみた小児の診断学 60 suppl , 188-191( 1997 )

折居忠夫 , 戸松俊治 , 福田誠司 , 祐川和子 : 遺伝性ムコ多糖症 . 臨床検査 , 41 , 449-454( 1997 )

鈴木康之 : Zellweger syndrome . 診断と治療増刊 症候群辞典 1000 , 86 , 860 ( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Hunter syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 508( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Hurler syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 509( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Maroteaux-Lamy syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 516 ( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Morquio syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 519( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : pseudo-Hurler syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 522 ( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Sanfilippo syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 525( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Scheie syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 526( 1998 )

祐川和子 , 折居忠夫 : Sly syndrome . 診断と治療増刊 症候群事典 1000 , 86 , 528 ( 1998 )

深尾敏幸 : ミトコンドリアアセトアセチル-CoA チオラーゼ欠損症 . 日本臨床別冊 , 先天代

謝異常症候群，18，310-313（1998）

深尾敏幸：サクシニル-CoA：3-ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症．日本臨床別冊，  
先天代謝異常症候群，18，355-358（1998）

深尾敏幸：Ataxia-telangiectasia．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群，19，618-621（1998）

宋向前，深尾敏幸：細胞質アセトアセチル-CoA チオラーゼ欠損症．日本臨床別冊，先天代  
謝異常症候群，18，359-361（1998）

鈴木康之：ペルオキシソームアシル-CoA オキシダーゼ欠損症．日本臨床別冊，先天代謝異  
常症候群，19，322-325（1998）

鈴木康之：ペルオキシソーム二頭酵素欠損症．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群，19，326-  
327（1998）

鈴木康之：ペルオキシソーム 3-ケトアシル-CoA チオラーゼ欠損症．日本臨床別冊，先天代  
謝異常症候群，19，328-329（1998）

鈴木康之：無カタラーゼ血症，高原氏病．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群，19，330-331  
（1998）

鈴木康之：Refsum 病．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群，19，332-334（1998）

鈴木康之：その他のペルオキシソーム病．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群，19，340-341  
（1998）

今村 淳：X連鎖劣性遺伝性副腎白質ジストロフィー（ALD）．日本臨床別冊，先天代謝異  
常症候群，19，315-321（1998）

祐川和子，戸松俊治，折居忠夫，近藤直実：ムコ多糖症Ⅰ型（Hurler 症候群，Scheie 症候  
群）．日本臨床別冊，先天代謝異常症候群 19，431-434（1998）

祐川和子，戸松俊治，折居忠夫，近藤直実：ムコ多糖症Ⅱ型（Hunter 症候群）．日本臨床  
別冊，先天代謝異常症候群 19，435-438（1998）

祐川和子, 戸松俊治, 折居忠夫, 近藤直実: ムコ多糖症 III 型 ( Sanfilippo 症候群 ). 日本臨床別冊, 先天代謝異常症候群 19, 439-441 ( 1998 )

祐川和子, 戸松俊治, 折居忠夫, 近藤直実: ムコ多糖症 IV 型 ( Morquio 症候群, -galactosidase 欠損症 ). 日本臨床別冊, 先天代謝異常症候群 19, 442-445 ( 1998 )

祐川和子, 戸松俊治, 折居忠夫, 近藤直実: ムコ多糖症 VI 型 ( Maroteaux-Lamy 症候群 ). 日本臨床別冊, 先天代謝異常症候群 19, 446-448 ( 1998 )

祐川和子, 戸松俊治, 折居忠夫, 近藤直実: ムコ多糖症 VII 型 ( Sly 病 ). 日本臨床別冊, 先天代謝異常症候群 19, 449-452 ( 1998 )

下澤伸行: Zellweger 症候群 . 日本臨床別冊, 先天代謝異常症, 19, 299-304 ( 1998 )

下澤伸行: 新生児型 adrenoleukodystrophy . 日本臨床別冊, 先天代謝異常症, 19, 305-307 ( 1998 )

下澤伸行: 乳児型 Refsum 病 . 日本臨床別冊, 先天代謝異常症, 19, 308-309 ( 1998 )

下澤伸行: Rhizomelic chondrodysplasia punctata ( RCDP ). 日本臨床別冊, 先天代謝異常症, 19, 310-312 ( 1998 )

下澤伸行: DHAP-AT 欠損症および alkyl-DHAP synthase 欠損症 . 日本臨床別冊, 先天代謝異常症, 19, 313-314 ( 1998 )

近藤直実, 深尾敏幸, 金子英雄: Ataxia telangiectasia 変異タンパク ( ATM ) と c-Abl との相互作用 . 臨床免疫 30, 829-832 ( 1998 )

近藤直実: 免疫不全とアレルギー - 小児医学における遺伝子学から構造生物学へ - . 日本小児科学会雑誌 102, 631-634 ( 1998 )

近藤直実: アレルギー ( アトピー ) の遺伝子と IgE 産生の分子遺伝学 . アレルギー科 5, 93-101 ( 1998 )

近藤直実: 私は思う . Experiments of Nature, アレルギーの臨床 18, 34-35 ( 1998 )

近藤直実：IgE と IgE 抗体 . 総合臨床 47 , 445-453 ( 1998 )

近藤直実：序文 . 小児科診療 61 , 1 ( 1998 )

近藤直実：アレルギーと遺伝・遺伝子 . 小児科診療 61 , 492-499 ( 1998 )

深尾敏幸 , 伊上良輔 , 近藤直実：アラキドン酸カスケード . 小児科診療 61 , 554-559 ( 1998 )

福富 悌 , 近藤直実：自律神経と夜間発作性喘息 . 小児科診療 61 , 640-645 ( 1998 )

寺本貴英 , 伊上良輔 , 深尾敏幸 , 福富 悌 , 近藤直実：乳幼児期の重症アトピー性皮膚炎の  
2 症例 . 小児科診療 61 , 841-844 ( 1998 )

加藤善一郎 , 福富 悌 , 近藤直実：テオフィリンの副作用 . 小児科診療 61 , 846-847 ( 1998 )

金子英雄 , 福富 悌 , 近藤直実：ハイドロコルチゾンによる過敏反応 . 小児科診療 61 , 848-  
850 ( 1998 )

伊上良輔 , 近藤直実：アレルギー疾患に対する簡易式無菌装置の治療効果 . 小児科診療 61 ,  
851-855 ( 1998 )

伊上良輔 , 寺本貴英 , 深尾敏幸 , 近藤直実：参考資料 , 小児科診療 61 , 856-859 ( 1998 )

近藤直実：連鎖解析 . アレルギーの臨床 18 , 66-70 ( 1998 )

近藤直実：座長のまとめ . 小児保健研究 57 , 220-221 ( 1998 )

加藤善一郎 , 福富 悌 , 近藤直実：遊離テオフィリン . 小児科 39 , 329-333 ( 1998 )

近藤直実：アトピー遺伝子は存在するか . 臨床免疫 30 , 625-632 ( 1998 )

### 総説 ( 欧文・国外 )

Kondo N : Immunodeficiency and cancer , Asian J Surgery , 19 ( 3 ) , 166-172 ( 1996 )

Suzuki Y , Shimozawa N , Takahashi Y , Imamura A , Kondo N , Orii T : Peroxisomal disorders ,  
clinical aspects , Ann NY Acad Sci , 804 , 442-449 ( 1996 )

## 原著（和文）

石川 丹，福島直樹，富樫武弘，祐川和子，三浦 文，山口昭弘，奥芝詩子：ムコリビドーシス・型の3歳児例，臨牀小児医学 44（2），91-94（1996）

石川 丹，梅津暁子，内藤広行，福島直樹，富樫武弘，今泉寛子，山口昭弘，祐川和子，阿部 悟：Lowe 症候群 MRI T2 強調像における大脳白質高信号域の経年的変化 臨牀小児医学 44（6），291-294（1996）

大西博之，高山裕規，藤井克範，丸子俊成，佐倉伸夫，鈴木康之：神経症状を認めず，Addison病のみを主徴とした副腎脳白質ジストロフィーの1例，日本小児科学会雑誌 100（6），1123-1127（1996）

高柳俊光，青木幹弘，田川正人，角至一郎，津留 陽，田中博弥，福田雅文，吉永宗義，松本 正，辻 芳郎，深尾敏幸，渡辺宏雄：重篤な新生児慢性肺疾患の経過中に低血糖，高アンモニア血症，肝機能障害，中枢神経症状を合併した極低出生体重児の4例，日本小児科学会雑誌 100（6），1110-1116（1996）

寺田知新，伊上良輔，山田幸治，加藤義弘，岩田雅子，半田芳浩，深尾敏幸，下澤伸行，近藤直実：多彩な臨床症状を呈し Sjogren 症候群を合併した SLE の1例．小児科診療 60，1693-1696（1997）

山田直人，福富 悌，戸松俊治，鈴木康之，岡本博之，寺澤総介，伊佐井 馨，田中 浩，小川達也，中嶋義記，矢嶋茂裕，榎 明子，鷹尾 明，大宮史朗，坪内肯二，近藤直実：小児気管支喘息に対するペミロラストカリウム（アレキサール錠，ドライシロップ）の臨床的有用性に関する検討．小児科臨床 50，153-164（1997）

鹿野博明，加藤義弘，加藤善一郎，伊上良輔，岩田雅子，山田幸治，清島真理子，北島康雄，近藤直実：皮膚型結節性多発動脈炎の1例．小児科臨床 50，2419-2423（1997）

鈴木康之，下澤伸行，矢嶋茂裕，浅野純一，福田誠司，今村 淳，井上恭子，内山 温，張忠義，近藤直実，折居忠夫，升野光雄，黒木良和，塚本利朗，大隅 隆，藤木幸夫：ペルオキシソーム病の成因と治療に関する研究．日本先天代謝異常学会誌 13，209-214（1997）

深尾敏幸，寺本貴英，田下秀明，伊上良輔，金子英雄，吉田任子，小見山圭代，竹村正男，近藤直実：日本人におけるアトピー性疾患と Fc RI 遺伝子の関連性について．呼吸 16

( 2 ), 318-319 ( 1997 )

田中たえ子，磯貝光治，山田幸治，下澤伸行，鈴木康之，寺澤総介，近藤直実：血小板減少を契機に発症した急性A型肝炎の1男児例。(第99回岐阜感染症談話会)，岐阜大学紀要 45，299 ( 1997 )

山田直人，高橋幸利，下澤伸行，磯貝光治，山田幸治，加藤義弘，近藤直実：無菌性髄膜炎 (ムンプス) に視神経炎を伴った1症例。(第37回岐阜臨床神経集談会)，岐阜大学医学部紀要 45，437-438 ( 1997 )

高橋幸利：乳幼児期にてんかん発作とまちがわれた行動を呈した症例。岐阜県小児科医会報 22，3-9 ( 1997 )

鹿野博明，加藤義弘，寺田知新，後藤浩子，近藤直実：肺動脈弁位に巨大疣贅を認めた感染性心内膜炎の1例。小児科臨床 51，975-978 ( 1998 )

鹿野博明，田中たえ子，森本航，早川星朗，山田直人，八木義計，矢嶋茂裕：無呼吸モニターが有効であった乳幼児突発性危急事態 (ALTE) の1例。Neonatal Care 10，1067-1072 ( 1998 )

伊藤紫，大井長和，塩屋敬一，祐川和子，松倉茂：長期生存の Sanfilippo 症候群 A 型兄弟例の臨床のおよび神経放射線学的検討。脳神経 50，165-169 ( 1998 )

水野晋二，南立由歌，塩谷真由美，真鍋知子，後藤裕夫，星 博昭，高橋幸利，加藤善一郎 近藤直実：<sup>99m</sup>Tc-ECD SPECT を用いた脳血流量の加齢変化の評価。RADIOISOTOPES 47，8-13 ( 1998 )

水野晋二，後藤裕夫，星 博昭，山田直人，加藤善一郎，高橋幸利，下沢伸行，近藤直実：痙攣重積に伴う低酸素脳症の2幼児例。核医学 35，141-145 ( 1998 )

渡辺みづほ，高橋幸利，平野明子，加藤義弘，磯貝光治，三輪由香，近藤直実：てんかん発作重積後に West 症候群を発症した1例。岐阜大学医学部紀要 46，55 ( 1998 )

岩田雅子，高橋幸利，山田直人，中島芳博，中村 仁，下沢伸行，鈴木康之，近藤直実：脳炎後に一過性の失語症を認めた1例。岐阜大学医学部紀要 46，55 ( 1998 )

### 原著 ( 欧文・国内 )

Suzuki Y , Shimozawa N , Yajima S , Inoue K , Orii T , Kondo N : Incidence of peroxisomal disorders in Japan . *Jpn J Hum an Genet* 41 , 167-175 ( 1996 )

Suzuki Y , Shimozawa N , Imamura A , Fukuda Y , Ichihashi H , Orii T , Kondo N : Trial of docosahexaenoic acid supplementation on a Japanese patient with a peroxisome biogenesis defect . *Acta Paediatrica Japonica* 38 , 520-523 ( 1996 )

Kato Z , Kato T , Kondo N , Orii T : Interstitial deletion of the short arm of chromosome 10 , Report of a case and review of the literature . *Jpn J Hum Genet* 41 , 111-116 ( 1996 )

### 原著 ( 欧文・国外 )

Kondo N , Kaneko H , Fukao T , Inoue R , Teramoto T , Tashita H , Yokoyama Y . : High sensitivity and specificity of proliferative responses of lymphocytes to food antigens for detection of the offending food patients with food-sensitive atopic dermatitis . *Pediatric Asthma , Allergy & Immunology* 10 , 175-180 ( 1996 )

Kondo N , Agata H , Fukutomi O : Efeitos do farmaco antialergico hidrocloreto de azelastina nas respostas proliferativas de linfocitos para antigenos alimentares em pacientes com dermatite atopica alimento-sensitiva . *Digest Alergia* 2 , 17 ( 1996 )

Mayumi M , Ohshima Y , Katamura K , Ito S , Hirao T , Akutagawa H , Kondo N , Morikawa A : Allergic march in children , Atopic dermatitis in Japanese children with bronchial asthma . *Allergy International* 45 , 145-149 ( 1996 )

Rabbani H , Pan Q , Kondo N , Smith CIE , Hammarstrom L : Duplications and deletions of the human IGHC locus , evolutionary implications . *Immunogenetics* 45 , 136-141 ( 1996 )

Cole D E C , Fukuda S , Gordon B A , Rip J W , Lecouteur A N , Rupar C A , Tomatsu S , Ogawa T , Sukegawa K and Orii T : Heteroallelic missense mutations of the galactosamine-6 -sulfate sulfatase ( GALNS ) gene in a mild form of Morquio disease ( MPSIVA ) . *Am J Med Genet* 63 , 558-565 ( 1996 )

Hommma A , Ikeda H , Ishii R , Sukegawa K , Hayasaka K : Multiple sulphatase deficiency and carotenaemia . *J Inher Metab Dis* 19 , 88-89 ( 1996 )

Shimozawa N ,Suzuki Y ,Tomatsu S ,Tsukamoto T ,Osumi T ,Fujiki Y ,Kamijo K ,Hashimoto T ,Kondo N ,Orii T : Correction by gene expression of biochemical abnormalities in fibroblasts from Zellweger patients . *Pediatric Research* 39 ( 5 ) , 812-815 ( 1996 )

Inoue K , Suzuki Y , Yajima S , Shimozawa N , Tomatsu S , Orii T , Kondo N : Carrier identification of X-linked adrenoleukodystrophy by measurement of very long chain fatty acids and lignoceric acid oxidation . *Clin Genet* 50 , 348-352 ( 1996 )

Tomatsu S , Fukuda S , Yamagishi A , Cooper A , Wraith JE , Hori T , Kato Z , Yamada N , Isogai K , Sukegawa K , Kondo N , Suzuki Y , Shimozawa N , Orii T : Mucopolysaccharidosis IVA , Four new exonic mutations in patients with N-acetylgalactosamine- 6 -sulfate sulfatase deficiency . *Am J Hum Genet* 58 ( 5 ) , 950-962 ( 1996 )

Fukao T ,Song X-Q ,Yamaguchi S ,Hashimoto T ,Orii T ,Kondo N : Immunotitration analysis of cytosolic acetoacetyl-CoA thiolase activity in human fibroblasts . *Pediatr Res* 39 , 1055-1058 ( 1996 )

Fukao T , Song X-Q , Watanabe H , Hirayama K , Sakazaki H , Shintaku H , Imanaka M , Orii T , Kondo N : Prenatal diagnosis of succinyl-coenzyme A , 3 - ketoacid coenzyme A transferase deficiency . *Prenatal Diagnosis* 16 , 471-474 ( 1996 )

Fukao T , Sakai S , Shimozawa N , Kuwahara T , Kano M , Goto E , Nakashima Y , Katagiri-Kawade M , Ichihashi H , Masuno M , Orii T , Kondo N : Life threatening cardiac involvement throughout life in a case of Costello syndrome . *Clinical Genetics* 50 , 244-247 ( 1996 )

Fukao T , Kodama A , Aoyanagi N , Tsukino R , Uemura S , Song X-Q , Watanabe H , Kuhara T , Orii T , Kondo N : Mild form of beta-ketothiolase deficiency ( mitochondrial acetoacetyl-CoA thiolase deficiency ) in two Japanese siblings , identification of detectable residual activity and cross-reactive material in EB-transformed lymphocytes . *Clinical Genetics* 50 , 263-266 ( 1996 )

Masuno M , Fukao T , Song X-Q , Yamaguchi S , Orii T , Kondo N , Imaizumi K , Kuroki Y : Assignment of the human cytosolic acetoacetyl-coenzyme A thiolase ( ACAT 2 ) gene to chromosome 6q25 . 3-q26 . *Genomics* 36 , 217-218 ( 1996 )

Kassovska-Bratinoba S , Fukao T , Song X-Q , M V Duncan A , Chen H S , Robert M-F ,



Perez-Cerda C , Ugarte M , Chartrand P , Vobecky S , Kondo N , Mitchell G-A : Succinyl-CoA : 3 -Oxoacid CoA transferase ( SCOT ) , human cDNA cloning , human chromosomal mapping to 5p 13 , and mutation detection in a SCOT-deficient patient . *Am J Hum Genet* 59 , 519-528 ( 1996 )

Fukao T , Kaneko H , Teramoto T , Tashita H , Kondo N : Association between Fc  $\epsilon$  RI and atopic disorder in Japanese population ? *Lancet* 348 , 407 ( 1996 )

Xia Y-R , Welch C L , Warden C H , Lange E , Fukao T , Lusk A J , Gatti G A : Assignment of the mouse ataxia-telangiectasia gene ( atm ) to mouse chromosome 9 . *Mammalian Genome* 7 , 554-555 ( 1996 )

Matsuda Y , Takashi I , Shiomi T , Saito T , Yamauchi M , Fukao T , Akao Y , Seki N , Ito H , Hori T : Comparative genome mapping of the ataxia-telangiectasia region in mouse , rat , and syrian hamster . *Genomics* 34 , 347-352 ( 1996 )

Pecker I , Avraham K B , Gilbert D J , Savitsky K , Rotman G , Harnik R , Fukao T , Schrock E , Hirotsune S , Tagle D , Collins F S , Wynshaw-Boris A , Ried T , Copeland N G , Jenkins N A , Shiloh Y , Ziv Y : Identification and chromosome localization of ATM , the murine homologue of the ataxia-telangiectasia gene . *Genomics* 35 ( 1 ) , 39-45 ( 1996 )

Yamada T , Kaneko H , Iizuka K , Matsubayashi Y , Kokai Y and Fujimoto J : Elevation of lymphocytes and hematopoietic stem cell numbers in mice transgenic for human granulocyte colony-stimulating factor . *Laboratory Investigation* 74 , 384-394 ( 1996 )

Kokai Y , Kaneko H , Iizuka K , Matsuura A and Fujimoto J : Inhibition of resistance to hemopoietic allo-grafts in granulocyte colony-stimulating factor transgenic mice . *European Journal of Immunology* 26 , 115-119 ( 1996 )

Kaneko H , Inoue R , Yamada U , Kasahara K , Takami T , Kondo N : Ataxia telangiectasia syndrome with B cell lymphoma . *Clinical Genetics* 49 , 331-332 ( 1996 )

Kaneko H , Katagiri-Kawade M , Motoyoshi F , Tashita H , Teramoto T , Kondo N : Abnormal B cell response of protein kinase C in some common variable immunodeficiency . *Experimental and Clinical Immunogenetics* 13 , 36-42 ( 1996 )

Kaneko H , Inoue R , Yamada Y , Sukegawa K , Fukao T , Tashita H , Teramoto T , Kasahara K , Takami T , Kondo N : Microsatellite instability in B-cell lymphoma originating from Bloom syndrome . International Journal of Cancer 69 , 480-483 ( 1996 )

Uchida Y , Kondo N , Orii T , Hashimoto T : Purification and properties of rat liver peroxisomal very-long-chain acyl-CoA synthetase . J Biochem 119 , 565-571 ( 1996 )

Fukuda S , Tomatsu S , Masuno M , Ogawa T , Yamagishi A , Rezvi G M M , Sukegawa K , Shimozawa N , Suzuki Y , Kondo N , Imaizumi K , Kuroki K , Okabe T , Orii T : Mucopolysaccharidosis VIA , Submicroscopic deletion of 16q24 , 3 and a novel R386C mutation of N-acetylgalactosamine- 6 -sulfate sulfatase gene in a classical Morquio disease . Human Mutation 7 ( 2 ) , 123-134 ( 1996 )

Fukuda S , Shimozawa N , Suzuki Y , Zhang Z , Tomatsu S , Tsukamoto T , Hashiguchi N , Osumi T , Masuno M , Imaizumi K , Kuroki Y , Fujiki Y , Orii T , Kondo N : Human peroxisome assembly factor-2 ( PAF-2 ) , A gene responsible for group C peroxisome biogenesis disorders in humans . Am J Hum Genet 59 , 1210-1220 ( 1996 )

Fukuda S , Tomatsu S , Alan Cooper , J . E . Wraith , Kato Z , Yamada N , Isogai K , Sukegawa K , Kondo N , Orii T : Mucopolysaccharidosis IVA ( Morquio A ) , Three novel small deletions in the N-acetylgalactosamine- 6 -sulfate sulfatase gene . Human Mutation 8 , 187-190 ( 1996 )

Imamura A , Suzuki Y , Song X-Q , Fukao T , Shimozawa N , Orii T , Kondo N : Prenatal Diagnosis of Adrenoleukodystrophy by means of mutation analysis . Prenatal Diagnosis 16 , 259-261 ( 1996 )

Shinbara M , Kondo N , Agata H , Fukutomi O , Kuwabara N , Kobayashi Y , Miura M , Orii T : Interferon- and interleukin-4 production of ovalbumin-stimulated lymphocytes in egg-sensitive children . Ann Allergy Asthma Immunol 77 , 60-66 ( 1996 )

Yamagishi A , Tomatsu S , Fukuda S , Uchiyama A , Shimozawa N , Suzuki Y , Kondo N , Sukegawa K , Orii T : Mucopolysaccharidosis type , identification of common mutations that cause Hurler and Scheie syndromes in Japanese populations . Human Mutation 7 , 23-29 ( 1996 )

Rezvi G M M , Tomatsu S , Fukuda S , Yamagishi A , Cooper A , Wraith J E , Iwata H , Kato

Z ,Yamada N ,Sukegawa K ,Shimozawa N ,Suzuki Y ,Kondo N ,Orii T : Mucopolysaccharidosis IVA , a comparative study of polymorphic DNA haplotypes in the Caucasian and Japanese populations . J Inher Metab Dis 19 , 301-308 ( 1996 )

Orii KE , Aoyama T , Souri M , Jiang L-L , Orii KO , Hayashi S , Yamaguchi S , Kondo N , Orii T , Hashimoto T : Formation of the enzyme complex in mitochondria is required for function of trifunctional beta-oxidation protein . Biochem Biophys Res Commun 219 , 773-777 ( 1996 )

Aoyama T , Wakui K , Fukushima Y , Orii KE , Hashimoto T : Assignment of the human mitochondrial very-long-chain acyl-CoA dehydrogenase gene ( LCACD ) to 17p13 by in situ hybridization . Genomics 37 , 144-145 ( 1996 )

Souri M , Aoyama T , Orii KO , Yamaguchi S , Hashimoto T : Mutation analysis of very-long-chain acyl-coenzyme A dehydrogenase ( VLCAD ) deficiency : Identification and characterization of mutant VLCAD cDNAs from four patients . Am J Hum Genet 58 , 97-106 ( 1996 )

Shinoda S , Agata H , Fukutomi O , Kondo N : Combination of IgE values and lymphocyte proliferative responses for consideration of the clinical course of infantile hen's egg-sensitive atopic dermatitis . Int Arch Allergy Immunol 112 , 163-168 ( 1997 )

Agata H , Kondo N , Fukutomi O , Takemura M , Tashita H , Kobayashi Y , Shinoda S , Nishida T , Shinbara M , Orii T : Pulmonary hemosiderosis with hypersensitivity to buckwheat . Ann Allergy Asthma Immunol 78 , 233-237 ( 1997 )

Tsukamoto T , Bogaki A , Okumoto K , Tateishi K , Fujiki Y , Shimozawa N , Suzuki Y , Kondo N , Osumi T : Isolation of a new peroxisome-deficient CHO cell mutant defective in peroxisome targeting signal-1 receptor . Biochem Biophysical Res Commun 230 , 402-406 ( 1997 )

Kondo N , Inoue R , Kasahara K , Fukao T , Kaneko H , Tashita H , Teramoto T : Reduced expression of the interferon-gamma messenger RNA in IgG 2 deficiency . Scand J Immunol 45 , 227-230 ( 1997 )

Fukao T , Song X-Q , Yamaguchi S , Kondo N , Orii T , Matthieu J-M , Bachmann C , Hashimoto

T : Identification of three novel frameshift mutations ( 83 del AT , 754 ind CT , and 435 + 1 G to A ) of mitochondrial acetoacetyl-coenzyme A thiolase gene in two Swiss patients with CRM-negative beta-ketothiolase deficiency . Hum Mutat 9 , 277-279 ( 1997 )

Kondo N , Fukutomi O , Agata H , Yokoyama Y : Proliferative responses of lymphocytes to food antigens are useful for detection of allergens in nonimmediate type of food allergy . J Invest Allergol Clin Immunol 7 , 122-126 ( 1997 )

Takahashi Y , Suzuki Y , Kumazaki K , Tanabe Y , Akaboshi S , Miura K , Shimozawa N , Kondo N , Nishiguchi T , Terada K , Orii T : Epilepsy in peroxisomal diseases . Epilepsia 38 , 182-188 ( 1997 )

Song XQ , Fukao T , Mitchell GA , Kassovska-Bratinoba S , Ugarte M , Wanders RJA , Hirayama K , Shintaku H , Churchill P , Watanabe H , Orii T , Kondo N : Succinyl-CoA , 3-ketoacid coenzyme A transferase( SCOT ) , development of an antibody to human SCOT and diagnostic use in hereditary SCOT deficiency . Biochim Biophys Acta 1360 , 151-156 ( 1997 )

Takahashi Y , Watanabe M , Fujiwara T , Yagi K , Kondo N , Orii T , Seino M : Two different pathological conditions of photoparoxysmal responses in hereditary dentatorubral-pallidoluyasian atrophy . Brain & Development 19 , 285-289 ( 1997 )

Fukuda S , Yamada Y , Nishimura M , Isogai K , Terada T , Iwata M , Shimozawa N , Suzuki Y , Kondo N : Marinesco-sjogren syndrome associated with acute myeloblastic leukemia . Clin Genet 51 , 278-280 ( 1997 )

Mayumi M , Katamura K , Tamura T , Ito S , Hirao T , Akutagawa H , Morikawa A , Kondo N : Involvement of genetic factors in early development of bronchial asthma in Japanese infants with atopic dermatitis , Results of a 1 year follow-up study . Allergology International 46 , 83-89 ( 1997 )

Orii KE , Aoyama T , Wakui K , Fukushima Y , Miyajima H , Yamaguchi S , Orii T , Kondo N , Hashimoto T : Genomic and mutational analysis of the mitochondrial trifunctional protein-subunit ( HADHB ) gene in patients with trifunctional protein deficiency . Hum Mol Genet 6 , 1215-1224 ( 1997 )

Fukuda S , Yamada N , Tomatsu S , Sukegawa K , Montano AM , Hopwood JJ , Muller V ,

Orii T ,Kondo N : Mucopolysaccharidosis IVA , a novel splice acceptor site mutation in intron 4 of the N-acetylgalactosamine- 6 -sulfate sulfatase gene in an Afghanistan girl with classical Morquio disease . Jpn J Human Genet 42 , 317-322 ( 1997 )

Orii KO ,Aoyama T ,Saito-Ohara F ,Ikeuchi T ,Orii T ,Kondo N ,Hashimoto T : Molecular characterization of the mouse very-long-chain acyl-CoA dehydrogenase gene , Mammalian Genome 8 , 516-518 ( 1997 )

Orii KO ,Saito-Ohara F ,Ikeuchi T ,Orii T ,Kondo N ,Aoyama T ,Hashimoto T : Assignment of the gene for very-long-chain acyl-CoA dehydrogenase ( Acadvl ) to mouse chromosome band 11B 2-5 by in situ hybridization . Cytogenet and Cell Genet 78 , 25 ( 1997 )

Imamura A ,Suzuki Y ,Song XQ ,Fukao T ,Uchiyama A ,Shimozawa N ,Kamijo K ,Hashimoto T , Orii T , Kondo N : Two novel missense mutation in the ATP-binding domain of the adrenoleukodystrophy gene , immunoblotting and immunocytological study of two patients . Clin Genet 51 , 322-325 ( 1997 )

Fukao T , Song XQ , Mitchell GA , Yamaguchi S , Sukegawa K , Orii T , Kondo N : Enzymes of ketone body utilization in human tissues : protein and mRNA levels of succinyl-coenzyme A ( CoA ) , 3-ketoacid CoA transferase and mitochondrial and cytosolic acetoacetyl-CoA thiolases . Pediatr Res 42 , 498-502 ( 1997 )

Kaneko H , Inoue R , Yamada Y , Fukao T , Kondo N : Management of malignant lymphoma in two siblings with Bloom's syndrome . Oncology Reports 4 , 1281-1283 ( 1997 )

Kondo N , Shinbara M , Inoue R , Fukao T , Kaneko H , Teramoto T , Tashita H : Inhibition of interferon-  $\gamma$  production from lymphocytes stimulated with food antigens by a  $\beta_2$ -agonist , procaterol , in patients with food-sensitive atopic dermatitis . J Invest Allergol Clin Immunol 7 , 225-228 ( 1997 )

Iwata S , Sukegawa K , Sasaki T , Kokuryu M , Yamashita S , Noma A , Iwasa S , Kondo N , Orii T : Mass screening test for mucopolysaccharidoses using the 1 , 9-dimethylmethylene blue method ,Positive interference from paper diapers .Clin Chim Acta 264 ,245-250( 1997 )

Tateishi K , Okumoto K , Shimozawa N , Tsukamoto T , Osumi T , Suzuki Y , Kondo N , Okano I , Fujiki Y : Newly identified Chinese hamster ovary cell mutants defective in

peroxisome biogenesis represent two novel complementation groups in mammals . Eur J Cell Biol 73 , 352-359 ( 1997 )

Inoue R , Matsuoka T , Kondo N , Nishimura Y , Matsushita S : Identification of dermatophagoides farinae-2-Derived peptides and class • HLA molecules recognized by T cell from atopic individuals . Int Arch Allergy Immunol 114 , 354-360 ( 1997 )

Sukegawa K , Song XQ , Masuno M , Fukao T , Shimosawa N , Fukuda S , Isogai K , Nishio H , Matsuo M , Tomatsu S , Kondo N , Orii T : Hunter disease in a girl caused by R468Q mutation in the iduronate-2-sulfatase gene and skewed inactivation of the X chromosome carrying the normal allele . Hum Mutat 10 , 361-367 ( 1997 )

Tomatsu S , Fukuda S , Cooper A , Wraith JE , Ferreira P , Natale PD , Tortora P , Fujimoto A , Kato Z , Yamada N , Isogai K , Yamagishi A , Sukegawa K , Suzuki Y , Shimosawa N , Kondo N , Sly WS , Orii T : Fourteen novel mucopolysaccharidosis IVA producing mutations in

## 放射線医学講座

### 著書（和文）

松井英介：新・画像診断のための解剖図譜 第3巻 肺・縦隔・横隔膜 I, 正常肺区域解剖  
改訂第3版, 柴山麿樹編, 東京, メディカルビュー社（印刷中）

### 総説（和文）

松井英介：胸部疾患の単純 X 線診断 見落としを防ぐ読影技術 正常像と variation . 臨床  
画像 12, 10-25 (1996)

松井英介, 桐生拓司, 星 博昭：スパイラル CT による肺限局性疾患の診断 3D, MIP,  
MinIP の応用 . 映像情報 MEDICAL 28, 931-937 (1996)

星 博昭, 水野晋二, 南立由歌：プラスワンの検査法としての核医学 . 臨床画像 13, 596-  
605 (1997)

松井英介, 桐生拓司, 川口真平, 星 博昭：CT 検査 胸部（肺・縦隔）. 臨床看護 23 ,  
844-852 (1997)

星 博昭：第 41 回東海総会画像医学研究会講演論文集 脳の核医学検査 . 映像情報  
MEDICAL 29, 878-880 (1997)

松井英介, 桐生拓司, 川口真平, 柴山麿樹, 星 博昭, 酒井 聡, 下川邦泰, 池田庸子：末  
梢微小肺癌の診断法 . 日本胸部臨床 56, 531-539 (1997)

松井英介, 桐生拓司, 川口真平, 星 博昭：老年期の画像診断 胸部 肺を含む . 臨床画像  
13, 999-1012 (1997)

松井英介, 桐生拓司, 星 博昭, 下川邦泰：肺微細構造の画像診断 小葉構造の分析を中心  
に . 日本胸部臨床 56, 8-15 (1997)

星 博昭：中枢神経領域の核医学検査 . 岐阜県医師会医学雑誌 10, 29-33 (1997)

兼松雅之, 星 博昭：肝血管造影下 CT - 肝腫瘍術前精査における有用性と限界 - . 肝胆  
膵 36, 29-37 (1998)

## 総説（欧文・国外）

Masayuki Kanematsu ,Hiroaki Hoshi ,Yoshiharu Yamawaki ,Hiroshi Kondo ,Takahiko Asano , Junichiro Kato , Ryujiro Yokoyama : Angiographically assisted helical CT of the liver . AJR ( in press )

## 原著（和文）

桐生拓司, 松井英介, 塩谷真由美, 星 博昭, 酒井 聡, 下川邦泰: 再発を来した多発性肺軟骨性過誤腫の1例. 肺癌 36, 49-53 (1996)

桐生拓司, 松井英介, 南立由歌, 塩谷真由美, 真鍋知子, 四方 進, 水野晋二, 兼松雅之, 梶浦雄一, 関 松蔵, 後藤裕夫, 山脇義晴, 星 博昭, 下川邦泰, 池田庸子, 柴山磨樹: 肋骨転移により発見された腎癌の1例. 日本胸部臨床 55, 836-839 (1996)

兼松雅之, 加藤元久, 山脇義晴, 今枝孟義, 足立充里, 石口恒男: 逆流防止機構付きカバーステントが有用であった腹部食道および噴門部悪性狭窄の1例. IVR 11, 79-82 (1996)

桐生拓司, 下川邦泰, 稲田 潔, 池田庸子, 熊田佳孝: 軟部類上皮性血管内皮腫の1例. 病院病理 13, 146 (1996)

後藤裕夫, 水野晋二, 星 博昭, 望月亮三, 土井偉誉, 古市信明, 上西 宏, 日下部光彦, 三澤恵一, 大橋博文, 山本和朗, 田口 透, 伊藤和昭, 臼田繁夫, 山口博司, 太田三恵子, 野乃垣直美 鷲谷英敏: 岐阜県立健康管理院における視触診, CR-MMG 併用による乳癌検診, 初年度(平成5年度)の検診成績. 日乳癌検診学会誌 6, 93-100 (1997)

真鍋知子, 後藤裕夫, 水野晋二, 兼松雅之, 星 博昭: S状結腸に穿破した骨盤内遺残ガーゼの1例. 日本医学放射線学会雑誌 57, 279-280 (1997)

塩谷真由美, 後藤裕夫, 真鍋知子, 南立由歌, 水野晋二, 兼松雅之, 関 松蔵, 山脇義晴, 星 博昭, 加藤元久, 下川邦泰: 早期胃癌から進行癌への進展 食道粘膜下腫瘍の経過観察中に発見されたO・a型早期胃癌の1例. 胃と腸 32, 855-860 (1997)

塩谷真由美, 後藤裕夫, 南立由歌, 真鍋知子, 水野真二, 兼松雅之, 星 博昭: 胆嚢炎後に肝門部腫瘤様の cavernous transformation を呈した肝外門脈閉塞症の1例. 日本消化器病学会雑誌 94, 871-873 (1997)



塩谷真由美, 桐生拓司, 真鍋知子, 川口真平, 松井英介, 星 博昭, 原 明: ACTH 産生肺小細胞癌の 1 剖検例. 臨床放射線 42, 1171-1174 (1997)

松井英介, 桐生拓司, 川口真平, 四方 進, 真鍋知子, 塩谷真由美, 南立由歌, 柴山磨樹, 星 博昭, 酒井 聡, 下川邦泰, 池田庸子: 末梢肺腺癌の HRCT 所見 病理所見との対比. 胸部 CT 検診 4, 92-95 (1997)

水野晋二, 後藤裕夫, 飯田高嘉, 桐生拓司, 山脇義晴, 星 博昭, 加藤元久, 佐治重豊: S 状結腸腔瘻を伴った S 状結腸憩室炎の 1 例. 臨床放射線 43, 511-514 (1998)

水野晋二, 南立由歌, 塩谷真由美, 真鍋知子, 後藤裕夫, 星 博昭, 高橋幸利, 加藤善一郎, 近藤直実: 99mTc-ECD SPECT を用いた脳血流量の加齢変化の評価 Patlak Plot 法による検討. RADIOISOTOPES 47, 392-398 (1998)

水野晋二, 後藤裕夫, 星 博昭, 山田直人, 加藤善一郎, 高橋幸利, 下澤伸行, 近藤直実: 痙攣重責に伴う低酸素脳症の 2 幼児例. 核医学 35, 141-145 (1998)

水野晋二, 南立由歌, 加藤淳一郎, 後藤裕夫, 星 博昭, 河合雅彦, 宮 喜一, 佐治重豊, 山田直人, 近藤直実: 先天性胆道拡張症の 1 例. 臨床画像 14, 888-891 (1998)

兼松雅之, 星 博昭, 近藤浩史, 横山龍二郎, 村上卓道, 堀 雅敏, 中村仁信, 伊藤 亨, 稲葉吉隆, 内海一行: 肝臓. 肝腫瘍性病変における撮像法の比較 T2-CSE 法と FSE 法 (single-shot half-Fourier 法を含む). INNERVISION (印刷中)

桐生拓司, 川口真平, 松井英介, 星 博昭, 岡田富貴夫, 横山龍二郎: 最新の X 線 CT 診断 高速らせん CT の使い方 臨床画像 (印刷中)

桐生拓司, 川口真平, 松井英介, 真鍋知子, 星 博昭, 下川邦泰, 三宅 浩, 澤 祥幸, 小林英夫: 原発性肺胞蛋白症の治療反応性と画像所見の推移 特に難治例を中心に. 日本胸部臨床 (印刷中)

#### 原著 (欧文・国内)

Kanematsu M, Hoshi H, Imeda T, Yamawaki Y, Urno K, Yasuda M, Kuriyama M, Shimokawa K: Renal Pelvic and Ureteral Carcinoma with Huge Hydronephrosis: US, CT, and MR Findings. Radiation Medicine 14, 321-323 (1996)

Kato M , Saji S , Kanematsu M , Hoshi H , Ishiguchi T , Kunieda K , Takao H , Sugiyama Y : Palliative therapy Using Polyurethane-covered self-expandable Metallic Stents for Malignant Esophageal Strictures , Experiences in Six Patients . Jpn J Clin Oncol 26 , 461-464 ( 1996 )

Kanematsu M , Hoshi H , Murakami T , Tsuda K , Yokoyama R , Nakamura H : Spontaneous Bacterial Peritonitis in Cirrhosis: Enhancement of Ascites on Delayed MR Imaging .Radiation Medicine 15 , 185-187 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Imaeda T , Murakami T , Yamada T , Nishigaki Y , Nandate Y , Yokoyama R , Nakamura H : Overestimation ratio of hepatic lesion size on spiral CT arteriography : an indicator of malignancy . Radiation Medicine 15 , 267-272 , ( 1997 )

Kato M , Saji S , Kanematsu M , Fukada D , Miya K , Umemoto T , Kunieda K , Sugiyama Y , Kuwahara K Shimokawa K : A case of liver metastasis from colon cancer masquerading as focal sparing in a fatty liver . Jpn J Clin Oncol 27 , 189-192 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Kunieda K , Nandate Y , Kato M , Yokoyama R : Metastases in fatty liver : appearance on conventional spin-echo , fast spin-echo , and echo-planar T2-weighted MR images . Radiation Medicine 16 , 175-177 ( 1998 )

Kiryu T , Kawaguchi S , Matsui E , Hoshi H : Pleomorphic adenoma of the trachea . A case report . Radiation Medicine ( in press )

#### **原著 ( 欧文・国外 )**

Kanematsu M , Imaeda T , Yamawaki Y , Sone Y , Iida T , Kato M , Yokoyama R : Value of Three Dimensional Spiral CT Hepatic Angiography . AJR 166 , 585-591 ( 1996 )

Kanematsu M , Hoshi H , Yokoyama R , Tanahashi T : Truncation Artifact in Dynamic MR Imaging for Small Adrenal Mass . AJR 167 , 1070 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Goto H , Kajiura H : Duodenal Bulb Involvement from Metastasized Porta-Hepatic Lymph Node of Hepatocellular Carcinoma . AJR 168 , 281 ( 1997 )

Kanematsu M , Imaeda T , Yamawaki Y , Mizuno S , Yokoyama R : Demonstration of False-negative findings on CT hepatic angiography . Abdominal Imaging 22 , 52-54 ( 1997 )

Kanematsu M ,Hoshi H ,Imaeda T ,Yamawaki Y ,Mizuno S ,Manabe T ,Enya M ,Yokoyama R : Nonpathological focal enhancements on spiral CT hepatic angiography . Abdominal Imaging 22 , 55-59 ( 1997 )

Kanematsu M ,Hoshi H : Benefit of Immediate Endoscopy After Radiography for Anisakiasis . AJR 168 , 1114 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Imaeda T , Mizuno S , Yokoyama R : Three-dimensional CT demonstration of intrahepatic portosystemic venous shunt draining into the inferior vena cava . The British Journal of Radiology 70 , 418-420 ( 1997 )

Sugimoto S ,Hoshi H ,Sugimoto A ,Ohi T ,Matumura S ,Watanabe K : Correlation of middle latency auditory evoked potentials and cerebral blood flow changes . Psychiatry and Clinical Neurosciences 51 , 405-409 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Imaeda T , Murakami T , Yokoyama R , Nakamura H : Detection and characterization of hepatic tumors : value of combined helical CT hepatic arteriography and CT during arterial portography . AJR 168 , 1193-1198 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Yamada T , Nandate Y , Kato M , Yokoyama R , Murakami T , Nakamura H : Overestimating the size of hepatic malignancy on helical CT during arterial portography : equilibrium phase CT and pathology . J Comput Assist Tomogr 21 , 713-719 ( 1997 )

Kanematsu M ,James H .Oliver , Brian Carr ,Richard L .Baron : Hepatocellular carcinoma: the role of helical biphasic contrast-enhanced CT versus CT during arterial portography . Radiology 205 , 75-80 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Takao H , Sugiyama Y : Abdominal wall tumor seeding at sonographically guided needle-core aspiration biopsy of hepatocellular carcinoma . AJR 169 , 1198 ( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H , Murakami T , Inaba Y , Kim T , Yamada T , Kato M , Yokoyama R ,Nakamura H : Detection of hepatocellular carcinoma in patients with cirrhosis: MR imaging versus angiographically assisted helical CT . AJR 169 , 1507-1515 ( 1997 )

Kanematsu M , Imaeda T , Yokoyama R , Mizuno S : Methodological assessment of combined spiral CT angiography and CT arterial portography ,Abdominal Imaging 22 ,404-409( 1997 )

Kanematsu M , Hoshi H : Should CT during arterial portography come first? Abdominal Imaging 23 , 338 ( 1998 )

Kanematsu M ,Hoshi H ,Murakami T ,Inaba Y ,Hori M ,Nandate Y ,Yokoyama R ,Nakamura H : Focal hepatic lesion detection : comparison of four T2-weighted MR imaging pulse sequences . Radiology 206 , 167-175 ( 1998 )

Kanematsu M ,Hoshi H ,Sone Y ,Mochizuki R ,Kato M ,Yokoyama R : Detection of hepatic tumors : arterial-phase MR imaging versus spiral CT arteriography . Abdominal Imaging 23 , 416-421 ( 1998 )

Kanematsu M , Hoshi H , Kondo H , Enya M , Yokoyama R , : Nondiseased portal perfusion defects adjacent to the right ribs on helical CT during arterial portography . AJR ( in press )

Kanematsu M , Hoshi H , Yamada T , Kato M , Yokoyama R : Adenomatous hyperplasia with unusual imaging findings at combined helical CT hepatic arteriography and CT during arterial portography . Eur J Radiol ( in press ) .

Kanematsu M , Enya M , Hoshi H , Yokoyama R : Hepatodiaphragmatic portosystemic shunt in cirrhosis . Eur J Radiol ( in press )

Kanematsu M , Hoshi H , Itoh K , Murakami T , Hori M , Kondo H , Yokoyama R , Nakamura H : Focal hepatic lesion detection : comparison of four fat-suppressed T2-weighted MR imaging pulse sequences . Radiology ( in press )

Kanematsu M ,Hoshi H ,Yamada T ,Murakami T ,Kim T ,Kato M ,Yokoyama R ,Nakamura H : Small hepatic nodules in cirrhosis : ultrasonography , CT , and MR imaging findings . Abdominal Imaging ( in press )

## 麻酔・蘇生学講座

### 著書（和文）

土肥修司：局所麻酔薬，図説最新麻酔学シリーズ1，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1996．62-71

宮部雅幸，土肥修司：神経・筋疾患患者の麻酔，周術期管理，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1996．222-227

太田宗一郎，土肥修司：部位及び症候別にみる痛みの臨床 筋・筋膜性疼痛，痛みの臨床，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1996．88-91

飯田宏樹，土肥修司：部位別及び症候別にみる痛みの臨床 分娩時の疼痛，痛みの臨床，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1996．159-163．

西川俊昭，土肥修司：麻酔前投薬クロニジンのコツと留意点 Pittsfall & Knack，臨床麻酔のコツと落とし穴 Part 1，初版．花岡一雄編，東京，中山書店，1996．16-18

土肥修司：局所麻酔薬にアドレナリン添加の是非 Pittsfall & Knack，臨床麻酔のコツと落とし穴 Part 1，初版．花岡一雄編，東京，中山書店，1996．36-37

飯田宏樹，土肥修司：ケタミン使用のコツと留意点 Pittsfall & Knack，臨床麻酔のコツと落とし穴 Part 1，初版．花岡一雄編，東京，中山書店，1996．38-39

土肥修司：頭蓋内圧亢進の生理と麻酔のコツ Pittsfall & Knack，臨床麻酔のコツと落とし穴 Part 2，初版．花岡一雄編，東京，中山書店，1996．24-28

土肥修司：救急蘇生と集中治療，救急医療と集中治療，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1997．2-19

土肥修司：脳死と持続的植物状態．救急医療と集中治療，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1997．20-32

土肥修司：アルコール，医薬品による急性中毒，救急医療と集中治療，初版．釘宮豊城，高

橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1997．248-261

赤松 繁，土肥修司：救急医薬品一覧とその使用のコツ，救急医療と集中治療，初版．釘宮豊城，高橋成輔，土肥修司編，東京，メジカルビュー社，1997．300-314

土肥修司：バランス麻酔の過去 - NLA 出現以前 - ，バランス麻酔の実際，初版．花岡一雄編，診断と治療社，1998．2 - 8

武島玲子，土肥修司：緊急の脊髄麻酔と心筋虚血，麻酔緊急-「あなたならどうする」のコツとポイント- 1，初版．花岡一雄編，東京，克誠堂出版，1998．118-119

粕谷由子，土肥修司：気管内チューブが発火した！ 麻酔緊急-「あなたならどうする」のコツとポイント- 2，初版．花岡一雄編，東京，克誠堂出版，1998．22-23

土肥修司：気道過敏症と気管内挿管後の換気不能，麻酔緊急-「あなたならどうする」のコツとポイント- 2，初版．花岡一雄編，東京，克誠堂出版，1998．92-93

土肥修司：麻酔と脳神経機能，専門医のための麻酔科学レビュー'98，初版．天羽敬祐編，東京，総合医学社，1998．39-43

## 総説（和文）

土肥修司：麻酔と細胞内シグナル伝達．医学のあゆみ 177，243-248（1996）

西川俊明，土肥修司：臨床麻酔における 2 アドレナリン受容体作動薬の有用性と使用上の問題点 - 1．麻酔前投薬，麻酔補助効果および循環作用について - ．麻酔 45，1490-1502（1996）

上田宣夫，赤松 繁、土肥修司：心機能低下患者の麻酔・手術中管理．麻酔 45，114-121（1996）

土肥修司：脊髄麻酔．循環制御 17，495-498（1996）

土肥修司：麻酔関連薬．臨床麻酔 臨床麻酔創刊 20 年記念号，404-408（1997）

土肥修司，上田宣夫：心機能低下患者の術中管理．医学のあゆみ 180，433-438（1997）

西川俊昭,土肥修司:臨床麻酔における 2 アドレナリン受容体作動薬の有用性と使用上の問題点・伝達麻酔における効果および鎮痛作用について- . 麻酔 46 , 64-72 ( 1997 )

土肥修司: 2-アドレナリン受容体作動薬(鎮痛作用). 医学のあゆみ 181 , 605-606 ( 1997 )

### 総説 ( 欧文・国外 )

Dohi S : Spinal antinociception . Current Opinion in Anaesthesiology . 9 , 404-409 ( 1996 )

### 原著 ( 和文 )

飯田宏樹,浅野斗志男,竹田智雄,織田章義,太田宗一郎,土肥修司:三叉神経ブロックの安全対策 -トノメトリ法による血圧モニター- . ペインクリニック 17 , 605-608 ( 1996 )

竹田智雄,東松豊彦,原田知和,村上典之,土肥修司:術後硬膜外モルヒネ持続注入法により良好に管理できた筋緊張性ジストロフィーの1症例 . 麻酔 45 , 1384-1387 ( 1996 )

竹田智雄,鬼頭秀樹,飯田宏樹,浅野斗志男,太田宗一郎,土肥修司:新型硬膜外カテーテル(ビックテイル状)の有用性の検討 . 臨床麻酔 20 , 706-707 ( 1996 )

粕谷由子,増江達彦,土肥修司:連続心拍出量測定装置の臨床使用における検討 . 岐阜県医師会医学雑誌 9 , 79-82 ( 1996 )

寺澤悦司,下中浩之,鬼頭秀樹,山本拓巳,大畠博人,上田宣夫,赤松 繁,土肥修司:体外循環の血漿中カルシトニン遺伝子関連物質( calcitonin gene-related peptide ) に及ぼす影響 . 循環制御 17 , 214-221 ( 1996 )

石山忠彦,奥村泰久,早川篤志,鈴木 照,下中浩之,土肥修司:胸部硬膜外麻酔併用の全身麻酔下での胃全摘術中に起こった急性心筋梗塞症の1症例 . 麻酔 42 , 449-452 ( 1996 )

田代隆彦,竹田智雄,織田章義,赤松 繁,下中浩之,土肥修司:右心房内腫瘍塞栓を伴う腎癌摘出術の麻酔経験 . 麻酔 45 , 861-864 ( 1996 )

大畠博人,上田宣夫,橋本友紀,赤松 繁,下中浩之,土肥修司:プロスタグランジン E1 投与により右心室駆出率が著明に改善した冠動脈バイパス術の麻酔経験 . 麻酔 45 , 1272-1277 ( 1996 )

竹田智雄,村上典之,原田知和,田辺久美子,下中浩之,土肥修司:気管支ファイバー光に

よる気管内挿管法．臨床麻酔 20, 118-119 (1996)

増江達彦, 中橋 剛, 粕谷由子, 土肥修司: 超低温下手術の麻酔における内頸静脈温測定．臨床麻酔 20, 1515-1516 (1996)

浅野斗志男, 飯田宏樹, 土肥修司, 増江達彦, 下中浩之: ニコランジルのモルヒネ鎮痛増強作用．麻酔 45, 1342-1346 (1996)

赤松 繁, 近藤祐司, 土肥修司: 超音波ドプラ法による超音波入射角度に依存しない絶対流速測定法．循環制御 17, 378-380 (1996)

粕谷由子, 土肥修司: 連続血液ガス測定とその評価 岐阜県医師会医学雑誌 9, 127-130 (1996)

織田章義, 石山忠彦, 鈴木 照, 奥村泰久, 土肥修司: 帝王切開手術後の痛みに対するフェンタニルとモルヒネの持続硬膜外投与の検討．麻酔 45, 1511-1515 (1996)

竹中元康, 飯田宏樹, 笠松雅之, 加藤洋海, 田代隆彦, 土肥修司: 麻酔前投薬としてのチザニジンの効果．麻酔 45, 971-975 (1996)

大畠博人, 高田基志, 石沢由美子, 赤松繁, 下中浩之, 土肥修司: 閉塞型睡眠時無呼吸症候群を呈する小児の扁桃摘出・アデノイド切除術の周術期管理について．麻酔 45, 458-463 (1996)

石山忠彦, 奥村泰久, 早川篤司, 鈴木照, 下中浩之, 土肥修司: アルコール常飲者に起こった著明な高心拍出量性ショックの2例．集中治療 3, 223-226 (1996)

高田基志, 東松豊彦, 原田知和, 村上典之, 下中浩之, 土肥修司: ヒドロキシエチルデンブロン(ヘスパンダーTM)投与が原因と思われる気管支痙攣の1症例．麻酔 46, 397-400 (1997)

道野朋洋, 赤松繁, 上田宣夫, 山本拓巳, 大畠博人, 織田章義, 土肥修司: 腹部エコーで診断した大動脈瘤下大静脈穿破例の麻酔管理．Cardiovascular Anesthesia 1, 52-53 (1997)

花岡一雄, 角田俊信, 並木昭義, 古賀義久, 土肥修司, 弓削孟文, 西山友貴: 麻酔導入時におけるミダゾラム及びバルビツレートの併用による臨床的有用性(第二報)．麻酔と蘇生 33, 3-7 (1997)



竹田智雄，飯田宏樹，太田宗一郎，浅野斗志男，織田章義，土肥修司：三叉神経痛に対する漢方薬の効果 小柴胡湯・桂枝加芍薬湯併用療法の検討 ．漢方診療 16，15-18（1997）

飯田宏樹，渡辺章久，石山忠彦，飯田真美，土肥修司：脳・脊髄微小血管の炭酸ガスおよび血管収縮薬に対する反応性の違い．麻酔 46，2-9（1997）

粕谷由子，土肥修司：ニコランジルの脳組織酸素飽和度（rSo<sub>2</sub>）に及ぼす影響．麻酔 46，1305-1309（1997）

竹田智雄，飯田宏樹，太田宗一郎，織田章義，渡辺章久，浅野斗志男，赤松 繁，土肥修司：交感神経節カテーテル留置法の手技．ペインクリニック 18，973-976（1997）

藤井洋子，竹田智雄，土肥修司，下中浩之：経鼻胃管の気管内迷入を換気量モニターで発見した1症例．臨床麻酔 8，1311-1312（1997）

太田宗一郎，浅野斗志男，竹田智雄，飯田宏樹，土肥修司，竹中元康：持続硬膜外カテーテル留置による硬膜外腔癒着の1例．ペインクリニック 18，233-235（1997）

太田宗一郎，丹羽雅之，野崎正勝，浅野斗志男，竹田智雄，土肥修司：モルヒネ依存モルモットにおける脳内 2 アドレナリン受容体の変動．麻酔 46，640-643（1997）

太田宗一郎，丹羽雅之，野崎正勝，浅野斗志男，竹田智雄，土肥修司：急性炎症性疼痛刺激によるラット脳・脊髄内オピオイド受容体の変動について．麻酔，46，644-649（1997）

織田章義，飯田宏樹，土肥修司：簡易持続注入装置によって硬膜外腔へ注入される少量局所麻酔薬の循環動態に及ぼす影響．麻酔 46，1310-1315（1997）

山本拓巳，赤松繁，高田基志，下中浩之，土肥修司：分娩後出血に対する大量輸血後に赤血球増加を来した1症例．麻酔 46，379-383（1997）

寺澤悦司，長瀬 清，下中浩之，増江達彦，深尾いづみ，土肥修司：硬脊麻針における脊麻針のスリーブの有用性．臨床麻酔，22，81-82（1998）

竹田智雄，飯田宏樹，太田宗一郎，織田章義，阿部和美，大畠博人，赤松 繁，土肥修司：胸部交感神経節カテーテル留置法が有用であった高齢者胸部帯状疱疹痛および帯状疱疹後神経痛の2症例．臨床麻酔 47，346-349（1998）

粕谷由子, 道野朋洋, 山本拓巳, 土肥修司: 脳分離灌流時の左右脳内酸素飽和度とヘモグロビン指数の変化. 麻酔 47, 359-361 (1998)

浅野斗志男, 太田宗一郎, 飯田宏樹, 竹田智雄, 土肥修司: 交感神経ブロックが運動障害に対して有効であった外傷性頸部症候群の2例. 日本ペインクリニック学会誌 15, 148-152 (1998)

粕谷由子, 土肥修司: K<sup>+</sup>チャネル開口薬の脳組織酸素飽和度および頭蓋内血液量指数に及ぼす影響—若年者群と高齢者群の比較—. 蘇生 17, 37-40, (1998)

寺澤悦司, 長瀬 清, 増江達彦, 丹羽康則, 深尾いづみ, 下中浩之, 横井達夫, 近藤直実, 土肥修司: 抗菌コート中心静脈カテーテルにより繰り返しアナフィラキシーショックを呈した症例. 麻酔 47, 556-561 (1998)

粕谷由子, 河合裕子, 山本拓巳, 土肥修司: パルス式色素希釈法による心拍出量測定 of 検討. 麻酔 47, 756-758 (1998)

#### 原著 (欧文・国内)

Akamatsu S, Kondo Y, Dohi S.: Velocity measurements with a new ultrasonic Doppler method independent of angle of incidence. J Anesth 10, 133-139 (1996)

Takenaka M, Iida H, Ohata S, Dohi S: Psoas compartment block for the treatment of lower-limb spasticity caused by spinal cord injury: report of a case. J Anesth 11, 300-302 (1997)

#### 原著 (欧文・国外)

Ohguchi K, Nakashima S, Tan Z, Banno Y, Dohi S, Nozawa Y: Increased activity of small GTP-binding protein-dependent phospholipase D during differentiation in human promyelocytic leukemic HL60 cells. J Biological Chemistry 272, 1990-1996 (1997)

Hattori M, Dohi S, Nozaki M, Niwa M, Shimonaka H: The Inhibitory Effects of Local Anesthetics on Superoxide Generation of Neutrophils Correlate with Their Partition Coefficients. Anesth Analg 84, 405-12 (1997)

Watanabe Y, Dohi S, Iida H, Ishiyama T: The Effects of Bupivacaine and Ropivacaine on Baroreflex Sensitivity With or Without Respiratory Acidosis and Alkalosis in Rats. Anesth

Analg 84 , 398-404 ( 1997 )

Ishizawa Y , Ohta S , Shimonaka H , Dohi S : Effects of blood glucose changes and physio-stigmine on anesthetic requirements of halothane in rats . Anesthesiology 87 , 354-360 ( 1997 )

Ishiyama T , Dohi S , Iida H , Watanabe Y : The effects of topical and intravenous ropivacaine on canine pial microcirculation . Anesth Analg 85 , 75-81 ( 1997 )

Iida H , Dohi S , Tanahashi T , Watanabe Y , Takenaka M : Spinal conduction block by intrathecal ketamine in dogs . Anesth Analg 85 , 106-110 ( 1997 )

Iida H , Watanabe Y , Dohi S , Ishiyama T : Direct effects of ropivacaine and bupivacaine on spinal pial vessels in canine - assessment with closed spinal window technique . Anesthesiology 87 , 75-81 ( 1997 )

Iida M , Iida H , Dohi S , Takenaka M , Hujiiwara Y : Mechanisms underlying the cerebrovascular effects of cigarette smoking on rats in vivo . Circulation ( in press )

Ueda N , Dohi S , Akamatsu S , Hamaya Y , Terasawa E , Shimonaka H , Ohata H : Pulmonary arterial and right ventricular responses to prophylactic volume loading before aortic unclamping during abdominal aortic aneurysmectomy . Anesth Analg ( in press )

Hayakawa A , Kuwata K , Era S , Sogaya M , Shimonaka H , Yamamoto M , Dohi S , Hirose H : Alteration of redox state of human serum albumin in patients under anesthesia and invasive surgery . J of Chromatography B 698 , 27-33 ( 1997 )

Ishizawa Y , Furuya K , Yamagishi S , Dohi S : Non-GABAergic effects of midazolam , diazepam and flumazenil on voltage-dependent ion currents in NG108-15 cells . Neuropharmacology and Neurotoxicology 8 , 2635-2638 ( 1997 )

Tanabe K , Kozawa O , Kaida T , Matsuno H , Niwa M , Ohta S , Dohi S , Uematsu T : Inhibitory effects of propofol on intracellular signaling by endothelin-1 in aortic smooth muscle cells . Anesthesiology 88 , 4522-460 ( 1998 )

Ishiyama T , Dohi S , Iida H : The vascular effects of topical and intravenous  $\alpha_2$ -adrenoceptor

agonist clonidine on canine pial microcirculation . Anesth Analg 86 , 766-772 ( 1998 )

Ohata H , Iida H , Watanabe Y , Dohi S : The optimal test dose of epinephrine for epidural injection with lidocaine solution in awake patients premedicated with oral clonidine . Anesth Analg 86 , 1010-1014 ( 1998 )

## その他

土肥修司：第 17 回日本循環制御医学会総会 印象記 . 臨床麻酔 20 , 1078 ( 1996 )

土肥修司：痛みの基礎知識 . OPE nursing 11 , 14-20 ( 1996 )

赤松 繁 , 土肥修司：大動脈遮断解除における心室挙動の検討 . -NO 吸入療法の経食道心エコー法による評価- 平成 8 年度文部省科学研究費補助金 ( 試験研究 B ) 研究成果報告書 , ( 1996 )

土肥修司：ペインクリニック療法の実際 - 痛みを持つ患者への集学的アプローチ - 十時忠秀 , 並木昭義 , 花岡一雄編 ペインクリニック 17 , 964 ( 1996 )

土肥修司：一酸化窒素 ( NO ) および不活性ガス吸入時の呼吸・循環反応 平成 8 年度文部省科学研究費補助金 ( 一般研究 B ) 研究成果報告書 ( 1996 )

土肥修司：シンポジウム . 心機能低下患者の周術期管理 . 麻酔 45 , 106-107 ( 1996 )

土肥修司：心機能低下患者の周術期管理 Excerpta Medica Congress Report . Dobutamine News 3 , 1 ( 1996 )

竹田智雄 , 飯田宏樹 , 太田宗一郎 , 浅野斗志男 , 織田章義 , 土肥修司：三叉神経痛に対する漢方薬の効果 . 漢方診療 16 , 15-18 ( 1997 )

土肥修司：第 18 回日本疼痛学会 . ペインクリニック 18 , 287 ( 1997 )

土肥修司： 2-アドレナリン受容体作動薬 ( 鎮痛作用 ) . 医学のあゆみ 181 , ( 1997 )

土肥修司：座談会 . エキスパートナース 2 , 94-96 ( 1998 )

土肥修司：第 6 回術後痛研究会印象記 . 臨床麻酔 22 , 585 ( 1998 )

## 臨床検査医学講座

### 著書（和文）

野間昭夫：リポ蛋白（a）のすべて．東京，中外医学社，1996．278 p

清島 満，武藤泰敏：成人病と栄養，病態と栄養．岡田 正編，東京，建帛社，1996．15-32

野間昭夫：リポ蛋白（a），臨床検査ガイド '97．Medical Practice 編集委員会編，東京，文光堂，1997．252-254

松本尚之，井田和徳，下川邦泰：ヘモグロビン指標の Helicobacter pylori 感染診断への応用，色素・拡大内視鏡の最前線．丹羽寛文，井田和徳編，東京，株式会社日本メディカルセンター，1998．227-232

藤井秀比古，清島 満：高リポ蛋白（a）血症の治療，KEYWORD 1998-2000 高脂血症・動脈硬化．荻原俊男，斉藤 康，馬淵 宏編，東京，先端医学社，1998．88-89

### 総説（和文）

野間昭夫：トリグリセライドのすべて，測定と評価，日本における基準値．現代医療 28，1725-1727（1996）

野間昭夫：Lp（a）フェノタイプの測定法と意義．臨床検査 40，1063-1067（1996）

野間昭夫：ヘパリン負荷リポ蛋白リパーゼの測定．検査と技術 24，1011（1996）

野間昭夫：診断に必要な知識，高 Lp（a）血症．Progress in Medicine 17，266-271（1997）

野間昭夫：リポ蛋白（a）[Lp（a）]．医学のあゆみ，第5土曜特集「知っておきたい 200ワード」 181，862（1997）

野間昭夫：脂質検査の現状と将来展望．生物試料分析 20，91-99（1997）

前田悟司，川口敦司，清島 満：ドライケミストリー・簡易検査の新たなる展開，臨床化学脂質．臨床病理 11（臨時増刊号・特集 106号），74-82（1997）

齊藤邦明：エイズ痴呆とその発症機構．生命科学 3，23-28（1997）

#### 原著（和文）

土屋十次，松井康司，立花 進，梶間敏彦，星野睦夫，池田庸子，下川邦泰：特異な転移をきたした原発性びまん浸潤大腸癌の 1 例 - 腹直筋および皮膚転移 - ．日本大腸肛門学会雑誌 49，57-63（1996）

桐生拓司，松井英介，塩谷真由美，星 博昭，酒井 聡，下川邦泰：再発を来した多発性肺軟骨性過誤腫の 1 例．肺癌 36，49-53（1996）

国枝克之，蔭山 徹，辻 恭嗣，須原貴志，日比俊也，杉山保幸，佐治重豊，下川邦泰：胃癌術前血清 CEA 値および組織 CEA 局在様式と予後との関連について．日消外会誌 29，677-683（1996）

杉山 宏，佐々木 稔，高見和久，河合英博，飯田 豊，伊藤英夫，田辺 博，小林 覚，宇野雅博，下川邦泰：脾原発悪性リンパ腫（Hodgkin 病）の 1 例．癌の臨床 42，461-465（1996）

深田代造，鷹尾博司，佐治重豊，古田智彦，下川邦泰，山森積雄：根治術後 20 年目に局所再発をきたした乳癌の 1 例．癌の臨床 42，639-642（1996）

仲野正博，多田晃司，高橋義人，石原 哲，出口 隆，栗山 学，坂 義人，河田幸道，下川邦泰：検診時に発見された成人片側性多嚢胞性異形成腎（Unilateral multicystic dysplastic kidney）の 1 例．泌尿紀要 42，373-376（1996）

深田代造，佐治重豊，川口順敬，永田 緑，下川邦泰，古田智彦：各種乳腺疾患における PyNase の局在 酵素抗体法による免疫組織化学的検討 ．癌と化学療法 23，703-706（1996）

竹村正男，清島 満，野間昭夫，葛西千秋，佐藤正夫，森田敏子，武内章二：R A 患者における可溶性 Interleukin-2 受容体測定 of 臨床的意義について ．臨床病理 44，564-568（1996）

費 華，前田悟司，清島 満，野間昭夫：高比重リポ蛋白亜分画法とその臨床的意義．臨床病理 44，802-806（1996）

古田伸行，竹村正男，清島 満，前田悟司，飯田悦夫，野間昭夫：A C S - 180 による甲状

腺関連ホルモン測定の基礎的検討．臨床検査機器・試薬 19, 549-555 (1996)

古田伸行, 竹村正男, 清島 満, 前田悟司, 栗山 学, 飯田悦夫, 野間昭夫: LPIA-200 による前立腺特異抗原測定的基础的検討．臨床検査機器・試薬 19, 919-924 (1996)

辻 恭嗣, 須原貴志, 加藤元久, 杉山保幸, 鷹尾博司, 国枝克行, 梅本敬夫, 宮 喜一, 深田代造, 佐治重豊, 下川邦泰: 肉眼的腹膜播種性転移陰性胃癌症例における洗浄細胞診陽性例の臨床病理学的特徴について．岐阜医紀 44, 520-527 (1996)

大野あけみ, 北山美佳, 池田庸子: 術後 19 年で腹腔内播種した膵 solid and cystic tumor の一例．J Jpn Soc Clin Cytol 35, 354-355 (1996)

桐生拓司, 下川邦泰, 稲田 潔, 池田庸子, 熊田佳孝: 軟部類上皮性血管内皮腫の 1 例．病院病理 13, 146 (1996)

飯田 豊, 田辺 博, 下川邦泰: 無黄疸期に発見された高齢者十二指腸乳頭部癌の 1 例．胆と膵 17, 1149-1153 (1996)

矢嶋茂裕, 河合直樹, 久野保夫, 津川 昇, 小林 博, 青木 靖, 伊藤 亨, 小坂孝二, 川瀬晴美, 下野和男: 御岳登山におけるホルター心電図の検討．岐阜県医師会医学雑誌 9, 121-126 (1996)

川崎雅規, 大野奈良, 井尾謙介, 森田則彦, 池田庸子: 冠動脈ステント(Palmaz-Schatz Stent) 植え込み術後の剖検所見 2 例．岐阜県医師会医学雑誌 9, 169-175 (1996)

平田俊文, 石澤錠二, 岩村真事, 池田庸子, 中谷 圭, 澤田元史: 頸胸髄内上衣腫の 2 手術治験例．岐阜県医師会医学雑誌 9, 237-242 (1996)

片山良彦, 成瀬博昭, 稲田 潔, 池田庸子: 肺内リンパ節の 1 例．岐阜県医師会医学雑誌 9, 259-262 (1996)

佐藤元一, 梅本敬夫, 国枝克行, 杉山保幸, 佐治重豊, 下川邦泰: 紅皮症に合併した早期胃癌の 1 例．日臨外会誌 57, 1931-1935 (1996)

池田庸子, 和田英一, 下川邦泰, 稲田 潔, 桐生拓司: 痔瘻様の症状で手術された inverted follicula keratoris の一例．病院病理 14, 42 (1996)

吉野功二，小牧卓二，山北宜由，三浦 清，池田庸子：食道を含め全消化管に病変を認めた Crohn 病の一例．内科 78，569-570（1996）

桐生拓司，松井英介，南立由歌，塩谷真由美，真鍋知子，四方 進，水野晋二，兼松雅之，梶浦雄一，関 松蔵，後藤裕夫，山脇義晴，星 博昭，下川邦泰，池田庸子，柴山麿樹：肋骨転移により発見された胃癌の 1 例．日胸会誌 55，836-839（1996）

林 勝知，松友寛和，千賀省始，下川邦泰，広瀬 一：妊娠 32 週に手術を施行した甲状腺乳頭癌の 1 例．外科 58，1915-1918（1996）

竹村正男，清島 満，斉藤邦明，野間昭夫，葛西千秋，佐藤正夫，武内章二：慢性関節リウマチ患者における血中可溶性接着分子 L-selectin の測定とその臨床的意義 臨床と研究 73，2651-2655（1996）

竹村正男，清島 満，斉藤邦明，野間昭夫，山田 拓，沢村俊比古，滝谷博志：体外循環器作動の血中サイトカインとリンパ球亜分画に与える影響について：臨床と研究 73，2884-2888（1996）

竹村正男，清島 満，斉藤邦明，野間昭夫，篠田 淳，佐藤正夫，葛西千秋：化学発光法による高感度 interleukine-6 測定について．医学と薬学 36，1071-1076（1996）

松井英介，桐生拓司，星 博昭，下川邦泰：肺微細構造の画像診断 小葉構造の分析を中心に．日胸臨床 56，8-15（1997）

松井英介，桐生拓司，川口真平，柴山麿樹，星 博昭，酒井 聡，下川邦泰，池田庸子：末梢微小肺癌の診断法．日胸臨床 56，531-539（1997）

山下寿美子，大池知行，飯田悦夫，野間昭夫：グルコース脱水素酵素を用いた液状グルコース測定試薬エスパ・GLU リキッドの基礎的検討．臨床検査機器・試薬 20，69-74（1997）

国枝克行，竹村茂之，加藤元久，杉山保幸，村瀬全彦，下川邦泰，佐治重豊：重症筋無力症に併発した後腹膜原発 Castleman リンパ腫の 1 例．日臨外会誌 58，672-676（1997）

土屋十次，永田高康，川越 肇，立花 進，梶間敏彦，星野睦夫，右納 隆，下川邦泰：Dynamic MR マンモグラフィーによる乳腺病変の術前診断について 信号強度比の cut off



値設定．日臨外会誌 58，2765-2773（1997）

沢村治樹，加藤直樹，沢 赫代，渡辺邦友，上野一恵：嫌気性無芽胞グラム陰性桿菌である *Bilophila wadsworthia* の同定法．日本感染症学雑誌 71，614-619（1997）

土屋十次，永田高康，川越 肇，森 茂，立花 進，梶間敏彦，星野睦夫，伊藤文雄，山羽正義，右納 隆，下川邦泰：尿路系に浸潤し症状発現した原発性虫垂癌の2症例．日本大腸肛門病会誌 50，584-593（1997）

近藤富雄，平泉泰久，中嶋義記，藤井秀比古，小澤武司，内木洋子：小児気管支喘息に対するアセチルコリン吸入試験の臨床的検討．岐阜県医師会医学雑誌 10，213-217（1997）

矢嶋茂裕，久野保夫，河合直樹，津川 昇，小林 博，青木 靖，伊藤 亨，小坂孝二，川瀬晴美：口 - プウェイを使った登山中のホルター心電図 心疾患術後小児を対象として．岐阜県医師会医学雑誌 10，219-224（1997）

土屋十次，永田高康，川越 肇，立花 進，梶間敏彦，星野睦夫，右納 隆，下川邦泰：検診受診者全例に全乳房手動超音波検査を併用する乳癌検診の有用性について．日乳癌検診学会誌 6，299-308（1997）

辻 恭嗣，国枝克行，須原貴志，加藤元久，杉山保幸，梅本敬夫，深田代造，宮 喜一，佐治重豊，下川邦泰：胃癌の腹膜播種性転移に及ぼす転移陽性リンパ節の影響 腹腔洗浄細胞診による検討．日消外会誌 30，2140-2145（1997）

国枝克行，佐治重豊，熊沢伊和生，杉山保幸，宮 喜一，下川邦泰：肝転移に対し肝動注免疫化学療法が有効であった総胆管カルチノイドの1例．日消外会誌 30，2201-2205（1997）

国枝克行，佐治重豊，熊沢伊和生，杉山保幸，梅本敬夫，宮 喜一，深田代造，稲田 潔，下川邦泰：血清  $\alpha$ -fetoprotein 陽性胃癌の臨床病理学的特徴と増殖活性、基底膜形成に関する検討．日消外会誌 30，2231-2238（1997）

阪本研一，福地貴彦，二村直樹，下川邦泰：虫垂内分泌細胞癌の1手術例．日消外会誌 30，2302-2306（1997）

松井英介，桐生拓司，川口真平，四方 進，真鍋知子，塩谷真由美，南立由歌，柴山麿樹，星 博昭，酒井 聡，下川邦泰，池田庸子：末梢肺腺癌の HRCT 所見 病理所見との対比．

胸部 CT 検診 4, 92-95 (1997)

磯村幸範, 嘉村正徳, 奥村昇司, 石塚達夫, 鈴木雅雄, 下川邦泰, 佐治重豊, 林 慎, 安田圭吾: O Ip + IIc 型を呈した食道粘膜癌の 1 例. 胃と腸 32, 1109-1113 (1997)

鈴木雅雄, 下川邦泰, 小川 博, 綿引 元: ルーチン X 線検査における食道粘膜癌の診断  
その診断技術の質的向上に関する検討 . 胃と腸 32, 1299-1309 (1997)

真鍋知子, 後藤裕夫, 塩谷真由美, 南立由歌, 水野普司, 兼松雅之, 関 松蔵, 星 博昭,  
下川邦泰: 頸部食道にみられた pyogenic granuloma の 1 例. 日消会誌 95, 230-232 (1998)

津屋 洋, 村瀬賢治, 佐藤哲也, 波頭経明, 金田成宗, 高橋親彦, 下川邦泰: 特発性血小板  
減少性紫斑病 (ITP) を合併した結腸癌の 1 例. 日臨外会誌 59, 759-763 (1998)

国枝克行, 河合雅彦, 佐野 文, 渡辺 敦, 竹村茂之, 佐治重豊, 後藤裕夫, 下川邦泰: 直  
腸癌を合併した成人腸回転異常症の 2 例. 日消外会誌 31, 1136-1140 (1998)

飯田 豊, 嘉屋和夫, 松友寛和, 松原長樹, 下川邦泰: 経肛門的局所切除により根治しえた  
直腸粘膜脱症候群の 1 例. 手術 52, 139-141 (1998)

矢野容子, 安部 彰, 清島 満: 生体侵襲時における Lp(a) の生理的意義. 動脈硬化 24,  
347-352 (1998)

川瀬晴美, 河合直樹, 下野和夫, 山崎嘉久, 矢嶋茂裕, 久野保夫, 津川 昇, 小林 博, 青  
木 靖, 伊藤 亨, 小坂孝二, 清島 満: 水中心電図による水泳中および潜水中の不整脈の  
検討. 呼吸と循環 46, 791-796 (1998)

#### 原著 (欧文・国内)

Song H, Katoh S, Ida K, Shinoda M, Nakamura M: Asymptomatic IgA nephropathy in the  
Chinese and Japanese : a case report and review. 社会保険神戸中央病院医学雑誌 6, 45-  
49 (1996)

Kanematsu M, Hoshi H, Imaeda T, Yamawaki Y, Ueno K, Yasuda M, Kuriyama M,  
Shimokawa K: Renal pelvic and ureteral carcinoma with huge hydronephrosis: US, CT,  
and MR findings. Radiation Med 14, 321-323 (1996)

Kato T , Saji S , Kanematsu M , Fukada D , Miya K , Umemoto T , Kunieda K , Sugiyama Y , Kuwahara I , Shimokawa K : A case of liver metastasis from colon cancer masquerading as focal sparing in a fatty liver . Jpn J Clin Oncol 27 , 189-192 ( 1997 )

Yano H ,Funakoshi T ,Shinoda J ,Sakai N ,Kokuzawa G ,Shimokawa K : Primary pleomorphic adenoma in posterior cranial fossa . Brain Tumor Pathol 14 , 75-78 ( 1997 )

Tsuchiya J ,Nagata T ,Kawagoe H ,Tachibana S ,Kajima T ,Hoshino M ,Uno T ,Shimokawa K : Preoperative diagnosis of breast diseases by dynamic MR mammography : cut-off point establishment for signal intensity ratio . Breast Cancer 5 , 155-164 ( 1998 )

Kiryu T , Kawaguchi S , Matsui E , Hoshi H , Sano K , Takatsu H , Tanaka H , Shimokawa K : Pleomorphic adenoma of the trachea : A case report . Radiation Med 16 ,205-207( 1998 )

#### 原著 ( 欧文・国外 )

Sakai N , Niikawa S , Yamada H , Nishimura Y , Andoh T , Shimokawa K : Longer survival in high grade gliomas : intraoperative radiation therapy ( IORT ) and immunocytochemical assessment of their growth potential . J Clin Neurosci 3 , 46-51 ( 1996 )

Wada H , Ivester C T , Carabello B A , Cooper IV G , McDermott P J : Translational initiation factor eIF-4E ; a link between cardiac load and protein synthesis . J Biol Chem 271 , 8359-8364 ( 1996 )

Toida M , Shimokawa K : Warthin tumor : clinical and histopathologic investigation of 25 tumors in 22 cases . Asian J Oral Maxillo Surg 8 , 15-25 ( 1996 )

Kraft H G , Lingenhel A , Kochl S , Hoppincher F , Kronenberg F , Abe A , Muhlberger V , Schonitzer D , Uttermann G : Apolipoprotein ( a ) kringle IV repeat number predicts risk for coronary heart disease . Arterioscler Tromb Vasc Biol 16 , 713-719 ( 1996 )

Ohta Y , Uemura M , Saito K , Sasaki E , Ishiguro I : Relationship between the level of serum L-tryptophan and its hepatic uptake and metabolism in rats with carbon tetrachloride-induced liver cirrhosis . Amino Acids 10 , 369-378 ( 1996 )

Wada H , Zile M R , Ivester C T , Cooper IV G , McDermott P J : Comparative effects of contraction and angiotensin • on growth of adult feline cardiocytes in primary culture . Am J

Physiol 271 , H29-H37 ( 1996 )

Nishimura M , Seishima M , Ohashi H , Noma A : Effects of lipid administration on lymphatic apolipoprotein A-IV and B output and synthesis . Am J Physiol 271 ( Gastrointest Liver Physiol 34 ) , G322-G329 ( 1996 )

Seishima M , Usui T , Naganawa T , Nishimura M , Moriwaki H , Muto Y , Noma A : Reduction of intestinal apo A-IV mRNA levels in the cirrhotic rat . J Gastroenterol Hepatol 11 , 746-751 ( 1996 )

Yamamoto T , Kitazawa Y , Noma A , Maeda S , Kato A , Ando Y , Ido T , Inazumi K , Hayakawa T , Goto Y , Ichien M : The effects of the  $\beta$ -adrenergic-blocking agents , Timolol and Carteolol , on plasma lipids and lipoproteins in Japanese glaucoma patients . J Glaucoma 5 , 252-257 ( 1996 )

Kasuya S , Nagano I , Ikeda T , Goto C , Shimokawa K , Takahashi Y : Apoptosis of lymphocytes in mice induced by infection with rickettsia tsutsugamushi . Infection and Immunity 64 , 3937-3941 ( 1996 )

Seishima M , Nojiri M , Akiyama T , Seishima M , Noma A , Etoh Y , Kitajima Y : Expression of activin A in human keratinocytes at early stages of cultivation . FEBS Letters 398 , 120-124 ( 1996 )

Nguyen SA V , Otsuka H , Zhang G Q , To H , Yamaguchi T , Fukushi H , Noma A , Hirai K : Rapid method for detection of Coxiella burnetii antibodies using high-density particle agglutination . J Clin Microbiol 34 , 2947-2951 ( 1996 )

Seishima M , Takemura M , Saito K , Sano H , Minatoguchi S , Fujiwara H , Hachiya T , Noma A : Highly sensitive ELISA for soluble Fas in serum : increased soluble Fas in the elderly . Clin Chem 42 , 1911-1914 ( 1996 )

Saito K , Seishima M , Noma A , Markey S P : Cytokine and drug modulation of kynurenine pathway metabolism by blood mononuclear cells . Adv Exp Med , 161-165 ( 1996 )

Saito K , Seishima M , Noma A , Suyama K , Markey S P , Heyes M P : 4-Chloro-3-hydroxyanthranilate attenuate quinolinic acid accumulation in brain following transient

cerebral ischemia in the gerbil . *Adv Exp Med* , 407-411 ( 1996 )

Saito K , Seishima M , Noma A , Nagamura Y , Quearry B J , Markey S P , Heyes M P : Kynurenine pathway metabolism in the galactosamine model of hepatic injury .*Adv Exp Med* , 421-424 ( 1996 )

Saito K : Kynurenine pathway enzymes in brain : Properties of enzymes and regulation of quinolinic acid synthesis . *Adv Exp Med* , 485-492 ( 1996 )

Heyes M P , Achim C , Wiley C A , Major E O , Saito K , Markey S P : Human microglia convert L-tryptophan into the neurotoxin quinolinic acid . *Biochem J* 320 , 595-597 ( 1996 )

Saito K , Seishima M , Heyes M P , Song H , Fujigaki S , Maeda S , Noma A : Marked increases in concentrations of apolipoprotein in the cerebrospinal fluid of poliovirus-infected macaques : relationships between apolipoprotein concentrations and severity of brain injury . *Biochem J* 321 , 145-149 ( 1997 )

Agata H , Kondo N , Fukutomi O , Takemura M , Tashita H , Kobayashi Y , Shinoda S , Nishida T , Shinbara M , Orii T : Pulmonary hemosiderosis with hypersensitivity to buckwheat . *Ann Allerg Asthma Immunol* 78 , 233-237 ( 1997 )

Yano Y , Shimokawa K , Okada Y , Noma A : Immunolocalization of lipoprotein( a ) in wounded tissues . *J Histochem Cytochem* 45 , 559-568 ( 1997 )

Sarui H , Yoshimoto K , Okumura S , Kamura M , Takuno H , Ishizuka T , Takao H , Shimokawa K , Itakura M , Saji S , Yasuda K : Cystic glucagonoma with loss of heterozygosity on chromosome 11 in multiple endocrine neoplasia type 1 . *Clin Endocrinol* 46 , 511-516 ( 1997 )

Nishigaki K , Minatoguchi S , Seishima M , Asano K , Noda T , Yasuda N , Sano H , Kumada H , Takemura M , Noma A , Tanaka T , Watanabe S , Fujiwara H : Plasma Fas ligand , an inducer of apoptosis , and plasma soluble Fas , an inhibitor of apoptosis in patients with chronic congestive heart failure . *J Am Coll Cardiol* 29 , 1214-1220 ( 1997 )

Minatoguchi S , Uno Y , Seishima M , Koshiji M , Kakami M , Yokoyama H , Ito H , Fujiwara H : Effects of adrenaline infusion on plasma lipids and noradrenaline levels in rabbits with adriamycin-induced cardiomyopathy . *Clin Exp Pharm Physiol* 24 , 477-480 ( 1997 )

Seishima M , Takemura M , Saito K , Ando K , Noma A : Increased serum soluble Fas ( sFas ) concentrations in HCV-positive patients with liver cirrhosis . J Hepatol 27 , 424-425 ( 1997 )

Iwata S , Sukegawa K , Sasaki T , Kokuryu M , Yamashita S , Noma A , Iwasa S , Kondo N , Orii T : Mass screening test for mucopolysaccharidoses using the I ,9-dimethylmethylene blue method : positive interference from paper diapers . Clin Chim Acta 264 , 245-250 ( 1997 )

Heyes M P , Chen C Y , Major E O , Saito K : Different kynurenine pathway enzymes limit quinolinic acid formation by various human cell types . Biochem J 326 , 351-356 ( 1997 )

Yokoyama Y , Takahashi Y , Serda D , Morishita S , Hashimoto M , Shimokawa K , Tamaya T : Silver-stained nucleolar organizer regions in adenocarcinoma of the cervix-A light and electron microscopic study . Pathol Res Pract 193 , 275-281 ( 1997 )

Song H , Saito K , Seishima M , Noma A , Urakami K , Nakashima K : Cerebrospinal fluid apo E and apo A-I concentrations in early- and late-onset Alzheimer's disease . Neurosci Lett 231 , 175-178 ( 1997 )

Heyes M P , Saito K , Chen C Y , Proescholdt M G , Nowak T S , Kawai K , Markey S P : Species heterogeneity between gerbils and rats : quinolinate production by microglia and astrocytes , and accumulations in response to ischemic brain injury and systemic immune activation . J Neurochem 69 , 19-29 ( 1997 )

Song H , Seishima M , Saito K , Maeda S , Takemura M , Noma A , Kondo A , Manabe M , Urakami K , Nakashima K . : Apo A-I and apo E concentrations in cerebrospinal fluids of patients with acute meningitis . Ann Clin Biochem 35 , 408-414 ( 1998 )

Seishima M , Seishima M , Takemura M , Saito K , Kitajima Y : Increased serum soluble Fas , tumor necrosis factor  $\alpha$  and interleukin 6 concentrations in generalized pustular psoriasis . Dermatology 196 , 371-372 ( 1998 )

Song H , Saito K , Fujigaki S , Noma A , Ishiguro H , Nagatsu T , Seishima M : IL-1 and TNF- $\alpha$  suppress apolipoprotein ( apo ) E secretion and apo A-I expression in Hep G2 cells . Cytokine 10 , 275-280 ( 1998 )

Heyes M P , Saito K , Lackner A , Wiley A C , Achim L C , Markey P S : Sources of the neurotoxin quinolinic acid in the brain of HIV-1-infected patients and retrovirus-infected macaques . FASEB J 12 , 881-896 ( 1998 )

Yano Y , Seishima M , Tokoro Y , Noma A : Stimulatory effects of lipoprotein ( a ) and low-density lipoprotein on human umbilical vein endothelial cell migration and proliferation are partially mediated by fibroblast growth factor-2 . Biochim Biophys Acta 1393 , 26-34 ( 1998 )

Fujigaki S , Saito K , Takemura M , Fujii H , Wada H , Noma A , Seishima M : Species differences in L-tryptophan-kinurenine pathway metabolism : quantification of anthranilic acid and its related enzymes . Arch Biochem Biophys 358 , 329-335 ( 1998 )

## その他

西村 孝 : コリンエステラーゼ 測定法の現状と標準化 . 臨床化学のつどい 岐阜フォーラム講演集 2 , 53-58 ( 1996 )

野間昭夫 : 血清脂質検査のすべて . 栄研化学 K K パンフレット , 33 ( 1996 )

西村 孝 : G T 標準法のサーベイ成績報告 . 岐阜 Q A 研究会 1996 年度研究集会報告書 , 32-47 ( 1996 )

西村 孝 : 検査室の測定誤差の調査 世話人施設を対象とした尿酸サーベイ報告 . 岐阜 Q A 研究会 1997 年度研究集会報告書 , 71-90 ( 1996 )

野間昭夫 : 特集・高脂血症 , 高 Lp ( a ) 血症と虚血性心疾患 . アニムス 8 , 22-25 ( 1997 )

清島 満 , 斉藤邦明 , 野間昭夫 : 高脂血症患者のアポ A-IV 遺伝子多型性に関する研究 . 文部省科学研究費補助金基盤研究 ( C ) 平成 7 , 8 年度研究報告書 , ( 1997 )

清島 満 : Lipoprotein ( a ) の生理的意義と病態形成の役割 . 薬事日報 8889 , ( 1997 )

栗山 学 , 竹村正男 : 前立腺特異抗原 ( PSA ) その測定と臨床的意義 . けんさ 27 , 3-11 ( 1997 )

川瀬晴美 : 心電図の保守管理 性能点検について . 第 10 回中部地区生理検査研修会テキスト , 59-80 ( 1997 )

洞井俊夫：神経生理，基礎技術（脳波検査の誘導法）．第 10 回中部地区生理検査研修会テキスト，225-231（1997）

川瀬晴美：生理検査からみた患者サービスを考える．岐阜臨床衛生検査技師会誌 27，14-16（1996）

清島 満：高 Lp（a）血症の治療不応例と対策．日本醫事新報 3293，133-134（1997）

西村 孝：岐阜県下の主な検査室での尿酸測定誤差の調査．岐阜 Q A 研究会 1997 年度研究集会報告書，印刷中（1997）

和田久泰，清島 満：老年者の心不全，症例の解析．Needs & Seeds 7，（1998）



## 口腔外科学講座

### 著書 (欧文)

T . TANAKA , H . MAKITA , M . OHNISHI , A . MURAKAMI , K . KOSHIMIZU , Y . NAKAMURA , H . OHIGASHI , H . MORI . Chemoprevention of oral and colon carcinogenesis by natural compounds protocatechuic acid , S-methyl methane thiosulfonate , and hesperidin from vegetables and fruits . Food Factors for Cancer Prevention . 194-199 , Springer-Verlag , Tokyo , Japan .

### 原著 (和文)

兵東 巖 , 米本武史 , 谷江勇一 , 和仁俊広 , 森 聡次郎 , 松野充泰 , 立松憲親 : 好中球由来活性酸素における小柴胡湯の抗酸化作用について . 漢方医学 20 , 320-323 ( 1996 )

市原秀記 , 加藤幸弘 , 佐木宏吉 , 立松憲親 , 土井田 誠 , 奥富 直 : 長期間にわたり再発をくり返し悪性化した頬部多形性腺腫の 1 例 . 日口外誌 42 , 424-426 ( 1996 )

加藤幸弘 , 高木宜雄 , 渡辺二三雄 , 八木栄司 , 佐木宏吉 , 市原秀記 , 立松憲親 , 岡 伸光 : 舌膿瘍の 2 例 . 岐阜大医紀 44 , 528-531 , ( 1996 )

立松憲親 , 市原秀記 , 兵東 巖 , 藤塚秀樹 , 横山恭子 , 安岡 忠 , 半田祐二郎 , 奥富 直 : 下顎骨の再建 . 岐阜大医紀 44 , 587-593 ( 1996 )

奥富 直 , 市原秀記 , 奥田 孝 , 兵東 巖 , 藤塚秀樹 , 立松憲親 , 岡 伸光 : 当科における Ubenimex ( Bestatin R ) を加えた口腔癌術後補助的免疫化学療法の臨床効果 . Biotherapy 10 , 506-508 ( 1996 )

佐木宏吉 , 阿部一雄 , 市原秀記 , 加藤幸弘 , 立松憲親 , 岡 伸光 : ラット由来骨肉腫 ( MSK ) に対する G-CSF および M-CSF の影響 . 岐阜大医紀 44 , 49-58 ( 1996 )

加藤幸弘 , 坂野喜子 , 中島 茂 , 岡 伸光 : 骨芽細胞様細胞 MC3T3-E1 の分化初期応答におけるプロスタグランジン F<sub>2</sub> の作用 - グリセロリン酸とアスコルビン酸による分化誘導 . 口科誌 45 , 1-12 ( 1996 )

立松憲親 , 長井昭彦 , 白木完治 , 根尾直志 , 岩田千鶴子 , 米本武史 : OK-432 局注療法にお

ける海綿状リンパ管腫の治療．岐阜大医紀 44, 324-327 (1996)

立松憲親，津屋多美子，市原秀記，江崎智香子，野田徳朗：顔面腫瘍切除後の広範囲欠損に対する補綴的処置の経験．岐阜大医紀 44, 388-392 (1996)

奥富 直，楠 幸博，佐竹大司，富田美穂子，清水恵子，藤塚秀樹，市原秀記，立松憲親：口腔外科領域における高蛋白濃厚流動食”サンエット A”の臨床評価 JJPEN 19, 455-463 (1997)

津屋多美子，佐木宏吉，奥田 孝，市原秀記，立松憲親，岡 伸光：頬粘膜部に発生した貯留嚢胞の一例．日口外誌 43, 48-50 (1997)

澤裕一郎，竹本隆，伊藤正樹，宮本謙，高木宣雄，宮城島俊雄：パンピングマニピュレーション療法の臨床効果 洗浄療法，ヒアルロン酸注入療法の併用．J Jpn Soc TMJ 9, 506-514 (1997)

牧田浩樹，奥田 孝，兵東 巖，福井克仁，立松憲親：鼻口蓋管嚢胞の 13 例．岐阜大医紀 45, 292-298 (1997)

森 範子，加藤幸弘，今井 努，宮本 謙，安田 聡，松野充泰，藤塚秀樹，兵東 巖，市原秀記，奥富 直，立松憲親：Gillies temporal approach による頬骨弓骨折整復術の一例．超音波断層撮影の有用性．岐阜大医紀 46, 52-54 (1998)

松野充泰，兵東 巖，米本武史，森 聡次郎，牧田浩樹，谷江勇一，立松憲親：虚血・再灌流 Model による Superoxide の生成について．活性酸素による抗腫瘍効果に向けて．岐阜大医紀 46, 90-97 (1998)

江崎友紀，森 聡次郎，後藤和光，山田鉄也，立松憲親：下顎埋伏智歯に抜歯時に偶発的に認められた Calcifying Odontogenic Cyst の 1 例．岐阜市民病院年報 in press

津屋多美子，藤塚秀樹，加藤幸弘，市原秀記，奥富 直，立松憲親：胃，十二指腸，膵臓，脾臓切除後の糖尿病患者の顔面多発骨折の 1 治療例—とくに顎間固定中の栄養管理について—．日口外誌 in press

立松憲親，藤塚秀樹，安田 聡，宮本 謙，坂井隆之，奥富 直，神谷秀喜：眼球欠損にエビテーゼを装着した 2 症例の経験．岐阜大医紀 in press

**原著 (欧文、国内)**

Takumi Mizui , Jun-Ichi Ishimaru , Hitoshi Iwata , Makoto Toida , Ken Miyamoto : Adenocarcinoma in pleomorphic adenoma of the palate : A case report . Hosp Dent ( Tokyo ) 9 , 10-12 ( 1997 )

Takumi Mizui , Jun-Ichi Ishimaru , Noriaki Ikeda , Kenichi Kurita , Ken Miyamoto , Yujiro Handa : A case of temporomandibular joint ankylosis accompanied by micrognathia , which case was improved by surgical reconstruction with a costochondral rib graft . Hosp Dent ( Tokyo ) 9 , 14-16 ( 1997 )

Ken Miyamoto , Hideki Ichihara , Takayuki Sakai , Atsushi Kobayashi , Tomoko Imasaka , Takumi Mizui , Noriko Mori , Norichika Tatematsu : The superficial temporalis fascia flap for severe temporomandibular joint reankylosis . Acta Sch Med Univ Gifu 46 , 173-176 ( 1998 )

**原著 (欧文、国外)**

Makita H , Tanaka T , Fujitsuka H , Tatematsu N , Satoh K , Hara A , Mori H : Chemoprevention of 4-nitroquinoline 1-oxide-induced rat oral carcinogenesis by the dietary flavonoids chalcone , 2-hydroxychalcone , and quercetin . Cancer Research 56 , 4904-4909 ( 1996 )

Takahashi T , Kawashima M , Yasuoka T , Kamiyoshi M , Tanaka K : Mesotocin binding to receptors in hen kidney plasma membranes . Poult Sci 75 , 910-914 ( 1996 )

Okuda T , Yasuoka T , Nakashima M , Oka N : The effect of ovariectomy on the temporomandibular joint of growing rats . J Oral Maxillofac Surg 54 , 1201-1210 ( 1996 )

Yasuoka T , Kawashima M , Takahashi T , Iwata A , Oka N , Tanaka K : Changes of parathyroid hormone receptor binding affinity during egg laying : Implications for calcium homeostasis . J Bone Miner Res 11 , 1913-1920 ( 1996 )

Sakai T , Ambudkar IS : Role for protein phosphatase in the regulation of Ca<sup>2+</sup> influx in parotid gland acinar cells . American Journal of Physiology 271 , C284-C294 ( 1996 )

Chauthaiwale JV , Sakai T , Taylor SE , Ambudkar IS : Presence of two Ca<sup>2+</sup> influx components in internal Ca<sup>2+</sup> -pool-depleted rat parotid acinar cells . Pflüg Arch 432 , 105-

111 ( 1996 )

Murayama T , Kawashima M , Takahashi T , Yasuoka T , Kuwayama T , Tanaka : Direct action of melatonin on hen ovarian granulosa cells to lower responsiveness to luteinizing hormone . Proc Soc Exp Biol Med 225 , 386-392 ( 1997 )

Takahashi T , Kawashima M , Yasuoka T , Tanaka K : Appearance of an arginine vasotocin receptor of large molecular size in the uterus ( shell gland ) of the hen at oviposition . J Reprod Fert 110 , 245-248 ( 1997 )

Takahashi T , Kawashima M , Yasuoka T , Kamiyoshi M , Tanaka K : Mesotocin receptor binding of cortical and medullary kidney tissues of the hen . Poult Sci 76 , 1302-1306 ( 1997 )

Yasuoka T , Kawashima M , Takahashi T , Tatematsu N , Tanaka K : Calcitonin receptor binding properties in bone and kidney of the chicken during the oviposition cycle . J Bone Miner Res ( in press )

Yukihiro KATO , Yoshiko BANNO , Taiko DOHJIMA , Naoki KATO , Kunitomo WATANABE , Norichika TATEMATSU , Yoshinori NOZAWA : Involvement of Rho family proteins in prostaglandin F2a-induced phospholipase D activation in the osteoblast-like cell line MC3T3-E1 Prostaglandins 54 , 475-492 ( 1997 )

Taikoh DHOJIMA , Yukihiro KATO , Yoshiko BANNO , Takatoshi OHONO Yoshinori NOZAWA , Katsuji SHIMIZU : Preferential down-regulation of phospholipase C-b1 ( PLC-b1 ) during the early stage of differentiation in MC3T3-E1 osteoblast cells . Biomedical Research 18 , 445-451 ( 1997 )

Ken Miyamoto , Richard Vickers , Jun-Ichi Ishimaru , Nobumi Ogi , Kenichi Kurita , Alastair N . Goss : The effect of unilateral condylectomy on the sheep temporomandibular joint . J Cranio Maxillofac Surg ( 1998 )( in submit )

Sakai T , Ambudkar IS : Involvement of protein kinase in Ca<sup>2+</sup> -dependent feedback modulation of divalent cation influx in internal Ca<sup>2+</sup> store-depleted rat parotid gland cells . Pfl 殛 Arch 433 , 464-471 ( 1997 )

Meehan S , Wu AJ , Kang EC , Sakai T , Ambudkar IS : Interferon-g induces a decrease

in the intracellular calcium pump in a human salivary gland cell line . American Journal of Physiology 273 , C2030-2036 ( 1997 )

## 反射研究施設

### 著書（和文）

本間三郎：脳死と人権，医療と法則（加藤一郎編），1996．35-49

松波謙一：手仕事と脳，子どもの心身の発達を促す手仕事のすすめ 折る・編む・縫う ，  
柳澤澄子，祖父江茂登子，近藤四郎編，家政教育社，1997．16-32

本間三郎：脳波双極子追跡 - 脳内電位発生源の特定，本間三郎編，1997．1-169

### 総説（和文）

松波謙一：リスザル 宇宙基地実験を目指して ．宇宙生物科学 11，87-111（1997）

本間三郎：脳と心の科学 - E E G双極子追跡法の研究から - 臨床脳波 39，488-496（1997）

内藤栄一，室井みや，松波謙一：感覚と運動の統合．数理科学 36，34-41（1998）

### 原著（和文）

本間三郎，廖登稔，西川弘恭：双極子追跡法による体性感覚誘発電位，S E Pの解析．明治  
鍼灸医学 18，1-9（1996）

松波謙一，川島卓，佐竹裕孝：市販のテレメータを使用した大脳の単一細胞活動記録の試み．  
宇宙航空環境医学 34，11-14（1997）

岡本良夫，本間三郎，宮本啓一：通電による頭部組織の導電率推定．医用電子と生体工学 35，  
280-287（1997）

### 原著（欧文・国内）

Satow Y，Kawashima T，Satake H，Matsunami K：Influence of long and strong constant  
magnetic field on bullfrog muscle tension．Proc Japan Acad 72 Ser．B，153-156（1996）

Konishi T，Satake H，Matsunami K：Acceleration induced effects on auditory evoked  
potentials in rat．Proc 20th Intl Symp Space Technol & Sci，1227-1281（1996）

### 原著 ( 欧文・国外 )

Chowdhury SA , Kawashima T , Konishi T , Matsunami K : GABAergic characteristics of transcallosal activity of cat motor cortical neurons . *Neurosci Res* 26 , 323-333 ( 1996 )

Salunga TL , Han XY , Wong SM , Takeuchi H , Matsunami K , Upton C , Mercer AD : Blocking effects of premethazine , triprolidine , and their analogues on the excitation caused by the peptide , achatin- . *Europ J Pharmacol* 304 , 163-171 ( 1996 )

Suzuki M , Matsunami K , Yamazaki Y , Mizuno N : The application of the minimum jerk model to trajectory formation of the center of mass during multijoint limb movements . *Folia Primatologica* 66 , 240-252 ( 1996 )

Chowdhury SA , Kawashima T , Konishi T , Niwa M , Matsunami K : Study of paired pulse inhibition of transcallosal response in the pyramidal tract neuron in vivo . *Eur J Pharmacol* 314 , 313-317 ( 1996 )

Naito E , Matsumura M : Movement-related potentials associated with motor inhibition under different preparatory states during performance of two visual stop signal paradigms in humans . *Neuropsychologia* 34 , 565-573 ( 1996 )

Matsumura M , Kawashima R , Naito E , Sato K , Takahashi T , Yanagisawa T , Fukuda H : Changes in rCBF during grasping in humans examined by PET . *Neuroreport* 7 , 749-752 ( 1996 )

Kawashima R , Naito E , Matsumura M , Ito H , Ono S , Sato K , Gotoh R , Katama M , Inoue K , Yoshioka S , Fukuda H : Topographic representation in human intraparietal sulcus of reaching and saccade . *Neuroreport* 7 , 1253-1256 ( 1996 )

Muroi M , Naito E , Matsumura M : Influence of psychological refractory effect on the motor-inhibition process in the dual response GO/NO-GO task . *Perceptual & Motor Skills* 85 , 563-568 ( 1997 )

Suzuki M , Yamazaki Y , Mizuno N , Matsunami K : Trajectory formation of the center-of-mass of the arm during reaching movements . *Neurosci* 76 , 597-610 ( 1997 )

Han XY , Salunga TL , Takeuchi H , Matsunami K : Modulation by APGW-amide , an Achatina

endogeneous inhibitory tetrapeptide , of currents induced by neuroactive compounds on Achatina neurons : Amines and amino acids . Gen Pharmacol 29 , 523-530 ( 1997 )

Han XY ,Salunga TL ,Takeuchi H ,Matsunami K : Modulation by APGW-amide ,an Achatina endogeneous inhibitory tetrapeptide , of currents induced by neuroactive compounds on Achatina neurons : Peptides . Gen Pharmacol 29 , 531-538 ( 1997 )

## その他

館暲他：平成 7 年度情報化推進基盤整備（データベース関連調査）に関する調査報告書．イメージ情報科学，1996．56 p

本間三郎：自己の生命倫理．宗教法 15，1996．19-28

川崎晴久，松波謙一：岐阜大 VS ラボの挑戦．エレクトロニクス 10 月，1997．90-94

松波謙一，川島卓，佐竹裕孝，宮田英雄，小鹿丈夫：ヘッドマウンテッドディスプレイを使った人工現実感とその客観的評価基準の作製．人工現実感に関する基礎的研究 - 仮想空間の生成と人間との相互作用に関する研究 - 平成 8 年度研究成果報告書，29-30 ( 1997 )

館暲他：平成 8 年度情報化推進基盤整備（データベース関連調査）に関する調査報告書．イメージ情報科学，1997．139 p

館暲他：平成 9 年度情報化推進基盤整備（情報提供技術の高度化・多様化に伴う社会的影響調査）に関する調査報告書．イメージ情報科学，1998．84 p

松波謙一：サイエンス講座第 1 章：手指を動かすことは，脳を活性化させることにつながるのです．ぎふ元気人，Vol.8，1998．4-5

松波謙一，川島卓，佐竹裕孝，内藤栄一，宮田英雄，水田啓介，小鹿丈夫：ヘッドマウンテッドディスプレイを使った人工現実感とその客観的評価基準の作製．人工現実感に関する基礎的研究 - 仮想空間の生成と人間との相互作用に関する研究 - 平成 8 年度研究成果報告書，27-28 ( 1998 )

松波謙一，佐藤侑子：直流磁気が神経・筋に及ぼす影響．磁場の生体影響調査報告書 - 日本原子力研究所平成 9 年度委託研究，234-256 ( 1998 )



松波謙一：「ラジオでおじゃまします」生活リズムワイド「ハロー」, 岐阜ラジオ, 1998年  
4月14日

## 嫌気性菌実験施設

### 著書（和文）

渡邊邦友：39 .嫌気性菌総論 40 .嫌気性芽胞形成桿菌 41 .無芽胞嫌気性菌 .医系微生物学，第二版，加藤延夫編集，東京，朝倉書店，1996 . 183-196

渡邊邦友：グラム陰性嫌気性桿菌，グラム陰性嫌気性球菌 .標準微生物学，第六版，川名林治監修，東京，医学書院，1996 . 212-217，222

上野一恵，梅本敏彦，小栗豊子，賀来満夫，国広誠子，中村功，渡邊邦友（上野一恵監修）：  
微生物検査マニュアル～臨床嫌気性菌検査法'97，日臨微誌 7（Supple1）pp.117

渡邊邦友：2 .破傷風，ボツリヌス症，ガス壊疽，ディフィシル病，内科学教科書，黒川 清・松澤佑二編集，分光堂，in press

渡邊邦友：13 .無芽胞嫌気性グラム陰性桿菌の関与する複数菌感染症，内科学教科書，黒川清・松澤佑二編集，分光堂，in press

渡邊邦友：グラム陰性嫌気性桿菌，標準微生物学，第7版，川名林治監修，東京，医学書院，in press

渡邊邦友：グラム陰性嫌気性桿菌，標準微生物学，第7版，川名林治監修，東京，医学書院，in press

### 総説（和文）

渡邊邦友：抗生物質の正しい使い方；セフェム系抗生物質の正しい投与方法はどのようにあるべきか .第二世代セフェム . medicina 51（1），37-39（1996）

加藤直樹，渡邊邦友：臨床病理，特集第105号 検査微生物学（1）細菌，真菌，クラミチア，リケッチャ感染症の診断 B .偏性嫌気性菌 .日本臨床病理学会誌，臨床病理刊行会，東京，125-130（1997）

加藤直樹：嫌気性菌における遺伝子検査の応用 .臨床微生物迅速診断研究会誌 8：121-126（1997）

加藤直樹：トピックス：エンテロトキシン産生 *Bacteroides fragilis* . 検査と技術 26 : 249-251 ( 1998 )

#### 総説 ( 英文 )

Kato N , Kato H : Molecular detection and identification of anaerobic bacteria . J Infect Chemother 3 : 5-14 ( 1997 )

#### 原著 ( 和文 )

荒木光二 , 田中香お里 , 岡崎充宏 , 小川昌子 , 河内菜穂子 , 江上照夫 , 古谷信滋 , 内村英正 , 武田英紀 , 渡辺秀裕 , 渡辺登 , 森田耕司 , 金森政人 . 渡邊邦友 : カルチャーボトルからの分離とその同定に難渋した嫌気性菌血症の一症例 . 日臨微誌 6 ( 1 ) , 56-60 ( 1996 )

渡邊邦友 , 加藤直樹 , 田中香お里 , 田中保知 , 加藤はる , 上野一恵 : 新ペネム系抗菌薬 Sulopenem ( CP-70429 ) の抗嫌気性菌作用 . Japanese Journal of Antibiotics 49 ( 4 ) , 367-376 ( 1996 )

栄枝裕文 , 飯沼宣樹 , 島寛人 , 加藤直樹 , 加藤はる , 渡邊邦友 : 劇症型 A 群レンサ球菌による壊死性筋炎の 1 例 . 感染症誌 70 ( 3 ) , 273-277 ( 1996 )

本庄三千夫 , 涌井史典 , 森島隆文 , 馬場俊一 , 鈴木啓之 , 飯田利博 , 西山千秋 , 加藤直樹 , 渡邊邦友 : 尋常性瘡に対するナジフロキサシン ( アクアチームクリーム ) の臨床効果と細菌学的検討 . 西日本皮膚科 58 , 1029-1032 ( 1996 )

渡邊邦友 , 加藤直樹 , 田中香お里 , 加藤はる , 上野一恵 : 新ペネム系経口化学療法剤 ritipenem acoxil の抗嫌気性菌作用およびマウス盲腸内細菌叢への影響 . 日化療学誌 43 ( S-3 ) , 33-41 ( 1996 )

松宮良子 , 松波登志子 , 加藤直樹 , 加藤はる , 渡邊邦友 : 水性潤滑・防錆保守剤 ( ミルクテック S ) 用浴槽の細菌汚染 . 日環誌 12 , 181-185 ( 1997 )

福井克仁 , 加藤直樹 , 田中香お里 , 加藤はる , 渡邊邦友 , 立松憲親 : 口腔内開放性瘍の細菌学的検討 . 感染症誌 71 , 1226-1231 ( 1997 )

沢村治樹 , 加藤直樹 , 澤赫代 , 渡邊邦友 , 上野一恵 : 嫌気性無芽胞グラム陰性桿菌である *Bilophila wadsworthia* の同定法 . 感染症誌 71 , 614-619 ( 1997 )

山本啓二，糸数万正，加藤直樹，渡邊邦友：抗菌薬含有凍結乾燥フィブリン塊による実験的化膿性骨髄炎の治療効果．日化療会誌 45，92-98（1997）

伊藤陽一郎，田中学，島崎信，中村俊之，木村泰，島寛人，加藤直樹，渡邊邦友：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の検出：気道と消化管との関連．感染症誌 71，207-213（1997）

守殿貞夫，荒川創一，広瀬崇興，押正也，坂義人，公文裕巳，松本哲朗，小川暢也，渡邊邦友：複雑性尿路感染症に対する Cefluprenam と Ceftazidime の薬効比較試験．薬理と治療 25（Supplement`97），283-306（1997）

宮崎貴子，伊藤八次，加藤雅也，秋田茂樹，水田啓介，宮田英雄，加藤直樹，渡邊邦友：成人および高齢者における咽後膿瘍の2症例．感染症誌 72：157-161（1998）

中村敏彦，川村千鶴子，貝森光大，佐藤裕久，長谷川正，高谷彦一郎，長澤一磨，渡邊邦友：妊婦膣分泌物の直接塗抹標本の解析結果と膣内細菌叢の比較．日臨微誌 8（1），9-15（1998）

#### 原著（欧文・国内）

Tanaka M，Watanabe K，Sugie S，Ueno K：Pneumatosis cystoides intestinalis in gnotobiotic quails．J Toxicol Pathol 9，131-137（1996）

#### 原著（欧文・国外）

Kato H，Kato N，Watanabe K，Ueno K，Sakata Y，Saijo H，Suzuki Y，Fujita K：Relapses or reinfection：analysis of a case of Clostridium difficile-associated colitis by two typing systems．Current Microbiology，33，220-223（1996）

Kato N，Kato H，Watanabe K，Ueno K：Association of enterotoxigenic Bacteroides fragilis with bacteremia．Clinical Infectious Diseases 23（Suppl），83-86（1996）

Nonomura H，Kato N，Ohno Y，Itokazu M，Matsunaga T，Watanabe K：Indigenous bacterial flora of medical leeches and their susceptibilities to 15 antimicrobial agents．J Medical Microbiol 45，490-493（1996）

Kato N，Kato H，Tanaka-Bando K，Watanabe K，Ueno K：Comparative invitro activity of Du-6859a to Japanese isolates of anaerobic bacteria，Clinical Infectious Diseases 23（Suppl），31-35（1996）

Kato T , Uemura H , Murakami N , Moriwaki H , Muto Y , Ueno K , Watanabe K : Prevalence of anaerobic infection in pulmonary diseases : Japanese experience using transtracheal aspiration and immediate bed side anaerobic inoculation , *Clinical Infectious Diseases* 23 ( Suppl ), S87-96 ( 1996 )

Puapermpoonsiri S , Kato N , Watanabe K , Ueno K , Chongsomchai C , Lumbiganon P : Vaginal Microflora associated with Bacterial Vaginosis among Japanese and Thai Pregnant Women . *Clinical Infectious Disease* 23 , 48-52 ( 1996 )

Ojio K , Banno Y , Nakashima S , Kato N , Watanabe K , Lyerly DM , Miyata H , Nozawa Y : Effect of Clostridium difficile toxin B on IgE receptor mediated signal transduction in rat basophilic leukemia cells : Inhibition of phospholipase D activation , *Biochem Biophys Res Commun* 224 , 591-596 ( 1996 )

Hoshino T , H Amano H , Tanaka K : Actinomycosis of the middle ear and mastoid . *Eur Arch Otorhinolaryngol* 253-378 ( 1996 )

Kato N , Kato H , Tanaka-Bandoh K , Watanabe K , Ueno K : Comparative invitro and in-vivo activity of AM-1155 against anaerobic bacteria . *J Antimicrobial Chemother* 40 , 631-637 ( 1997 )

Kato Y , Banno Y , Dohjima T , Kato N , Watanabe K , Tatematsu N , Nozawa Y : Involvement of Rho Family Proteins in prostagrandin F2alpha-induced phospholipase D activation in the osteoblast like cell line MC3T3-E1 . *Prostaglandins* 54 , 475-492 ( 1997 )

Deguchi T , Kawamura K , Yasuda M , Nakano M , Fukuda H , Kato H , Kato N , Okano Y , Kawada Y : In vitro Selection of Klebsiella pneumoniae strains with enhanced Quinolone Resistance during Fluoroquinolone Treatment of Urinary Tract Infections . *Antimicrobial Agents Chemother* 41 ( 7 ), 1609-1611 ( 1997 )

Itokazu N , Ohno T , Takemori T , Wada E , Kato N , Watanabe K : Antibiotic loaded hydroxyapatite blocks in the treatment of experimental osteomyelitis in rats . *J Med Microbiol* 46 , 779-783 ( 1997 )

Ito Y , Moriwaki H , Muto Y , Kato N , Watanabe K , Ueno K : Effect of lactulose on short

chain fatty acids and lactate production and on the growth of faecal flora , with special reference to *Clostridium difficile* . J Med Microbiol 46 , 80-84 ( 1997 )

Puapermpoonsiri S , Watanabe K , Kato N , Ueno K : In vitro activities of 10 antimicrobial agents to bacterial vaginosis-associated anaerobic isolates from pregnant Japanese and Thai women . Antimicrob Agents Chemother 41 ( 19 ) , 2297-2299 ( 1997 )

Tanaka-Bandoh K , Watanabe K , Kato N , Ueno K : Susceptibilities of *Actinomyces* species and *Propionibacterium propionicus* to antimicrobial agents . Clinical Infectious Diseases 25 ( Suppl ) , S262-263 ( 1997 )

Ito Kazu M , Yamamoto K , Yang WY , Aoki T , Kato N , Watanabe K : The sustained release of antibiotic from freeze-dried fibrin-antibiotic compounds and efficacies in a rat model of osteomyelitis , Infection 25 , 359-363 ( 1997 )

Kato H , Kato N , Watanabe K , Iwai N , Nakamura H , Yamamoto T , Suzuki K , Shin-Moo K , Chong Y , Wasito EB : Identification of toxin A-negative/toxin B-positive *Clostridium difficile* by PCR assay . JCM , in press ( 1998 )

## その他

加藤直樹 : 学会印象記 ~ 世界嫌気性菌学会 ~ . 臨床と微生物 23 , 222 ( 1996 )

伊藤陽一郎 , 田中学 , 島崎信 , 中村俊之 , 木村泰 , 島寛一 , 加藤はる , 加藤直樹 , 渡邊邦友 : 肝硬変症例における *Clostridium difficile* の保菌状況 . 嫌気性菌感染症研究 26 : 92-95 ( 1996 )

三澤成毅 , 小栗豊子 , 猪狩淳 , 加藤はる , 加藤直樹 , 渡邊邦友 : *Clostridium difficile* の臨床材料からの分離状況と薬剤感受性及び PCR 法による種特異遺伝子と腸管毒素遺伝子の検出 . 嫌気性菌感染症研究 26 , 27-35 ( 1996 )

加藤はる , 加藤直樹 , 渡邊邦友 : *Clostridium difficile* の PCR ribotyping . 嫌気性菌感染症研究 26 , 18-20 ( 1996 )

小川晴子 , 秋田茂樹 , 加藤洋治 , 堀部昌代 , 宮崎貴子 , 白戸弘道 , 宮田英雄 , 加藤直樹 , 渡邊邦友 : 慢性副鼻腔炎の細菌学的検査と薬剤感受性の検討 . 日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 14 , 64-69 ( 1996 )

渡邊邦友，田中香お里：外科周術期重症感染症の現状と対策 2．基礎から見た重症感染  
抗菌薬耐性偏性嫌気性菌を含む感染症．日外会誌 97 ( 12 ) , 1036-1041 ( 1996 )

加藤はる：主要病原菌の疫学マーカー パルスフィールド・ゲル電気泳動法 Clostridium  
difficile 臨床と微生物 23 ( 6 ) , 019-022 ( 1996 )

渡邊邦友：感染症検査実践マニュアル・抗菌薬の抗菌力試験 嫌気性菌の薬剤感受性試験．  
検査と技術 24 ( 7 ) , 259-261 ( 1996 )

加藤直樹，加藤はる，渡邊邦友：嫌気性菌の迅速同定用キット BBL Crystal ANR の有用性 ．  
臨床と微生物 24 , 495-502 ( 1997 )

加藤直樹，加藤はる，渡邊邦友：最近注目される感染症 ．注目される感染症，17．ディ  
フィシル菌．臨床科学 33 ( 9 ) , 1145-1150 ( 1997 )

加藤直樹，加藤はる：技術講座 Clostridium difficile toxin A の臨床的意義と検査法．検査と  
技術 25 , 135-141 , 1997

加藤はる，加藤直樹：C . difficile 性下痢症・腸炎の検査法と疫学調査のためのタイピング  
法．化学療法の領域 14 ( 6 ) : 54-62 ( 1998 )

## 動物実験施設

### 著書（和文）

森 秀樹 . 杉江茂幸 . 吉見直己 : フリーラジカルスカベンジャーによるがん発生とその予防 . 「成人病予防食品の開発 - フリーラジカルと抗酸化 - 」二木鋭雄 . 吉川敏一 . 大澤俊彦( 編 ) . シーエムシー . 1998 . 15-21

### 著書（欧文）

Mori H , Tanaka T , Sugie S , Yoshimi N , Kawamori T , Hirose Y , Osawa T : Protective role of dietary factors in carcinogenesis of digestive organs . In : Food Factors for Cancer Prevention . Ohigashi H , Osawa T , Terao J , Watanabe S , Yoshikawa T eds , SpringerVerlag , Tokyo , 1997 . 98-102

Sugie S , Tanaka T , Morishita Y , Wang A , Yoshimi N , Mori H : Chemopreventive effect of magnesium hydroxide on colon carcinogenesis . In : Food Factors for Cancer Prevention . H . Ohigashi H , Osawa T , Terao J , Watanabe S , Yoshikawa T eds , Springer-Verlag , Tokyo , 1997 . 396-400

Mori H , Tanaka T , Sugie S , Yoshimi N , Kawamori T , Matsunaga K : Inhibition of large bowel carcinogenesis and mode of actions of chemopreventive agents . In : "Fundamentals of Cancer Prevention" Extended abstracts for the 27th International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund. , ed by A.H . Conney , Ito N , Sugimura T , Terada M , Wakabayashi K , Weinstein IB eds , Princess Takamatsu Cancer Research Fund , 1997 . 26-29

### 総説（和文）

森 秀樹 , 田中卓二 , 吉見直己 , 杉江茂幸 : 水酸化マグネシウムの大腸癌化学予防作用 . マグネシウム 16 . 201-205 ( 1997 )

### 総説（欧文・国内）

Mori H , Sugie S , Tanaka T , Makita H , Yoshimi N : Suppressing effects of natural antioxidants on carcinogenesis in digestive organs . Environ Mut Res Commun 18 , 73-77 ( 1996 )

### 総説（欧文・国外）

Mori H , Tanaka T , Sugie S , Yoshimi N , Kawamori T , Hirose Y , Ohnishi M : Chemoprevention



by naturally occurring and synthetic agents in oral , liver and large bowel carcinogenesis , J Cell Biochem , 27 ( Suppl ), 35-41 ( 1998 )

#### 原著 (和文)

瀬古 章 . 天野和雄 . 杉山 宏 . 清水洋孝 . 高木昌一 . 後藤明彦 . 近藤博人 . 杉江茂幸 . 吉見直己 . 森脇久隆 . 武藤泰敏 : Helicobacter pylori の除菌にて内視鏡的および病理学的所見が著明に改善した胃 MALT リンパ腫の 1 例 . 日消誌 94 , 21-26 ( 1997 )

#### 原著 (欧文・国内)

Okamoto K , Sugie S , Ohnishi M , Makita H , Kawamori T , Watanabe T , Tanaka T , Mori H : Chemopreventive effects of taurine on diethylnitrosamine and phenobarbital-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 87 , 30-36 ( 1996 )

Ino N , Sugie S , Ohnishi M , Mori H : Lack of inhibitory effects of benzyl isothiocyanate on 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo ( 4,5-b ) pyridine ( PhIP ) -induced mammary carcinogenesis in rats . J Toxicol Sci 21 , 189-194 ( 1996 )

Sugie S , Okamoto K , Makita H , Ohnishi M , Kawamori T , Tanaka T , Mori H : Inhibitory effect of chlorophyllin on diethylnitrosamine and phenobarbital-induced hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 87 , 1045-1051 ( 1996 )

Sugie S , Ohnishi M , Makita H , Kawamori T , Okamoto K , Ino N , Tanaka T , Mori H : Modifying effect of KYN-54 , a newly synthesized retinoidal butenolide , on 2-amino-3-methylimidazo [ 4,5-F ] quinoline ( IQ ) -induced carcinogenesis in male F344 rats . J Toxicol Pathol 9 , 323-327 ( 1996 )

Sugie S , Okamoto K , Ohnishi M , Makita H , Kawamori T , Watanabe T , Tanaka T , Nakamura YK , Nakamura Y , and Mori H : Suppressive effects of S-methyl methanethiosulfonate on promotion stage of diethylnitrosamine-initiated and phenobarbital-promoted hepatocarcinogenesis model . Jpn J Cancer Res 88 , 5-11 ( 1997 )

Suzui N , Sugie S , Rahman KMW , Ohnishi M , Yoshimi N , Wakabayashi K , Mori H : Inhibitory effects of diallyl disulfide or aspirin on 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo [ 4,5-b ] pyridine-induced mammary carcinogenesis in rats . Jpn J Cancer Res 88 , 705-711 ( 1997 )

Morishita Y , Yoshimi N , Kawabata K , Matsunaga K , Sugie S , Tanaka T , Mori H : Regressive

effects of various chemopreventive agents on azoxymethane-induced aberrant crypt foci in the rat colon . Jpn J Cancer Res 88 , 815-820 ( 1997 )

Okumura A , Sugie S , Wakabayashi K , Mori H : Rapid induction of replicating DNA synthesis in response to amino-3,4-dimethylimidazo[ 4,5-f ] quinoline in rat hepatocytes . Environ Mut Res 20 , 35-40 ( 1998 )

Sugie S , Okamoto K , Ueda F , Watanabe T , Tanaka T , Mori H : Suppressive effect of irsogladine maleate on diethyl-nitrosamine-initiated and phenobarbital-promoted hepatocarcinogenesis in male F344 rats . Jpn J Cancer Res 89 , 371-376 ( 1998 )

#### **原著 ( 欧文 · 国外 )**

Mori H , Sugie S , Ino N , Rahman W , Hara A , Morishita Y , Tanaka T , Nakamura Y : Inhibitory effects of naturally-occurring and related synthetic organosulfur compounds on genotoxicity in hepatocytes and digestive organs carcinogenesis . J Environ Pathol Toxicol Oncol 16 , 281-285 ( 1997 )

Hirose Y , Sugie S , Yoshimi N , Matsunaga K , Hara A , Mori H : Induction of apoptosis in colonic epithelium by administration of 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo[ 4,5-b ] pyridine ( PhIP ) and its modulation by a P4501A2 inducer , beta-naphthoflavone , in male F344 rats . Cancer Lett 123 , 167-172 ( 1998 )

Sugie S , Okamoto K , KM Whidur Rahman , Tanaka T , Kawai K , Yamahara J , Mori H : Inhibitory effects of plumbagin and juglone on azoxymethane-induced intestinal carcinogenesis in rats . Cancer Lett 127 , 177-183 ( 1998 )

## 薬剤部

### 著書（和文）

片桐義博：Therapeutic Drug Monitoring，臨床薬理学テキスト，植松俊彦，岩本喜久生編，東京，南江堂，1997．52-59

片桐義博：抗凝固薬の使い方，臨床薬理学テキスト，植松俊彦，岩本喜久生編，東京，南江堂，1997．194-197

片桐義博：鎮痛薬の使い方，臨床薬理学テキスト，植松俊彦，岩本喜久生編，東京，南江堂，1997．213-216

片桐義博：代表的薬物の体内動態パラメータ値，臨床薬理学テキスト，植松俊彦，岩本喜久生編，東京，南江堂，1997．231-261

杉山 正，片桐義博：脳循環代謝改善剤，薬効別医薬品の適正使用指針 98-99，高杉益充編，大阪，医薬ジャーナル社，1998．59-65

杉山 正，片桐義博：狭心症治療剤，新編 診断・治療の進歩と新しい薬剤 1999-2000 年版，高杉益充編，大阪，医薬ジャーナル社，印刷中

### 総説（和文）

杉山 正，吉岡史郎，片桐義博：新薬展望 1997 造影剤．医薬ジャーナル 1997 年増刊号 33 (S-1)，231-236 (1997)

杉山 正，片桐義博：機能を統合化した調剤支援システムの構築と運用．月刊薬事 40，1639-1644 (1998)

### 原著（和文）

堀内 正，中村光浩，杉山 正，片桐義博：オーダリングデータの TDM への利用．TDM 研究 13，193-197 (1996)

中村光浩，堀内 正，杉山 正，片桐義博：データベースソフトを用いたパーソナルコンピュータによる TDM 管理システムの構築．TDM 研究 13，262-267 (1996)

杉山 正, 後藤千寿, 片桐義博: クラリスロマイシンドライシロップの味に及ぼす併用薬の影響. 臨床医薬 13, 3521-3526 (1997)

杉山 正, 山添喜久雄, 中村光浩, 堀内 正, 片桐義博: 含嗽用アロプロロール液に使用する保存剤の検討. 病院薬学 23, 539-547 (1997)

杉山 正, 柴山朋子, 有馬拓二, 片桐義博: 処方監査機能を強化した調剤支援システムの構築. 第17回医療情報学連合大会論文集 236-237 (1997)

政田幹夫, 後藤伸之, 松葉和久, 片桐義博, 中野眞汎, 石本敬三, 南 武夫, 北澤式文: 院内製剤(無水エタノール注射剤)に関する全国アンケート調査. 日本病院薬剤師会雑誌 34, 115-122 (1998)

政田幹夫, 後藤伸之, 松葉和久, 片桐義博, 中野眞汎, 石本敬三, 南 武夫, 北澤式文: 院内製剤(無水エタノール注射剤)に関する文献レビュー. 日本病院薬剤師会雑誌 34, 123-128 (1998)

柴山朋子, 杉山 正, 片桐義博: 処方箋への調剤支援情報の印字とその利用状況. 日本病院薬剤師会雑誌 34, 197-201 (1998)

杉山 正, 片桐義博: 持続性製剤の処方と用法の簡素化の関連. 病院薬学 24, 44-48 (1998)

杉山 正, 高田美和子, 柴山朋子, 片桐義博: 処方オーダリングデータを利用した散剤調剤監査システムの構築. 病院薬学 24, 179-185 (1998)

杉山 正, 柴山朋子, 高木直子, 安田浩二, 安田公夫, 片桐義博: 処方オーダリングシステムと連動した薬剤情報提供システム. 病院薬学 24, 292-300 (1998)

杉山 正, 松浦克彦, 堀内 正, 山崎直也, 後藤千寿, 片桐義博: テブレノン製剤の品質比較試験. 臨床医薬 14, 1693-1697 (1998)

杉山 正, 片桐義博: 処方調査に基づく糖尿病患者に対する薬物治療の問題点の検討. 日本病院薬剤師会雑誌, 印刷中

杉山 正, 柴山朋子, 高野泰幸, 有馬拓二, 片桐義博: 処方監査支援システムの構築と運用 - 調剤支援システムの一環として -. 病院薬学, 印刷中

### 原著 ( 欧文・国内 )

Luan L , Sugiyama T , Takai S , Usami Y , Adachi T , Katagiri Y , Hirano K : Purification and characterization of pranlukast hydrolase from rat liver microsomes : the hydrolase is identical to carboxylesterase pl 6.2 . Biol Pharm Bull 20 , 71-75 ( 1997 )

Takai S , Matsuda A , Usami Y , Adachi T , Sugiyama T , Katagiri Y , Tatematsu M , Hirano K : Hydrolytic profile for ester- or amide-linkage by carboxylesterases pl 5.3 and 4.5 from human liver . Biol Pharm Bull 20 , 869-873 ( 1997 )

### 原著 ( 欧文・国外 )

Terashima K , Takai S , Usami Y , Adachi T , Sugiyama T , Katagiri Y , Hirano K : Purification and partial characterization of an indomethacin hydrolyzing enzyme from pig liver . Pharm Res 13 , 1327-1330 ( 1996 )

Nakamura M , Nakashima S , Katagiri Y , Nozawa Y : Effect of wortmannin and 2- ( 4-morpholinyl ) -8-phenyl-4H-1-benzopyran-4-one ( LY294002 ) on N-formyl-methionyl-leucyl-phenylalanine-induced phospholipase D activation in differentiated HL60 cells . Possible involvement of phosphatidylinositol 3-kinase in phspholipase D activation . Biochem Pharmacol 53 , 1929-1936 ( 1997 )

Itokazu M , Sugiyama T , Ohno T , Wada E , Katagiri Y : Development of porous apatite ceramic for local delivery of chemotherapeutic agents . J Biomed Mater Res 39 , 536-538 ( 1998 )

Matsuura K , Hara A , Kato M , Deyashiki Y , Miyabe Y , Ishikura S , Sugiyama T , Katagiri Y : Activation of human liver 3 $\beta$ -hydroxysteroid dehydrogenase by clofibrate derivatives . J Pharmacol Exp Ther 285 , 1096-1103 ( 1998 )

Nakamura M , Nakashima S , Katagiri Y , Nozawa Y : Involvement of tyrosine phosphorylation in inhibition of fMLP-induced PLD activation by N-acetyl-L-cysteine in differentiated HL60 cells . J Leukoc Biol 63 , 781-789 ( 1998 )

Sugiyama T , Horiuchi T , Katagiri Y : Determination of hyaluronic acid in synovial fluid by high-performance size-exclusion chromatography with uronic acid detection . J Applied Therapeut , in press.

## 東洋医学講座（ツムラ）

### 著書（和文）

中島敏郎，鹿毛政義，福田一典，長崎嘉和：門脈圧亢進症の病理，肝内血管系の変化を中心に，医学書院，1996.

### 総説（和文）

山本雅浩，三浦尚子，福田一典，小松靖弘：和漢薬のアポトーシス調節作用. 漢方と最新治療 5，185-190（1996）

福田一典，鈴木理恵，佐登宣仁，淀井淳司：生体応答と漢方薬の作用 -特に酸化ストレスに対する作用について-. Progress in Medicine 16，231-236（1996）

福田一典：漢方に強くなる服薬指導ワン・ツー・スリー（11. 漢方薬とアレルギーについて教えてください）. 漢方調剤研究，3，11（1997）

### 原著（欧文・国内）

Suzuki R，Kido T，Miura N，Yamamoto M，Komatsu Y，Fukuda K：Inhibitory effects of herbal medicines on nitric oxide production in macrophage and hepatoma cell lines induced by inflammatory stimuli . J Traditional Medicines 13，165-172（1996）

Ohata T，Fukuda K，Takahashi M，Sugimura T，Wakabayashi K：Suppression of nitric oxide production in lipopolysaccharide-stimulated macrophage cells by 3 polyunsaturated fatty acids . Jpn J Cancer Res 88，234-237（1997）

Nakatsugi S，Fukutake M，Takahashi M，Fukuda K，Isoi T，Taniguchi Y，Sugimura T，Wakabayashi K：Suppression of intestinal polyp development by nimesulide，a selective cyclooxygenase-2 inhibitor，in Min mice . Jpn J Cancer Res 88，1117-1120（1997）

Fukuda K：Modulation of nitric oxide production by crude drugs and Kampo medicines . J Traditional Medicines 15，22-32（1998）

### 原著（欧文・国外）

Yano H，Fukuda K，Haramaki M，Momosaki S，Ogasawara S，Higaki K，Kojiro M：Expression of Fas and anti-Fas-mediated apoptosis in human hepatocellular carcinoma cell lines . Journal

of Hepatology 25 , 454-464 ( 1996 )

Yamamoto M , Ogawa K , Morita M , Fukuda K and Komatsu Y : The herbal medicine Inchin-ko-to inhibits liver cell apoptosis induced by transforming growth factor  $\beta$  1 .Hepatology 23 , 552-559 ( 1996 )

Maruiwa M , Yano H , Fukuda K , Ogasawara S , Hisaka T , Yamaguchi R , Kojiro M : An alpha-fetoprotein-producing human gallbladder carcinoma cell line ( KMG-C ) shows more aggressive biological behavior than an alpha-fetoprotein-non-producing cell line . International Journal of Oncology 8 , 1179-1188 ( 1996 )

Takahashi M , Fukuda K , Ohata T , Sugimura T , Wakabayashi K : Increased expression of inducible and endothelial constitutive nitric oxide synthases in rat colon tumors induced by azoxymethane . Cancer Research 57 , 1233-1237 ( 1997 )

Takahashi M , Fukutake M , Isoi T , Fukuda K , Sato H , Yazawa K , Sugimura T , Wakabayashi K : Suppression of azoxymethane-induced rat colon carcinoma development by a fish oil component , docosahexaenoic acid ( DHA ). Carcinogenesis 18 , 1337-1342 ( 1997 )

Miura N , Yamamoto M , Ueki T , Kitani T , Fukuda K , Komatsu Y : Inhibition of thymocyte apoptosis by berberine . Biochemical Pharmacology 53 , 1315-1322 ( 1997 )

Takahashi M , Totsuka Y , Masuda M , Fukuda K , Oguri A , Yazawa K , Sugimura T , Wakabayashi K : Reduction in formation of 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo[4 , 5-b]pyridine ( PHIP ) -induced aberrant crypt foci in the rat colon by docosahexaenoic acid ( DHA ). Carcinogenesis 18 , 1937-1941 ( 1997 )

Takahashi M , Fukuda K , Sugimura T , Wakabayashi K : Beta-catenin is frequently mutated and demonstrates altered cellular location in azoxymethane-induced rat colon tumors . Cancer Res 58 , 42-46 ( 1998 )

Yamamoto M , Fukuda K , Miura N , Suzuki R , Kido T , Komatsu Y : Inhibition by dexamethasone of transforming growth factor  $\beta$ 1-induced apoptosis in rat hepatoma cells : a possible association with Bcl-xL induction . Hepatology 27 , 959-966 ( 1998 )

Ohtsuka M , Fukuda K , Yano H , Kojiro M : Immunohistochemical measurement of cell

proliferation as replicative DNA synthesis in the liver of male Fischer 344 rats following a single exposure to nongenotoxic hepatocarcinogens and noncarcinogens . *Exp Toxicol Pathol* 50 , 13-17 ( 1998 )

Ohata T , Fukuda K , Murakami A , Ohigashi H , Sugimura T , Wakabayashi K : Inhibition by 1'-acetoxychavicol acetate of lipopolysaccharide- and interferon-gamma-induced nitric oxide production through suppression of inducible nitric oxide synthase gene expression in RAW264 cells . *Carcinogenesis* 19 , 1007-1012 ( 1998 )



## 2 共同研究，受託研究等の実施状況

(1996年6月 - 1998年6月)

### 解剖学第一講座

教授 正村静子，講師 早川大輔： Arterial supply of the human joints .( Anatomisches Institut , Universita · · t Wu · · rzburg , Germany )(1993 - )

### 解剖学第二講座

小野塚 實： 単一ニューロンレベルでの抑制性グルタミン酸レセプターの分子遺伝学的解析 ( 岐阜大学農学部，1996 - ；東京都立大学理学部，1996 - )，咀嚼運動における頬粘膜内 受容器の機能解析 ( 東京歯科大学，1992 - )，脳内生理活性物質の加齢変化とその機能的意義 ( 東京都老人総合研究所，1996 - ；神奈川歯科大学，1993 - ；藤田保健衛生大学医学部，1995 - )，唾液腺癌と性ホルモンレセプター ( 神奈川歯科大学，1990 - )

### 生理学第一講座

森田啓之： 磁気共鳴イメージングによる門脈 - 肝臓領域 Na 感受性機構の中樞投射の同定 ( 岡崎国立共同研究機構・生理学研究所，1997 - )

李 憲： 神経伝達物質または神経調節因子としての一酸化窒素の役割に関する研究 ( 京都大学医学部薬理学教室，1992 - )，培養神経細胞における非選択的陽イオンチャンネルの機能に関する生理学的・薬理的検討 ( 京都大学医学部薬理学教室，1996 - )，培養交感神経細胞における電位依存性カルシウムチャンネルの機能に関する薬理的検討 ( Institute of Pharmacology , University of Freiburg , Germany and Institute of Physiology , Academy of Sciences of the Czech Republic , Czech Republic ( ドイツ，フライブルク大学，薬理学研究所およびチェコ共和国，チェコ共和国科学アカデミー，生理学研究所 )，1993 - )

渡邊和子： 高齢期痴呆の予防医学的対応に関する基礎的研究 ( 神奈川歯科大学，1996 - ；藤田保健衛生大学医学部，1996 - ；東京都老人総合研究所，1996 - )，咀嚼運動における頬粘膜内 受容器の加齢変化 ( 東京歯科大学，1992 - )

### 生理学第二講座

恵良聖一，桑田一夫，中村浩二，林 知也： 分子分光法による血清アルブミンの高次構造に関する研究 ( 岡崎国立共同研究機構・生理学研究所，1997 - )，電子スピン共鳴法によるタンパク質の分子運動解析 ( 北海道教育大学・物理，1993 - )，ラマン分光法によるタンパク質の動的挙動に関する研究 ( 関西学院大学・理学部・化学，1993 - )

桑田一夫： 完全緩和行列解析プログラムの開発 ( カリフォルニア大学・サンフランシスコ

校 (UCSF), 1994 - )

### 生化学講座

野澤義則： ras トランスフェクト線維芽細胞の  $Ca^{2+}$  オシレーション機構 (金沢大学・神経情報施設, 1992 - ), PAF 受容体 cDNA 発現細胞の情報伝達解析 (東京大学医学部・生化学, 1992 - 1997), ホルモン受容体の imprinting 機構 (ハンガリー・セメルワイズ大, 1989 - ), 肝細胞増殖因子 (HGF) のシグナル伝達機構 (大阪大学・バイオメディカル教育研究センター, 1993 - 1997), G 蛋白質 サブユニットによる PLC 活性化機構 (愛知県身障者コロニー研究所・生化学, 1993 - 1997), 原生動物細胞 グルコシダーゼ遺伝子クローニング (岐阜薬科大学・生化学, 1994 - 1996), 核内情報伝達酵素 (PLD) の性状と機能解析 (名古屋大学医学部・病態制御研究所, 1995 - 1997), PLD 遺伝子の脳内組織発現 (東北大学医学部・解剖学, 1994 - ), 真菌細胞の情報伝達分子の遺伝子解析 (名古屋大学大学院理学研究科・分子生物, 1995 - ), 病原性真菌の病原性因子の遺伝子解析 (CWRU, 米国, 1994 - ), ゲルゾリントランスフェクト線維芽細胞の機能解析 (北海道大学医学部・癌研究所分子遺伝, 1996 - ), 情報変換酵素 PLD の遺伝子および細胞機能解析 (ニューヨーク州立大, 米国, 1996 - ). PLD 遺伝子発現 (神戸大学理学部, 1997 - ). Tetrahymena 細胞の GTP シクロヒドラーゼの遺伝子クローニング (藤田保健衛生大学・総合医学研究所, 1997 - ).

### 分子病態学講座

岡野幸雄, 木村正志： ヒト Aik 遺伝子・ヒト Aik2 遺伝子・ヒトユビキチン付加酵素遺伝子の染色体局在 (三重大学生物資源学部, 1995 - ; 理化学研究所筑波ライフサイエンスセンター, 1995 - ; 名古屋大学農学部, 1996 - ), Aik 遺伝子のヒト細胞における機能解析 (理化学研究所筑波ライフサイエンスセンター, 1995 - ), 新規ユビキチン付加酵素遺伝子の機能解析 (相模中央研究所, 1997 - )

永田浩一： シグナル分子 MLK の機能解析 (ロンドン大学, 1996 - )

### 薬理学講座

植松俊彦： 毛髪蛋白の糖化度の測定 (三共 代謝分析研, 1995 - ), 薬効解析のための PK-PD モデルの母集団薬物動態学的検討 (エーザイ 臨床薬理センター, 1995 - ), 毛髪内薬物分析 (ユタ大学 Center for human toxicology, 1995 - )

松野浩之： 血管肥厚と再狭窄のメカニズム (ベルギー, ルーバン大学, Center for Molecular & Vascular Biology, 1995 - ), 血小板粘着とインテグリン機能 (ベルギー, ルーバン大学, Laboratory for Thrombosis Research IRC, 1995 - )

### 病理学第一講座

森 秀樹： DL アラニンの安全性再評価（厚生省，1996 - ），天然物質の 8 - hydroxydeoxyguanosine 生成阻害作用（産業医大産業形態研，1996 - ），植物成分の大腸発がん抑制の検討（生産開発科学研，1996 - ），Hydroxyanthraquinone 類の発癌性の検討（中京女子大栄養科学，1996 - ），天然物質の抗酸化作用及び発癌抑制作用（名古屋大学農学部食品機能科学，1996 - ），天然フラボノイド化合物による大腸発癌抑制（静岡県立大学食品衛生学，1998 - ）

吉見直己： グルカロン酸水素カリウムの発癌抑制効果（テキサス大学 MD アンダーソン癌センター，1994 - ）

### 病理学第二講座

高見 剛： ヒト腫瘍の進展に関連する遺伝子変異の検討（ハンガリー，デブレツェン大（1998 - ）

### 微生物学講座

江崎孝行： Burkholderia pseudomallei の LPS の構造と生物活性（北里研究所，タイ国立研究所，1996 - ），ミール宇宙船内生物相の計測（宇宙利用開発促進事業団，1996 - ），微生物の分類同定に関する研究（バイオインダストリー協会，1996 - ），微生物多様性と持続性利用に関する研究（バイオインダストリー協会，1997 - ），24 時間風呂の細菌汚染とその対策（岐阜薬科大学，岐阜環境微生物研究所，1997 - ），嫌気性球菌，腸球菌，口腔内連鎖球菌の検出法の研究（ヤクルトバイオサイエンス，1998 - ），トウモロコシ食中毒の予防（中国食品微生物研究所，1998 - ），静脈栄養と腸管感染に関する研究（ヤクルト中央研究所，1998 - ）

山本啓之： 生理活性に基準においた環境細菌群の調査研究（東京大学海洋研究所，1993 - 1994 ），原始共生系の進化と生態（信州大学，岩手大学，奈良女子大学，国際基督教大学，豊橋技術科学大学，1996 - ），地球史と微生物生態系（名古屋大学，岩手大学，1996 - ）

### 衛生学講座

高田晴子： 小児における心血管疾患の危険因子（米国・ノースカロライナ大，1995 - ）

### 公衆衛生学講座

清水弘之： 難病の疫学調査研究（名古屋大学医学部，1993 - ），コホート研究による発がん要因の評価法に関する研究（愛知県がんセンター，1993 - ），ロサンゼルス在住日系人・白人の生活習慣とがん罹患に関する研究（南カリフォルニア大学医学部，1993 - ），特発性造血障害調査研究に関する研究（東京女子医科大学，1993 - ），HPV と子宮頸癌（東京大学医学部分院，1994 - ），保健医療行動に影響を及ぼす健康観の日米比較（ハワイ大学他，1994 - ），都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究（国立長寿医療研究センター，

1997 - ), がん一次予防のための生活習慣への効果的な介入に関する研究 (名古屋市立大学医学部, 1997 - )

川上憲人: 職業性ストレスと健康に関する大規模長期コホート研究 (東京医科大学他, 1996 - ), 職業性ストレスの日欧比較研究 (ブリュッセル自由大学, 1996 - ), 地域住民を対象とした精神障害の疫学調査 (国立精神保健研究所, ミシガン大学, 1995 - ), 長期閉鎖環境における精神・心理の健康管理および異文化適応に関する研究 (宇宙環境利用推進センター, 1995 - 1997)

### 法医学講座

大谷 勲, 武内康雄: 薬物代謝酵素の組織化学的研究 (岐阜薬科大学, 継続中)

### 寄生虫学講座

高橋優三: 旋毛虫症 (米国コーネル大学; 米国コロロンビア大学; オランダ NIH; 香港大学; 山形大学; 鳥取大学, 継続中), 犬回虫症 (神戸大学, 1994 - 継続中), プラストシスチスの遺伝子多型 (奈良女子大学, 199 - 継続中), エキノストーマの分類 (山形大学, 1993 - 継続中), クリプトスポリジウムの遺伝子診断 (大阪市立大学, 199 - 継続中), タイ肝吸虫症と胆管癌の発生 (コンケン大学, 1996 - 継続中)

### スポーツ医・科学講座

咀嚼運動による大脳皮質の活性化: 機能MRIによる解析 (神奈川歯科大学, 97 - )

### 内科学第一講座

森脇久隆: 発癌予防に関する基礎的, 臨床的研究 (国立がんセンター, 癌研究会, 埼玉がんセンター, 東京女子医科大学, 1995 - , Columbia 大学 (米国), 1997 - ), 人工肝の開発に関する研究 (London 大学 King's 校 (英国), London 大学 University 校, 1997 - ), 肝再生に関する基礎的研究 (Washington 州立大学 (米国), 1997 - )

大西弘生: 肝細胞死の免疫学的発生機序に関する研究 (London 大学 King's 校 (英国), 1996 - ), 重症肝疾患の予知とその対策に関する研究 (木曽川町, 1997 - ), ウイルス肝炎の病態に関する基礎的研究 (愛知医科大学, 自治医科大学, 1997 - )

加藤則廣: 胃癌と *Helicobacter pylori* の関連に関する研究 (国立ガンセンター, 1996 - , 朝日大学歯学部附属村上記念病院, 1998 - )

奥野正隆: 肝線維化の病態と治療に関する基礎的研究 (理化学研究所, 大阪市立大学, 1994 - )

永木正仁: 劇症肝炎の免疫学的発症機序に関する基礎的研究 (愛知医科大学, 1997 - ), 人工肝の開発に関する基礎的研究 (応用生化学研究所, 1997 - )

加藤昌彦: 高齢者の栄養アセスメントと栄養治療に関する研究 (椋山人間栄養研究センタ

ー , 1998ー )

### 内科学第二講座

藤原久義： 塩酸サルボグレラートのウサギ心筋梗塞モデルにおける心筋梗塞巣抑制作用の検討 (東京田辺製薬株式会社, 1998)

鷹津久登： 動脈硬化における bcl - 2 蛋白とプラバスタチンの影響について (三共株式会社総合研究所, 1996)

神原健治郎： 肺微小血管内皮細胞の障壁機能 (水分濾過) に及ぼすテモカプリルの影響について (三共株式会社総合研究所, 1996)

### 内科学第三講座

石塚達夫： インスリン作用の分子機構に関する研究 (米国, 南フロリダ大学, 1996 - )

宗 友厚： 11 水酸化ステロイド脱水酵素異常症に関する研究 (米国, テキサス大学, 1996 - )

森田浩之： アルドステロン生成酵素に関する研究 (米国, ミズーリコロンビア大学, 1996 - )

大洞尚司： アルドステロン生成酵素に関する研究 (米国, ミズーリコロンビア大学, 1997 - )

山本眞由美： 血管内皮細胞機能と PKC に関する研究 (米国, 南フロリダ大学, 1996 - )

### 外科学第二講座

杉山保幸： 生物反応修飾物質 (BRM) を用いた癌治療の基礎的, 臨床的研究 (米国, ローズウェルパーク癌研究所 1986 - )

### 産科婦人科学講座

今井篤志： 子宮癌由来増殖因子のクローニング (サントリー医薬研究所, 継続中)

三嶋廣繁： 実験感染モデル (エーザイ東京研究所, 継続中), 感染症とサイトカイン (慶応義塾大学・救急部, 継続中)

### 整形外科科学講座

大野貴敏： Ets oncogene family の機能解析, 学術国際交流計画事業 (がん対策分) のための研究者招へい (ペンシルベニア大学 1997)

清水克時： カルパインの研究, 外国人研究者招へい (ペーチ大学医学部 1997)

清水克時： 整形外科疾患の診断と治療に関する研究, 学術交流協定大学との研究者招へい

( 中国医科大学 1998 )

清水克時： 結晶化ガラス製人工骨の骨との結合性評価 ( 日本電気硝子株式会社 , 1997 )

清水克時： 卵巣摘除ラットにおける骨形態計測によるメナテトレノンの薬効評価 ( エーザイ株式会社 , 1997 )

清水克時： 結晶化ガラス製人工骨の骨との結合性評価 ( 日本電気硝子株式会社 , 1998 )

### 耳鼻咽喉科学講座

宮田英雄： 宇宙における錯覚・失認機序とその対策法に関する研究 , 直線加速度に対する前庭脊髄反応の研究 , 視運動性眼振と後眼振に対する重力変化の影響の検討 ( 宇宙環境利用推進センター , 1996 - 1997 )

### 皮膚科学講座

北島康雄： 天疱瘡のシグナルトランスダクションにおけるリン酸化の研究 ( 京都薬科大学・生命研究所・分子生体制御研究部門 , 1993 - ) , 水疱症に関する免疫電顕学的研究 ( 慶應義塾大学医学部・皮膚科 , 1995 - ) , ヘミデスモソームの形成と分散機序に関する研究 ( 名古屋大学情報文科学学部・自然情報科 , 1993 - )

### 神経精神医学講座

植木啓文： 厚生省精神・神経疾患研究委託費「感情障害の経過型からみた成因解明と治療法の開発研究」班 , 分担研究者

伊藤嘉浩： 長寿社会開発センター研究委託事業「成年後見法と後見人の在り方」に関する調査研究 , 分担研究員

### 小児科学講座

近藤直実： 免疫不全症の分子遺伝学的研究 ( Karolinska Institute , スエーデン , 1993 - ) , BLM の核移行シグナルの同定 ( エイジーン研究所 , 日本 , 1997 - ) , BLM と協調的に働くタンパク同定 ( The Queensland Institute of Medical Research , オーストラリア , 1998 - ) , 岐阜市の小児医療の向上に関する研究 ( 1997 - )

鈴木康之： ペルオキシソーム病の病因 ( 信州大学医学部生化学 , 1985 - ) , 副腎白質ジストロフィーの治療 ( Johns Hopkins Univ , USA , 1990 - ) , 高度不飽和脂肪酸代謝異常 ( ハリマ化成 , 1993 - ) , プラスマローゲン代謝異常 ( Amsterdam Univ , Netherlands , 1996 - )

下澤伸行： ペルオキシソーム形成機構に関する分子生物学的検討 ( 姫路工業大学理学部生命科学 , 1994 - ) , 動物細胞を用いた遺伝性ペルオキシソーム欠損症の病因解明 ( 九州大学理学部生物学 ) , 遺伝性ペルオキシソーム欠損症の相補性解析 ( Amsterdam Univ . Netherlands 1994 - )

高橋幸利： グルタミン酸受容体による中枢神経系障害の早期診断・治療( 東京大学, 1996 - ), 異種文化圏間の色彩認識差の科学的解析とマルチメディア環境下における色彩伝達への応用( 京都工芸繊維大学, 1997 - ), テレビ・パソコン等の CRT 映像による光感受性発作防止のための基礎的研究( 京都工芸繊維大学, 静岡東病院, 1998 - )

祐川和子： ムコ多糖症の分子病態解析とモデルマウス作成( St Louis Univ, USA, 1995 - ), Sulfatase 酵素蛋白質の構造と機能解析( 生物分子工学研究所, 1998 - ), リソソーム病の骨髄移植治療( 東海大学小児科, 1986 - )

深尾敏幸： - ケトチオラーゼ欠損症の病因解析( 信州大学医学部生化学, 1988 - ), ミトコンドリア 酸化系異常症の病因解析( 信州大学医学部生化学, Amsterdam Univ. Netherlands, 1995 - ), サクシニル - CoA : 3 - ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症の病因解析( Hopital Ste-Justine, Canada, 1994 - ), Ataxia-telangiectasia の病因解析( Tel Aviv Univ, Israel, 1995 - ; The Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア, 1997 - )

#### 放射線医学講座

松井英介： 「微小肺がんの診断および治療法の開発に関する研究」国立がんセンター東病院, (1997 - 1998)

星 博昭, 後藤裕夫, 水野晋二： コンピューター診断支援システムを用いた CR マンモグラフィー癌検診の自動診断( 岐阜大学工学部, 1997 )

#### 臨床検査医学講座

清島 満： LDL - コレステロール直接測定法試薬の基礎的検討( 協和メデックス, 1997 単年のみ)

斉藤邦明： エイズ痴呆の病因解析( 東京大学医科学研究所, 1996 - ; 農林水産省家畜衛生試験場, 1996 - ; 名古屋大学医学部, 1997 - ; 米国国立衛生研究所, 1995 - ), 炎症性サイトカインと indoleamine 2, 3 - dioxygenase に関する研究( 藤田保健衛生大学総合医科学研究所, 1996 - ; 川崎医科大学, 1998 - ; The University of Wollongong, オーストラリア, 1997 - )

和田久泰： ウイルス心筋炎の発症と進展における TNF - の役割( 群馬大学, 1997 - )

#### 口腔外科学講座

安岡 忠： カルシトニン受容体を介する骨細胞のカルシウム代謝制御機構に関する研究( 岐阜大学農学部教授 川島光夫, 継続中)

## 反射研究施設

1. バーチャルリアリティを使用したヒトでの宇宙医学の基礎的研究。岐阜大学工学部, 小鹿丈夫教授 (知能情報), 武藤高義教授 (ソフトメカニクス)
2. Aroma therapy and EEG. Kim, K. H., Associate Prof. (Malaya University), 後藤宗弘教授 (情報環境)

## 嫌気性菌実験施設

渡邊邦友: 臨床材料から分離される嫌気性菌に関する研究(青森県立中央病院検査部, 1995-)

## 動物実験施設

杉江茂幸: 新規合成セレンウムの発癌修飾作用 (American Health Foundation, Naylor Dana Institute, 1995 - ), 天然物質の 8 - hydroxydeoxyguanosine 生成阻害作用 (産業医大産業形態研, 1996 - ), チオール化合物による肝発癌修飾作用 (静岡県立大学薬学, 1996 - )

## 薬剤部

片桐義博, 杉山 正: Carboxylesterase の精製と分類に関する研究 (岐阜薬科大学・薬剤学, 1994 - ), Dihydrodiol dehydrogenase の性状と機能に関する研究 (岐阜薬科大学・生化学, 1997 - )

片桐義博, 杉山 正, 山崎直也: 動脈硬化進展・治療モニタリングへの内皮細胞結合型活性酸素消費酵素の応用研究 (岐阜薬科大学・臨床薬剤学, 1998 - )



## 4 学会活動

## 学術学会の役員，委員等

### 解剖学第一講座

教授 正村静子： 日本解剖学会評議員（継続中），日本解剖学会解剖体委員会委員（継続中），日本電子顕微鏡学会関西支部評議員（継続中），日本臨床電子顕微鏡学会評議員（継続中）

### 解剖学第二講座

教授 伊藤和夫： 日本解剖学会（評議員，継続中），日本神経科学会（専門会員，継続中）。講師 藤田雅文： 日本神経科学会（専門会員，継続中）。講師 小野塚 實： 日本生理学会（評議員，継続中），日本神経科学会（専門会員，継続中）。助手 中村浩幸： 日本解剖学会，日本神経科学会（専門会員）

### 生理学第一講座

教授 森田啓之： 日本生理学会（評議員，1986 - ），日本自律神経学会（評議員，1986 - ），日本臨床生理学会（評議員，1986 - ），日本病態生理学会（評議員，1991 - ）。助教授 李 憲： 日本生理学会（評議員，1998 - ），日本薬理学会（評議員，1993 - ），International Society for Neurochemistry（active member，1995 - ），European Society for Neurochemistry（active member，1996 - ），New York Academy of the Sciences（active member，1993 - ）。講師 渡邊和子： 日本生理学会（評議員，1988 - ），日本神経科学会（専門会員，1989 - ）。助手 荒木陽子： 日本生理学会（評議員，1994 - ）

### 生理学第二講座

教授 惠良聖一： 日本生理学会（評議員，継続中），日本磁気共鳴医学会（評議員，継続中），日本分光学会東海支部（支部幹事，1993 - ），日本病態生理学会（評議員，1994 - ）。助教授 桑田一夫： 日本生理学会（評議員，継続中），日本磁気共鳴医学会（評議員，1996 - ）。助手 中村浩二： 日本生理学会（評議員，1998 - ）。助手 林 知也： 日本生理学会（評議員，1998 - ）

### 生化学講座

教授 野澤義則： 日本医真菌学会理事長（1994 - ），日本原生動物学会会長（1994 - ），日本膜学会副会長（1994 - ），日本生化学会評議員（1978 - ），日本生化学会理事（1994 - 1996），日本細胞生物学会評議員（1992 - ），日本脂質生化学研究会幹事（1980 - ），日本心脈管作動物質学会評議員（1993 - ），日本先天性代謝病学会評議員（1990 - ），国際原生動物学会理事（1992 - ）。助教授 中島 茂： 日本血栓止血学会評議員（1994 - ），日本ア

アレルギー学会評議員 (1994 - ), 日本医真菌学会幹事 (1995 - )

### 分子病態学講座

教授 岡野幸雄： 日本生化学会 (評議員, 1993 - )

### 薬理学講座

教授 植松俊彦： 日本薬理学会評議員 (継続中), 日本臨床薬理学会評議員 (継続中), 総務委員 (継続中), 認定制度委員 (継続中). 助教授 小澤 修： 日本内分泌学会代議員 (継続中). 講師 丹羽雅之： 日本薬理学会評議員 (継続中), 日本炎症学会評議員 (継続中). 助手 松野浩之： 日本臨床薬理学会認定薬剤師 (継続中)

### 病理学第一講座

教授 森 秀樹： 日本癌学会 (評議員, 継続中), 日本病理学会 (評議員, 継続中), 日本毒性病理学会 (評議員, 継続中), 日本毒科学会 (評議員, 継続中). 日本環境変異原学会 (評議員, 継続中), Jpn. Soc. Food Factors (評議員, 継続中). 助教授 吉見直己： 日本病理学会 (評議員, 継続中), 日本臨床細胞学会 (評議員, 継続中), 日本細胞診断学推進協会 (代議員, 継続中), 日本臨床細胞学会 (岐阜県支部長, 東海連合会幹事, 継続中). 助教授 杉江茂幸： 日本病理学会 (評議員, 継続中), 日本臨床細胞学会 (東海連合会幹事, 継続中), 日本毒性病理学会 (評議員, 継続中). 講師 原 明： 日本脳神経外科学会 (評議員, 継続中)

### 病理学第二講座

教授 高見 剛： 病理学会 (評議員, 継続中), 免疫学会 (運営委員, - 1998)

### 微生物学講座

教授 江崎孝行： 日本細菌学会 (評議員, 1996 - ), 日本細菌学会 (用語委員, 1996 - ), 日本細菌学会 (バイオハザード委員, 1996 - ), 日本細菌学会 (日中微生物学委員, 1996 - ), 日本微生物資源学会 (理事, 1996 - ), 臨床微生物学会 (理事, 1996 - ), 臨床微生物学会 (診断薬評価委員長, 1996 - ), 日本環境感染学会 (評議員, 1996 - ), 日本感染症学会 (評議員, 1996 - ), 日本レジオネラ協議会 (幹事, 1996), International Committee on Systematic Bacteriology (1996 - ), Subcommittee of the Taxonomy of Staphylococcus and Streptococcus (1996 - ), International members of Mycobacterium working group of Taxonomy (1996 - ), 日米結核専門部会 (委員, 1996 - 1997), 日米コレラ専門部会 (会員, 1997 - ), 遺伝子診療学会 (理事, 1996 - )

## 衛生学講座

教授 岩田弘敏： 日本公衆衛生学会(理事・評議員, 継続中), 日本衛生学会(評議員, 継続中), 日本産業衛生学会(理事・評議員, 継続中), 日本災害医学会(評議員, 継続中), 日本温泉気候物理医学会(評議員, 継続中), 日本総合健診医学会(評議員, 継続中). 助教授 井奈波良一： 日本衛生学会(評議員, 継続中), 日本民族衛生学会(評議員, 継続中), 日本産業衛生学会(評議員, 継続中), 日本温泉気候物理医学会(評議員, 継続中)

## 公衆衛生学講座

教授 清水弘之： 日本公衆衛生学会(評議員, 1994 - ), 日本産業衛生学会(評議員, 1996 - ), 日本衛生学会(評議員, 1989 - ), 日本疫学会(評議員, 1991 - ), 日本がん疫学研究会(評議員, 継続中) 日本癌学会(評議員, 1994 - ), 大気環境学会(理事, 継続中). 助教授 川上憲人： 日本公衆衛生学会(評議員, 1994 - 1996), 日本衛生学会(評議員, 1994 - ), 日本産業衛生学会(評議員, 継続中, 教育資料委員会委員, 1997 - ), 日本産業ストレス学会(理事, 1996 - ), 日本産業精神保健学会(理事, 1994 - ), 日本ストレス学会(理事, 1994 - ), 日本行動医学会(理事, 1994 - ), 日本疫学会(評議員, 1996 - )

## 法医学講座

教授 大谷 勲： 日本法医学会(評議員, 継続中), 日本賠償科学会(評議員, 継続中), 日本鑑識科学技術学会(評議員, 1995 - ). 助教授 武内康雄： 日本法医学会(評議員, 継続中), 法医病理研究会(運営委員, 継続中), 日本鑑識科学技術学会(評議員, 1995 - ). 助手 永井 淳： 日本毛髪美容学会(評議員, 継続中)

## 寄生虫学講座

教授 高橋優三： 日本寄生虫学会(評議員 継続中), 日本衛生動物学会西日本支部(幹事 継続中), International Commission on Trichinellosis (active member). 助教授 伊藤 亮： 日本寄生虫学会(評議員, 1995 - )

## スポーツ医・科学講座

長崎幸雄： 日本神経科学会(専門会員、継続中), 日本運動生理学会(評議員、継続中), 日本生理学会(評議員、継続中)

## 内科学第一講座

教授 森脇久隆： 日本臨床代謝学会(評議員, 1991 - ), 日本消化器病学会(評議員, 1992 - ), 日本肝臓学会(評議員, 1994 - ), 日本ビタミン学会(評議員, 1994, 幹事, 1997), 日本内科学会(評議員, 1998 - ). 助教授 大西弘生： 日本消化器病学会(評議員, 1992 - ). 助手 奥野正隆： 日本臨床代謝学会(評議員, 1998 - ). 助手 永木正

仁： 日本臨床代謝学会（評議員，1998 - ）

### 内科学第二講座

教授 藤原久義： 日本循環器学会（評議員・財務監事，継続中），日本内科学会（評議員，継続中），日本動脈硬化学会（評議員，1995 - ），日本臨床生理学会（評議員，1995 - ），日本冠疾患学会（評議員，1995 - ），日本動脈硬化学会（評議員），日本心不全学会（理事），日本心臓病学会（評議員）。助教授 湊口信也： 日本循環制御医学会（評議員），日本循環器学会東海地方会（評議員）。講師 鷹津久登： 日本循環器学会東海地方会（評議員），日本内科学会東海地方会（評議員）。講師 浅野喜代治： 日本循環器学会東海地方会（評議員），日本内科学会東海地方会（評議員）

### 内科学第三講座

教授 安田圭吾： 日本内科学会（評議員，1994 - ），日本内科学会東海支部（幹事，1994 - ），日本内科学会（認定医制度審議会委員，1994 - ），日本内分泌学会（評議員，1984 - ），日本糖尿病学会（評議員，1987 - ），日本老年病学会（評議員，1996 - ），日本心血管内分泌代謝学会（評議員，1996 - ），日本内分泌学会ステロイドホルモン分科会（評議員，1996 - ）。助教授 石塚達夫： 日本内科学会東海地方会（評議員，1995 - ），日本内分泌学会（評議員，1988 - ），日本糖尿病学会（評議員，1987 - ），認定内科専門医会（評議員，1997 - ）。講師 武田則之： 日本内科学会東海地方会（評議員，1995 - ），日本内分泌学会（評議員，1988 - ），日本糖尿病学会（評議員，1991 - ）。助手 宗友厚： 日本内分泌学会（評議員，1998 - ）。助手 森田浩之： 日本内分泌学会（評議員，1998 - ）

### 外科学第一講座

教授 広瀬 一： 日本外科学会（評議員，1990 - ），日本胸部外科学会（評議員，1981 - ），日本心臓血管外科学会（評議員，1989 - ，理事，1998 - ），日本移植学会（評議員，1988 - ），日本循環器学会（評議員，1989 - ），日本脈管学会（評議員，1990 - ），日本人工臓器学会（評議員，1991 - ），日本臨床外科学会（評議員，1989 - ），日本呼吸器外科学会（評議員，1996 - ），日本血管外科学会（評議員，1993 - ），日本小児外科学会（評議員，1989 - ）。助教授 小久保光治： 日本胸部外科学会（評議員，1998 - ），日本呼吸器外科学会（評議員，1997 - ）。講師 田辺 博： 日本消化器外科学会（評議員，1994 - ），日本内視鏡外科学会（評議員，1996 - ），日本腹部救急医学会（評議員，1997 - ）

### 外科学第二講座

教授 佐治重豊： 日本外科学会（評議員，1986 - ），日本消化器外科学会（評議員・元理事，1988 - ），日本癌学会（評議員，1996 - ），日本癌治療学会（副会長，1998 - 評議員・理事，1986 - ），日本臨床外科医学会（評議員，1985 - ），日本B R M学会（評議員・理事，

1988 - ), 日本小児外科学会 ( 評議員, 1982 - ), 日本大腸肛門病学会 ( 評議員, 1986 - ), 日本外科系連合学会 ( 評議員, 1988 - ), 日本腹部救急医学会 ( 評議員, 1990 - ), 日本肝胆膵外科学会 ( 評議員, 1994 ), 日本低温医学会 ( 評議員, 1986 - ), 日本緩和医療学会 ( 評議員, 1996 ), がん集学的治療研究財団 ( 理事・評議員・企画委員長, 1992 - ), 日本胃癌学会 ( 評議員, 1998 - ), 日本消化器癌発生学会 ( 評議員, 1998 - ) 癌免疫外科研究会 ( 世話人 ), 癌治療と病態研究会 ( 世話人 ), がん転移研究会 ( 世話人 ), 日本癌局所療法研究会 ( 会長, 1998 - ), 日本小児ストマ研究会 ( 世話人 ), 日本小児消化管機能研究会 ( 幹事 ), 癌とリンパ節研究会 ( 世話人 ). 助教授 深田代造: 日本乳癌学会 ( 評議員, 1998 - ), 日本臨床外科医学会 ( 評議員, 1996 - ). 講師 宮 喜一: 日本 BRM 学会 ( 評議員, 1996 - ), 日本臨床外科医学会 ( 評議員, 1996 - ), 日本癌治療学会 ( 評議員, 1998 - ), 日本低温医学会 ( 評議員, 1998 - ). 助手 国枝克行: 日本胃癌学会 ( 評議員, 1998 - ). 助手 杉山保幸: 日本 BRM 学会 ( 評議員, 1996 - )

#### 産科婦人科学講座

教授 玉舎輝彦: 日本産科婦人科学会 ( 理事, - 1996 ) ( 評議員・認定医制度委員会委員・運営企画委員会委員, 継続中 ) ( 生殖・内分泌委員会委員, 1997 - ), 日本母性衛生学会 ( 理事, 継続中 ), 日本不妊学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本思春期学会 ( 理事, 継続中 ), 日本内分泌学会 ( 評議員, - 1996 ) ( 理事, 1997 - ) ( ステロイドホルモン分科会評議員, 1997 - ), 日本東洋医学会 ( 評議員, 継続中 ) 日本癌治療学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会 ( 理事, 継続中 ), 日本化学療法学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本感染症学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本更年期学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本産婦人科・新生児血液学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本性感染症学会 ( 評議員, 1997 - ), 東海産科婦人科学会 ( 会長, 1997・理事, 継続中 ). 助教授 今井篤志: 日本産科婦人科学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本内分泌学会 ( 代議員, 1998 - ), 日本不妊学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会 ( 評議員, 1996 - ), 東海産科婦人科学会 ( 評議員, 継続中 ). 講師 藤本次良: 日本内分泌学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会 ( 評議員, 1996 - ). 助手 川鱒市郎: 日本産科婦人科 ME 懇話会 ( 幹事, 継続中 ), 日本産婦人科新生児・血液学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本超音波医学会 ( 中部支部運営委員, 継続中 ), 日本周産期学会 ( 幹事, 1998 - ). 助手 横山康宏: 日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会 ( 評議員, 1996 - ). 助手 丹羽憲司: 日本癌治療学会 ( 評議員, - 1996 ), 日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会 ( 評議員, 1996 - ), 婦人科がん化学療法共同研究会 ( 子宮がんプロトコール委員, 1997 - ), 助手 三嶋廣繁: 日本化学療法学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本感染症学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本臨床微生物学会 ( 評議員, 1998 - )

## 整形外科科学講座

教授 清水克時： 国際整形外科学会 ( SICOT ) 正会員, 日本脊椎外科学会 ( 評議員, プログラム委員, 渉外委員会委員, 会則検討委員 ), 日本整形外科学会 ( 認定医試験委員, 移植問題等検討委員会委員長, 中部地区資格認定委員会委員, 学術集会プログラム委員, 学会奨励賞選考委員会選考委員 ), 日本リウマチ関節外科学会 ( 評議員 ), 日本軟骨代謝学会 ( 理事 ), 中部日本整形外科災害外科学会 ( 評議員, プログラム委員 ), 日本結合組織学会 ( 評議員 ), 日本脊椎インストゥルメンテーション研究会 ( 幹事 ), 中部日本整形災害外科学会 ( 評議員 ), 中部リウマチ学会 ( 評議員 ), 東海脊椎外科 研究会 ( 幹事 ), 東海骨・軟骨研究会 ( 世話人 ), 診断・治療手技研究会 ( 世話人 ), 岐阜県画像医学研究会 ( 世話人 ). 助教授 系数万正： 日本整形外科学会 ( 認定医試験委員 ), 日本リウマチ学会 ( 評議員, 指導医 ), 日本臨床リウマチ学会 ( 評議員 ), 日本リウマチ関節外科学会 ( 評議員 ), 日本股関節学会 ( 評議員 ), 日本結合組織学会 ( 評議員 ), 日本輸血学会東海支部 ( 評議員 ), 中部日本整形外科災害外科学会 ( 評議員 ), 中部リウマチ学会 ( 評議員 ), 関西関節鏡・膝研究会 ( 幹事 ), 東海関節外科研究会 ( 幹事 ), 東海脊椎外科 研究会 ( 幹事 ), 東海小児整形外科研究会 ( 幹事 ). 講師 細江英夫： 中部日本整形外科災害外科学会 ( 評議員 ), 東海脊椎外科研究会 ( 幹事 ), 岐阜脊椎カンファランス ( 幹事 ), 岐阜県整形外科集談会 ( 幹事 ). 講師 西本 裕： 中部日本整形外科災害外科学会 ( 評議員 ), 東海骨軟部腫瘍研究会 ( 幹事 )

## 脳神経外科学講座

教授 坂井 昇： 日本脳神経外科学会 ( 評議員, 1975 ), 日本脳卒中学会 ( 評議員 ), 日本脳循環代謝学会 ( 評議員 ), 日本脳卒中の外科研究会 ( 運営委員 ), 日本小児神経外科学研究会 ( 世話人 ), 日本脳腫瘍の外科学会 ( 世話人 ), Active Member of International Society for Pediatric Neurosurgery ( 役員 ), Active Member of International Society of Intraoperative Radiation Therapy ( 役員 ). 助教授 安藤 隆： 日本脳神経外科学会 ( 評議員, 1981 ), 日本脳卒中学会 ( 評議員 ). 講師 西村康明： 日本脳神経外科学会 ( 評議員, 1984 ). 講師 出口一樹： 日本脳神経外科学会 ( 評議員, 1987 ). 講師 篠田 淳： 日本脳神経外科学会 ( 評議員, 1987 )

## 眼科学講座

教授 北澤克明： 国際緑内障学会 ( 会長, 1995 - ), 国際視野学会 ( 副会長, 1995 - ), アジア・オセアニア緑内障学会 ( 会長, 1996 - ), 日本眼科学会 ( 理事, 継続中 ), 日本眼科手術学会 ( 理事, 継続中 ), 日本緑内障学会 ( 理事長, 継続中 ), 日本眼薬理学会 ( 理事, 継続中 ), 日本眼科 ME 学会 ( 理事, 継続中 ), チリ眼科学会 ( 名誉会員, 継続中 ), イタリア緑内障学会 ( 名誉会員, 継続中 ), The Member of The Committee on International Member of American Academy of Ophthalmology ( USA ) ( 継続中 ), Helen Keller Prize ( USA ) ( 選考委員 ). 助教授 山本哲也： 日本眼科学会 ( 評議員, 継続中 ), 日本緑内

障学会（評議員，継続中）。講師 富田剛司：日本緑内障学会（評議員，継続中）。講師 杉山和久：日本緑内障学会（評議員，継続中）。講師 谷口 徹：日本緑内障学会（評議員，継続中）

## 耳鼻咽喉科学講座

教授 宮田英雄：日本耳鼻咽喉科学会（評議員，継続中・専門医認定試験委員，- 1997），日本耳鼻咽喉科学会中部地方部会連合会（評議員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会（運営委員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（会長，継続中），日本平衡神経科学会（評議員，継続中・運営委員，継続中・会長，1998），日本耳科学会（評議員，継続中），日本鼻科学会（評議員，継続中），日本口腔咽頭科学会（評議員，継続中），日本喉頭科学会（評議員，継続中），日本気管食道科学会（評議員，継続中），日本頭頸部外科学会（評議員，継続中），日本アレルギー学会（評議員，1997 - ），耳鼻咽喉科臨床学会（運営委員，継続中），日本耳鼻咽喉科感染症研究会（運営委員，継続中），耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会（評議員，1997 - ），耳鼻咽喉科リハビリテーション医学研究会（会長，- 1996・世話人，1997 - ），耳鼻咽喉科と老化の研究会（世話人，継続中），東海めまい平衡障害研究会（世話人，継続中），東海メニエール病研究会（代表世話人，継続中），東海咽喉頭異常感症研究会（世話人，継続中），東海耳鼻咽喉科生体防御研究会（世話人，継続中），東海花粉症研究会（顧問，継続中），日本レーザー医学会東海支部会（評議員，継続中），岐阜神経疾患治療研究会（世話人，継続中），岐阜免疫・アレルギー薬物療法研究会（世話人，継続中），岐阜アレルギー疾患研究会（世話人，継続中）。助教授 鈴木智雄：日本耳鼻咽喉科学会中部地方部会連合会（評議員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会（運営委員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（保険医療委員，継続中），東海咽喉頭異常感症研究会（世話人，継続中）。講師 伊藤八次：日本耳鼻咽喉科学会（評議員，1997 - ），日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会（運営委員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（学術委員，継続中），日本平衡神経科学会（評議員，1996 - ），耳鼻咽喉科情報処理研究会（幹事，継続中），東海めまい平衡障害研究会（幹事，1997 - ）。講師 水田啓介：日本平衡神経科学会（評議員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（学術委員，継続中），東海花粉症研究会（世話人，継続中），東海メニエール病研究会（幹事，継続中）。助手（併任講師）澤井薫夫：日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（産業・環境保健委員，継続中・幹事，継続中）。助手（併任講師）白戸弘道：日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（福祉医療委員，継続中・補聴器キーパーソン，継続中）。助手 秋田茂樹：日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（学校保健委員，継続中）。助手 中村好克：日本耳鼻咽喉科学会岐阜県地方部会（幹事，1997 - ）



## 皮膚科学講座

教授 北島康雄： 日本研究皮膚科学会(理事・事務総長 1996 - 1998, 理事長 1998 - ), 日本皮膚科学会(評議員, 継続中), 日本医真菌学会(評議員, 継続中), 日本乾癬学会(評議員, 継続中), 日本電顕皮膚生物学会(運営委員, 継続中), 日本結合織学会(評議員, 継続中), 日本皮膚科学会総会・学術大会(プログラム委員, 継続中), JICA 第三国 - タイ国立皮膚病研究所 - (集団研修短期個別専門家派遣員, 1997 - 1998), 第3回臨床研修指導医養成講師(1997).

助教授 前田 学： 日本研究皮膚学会(幹事, 継続中), 東海プロスタグランディン研究会(世話人, 継続中), 東海膠原病研究会(世話人, 継続中), 東海医真菌懇話会(世話人, 継続中).

講師 清島真理子： 日本研究皮膚科学会(評議員, 継続中). 助手 神谷秀喜： 日本皮膚外科学会(評議員, 継続中)

## 泌尿器科学講座

教授 出口 隆： 日本泌尿器科学会(Voting Member, 継続中), 日本化学療法学会(評議員, 継続中), 日本性感症学会(評議員, 継続中), 泌尿器科細胞解析研究会(幹事, 継続中). 助教授 坂 義人： 日本泌尿器科学会(Voting Member, 継続中・尿路感染症試験ガイドライン作成委員会委員), 日本化学療法学会(評議員, 継続中・雑誌編集委員会委員, 継続中・用語集改訂委員会常任委員, 継続中・抗菌薬臨床評価法制定委員会委員, 継続中), 日本化学療法学会西日本支部(幹事, 継続中), 日本感染症学会(評議員, 継続中), 日本感染症学会中日本支部(評議員, 継続中), 日本EE学会(評議員, 継続中), 日本環境感染学会(評議員, 継続中), 日本性感症学会(評議員, 継続中), 尿路感染症研究会(幹事, 継続中). 講師 栗山 学： 日本泌尿器科学会(Voting Member, 継続中, 専門医試験委員), 日本化学療法学会(評議員, 継続中), 日本移植学会(評議員, 継続中), 日本透析療法学会(評議員, 継続中), 日本透析医学会(認定医試験委員), 日本移植血管外科研究会(世話人). 講師 石原 哲： 日本泌尿器科学会(Voting Member, 継続中), 日本化学療法学会(評議員, 継続中). 講師 高橋義人： 日本泌尿器科学会(Voting Member, 継続中)

## 神経精神医学講座

教授 小出浩之： 日本精神病理学会(評議員, 継続中); 日本アルコール精神医学会(評議員, 継続中); 日本心身医学会中部地方会(評議員, 継続中); 岐阜県精神科医会(会長, 継続中); 岐阜県思春期研究会(会長, 継続中); 岐阜臨床心理研究会(会長, 継続中). 講師 高岡 健： 日本精神神経学会(評議員, 継続中); 日本精神神経学会(卒後教育検討委員会委員, 継続中); 日本児童青年精神医学会(評議員・理事, 継続中); 日本児童青年精神医学会(子供の人権に関する委員会委員, 継続中); 日本児童青年精神医学会(医療費問

題委員会委員，継続中)；日本児童青年精神医学会(リハビリテーション問題委員会委員，1997 - )；日本総合病院精神医学会(評議員，継続中)；日本総合病院精神医学会(在り方・渉外委員会委員，継続中)；東海精神神経学会(運営委員会事務局長，1997 - )；岐阜思春期研究会(副会長，継続中)。助 手 柴田昭彦： 日本児童青年精神医学会(評議員，継続中)

### 小児科学講座

教 授 近藤直実： 日本小児科学会(評議員，1996 - ，施設認定指導責任医，1985 - )，日本アレルギー学会(評議員，1986 - ，指導医，1991 - ，専門医，1991 - ，認定医，1989 - )，日本小児アレルギー学会(評議員，1993 - ，理事，1994 - 1997)，日本小児科学会東海地方会(幹事，1995 - ，理事，1997 - )，日本人類遺伝学会(評議員，1997 - ，指導医，1995 - ，認定医，1994 - )，日本小児遺伝医学会(幹事，1997 - )，日本小児科学会(認定医試験(出題担当)委員，1997 - )，日本アレルギー学会(認定医・認定専門医試験問題作成委員，1997 - )，日本ムコ多糖症研究会(幹事，1997 - )。助教授 鈴木康之： 日本先天代謝異常学会(評議員，継続中)日本人類遺伝学会(評議員，継続中)，日本小児神経学会(評議員，継続中)，日本小児遺伝医学会(幹事，継続中)，日本ムコ多糖症研究会(幹事，1997 - )，日本リピドーシス研究会幹事(1998 - )，東海臨床遺伝・代謝懇話会(世話人，継続中)，遺伝性疾患の生殖・遺伝学研究会発起人(1998 - )。講 師 下澤伸行： 日本人類遺伝学会(評議員，継続中)，日本小児神経学会東海地方会(世話人，継続中)。講 師 高橋幸利： 日本てんかん学会(評議員，1997 - )。助 手 祐川和子： 日本結合組織学会(評議員，継続中)日本ムコ多糖症研究会(幹事，1997 - )。助 手 金子英雄： 日本アレルギー学会(評議員，1997 - )

### 放射線医学講座

教 授 星 博昭： 日本医学放射線学会(評議員，1993 - )，日本医学放射線学会・中部地方会(世話人，1995 - )，日本核医学会(評議員，1993 - )，北関東医学会(評議員，1995 - )，断層映像研究会(評議員，1997 - )，心臓核医学会(評議員，1998 - )。助教授 後藤裕夫： 日本消化器集団検診学会(評議員，1993 - )。助教授 梶浦雄一： 東海放射線腫瘍研究会(世話人，1996 - )。講 師 松井英介： 日本気管支学会(評議員，1993 - ；監事，1996 - )，日本気管支学会・中部支部会(評議員，1993 - )，日本肺癌学会(評議員，1993 - )，日本がん検診・診断学会(評議員，1998 - )，中部肺癌学会(評議員，1993 - )，日本胸部疾患学会・東海地方学会(評議員，1993 - )，肺癌診断会(世話人，1993 - )，中部地区胸部内視鏡懇談会(代表世話人，1995 - )。講 師 山脇義晴： 中部 IVR 研究会(幹事，1993 - )。助 手 兼松雅之： 日本肝動脈塞栓療法研究会(世話人，1997 - )

## 麻酔・蘇生学講座

教授 土肥修司： 日本麻酔学会(評議員,1989-),世界麻酔学会(誘致委員,1995-),英文誌編集委員(1995-),麻酔指導医認定委員(1996-),日本臨床モニター学会(評議員,1995-),日本医療帰省支援システム(幹事,1996-),日本臨床麻酔学会(評議員,1995-),日本集中治療学会(評議員,1989-),日本ペインクリニック学会(評議員,1994-),日本ペインクリニック学会(機関誌編集委員会,1995-),日本麻酔・薬理学会(理事,1993-),日本蘇生学会(評議員,1995-),日本循環制御医学会(評議員,1996-),日本手術部医学会(評議員,1995-),日本小児麻酔学会(理事,1996-)

## 臨床検査医学講座

教授 清島 満： 日本臨床病理学会(評議員,1996-),学研究委員会 臨床化学専門部会委員,1998-,第13回認定臨床検査医認定試験出題委員,1996,第14回認定臨床検査医認定試験出題委員,1997,第15回認定臨床検査医認定試験実行委員,1998),日本動脈硬化学会(評議員,1996-),日本臨床化学会(評議員,1997-),日本臨床検査自動化学会(評議員,1996-),日本臨床代謝学会(評議員,1997-). 助教授 下川邦泰： 日本臨床病理学会(評議員,1988-),日本病理学会(評議員,1970-),日本外科病理学会(プログラム委員会委員,1996-),日本食道疾患研究会(病理組織検討委員会委員,1998-). 講師 斉藤邦明： 日本トリプトファン研究会(評議員,1995-)

## 口腔外科学講座

教授 立松憲親： 日本口腔外科学会(認定医,指導医・評議員,継続),日本口腔科学会(評議員,継続),日本口腔インプラント学会(指導医・理事,継続)

## 反射研究施設

教授 松波謙一： 日本宇宙航空環境医学会(理事、研究奨励賞選考委員),日本宇宙生物学会(評議員),非侵襲脳機能研究会(幹事),日本神経科学学会(評議員),日本生理学会(評議員,継続),日本神経科学学会(評議員,継続),日本宇宙航空環境医学会(評議員,継続),日本宇宙生物学会(評議員,継続中),日本生体磁気学会(評議員,継続),日本バーチャルシステム学会,非侵襲脳機能研究会(幹事,継続),International Brain Research Organization (IBRO,継続) Aerospace Medical Association (継続).

助教授 川島 卓： 日本生理学会(評議員,継続),日本神経科学学会(継続),日本神経回路学会(継続),Society for Neuroscience(継続). 講師 佐竹裕孝： 日本生理学会(評議員,継続),日本宇宙航空環境医学会(評議員,継続),日本神経科学学会(継続),日本宇宙生物学会(継続),日本マイクログラフィティ応用学会(継続),Society for Neuroscience(継続),Aerospace Medical Association(継続),The New York Academy of Sciences(継続),American Association for the Advancement of Science(継続). 助手 内

藤栄一： 日本生理学会（継続），日本心理学会（継続），日本神経科学学会（継続），日本体育学会（継続）

#### **嫌気性菌実験施設**

渡邊邦友 日本細菌学会評議員（1993 - 1996），日本感染症学会評議員（1985 - ），日本化学療法学会評議員（1984 - ），MIC 測定法検討委員会（1992 - ），日本臨床微生物学会評議員（1991 - ），幹事（1991 - 1995），理事（1996 - ），編集委員（1991 - 1993），編集委員（1998 - ），日本臨床病理学会評議員（1990 - ），嫌気性菌感染症研究会運営委員（継続中），臨床微生物迅速診断研究会幹事（1987 - ），編集委員（1987 - ），Journal of Infection and Chemotherapy，Editorial board（1995 - ）。

加藤直樹 日本細菌学会評議員（1993），日本感染症学会評議員（1985 - ），日本化学療法学会評議員（1987 - ），新薬委員（1993 - 1994），日本性感染症学会（1988 - ），日本臨床微生物学会（1990 - ）

#### **動物実験施設**

助教授 杉江茂幸： 日本病理学会（評議員，継続中），日本臨床細胞学会（東海連合会幹事，継続中），日本毒性病理学会（評議員，継続中）

#### **薬剤部**

教授 片桐義博： 日本臨床薬理学会（評議員，1995 - ），日本病院薬学会（評議員，1996 - ），日本 TDM 学会（評議員，1996 - ）

## 学会誌の編集委員等

### 解剖学第一講座

教授 正村静子： Clinical Anatomy (編集委員)

### 生化学講座

教授 野澤義則： Molecular Membrane Biology (編集委員), Biochimica et Biophysica Acta ; Review of Biomembranes (編集委員), Chemistry and Physics of Lipids (編集委員), Platelets (編集委員), Journal of Medical Mycology (編集委員), Journal of Eukaryotic Microbiology(編集委員), European Journal of Protistology(編集委員), Journal de Mycologie Me´dicale (編集委員), 日本膜学会誌 (編集委員)

### 薬理学講座

教授 植松俊彦： Therapeutic Drug Monitoring (編集委員), Drugs & Therapy Perspectives (編集委員), 老年消化器病 (編集委員)

### 病理学第一講座

森 秀樹： Jpn. J. Cancer Res(編集委員). 田中卓二： Oncology Reports(Editorial Board), 日本食品化学学会誌 (編集委員)

### 微生物学講座

教授 江崎孝行： Microbiology and Culture Collection (編集委員), J. General and Applied Microbiology(編集委員), Microbiology and Immunology(編集委員), Asia Pacific Journal of Molecular Biology and Biotechnology (編集委員), 遺伝子診療 (編集委員)

### 衛生学講座

教授 岩田弘敏： 日本公衆衛生雑誌 (編集委員). 助教授 井奈波良一： 産業衛生学雑誌および Journal of Occupational Health (編集委員)

### 公衆衛生学講座

教授 清水弘之： Japanese Journal of Cancer Research (編集委員), 日本公衆衛生雑誌 (編集委員). 助教授 川上憲人： American Journal of Health Behavior (編集委員), International Journal of Behavioral Medicine (編集委員), 日本衛生学雑誌および Environmental Health and Preventive Medicine (編集委員), タイプ A (編集委員), ストレス科学 (編集委員), 産業ストレス研究 (編集委員)

### 法医学講座

教授 大谷 勲： 日本法医学雑誌（編集委員）。助教授 武内康雄：法医病理（編集委員）

### 外科学第一講座

教授 広瀬 一： 移植（編集委員），日本胸部外科学会誌（編集委員）

### 外科学第二講座

佐治重豊： 日本消化器外科学会雑誌編集委員長，日本外科学会雑誌（SURGERY TODAY）編集員，日本外科系連合学会雑誌編集員，Biotherapy 編集員

### 産科婦人科学講座

教授 玉舎輝彦： 日本産科婦人科学会（編集企画委員会委員），日本東洋医学会（編集委員），Oncology & Chemotherapy（編集委員）。助教授 今井篤志： Oncology Reports（編集委員）

### 整形外科科学講座

教授 清水克時： Orthopedics（Editor），Orthopaedic Today（Editor），臨床整形外科（編集委員），Journal of Orthopaedic Science（査読委員）。助教授 系数万正： 中部日本整形災害外科学会（編集委員）

### 眼科学講座

教授 北澤克明： Ophthalmology（USA）（編集委員），Journal of Glaucoma（USA）（編集委員），Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics（USA）（編集委員），Ophthalmic Surgery and Lasers（USA）（編集委員），Current Opinion in Ophthalmology（USA）（編集委員），Japanese Journal of Ophthalmology（Japan）（編集委員），International Ophthalmology（Holland）（編集委員），New Trends in Ophthalmology（Italy）（編集委員），日本眼科紀要（編集委員）

### 耳鼻咽喉科学講座

宮田英雄： 「日本耳鼻咽喉科学会会報」査読委員，「Equilibrium Research」編集委員（- 1997），査読委員，「Auris・Nasus・Larynx（Tokyo）」editorial board（- 1996），「Auris・Nasus・Larynx - International Journal of ORL & HNS」査読委員（1997 - ），「耳鼻咽喉科臨床」査読委員

### 皮膚科学講座

教授 北島康雄： Archives of Dermatol( USA )( 国際編集委員 1993 - 1997 ), Epithelial Cell Biol ( UK )( 編集委員 - 1997 ), Journal of Dermatol Sci ( Japan )( 副編集委員 ). 助教授 前田 学： 日本医真菌学会学会雑誌 ( 編集委員 )

### 泌尿器科学講座

名誉教授 河田幸道： Canadian Journal of Infection Diseases ( International Editorial Board ), International Journal of Urology( Editorial Board ), 泌尿器科紀要( Editorial Board ), 泌尿器外科 ( Editorial Board ), Urological Nursing ( 編集同人 ). 助教授 坂 義人： 日本化学療法学会雑誌 ( 編集委員 ). 講師 栗山 学： 泌尿器科紀要 ( 編集委員 ), Urology ( Editorial Board ), Urological Oncology ( Editorial Board ), International Journal of Cancer ( Refree ).

### 小児科学講座

教授 近藤直実： Acta Paediatrica Japonica ( 編集委員 , 1996 - ), アレルギーの領域 ( 編集顧問 , 1996 - ) 日本小児アレルギー学会誌 ( 編集委員 , 1997 - ), Journal of Investigational Allergology & Clin Immunology ( 編集委員 , 1998 - ), 免疫アレルギー懇話会 ( 企画委員 , 1998 - ). 講師 高橋幸利： 日本てんかん学会誌「てんかん研究」( 編集委員 , 1997 - )

### 放射線医学講座

教授 星 博昭： Radiation Medicine ( 編集委員会委員 ), 日本アイソトープ協会 ( 企画専門委員会委員 ), 放射線専門医 ( 認定委員会委員 ). 助教授 後藤裕夫： 日本消化器集団検診学会 ( 認定委員会委員 ). 講師 松井英介： 日本気管支学会 ( 編集委員会委員 ), 日本肺癌学会 ( 気管支鏡所見分類委員会委員 )

### 麻酔・蘇生学講座

教授 土肥修司： Journal of Anesthesia ( Editor )

### 臨床検査医学講座

教授 清島 満： 臨床病理 ( 編集査読委員 ), 臨床化学 ( 編集査読委員 ). 講師 斉藤邦明： Brain Research ( 査読委員 ), J Neurochemistry( 査読委員 ), J Histochem Cytochem ( 査読委員 ), Ann Clin Biochemistry ( 査読委員 )

### 反射研究施設

教授 松波謙一： 日本生理学雑誌( 編集委員 ), 日本宇宙生物学会( データベース委員 ). 講師 佐竹裕孝： 日本宇宙航空環境医学会 ( 編集委員 )

**薬剂部**

教授 片桐義博： TDM 研究（編集委員）



## 学会等の主催

### 生化学講座

教授 野澤義則： 第 38 回日本脂質生化学研究会研究集会 1996 年 6 月 20 - 21 日 岐阜未来会館 , 日本脂質生化学研究会 , 第 41 回日本医真菌学会 1997 年 10 月 16 - 17 日 岐阜グランドホテル , 日本医真菌学会

### 病理学第一講座

日本環境変異原学会公開シンポジウム (1997 年 5 月 30 日 , 岐阜 , 森 秀樹) . 第 37 回細胞検査士ワークショップ (1998 年 9 月 5 , 6 日 , 岐阜 , 実施委員長 , 吉見直己)

### 衛生学講座

第 5 回日本健康体力栄養研究会総会 (1998 年 3 月 14 日 , 東京 , 岩田弘敏)

### 内科学第一講座

日本レチノイド研究会第 7 回学術集会 (1996 年 10 月 25 日 - 10 月 26 日 , 岐阜県民文化ホール 未来会館)

### 内科学第三講座

第 170 回日本内科学会東海地方会 (1996 年 11 月 16 日 , 岐阜大学医学部 , 会長 : 安田圭吾) , 日本内科学会東海支部第 17 回生涯教育講演会 (1996 年 11 月 17 日 , 岐阜大学医学部講堂 , 会長 : 安田圭吾)

### 外科学第二講座

第 18 回癌免疫外科研究会 , 平成 9 年 5 月 27 , 28 日 , 岐阜グランドホテル , 佐治重豊

### 産科婦人科学講座

第 7 回日台産婦人科超音波周産期シンポジウム (1997 年 8 月 22 日 - 24 日 , 岐阜県民文化ホール未来会館 , 玉舎輝彦) , 第 101 回 , 102 回東海産科婦人科学会 (1997 年 9 月 28 日 , 1998 年 3 月 8 日 , 岐阜県民ふれあい会館 , 玉舎輝彦)

### 整形外科科学講座

第 164 回整形外科集談会東海地方会 (平成 8 年 6 月 22 日 , 名古屋 , 清水克時) , 第 172 回整形外科集談会東海地方会 (平成 10 年 6 月 13 日 , 名古屋 , 清水克時)

### **耳鼻咽喉科学講座**

第 87 回日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会連合講演会（1996 年 12 月 8 日，岐阜大学医学部講堂，担当：岐阜大学医学部耳鼻咽喉科学教室）

### **皮膚科学講座**

第 18 回水疱症研究会（1996 年 10 月 18 - 19 日，彦根プリンスホテル，北島康雄），第 198 回日本皮膚科学会東海地方会（1996 年 12 月 22 日，愛知県医師会館，北島康雄）。

### **泌尿器科学講座**

日本化学療法学会市民公開講座《ペニシリンの半世紀》市民生活と抗生物質（1996 年 11 月 13 日，東京都日比谷公会堂，河田幸道），第 44 回日本化学療法学会西日本支部総会（1996 年 12 月 5 日 - 6 日，長良川国際会議場，岐阜ルネッサンスホテル，河田幸道），日本化学療法学会特別企画学術集会《ペニシリンの半世紀》（1996 年 12 月 7 日，岐阜グランドホテル，河田幸道），第 47 回日本泌尿器科学会中部総会（1997 年 11 月 9 日 - 10 日，長良川国際会議場，岐阜ルネッサンスホテル，河田幸道），第 199 回日本泌尿器科学会東海地方会（1998 年 1 月 25 日，岐阜大学医学部講堂，河田幸道）

### **小児科学講座**

第 199 回日本小児科学会東海地方会（1997 年 2 月 2 日 近藤直実），第 43 回東海てんかん集談会（1997 年 7 月 26 日 高橋幸利），第 32 回東海小児がん研究会（1997 年 8 月 30 日 近藤直実），第 3 回国際シンポジウム「小児アレルギーの予知と予防」（1997 年 10 月 8 日～9 日 近藤直実 他），第 21 回東海遺伝子医療研究会（1998 年 7 月 25 日 近藤直実 他），第 2 回東海小児感染症研究会（1998 年 11 月 14 日 近藤直実）

### **放射線医学講座**

第 90 回日本結核病学会東海地方会および第 72 回日本呼吸器学会東海地方学会（1998 年 11 月 15 日～16 日，岐阜，松井英介）

### **麻酔・蘇生学講座**

日本麻酔学会東海・北陸地方会 第 88 回東海地方会 平成 10 年 2 月 14 日 岐阜大学医学部講堂 岐阜大学医学部麻酔・蘇生学教室

### **臨床検査医学講座**

第 9 回日本臨床化学会東海・北陸支部総会（1998 年 6 月 27，28 日，岐阜グランパレホテル，清島 満）

### **嫌気性菌実験施設**

第 26 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 1996 年 7 月 29 日 ~ 8 月 3 日 , 岐阜市 ) , 第 27 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 1997 年 7 月 28 日 ~ 8 月 1 日 , 岐阜市 ) , 第 28 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 1998 年 7 月 26 日 ~ 7 月 31 日 , 岐阜市 )

## 5 学術賞等の受賞状況

森田啓之： ソルト・サイエンス研究振興財団賞（1998年）

渡邊和子： エッソ女性のための研究奨励制度（老年期痴呆の予防医学的対応に関する基礎的研究 1998年）

桑田一夫： 平成8年度日本磁気共鳴医学会国際飛躍賞（完全緩和行列を用いたオフ・レゾナンス・ROESY（O-ROESY）の解析 - DNA分子への応用）

松野浩之： 岐阜医学研究奨励賞（1998年）

橋本安弘： 日本細菌学会・黒屋賞（1997）；チフス菌のVi抗原の遺伝子の解析とその発現調節に関する研究

奥野正隆： 公益信託 原口記念癌研究助成金（1996年）；持田記念医学薬学振興財団第15回研究助成（1997年）

森脇久隆： 財団法人東京生化学会研究助成（1997年）

白鳥義宗： 公益信託 原口記念癌研究助成金（1997年）；第2回日本心臓財団（高血圧と血管代謝）研究助成（1997年）

岐阜大学第1内科研究グループ代表 武藤泰敏，森脇久隆： 第2回織田賞（1998年）

西垣和彦： 平成7年度岐阜県内科医会奨励賞（1996年）；肥大型心筋症における血漿脳性利尿ペプチドの検討

野田俊之： 車両競技公益資金記念財団よりの研究事業助成（1995 - 1998）；心臓病の基礎的研究事業「特発性心筋症に関する研究」閉塞性肥大型心筋症の成因に対するBNPの関与

西垣和彦： 日本循環器学会 第14回 YOUNG INVESTIGATOR'S AWARD（YIA）優秀賞（1997年4月1日）；Plasma Fas Ligand，an Inducer of Apoptosis，and Plasma Soluble Fas，an Inhibitor of Apoptosis，in Patients with Chronic Congestive Heart Failure

湊口信也： 第 9 回中日合同循環器会議発表奨励賞( 1997 年 9 月 10 日 ); Effect of captopril and losartan on noradrenaline release and vascular reactivity to noradrenaline in the pithed rats -role of bradykinin  $\text{B}_2$  receptor- mediated production of nitric oxide

竹村元三： 第 12 回冠動脈疾患・心不全研究会優秀研究賞( 1997 年 10 月 18 日 ); 心筋梗塞のいわゆる apoptotic myocytes は oncotic myocytes with DNA fragmentation の可能性がある - 電顕レベルでの TUNEL 法による検討 -

大野道也： 外山基金による国際交流助成( 1997 年 10 月 18 日 ); So-called Apoptotic Myocytes in the Infarct Area May Be Oncotic Myocytes with DNA Fragmentation in Rabbit Hearts-Analysis by Electron Microscopic TUNEL

早川幸博： 外山基金による国際交流助成( 1997 年 10 月 18 日 ); Overexpression of Bax Protein and Bax mRNA , an Inducer of Apoptosis , in Human

佐野浩毅： 平成 10 年度岐阜県内科医会奨励賞( 1998 年 4 月 5 日 ); 慢性糸球体腎炎とアポトーシス - 可溶性 Fas からの検討 -

宗 友厚： 上原記念生命科学財団研究奨励金( 1996 年 ); 日本心臓財団 第 4 回「高血圧と血管代謝」研究会奨励賞( 1996 年 )

山本眞由美： 上原記念生命科学財団研究奨励金( 1996 年 )

諏訪哲也： 23rd International Aldosterone Conference Searle Young Investigator Award ( 1997 年 )

東 健一郎： 岐阜医学研究協議会学術奨励賞( 1996 年 )

柴田雅也： 第 26 回腹部救急医学会総会会長賞( 1996 年 )

林 昌俊： 第 11 回リム・サルベージ研究会井島寛賞( 1997 年 )

山口和也： 第 28 回癌とリンパ節研究会優秀演題賞受賞，平成 10 年 4 月 8 日東京にて( CEA 及び CK-20 を用いた遺伝子診断による大腸癌微小転移の検出感度について )

北村文近： 第 3 回日本消化器外科学会国際交流奨励賞受賞，平成 10 年 7 月 16 日東京に

て ( p53 , c-erbB-2 , PCNA , CD44 , nm23 の免疫組織染色所見からみた大腸癌異時性肝転移高危険群の検索について )

操 良 : 岐阜医学研究奨励賞 ( 1997 年 )

酒井秀樹他 : 第 20 回日本神経外傷研究会優秀ポスター賞 ( スノーボードによる頭部外傷 109 例の検討: スキーによる頭部外傷との比較 ( 1997 ))

杉山和久 : 須田賞 ( 1996 年 )

Daugeliene , Lina : 公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金 ( 1996 年 )

谷 照斌 : 公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金 ( 1997 年 )

杉山和久 : 岐阜医学学術奨励賞 ( 1998 年 )

中村好克 : 東海学術奨励賞 ( アレルギー反応を演出するマスト細胞活性化の細胞内シグナル伝達機構の解明 1997 年 )

白戸弘道 : 東海学術奨励賞 ( 自己空間識認知の研究 - 空間識誤認が歩行・指示運動に与える影響 - 1998 年 )

河田幸道 : 日本化学療法学会 , 志賀 潔・秦佐八郎記念賞 ( 1998 年 )

折居忠夫 : 平成 8 年日本人類遺伝学会賞 , Zellweger 症候群を始めとする先天代謝異常症の分子病態学的研究 ( 1996 )

鈴木康之 : 平成 8 年日本先天代謝異常学会奨励賞 , ペルオキシソーム病の成因と治療に関する研究 ( 1996 )

高橋幸利 : 平成 8 年日本てんかん学会 JUHN AND MARY WADA 奨励賞臨床部門 , Wavelength specificity of photoparoxysmal responses in idiopathic generalized epilepsy ( 1996 )

深尾敏幸 : 平成 10 年日本人類遺伝学会奨励賞

兼松雅之 : 日本磁気共鳴医学会・国際飛躍賞 ( 1997 年 ) , 社団法人岐阜医学研究協議会・

学術奨励賞（1997年）

水野晋二： 社団法人 日本アイソトープ協会・RADIOISOTOPES 誌論文奨励賞（1998年）

飯田宏樹： 第17回山村記念賞（脳・脊髄微小血管の炭酸ガスおよび血管収縮薬に対する反応性の違い 1997年）日本麻酔学会第17回山村記念賞；第3回 ASTRA RESEARCH AWARD 賞（Spinal analgesics の脊髄の微小循環と機能からみた安全性に関する研究 1997年）

福田一典： 平成9年度和漢医薬学会奨励賞（1997年8月30日）